

北海道立総合研究機構
農業試験場資料 第41号
Misc. Pub. Hokkaido
Agric. Exp. Stn.
No.41, p.1-192 March, 2014

ISSN 2186-1056

北海道立総合研究機構農業試験場資料 第41号

Miscellaneous Publication of Hokkaido Research Organization
Agricultural Experiment Stations
No.41, March 2014

農作物優良品種の解説 (2005-2013)

Varieties of Field Crops in Hokkaido
(2005-2013)

平成 26 年 3 月



地方独立行政法人
北海道立総合研究機構農業研究本部

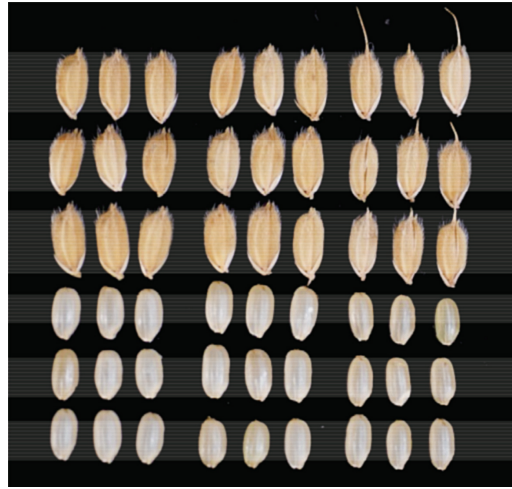
Hokkaido Research Organization
Agricultural Research Department
(Naganuma, Hokkaido, 069-1395, Japan)

■ 水稻

- ゆめぴりか（極良食味、対照品種より多収、割粃が少ない）



「ゆめぴりか」「ほしのゆめ」
「おほろづき」



「ゆめぴりか」 「おほろづき」 「ほしのゆめ」

- きたくりん（いもち病に強い、割粃が少ない、良食味）



いもち病多発圃場での生育状況



「きたくりん」 「ななつぼし」

- 上育糯464号（つきもちの硬化性が高く、耐冷性が強く多収）



もち硬化性の比較

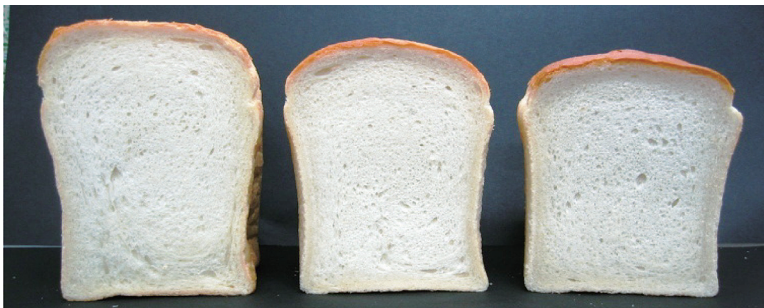
左：「上育糯464号」 中：「しろくまもち」 右：「はくちょうもち」

■ 小麦

- きたほなみ（多収で、めん適性に優れる秋まき品種）



- はるきらり（パンがよく膨らみ、多収で障害に強い春まき品種）



「はるきらり」

「春よ恋」

「ハルユタカ」

- つるきち（ラーメン適性が優れ、茎が丈夫で栽培しやすい秋まき品種）



畑での草姿

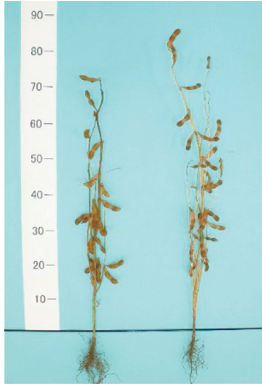


「つるきち」

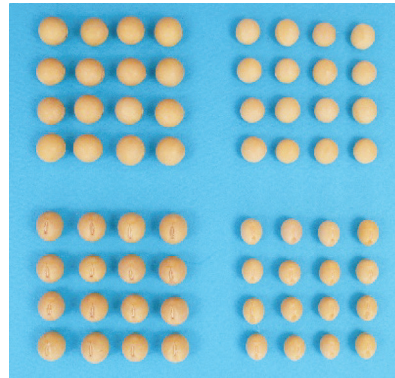
「キタノカオリ」

大豆

- タマフクラ（百粒重が60g以上の白目極大粒）



「タマフクラ」「ユウヅル」



「タマフクラ」「ユウヅル」

- ゆめのつる（線虫抵抗性、多収で裂皮粒の発生が少ない白目極大粒品種）



「ゆめのつる」「ユウヅル」



「ゆめのつる」

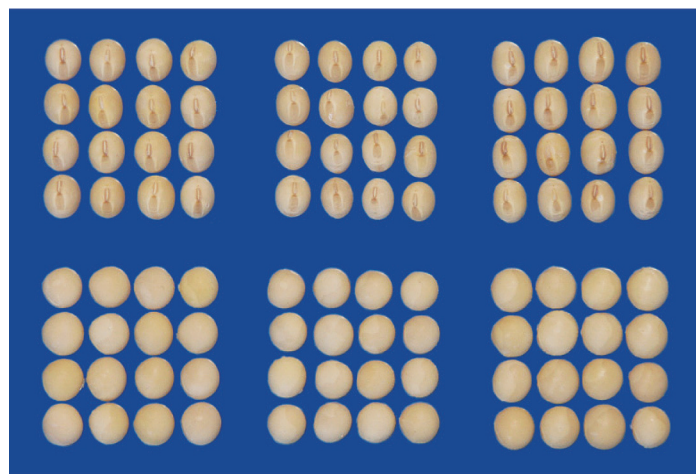
「ユウヅル」

裂皮粒の多少の比較

- とよみづき（低温抵抗性と豆腐加工適性に優れ、裂開粒の発生が少ない白目中粒品種）



「とよみづき」「ユキホマレ」「トヨコマチ」



「とよみづき」

「ユキホマレ」

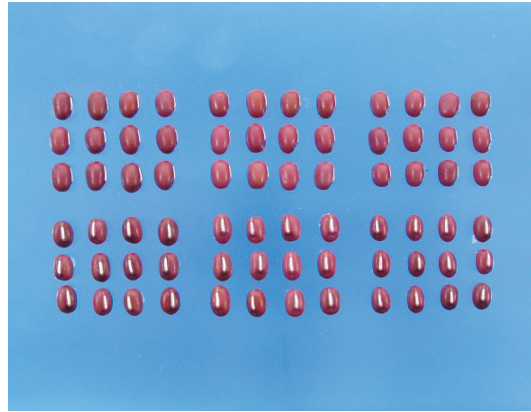
「トヨコマチ」

■ 小豆

- きたろまん (落葉病・茎疫病レース1・萎凋病抵抗性で、開花着莢期耐冷性やや強、やや早生の普通小豆品種)

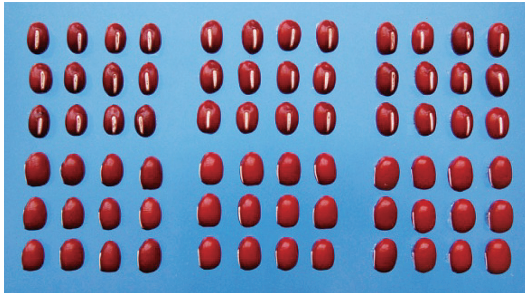


「きたのおとめ」「きたろまん」「サホロショウズ」



「きたのおとめ」「きたろまん」「サホロショウズ」

- ほまれ大納言 (風味と色が良好で、落葉病・茎疫病・萎凋病抵抗性の大納言小豆品種)



「アカネダイナゴン」「ほまれ大納言」「ほくと大納言」



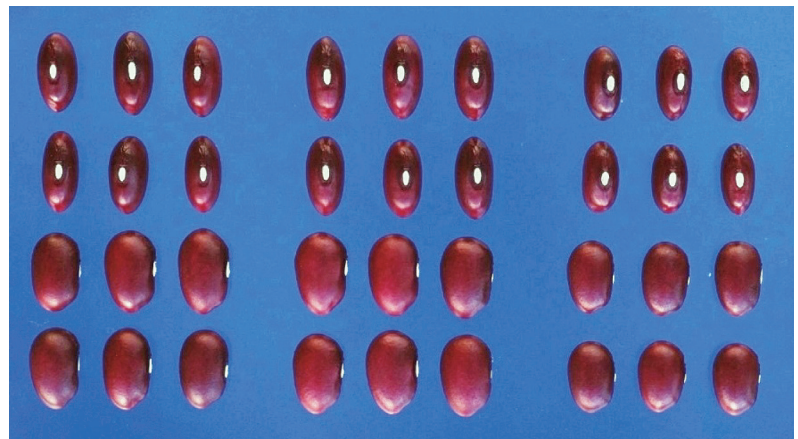
甘納豆試作品の比較
「アカネダイナゴン」 「ほまれ大納言」

■ 菜豆

- 福寿金時 (「福勝」に黄化病抵抗性を導入した金時類品種)



「福勝」 「福寿金時」



「福勝」 「福寿金時」 「大正金時」

黄化病抵抗性の比較

■ ばれいしょ

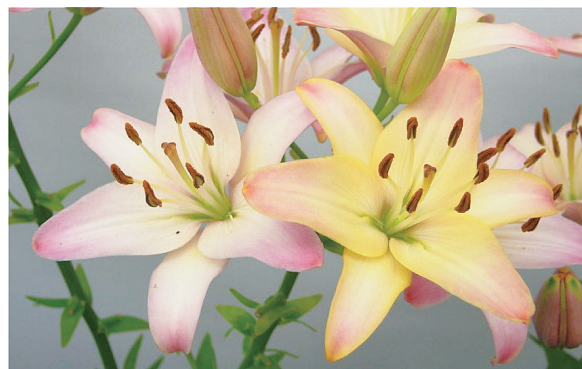
- リラチップ（長期貯蔵後でもキレイに揚がる。ポテトチップス用馬鈴しょ品種）



「リラチップ」の草姿、花、塊茎

■ 花ゆり

- きらりゴールド きらりレモン きらりマジック



花色が変わる「きらりマジック」
(右：開花直後 左：開花2日後)

■ いちご

- きたのさち（網走地域に適する、無加温半促成作型向け品種）



- なつじろう（高設・夏秋どり作型向け品種）



「なつじろう」の高設栽培の様子

■ たまねぎ

- 収多郎 (極早生で8月から出荷可能, 大球・多収)



「収多郎」 「北はやて2号」 「北早生3号」



「収多郎」 「北はやて2号」

- 早次郎 (極早生で8月上旬から出荷可能, 乾腐病抵抗性が強い)



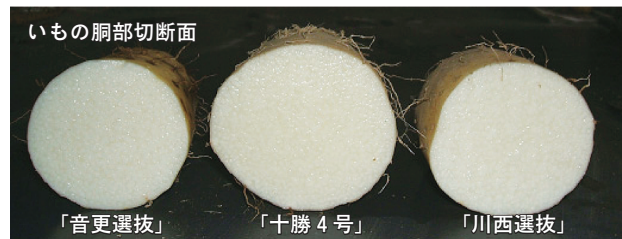
「早次郎」 「北早生3号」 「北はやて2号」



「早次郎」 「北はやて2号」

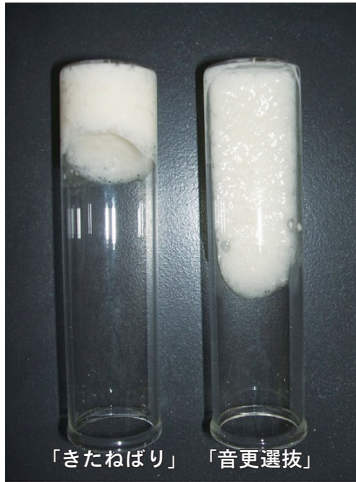
■ ながいも

- 十勝4号 (よく太り多収)



■ やまのいも

- きたねばり (ヤマノイモえそモザイク病に強く、粘度が高く内部品質が優れている)



とろろの粘度



「きたねばり」

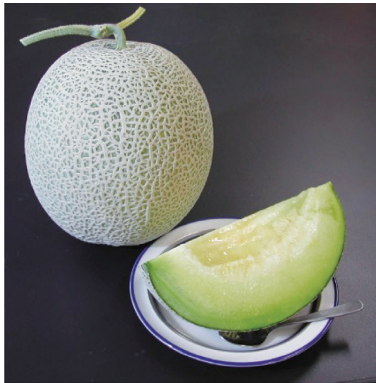


「音更選抜」

ウイルス病の比較

■ メロン

- FG14 (うどんこ病に強く、良食味)

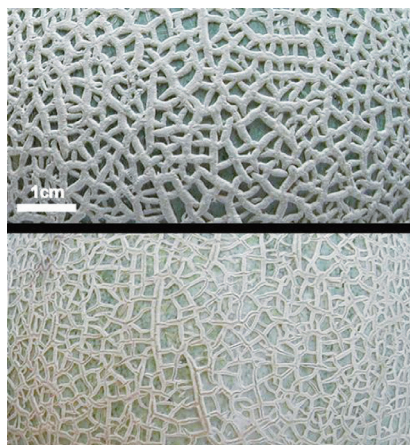
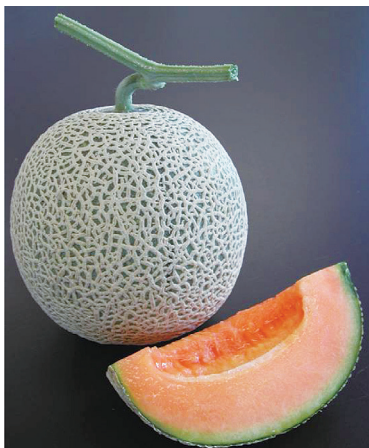


うどんこ病発生状況

左：「G-08」

右：「FG14」

- ゆめてまり (外観品質が優れ、良食味)



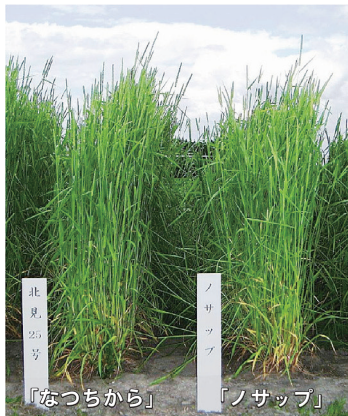
ネットの比較

上：「ゆめてまり」

下：「ルピアレッド」

■ チモシー

- なつちから（耐倒伏性、混播適性、斑点病抵抗性に優れた早生品種）



1 番草の草姿



「なつちから」



「ノサップ」

1 番草の倒伏状況

■ スムーズブロムグラス

- フーレップ（多収で褐斑病抵抗性に優れる）



1 番草の草姿

■ ペレニアルライグラス

- チニタ（採草・放牧兼用利用が可能で、放牧での採食性が良好）



1 番草の草姿

序

農業生産は、耕地に種子を播くことから始まる。そのための優良な種子を開発し、提供することが、最も基本的な農業技術の一つである。

北海道の開拓に当たり、明治政府は、気象条件が類似した欧米の畑作物の輪作と有畜農業を模範とし、多くの農作物・家畜の種苗や種畜を導入し、適応性の確認、増殖し、農家へ配布して、畑作と畜産の基礎を築いた。一方、開拓当初、作付けを禁じられた水稲は、本州から移住した先達・篤農家の熱心な努力と工夫により、品種と栽培法の改良が重ねられ、自給米の生産が行われるようになった。

このように、北海道の農業技術開発は、本道の開拓や農業とともに歩み、時代背景や社会的状況を反映して、生産された作物、作目に変遷があり、また、それぞれに求められた特性にも大きな変化があったものの、その根幹には、時々の先端的科学的知見と技術を取り入れた優良品種の開発とその速やかな普及を目指した官民を挙げた種苗増殖などの弛まぬ取り組みがあり、今日、日本の食料供給地域と呼ばれる北海道農業の発展に貢献してきたと言えるのであろう。

農業試験場では、連綿として改良が続けられてきた新品種について、道内の公的研究機関育成、国内外の民間育成にかかわらず、北海道で普及すべきと評価された優良品種の特性などを解説し、農業試験場資料として、戦前のものを含め、8～20年おきに7回刊行してきた。今回は2005（平成17）年から2013（平成25）年までの9年間に、北海道が認定し、普及が見込まれた29作物127の優良品種について、来歴、特性などを解説した。

この間、農業を取り巻く状況として、米、麦などの主要農作物の市場での取引と価格決定への制度移行、政権交代に伴う農業所得政策の改革や再見直し、主要な農産物輸出国における遺伝子組換え作物の作付け拡大や異常気象等による穀物の不作に伴う価格高騰と禁輸など食料の安全確保への懸念があり、研究開発では、70年以上の長きに渡り、我が国の品種改良の根幹であった指定試験事業の廃止と競争的試験への移行があり、研究予算の長期安定的確保が困難になりつつある。

しかし、今後とも、農業技術としての優良品種の重要性は変わらないし、品種開発は最優先で取り組む必要がある。

今回の刊行のため、原稿執筆と編集を担当した各位に敬意を表するとともに、本資料が、農業生産現場に大いに活用され、本道農業の発展に寄与することを期待するものである。

平成26年3月

北海道立総合研究機構農業研究本部長兼中央農業試験場長 品田裕二

はじめに

1. 掲載した品種は、2005（平成17）年から2013（平成25）年の9年間に、北海道農業試験会議（成績会議）の検討を経て、北海道農作物優良品種認定委員会で優良品種に決定された全品種をとりあげた。

その作物別の品種数は次のとおりである。

普通作物	37品種
特用作物	14品種
果樹	3品種
野菜	15品種
花き	5品種
飼料作物	53品種
合計	127品種

2. 付表の北海道登録品種一覧には、1985（昭和60）年に定められた北海道作物優良品種認定要領によって、登録簿に登録済みの全品種をとりあげた。

3. 記載内容は、北海道農業試験会議で検討された資料に基づいているが、その後に変更または追加されたことが明らかにされているものは、それに従って書き改めた。

4. 各作物担当者が執筆し、以下のメンバーによる編集委員会で校閲・編集した。

編集長：農業研究本部	企画調整部長
委員：中央農業試験場	作物開発部長（水稲、畑作物、果樹）
花・野菜技術センター	研究部長（花き、野菜）
畜産試験場	基盤研究部長（飼料作物）
中央農業試験場	遺伝資源部長（種苗）
事務局：農業研究本部	企画調整部 企画課

執筆者一覧

水稲：中央農業試験場 生産研究部 水田農業G 尾崎洋人，上川農業試験場 研究部 水稲G 平山裕治，同 前川利彦，同 木内均，同 佐藤博一

小麦：北見農業試験場 研究部 麦類G 大西志全，同 佐藤三佳子，同 来嶋正朋，同 粕谷雅志，同 足利奈奈

大豆：中央農業試験場 作物開発部 作物G 藤田正平，同 鴻坂扶美子，十勝農業試験場 研究部 豆類G 三好智明

小豆：十勝農業試験場 研究部 豆類G 佐藤 仁，同 田澤暁子，同 堀内優貴

菜豆：十勝農業試験場 研究部 豆類G 奥山昌隆

ばれいしょ：北見農業試験場 研究部 作物育種G 大波正寿，同 萩原誠司，同 藤田涼平，同 中山輝

そば：中央農業試験場 作物開発部 作物G 黒崎英樹

だったんそば：中央農業試験場 作物開発部 作物G 藤田正平

てんさい：北見農業試験場 研究部 地域技術G 池谷聡

りんご，おうとう：中央農業試験場 作物開発部 作物G 内田哲嗣

花ゆり：中央農業試験場 作物開発部 生物工学G 入谷正樹，花・野菜技術センター 研究部 花き野菜G 大宮知

たまねぎ：北見農業試験場 研究部 地域技術G 柳田大介

いちご，かぼちゃ：花・野菜技術センター 研究部 花き野菜G 福川英司

メロン，メロン台木：花・野菜技術センター 研究部 花き野菜G 八木亮治

ながいも，やまのいも：十勝農業試験場 研究部 地域技術G 平井 剛

アカクローバ，シロクローバ，アルファルファ：根釧農業試験場 研究部 飼料環境G 林 拓

チモシー，スムーズブロムグラス：北見農業試験場 研究部 作物育種G 藤井弘毅

ペレニアルライグラス，イタリアンライグラス：上川農業試験場天北支場 研究部 地域技術G 佐藤公一

オーチャードグラス，メドーフェスク，ケンタッキーブルーグラス：根釧農業試験場 研究部 飼料環境G 林 拓

とうもろこし（飼料用）：上川農業試験場 研究部 地域技術G 千田圭一，上川農業試験場天北支場 研究部 地域技術G 佐藤公一，道南農業試験場 研究部 地域技術G 宗形信也，根釧農業試験場 研究部 飼料環境G 林 拓，北見農業試験場 研究部 作物育種G 藤井弘毅，畜産試験場 基盤研究部 飼料環境G 戸苅哲郎

種苗の生産：中央農業試験場 遺伝資源部 遺伝資源G 浅山聡

2014 (平成26) 年 3 月

農作物優良品種の解説

竹内 徹, 長尾 明宣, 南橋 昭, 白井滋久

目 次

I 普通作物

1. 水稲

<粳種>

- (1) おぼろづき (北海292号)..... 1
- (2) ほしまる (上育445号)..... 2
- (3) ゆめぴりか (上育453号)..... 4
- (4) きたくりん (空育172号)..... 5

<糯種>

- (1) しろくまもち (上育糯451号)..... 7
- (2) きたゆきもち (上育糯450号)..... 8
- (3) きたふくもち (上育糯464号)..... 10

<酒種>

- (1) 彗星 (空育酒170号)..... 11

2. 小麦

- (1) きたほなみ (北見81号) 13
- (2) はるきらり (北見春67号) 14
- (3) ゆめちから (北海261号)..... 16
- (4) きたさちほ (北見83号) 17
- (5) つるきち (北見85号) 19

3. 大豆

- (1) トヨハルカ (十育237号)..... 20
- (2) ゆきぴりか (十育241号)..... 22
- (3) タマフクラ (中育52号) 23
- (4) ユキホマレR (十育247号)..... 24
- (5) ゆめのつる (中育60号) 25
- (6) つぶらくろ (中育63号) 26
- (7) とよみづき (十育249号)..... 28

4. 小豆

- (1) きたろまん (十育147号)..... 29
- (2) ほまれ大納言 (十育154号)..... 30
- (3) きたあすか (十育155号)..... 32

5. 菜豆

- (1) 福寿金時 (十育B78号) 33

6. ばれいしょ

- (1) ゆきつぶら (北育1号)..... 35

(2) らんらんチップ (北海89号)	36
(3) さやあかね (北育8号)	37
(4) こがね丸 (北海90号)	38
(5) きたかむい (HP01).....	39
(6) はるか (北海94号)	40
(7) アンドーバー (CP04).....	42
(8) ビルカ (北海97号)	43
(9) コナユキ (北育13号)	44
(10) リラチップ (北育15号)	45
7. そば	
(1) キタノマシュウ (北海6号)	46
(2) レラノカオリ.....	47
8. だったんそば	
(1) 北海T8号	48

II 特用作物

1. てんさい

(1) リゾマックス (H133R)	50
(2) クローナ (HT22)	50
(3) アニマート (H134).....	51
(4) かちまる (KWS4S65)	52
(5) レミエル (H135).....	53
(6) リッカ (HT28)	54
(7) ゆきまる (KWS5R16)	54
(8) リボルタ (HT30)	55
(9) パピリカ (H137).....	56
(10) アマホマレ (北海98号)	57
(11) ラテール (H139).....	57
(12) クリスター (HT32)	58
(13) えぞまる (KWS9R38)	59
(14) みつぼし (北海101号)	59

III 果樹

1. りんご

(1) 紅将軍.....	61
(2) 昂林.....	61

2. おうとう

(1) ジューンブライト (HC1)	62
--------------------------	----

IV 花き

1. 花ゆり

(1) きらりゴールド (Li-26).....	64
(2) きらりレモン (Li-27).....	64
(3) きらりマジック (Li-30).....	65
(4) ミスティレディ (細育4号)	66

(5) ロイヤルスノー (細育12号)	67
---------------------------	----

V 野菜

1. たまねぎ

(1) 収多郎 (北見交39号)	68
(2) クエルリッチ (月交22号)	68
(3) 早次郎 (北見交38号)	69
(4) えぞまる (HT46)	69
(5) ゆめせんか (北見交54号)	70

2. いちご

(1) きたのさち (道南27号)	71
(2) なつじろう (道南29号)	71

3. メロン

<実とり用>

(1) F G 1 4 (空知交14号)	73
(2) ゆめてまり (空知交16号)	73
(3) 北かれん (空知交20号)	74

<台木>

(1) どうだい4号 (空知台交4号)	75
(2) どうだい6号 (空知台交6号)	76

4. かぼちゃ

(1) T C 2 A	77
-------------------	----

5. ながいも

(1) 十勝4号	78
----------------	----

6. やまのいも

(1) きたねばり (十勝3号)	79
------------------------	----

VI 飼料作物

1. アカクローバ

(1) アレス (SW Ares)	80
(2) リョクユウ (北海13号)	80
(3) 北海17号	81

2. シロクローバ

(1) リースリング (Riesling)	82
(2) コロボックル (北海1号)	82

3. アルファルファ

(1) ケレス (S B A 9 8 0 1)	83
-------------------------------	----

4. チモシー

(1) なつちから (北見25号)	84
(2) SBT0308	85
(3) SBT0310	86

5. スムーズブロムグラス

(1) フーレップ (北見7号)	87
------------------------	----

6. ペレニアルライグラス

(1) チニタ (天北5号)	88
----------------------	----

7. イタリアンライグラス	
(1) Primora	89
(2) タチサカエ	89
(3) ヒタチヒカリ	90
8. オーチャードグラス	
(1) はるねみどり (北海29号)	91
(2) パイカル (HOG-1)	92
9. メドーフェスク	
(1) まきばさかえ (北海15号)	92
10. ケンタッキーブルーグラス	
(1) ラトー (Lato)	93
11. とうもろこし (飼料用)	
(1) ばびりか (北交62号)	93
(2) きたちから (北交64号)	94
(3) 39F83 (X0739A)	95
(4) 39H32	95
(5) シンシア90 (SL9945)	96
(6) ブリザック (HK0901)	97
(7) SH1353	97
(8) KD417	98
(9) デュカス (HK1806)	98
(10) TH058	99
(11) DKC34-20 (SH0481)	100
(12) KD500 (KE3500)	100
(13) 北交65号	101
(14) LG3215 (HE0319)	102
(15) クウイス (HK4803)	103
(16) 34N84 (X1091M)	103
(17) LG3520 (HE0374)	104
(18) たちびりか (北交66号)	104
(19) 39T45 (X0842K)	105
(20) ビエナ (TH338)	105
(21) KD418 (KE5401)	106
(22) 33N29	106
(23) 39T13 (X0823F)	107
(24) KD301	108
(25) きよら (北交70号)	108
(26) メルクリオ (HK7705)	109
(27) KD320 (KE8340)	109
(28) LG3235 (HE0721)	110
(29) SHC0702	111
(30) ソリードAnjou227 (HE91003)	111
(31) KD254 (KE8301)	112
(32) P8284 (X8T126)	112
(33) SL0746	113

㊸ P9400 (X6P942)	114
㊹ P1543 (X7H287)	114

付表

○北海道登録品種一覧.....	116
○主要作物の作付面積の推移.....	184
○種苗生産の流れ.....	188

I 普通作物

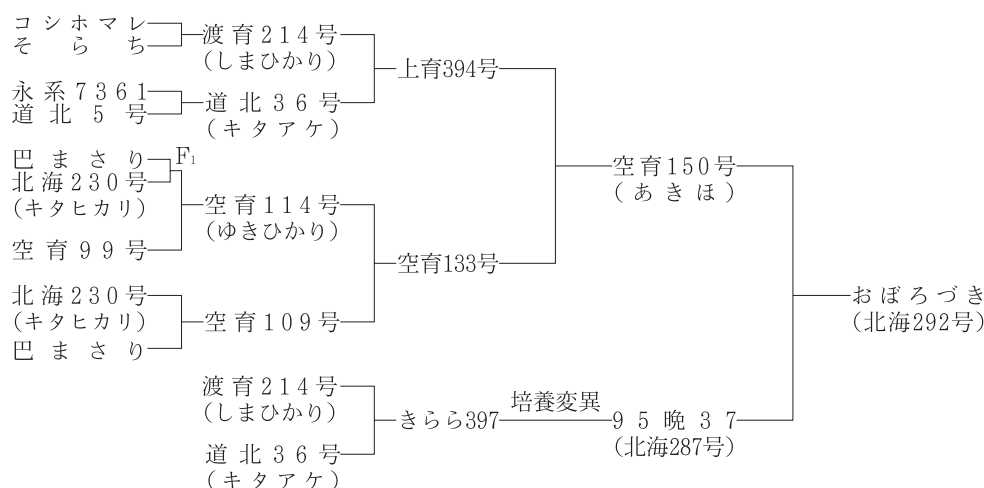
1. 水稻

< 梗 種 >

- (1) おぼろづき (系統名 北海292号) 2005年
登録番号：(北海道) 水稻北海道うち第56号
(農水省) 水稻農林389号
(種苗法) 第14033号

セールスポイント

アミロース含有率が低く炊飯米の粘りが強く柔らかいため、食味官能試験の評価は非常に高く良食味である。



特性概要

1. 稈長は「ほしのゆめ」より短く「きらら397」並である。穂長は「ほしのゆめ」, 「きらら397」よりもやや長く, 穂数は「ほしのゆめ」, 「きらら397」よりも少なく, 草型は穂数型である。一穂粒数は「ほしのゆめ」よりやや多く, 「きらら397」並である。粒着密度は「ほしのゆめ」, 「きらら397」より疎のやや疎である。ふ色, ふ先色は黄白で, 稀に短芒を有する。玄米の形状は, 「ほしのゆめ」並のやや長で, 粒大は「ほしのゆめ」より大きく「きらら397」並のやや大である。粒厚は「きらら397」より薄く, 「ほしのゆめ」並である。割粳の発生は, 「ほしのゆめ」, 「きらら397」より少ない。
2. 出穂期, 成熟期は「ほしのゆめ」並からやや遅く, 「きらら397」よりやや早い中生の早。耐倒伏性は「ほしのゆめ」より強い中～やや強である。
3. 穂ばらみ期耐冷性は「ほしのゆめ」と同ランクの強である。いもち病真性抵抗性遺伝子型は *Pii*, *Pik* と推

来歴 本品種は1995年に農林水産省北海道農業試験場において, 良質・耐冷性の低アミロース品種育成を目標として, 「空育150号」(のちの「あきほ」) を母, 「きらら397」の低アミロース培養変異系統である「95晩37」(のちの「北海287号」) を父として人工交配を行った雑種後代から育成された。1998年に「札系98020」, 2000年より「北海292号」の系統名で各種の試験を行い, 2005年に優良品種となった。なお, 本品種の系譜は次のとおりである。

- 定され, 葉いもち圃場抵抗性はやや弱, 穂いもち圃場抵抗性は中である。玄米千粒重は「きらら397」よりやや軽く, 「ほしのゆめ」並であり, 玄米収量は「きらら397」より低く「ほしのゆめ」並からやや低い。
4. 玄米は腹白, 乳白が少なく良質である。白米アミロース含有率は, 「ほしのゆめ」, 「きらら397」より低く, 「あやひめ」より高い。米粒の白濁程度は「あやひめ」や他の北海道の低アミロース品種より低い。白米蛋白質含有率は「ほしのゆめ」, 「きらら397」よりもやや高い。玄米白度, 白米白度は「ほしのゆめ」にやや劣る。食味は, 粘り, 柔らかさが「ほしのゆめ」, 「きらら397」より高く, 総合評価は「ほしのゆめ」より優る。

栽培適地と奨励態度

上川(士別以南), 留萌(中南部), 空知, 石狩, 後志, 日高, 胆振, 渡島および檜山各振興局管内に「ほしのゆめ」の一部と「きらら397」の一部に換えて栽培する。

栽培上の注意は、粒厚が薄いので、粒厚選別には適切な篩い目を用いる。いもち病抵抗性は十分ではないので、適正な防除に努める。高い食味水準を維持するため、多

肥栽培や蛋白質含有率の高くなりやすい土壌での作付を避ける。

試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			10a 当たり		玄 米		試験年次
				稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本)	玄米重 (kg)	左比 (%)	千粒重 (g)	等級	
北 農 試	おぼろづき	8. 1	9.19	66	16.9	589	467	93	21.1	1下	2000~2004
	ほしのゆめ	8. 1	9.19	70	15.7	681	502	100	21.3	2上	
	きらら397	8. 2	9.23	66	15.9	631	535	107	21.8	1下	
中 央 農 試	おぼろづき	8. 2	9.19	64	17.6	714	531	99	21.8	2上	2000~2002, 2004
	ほしのゆめ	8. 2	9.17	68	15.5	739	538	100	21.9	2上	
	きらら397	8. 3	9.20	64	16.7	690	551	102	22.8	1下	
上 川 農 試	おぼろづき	7.26	9.11	62	17.2	740	516	106	21.5	2中上	2000~2004
	ほしのゆめ	7.26	9.11	63	14.8	777	493	100	21.6	2上	
	きらら397	7.27	9.13	61	16.2	764	530	106	22.3	2上	

- 参照 1) 北海道農政部編, 平成17年普及奨励ならびに指導参考事項, 1-3 (2005)
2) 安東郁男 等, 北海道農業研究センター研究報告, 186, 31-46 (2007)

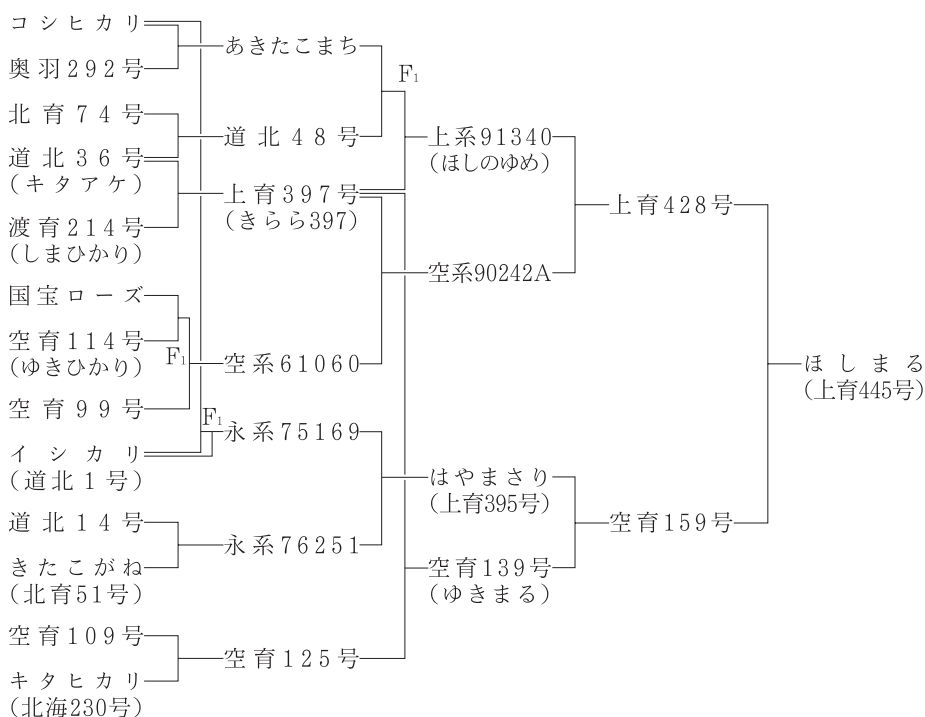
(2) ほしまる (系統名 上育445号) 2005年

登録番号: (北海道) 水稻北海道うち第57号
(農水省) 水稻農林368号
(種苗法) 第11231号

セールスポイント

出穂が早く、成熟期は早生の晩であり、北海道中央部での直播栽培も可能である。また、「ほしのゆめ」並みの良食味で、耐冷性が強く多収である。

来歴 本品種は、1997年に北海道立上川農業試験場において、直播・良食味品種の育成を目標に、中生・良食味系統の「上育428号」を母、極早生直播用系統の「空育159号」を父として人工交配を行った雑種後代から育成されたもので、F1を株式会社北海道グリーンバイオ研究所において葯培養に供試したのち、2000年より「緑系00205」、2002年より「上育445号」の系統名で各種試験を行い、2005年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次の通りである。



特性概要

1. 穂長は移植栽培では「ゆきまる」並で「ほしたろう」よりやや長い中、直播栽培では「ゆきまる」より長い。穂数は移植栽培では「ゆきまる」よりやや多く、「ほしたろう」並の多、直播栽培では「ゆきまる」並。

ふ色およびふ先色は黄白で、極短芒を極稀に生じる。脱粒性は難である。粒着密度はやや疎である。

2. 玄米の粒厚は「ゆきまる」、「ほしたろう」より厚い。玄米千粒重は「ゆきまる」、「ほしたろう」より重い。割削の発生は「ゆきまる」より多いが、「ほしたろう」、「ほしのゆめ」より少ない中である。

3. 出穂期は移植栽培では「ゆきまる」より2日、「ほしたろう」より3日程度早い早生の早で、直播栽培では「ゆきまる」と同程度で早生の晩である。

成熟期は移植栽培では「ゆきまる」並で、「ほしたろう」より2日程度早く、直播栽培では「ゆきまる」より1日程度遅い早生の晩に属する。

耐倒伏性は「ほしたろう」に優り、「ゆきまる」よりやや劣る中～やや強である。障害型耐冷性は「ゆきまる」、「ほしたろう」に優る強である。出穂遅延型耐冷性は「きらら397」よりやや劣るやや強である。

いもち病真性抵抗性遺伝子型はPia, Piiと推定され、葉いもち圃場抵抗性は「ゆきまる」より劣り、「ほしたろう」並のやや弱である。穂いもち圃場抵抗性は、「ゆきまる」並で、「ほしたろう」よりやや強い中である。低温苗立ち性は「ゆきまる」、「きたいぶき」並である。

4. 玄米収量は移植栽培では「ゆきまる」より8%ポイント程度、「ほしたろう」より5%ポイント程度多収である。直播栽培では玄米収量は「ゆきまる」より明らかに優る。

玄米の品質は「ゆきまる」よりやや劣る。食味は移植、直播栽培とも移植栽培の「ほしのゆめ」と同程度に良好である。

栽培適地と奨励態度

オホーツク、上川、留萌、空知、石狩、後志、日高、胆振、渡島および檜山各振興局管内に、直播栽培も可能な品種として「ゆきまる」、「ほしたろう」の全てと栽培条件の厳しい地帯の中生品種に置き換えて作付けする。栽培上の注意は、出穂期が早生で早期異常出穂や苗の徒長の恐れがあるので、成苗移植栽培では育苗時の適正な管理に努める。初期の分けつ性がやや劣り穂数確保が難しい傾向にあるので、側条施肥などにより初期生育を促進する。直播栽培においては苗立ちが劣る場合があるので、塩水選などの種子準備や落水出芽における水管理に十分留意する。大粒であるので移植、直播栽培とも播種時には適正な播種密度になるように機械を調整する。直播用種子の採種にあたっては、「汎用コンバインによる水稻直播用種子の収穫技術（平成15年普及推進事項）」を遵守する。直播栽培を行う地帯は、「落水出芽法を用いた水稻直播栽培の安定多収技術（平成16年普及推進事項）」における「ゆきまる」の栽培適地とする。

試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			10 a 当たり		玄 米		試験年次
				稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本)	玄米重 (kg)	左比 (%)	千粒重 (g)	等級	
上 川 農 試	ほしまる	7.23	9. 8	58	15.8	736	499	108	23.8	2中上	2002~2005
	ゆきまる	7.25	9. 9	58	15.7	715	463	101	21.0	2上	
	ほしたろう	7.26	9.10	58	14.8	760	482	105	22.1	2中上	
	ほしのゆめ	7.26	9.10	60	14.8	762	463	101	21.3	2上	
中 央 農 試	ほしまる	7.29	9.16	56	15.6	791	488	109	23.5	2下	2002~2005
	ゆきまる	7.31	9.17	54	14.8	774	447	100	20.9	2上	
	ほしたろう	8. 5	9.21	62	15.6	778	513	115	22.1	2中	
	ほしのゆめ	8. 5	9.22	65	14.9	790	493	110	21.5	2中	
道 南 農 試	ほしまる	7.25	9. 9	65	16.9	550	440	111	23.1	1中	2004,2005
	ゆきまる	7.25	9. 8	60	15.7	574	398	100	20.3	1中	
	ほしたろう	7.31	9.15	71	17.7	605	438	—	21.8	2中	
	ほしのゆめ	7.29	9.12	70	18.9	636	467	117	21.1	1中	
北農研センター	ほしまる	7.26	9.14	65	17.2	672	523	117	22.8	2上	2002~2005
	ゆきまる	7.29	9.14	61	15.6	581	448	100	20.5	1中	
	ほしたろう	7.31	9.18	68	16.1	645	560	125	21.9	1下	
	ほしのゆめ	8. 1	9.19	70	15.7	720	544	122	21.2	1中下	

注) 移植栽培による成績

試験場名	品 種 名	苗 率 %	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			10 a 当たり		玄 米		試験年次
					稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本)	玄米重 (kg)	左比 (%)	千粒重 (g)	等級	
上 川 農 試	ほしまる	72	8. 3	9.23	63	15.2	886	471	114	23.0	2中下	2002～2005
	ゆきまる	74	8. 3	9.22	56	13.7	862	413	100	20.6	1中	
	きたいぶき	72	8. 3	9.22	60	13.5	915	451	109	20.2	2上	
中 央 農 試	ほしまる	59	8. 6	9.19	65	15.7	930	544	108	24.3	2中	2002, 2004, 2005
	ゆきまる	76	8. 6	9.20	61	13.9	1012	503	100	22.4	2上	
	ほしのゆめ	73	8.10	9.24	69	14.0	942	497	83	22.5	2中	
道 南 農 試	ほしまる	68	8. 6	9.24	63	13.4	673	456	114	22.7	2中下	2002, 2004, 2005
	ゆきまる	71	8. 5	9.21	58	12.3	708	401	100	20.3	2中下	
	ほしたろう	71	8.11	9.27	63	13.0	772	460	-	22.3	2中上	
	ほしのゆめ	73	8. 8	9.27	64	12.9	700	403	100	21.9	2上	
北農研センター	ほしまる	84	8. 8	9.26	67	14.5	932	451	107	22.3	2中下	2002～2005
	ゆきまる	76	8. 8	9.24	61	13.5	915	421	100	21.3	1中下	
	ほしたろう	76	8.13	10. 1	67	13.6	911	354	84	22.2	2中	
	ほしのゆめ	78	8.14	10. 4	67	13.1	993	343	81	21.5	2中下	
北農研センター (乾 田)	ほしまる	90	8. 5	9.19	53	13.0	792	352	106	23.9	2上	2003～2005
	ゆきまる	85	8. 6	9.19	50	12.6	760	333	100	22.0	1中下	
	ほしたろう	84	8.11	9.27	58	13.1	793	387	116	23.5	2中上	
	ほしのゆめ	86	8.12	9.29	57	12.9	868	373	112	22.7	2上	

注) 直播(湛水)栽培による成績

参照 1) 北海道農政部編, 平成18年普及奨励ならびに指導参考事項, 4-6 (2006)

(3) ゆめぴりか(系統名 上育453号) 2008年

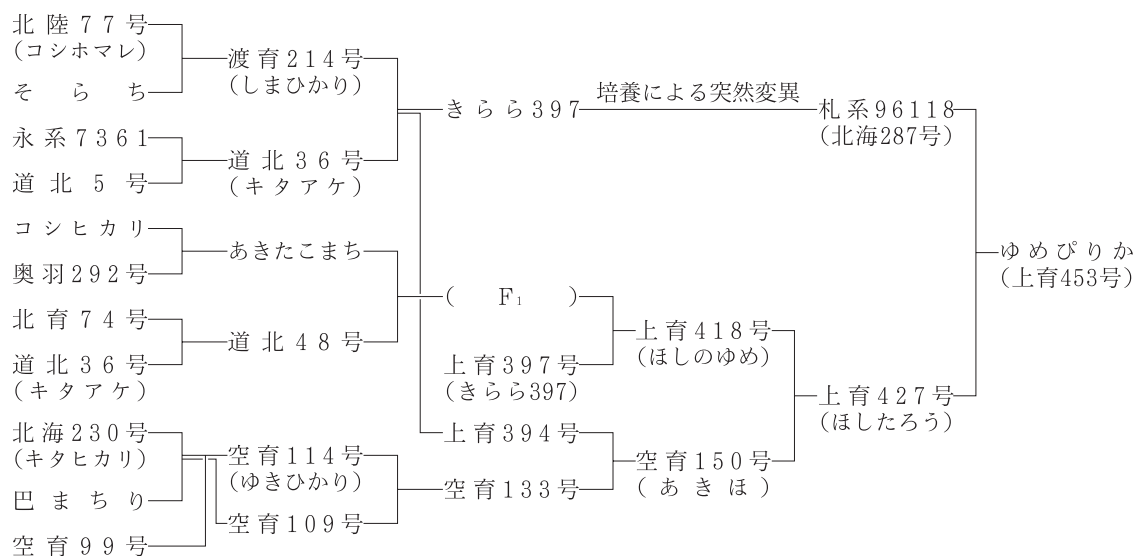
登録番号: (北海道) 水稲北海道うち第60号

(種苗法) 第20613号

セールスポイント

アミロース含有率が適度に低い中生の粳品種で, 極良食味である。収量性は対照品種より高く, 割刈はやや少ない。

来歴 本品種は, 1997年に北海道立上川農業試験場において, 極良食味品種を目標に, 低アミロース良食味系統の「札系96118」を母, 多収良食味系統の「上育427号」(のちの「ほしたろう」)を父として人工交配を行い育成したもので, 1997年の冬期に温室にて養成したF1を蒔培養に供試した。1999年に「AC99189」, 2005年より「上育453号」の系統名で各種試験を行い, 2008年に優良品種となった。なお, 本品種の系譜は次の通りである。



特性概要

1. 稈長は「おぼろづき」よりやや長く「ほしのゆめ」並のやや短で、穂長は「おぼろづき」よりやや短く「ほしのゆめ」よりやや長いやや短である。穂数は「おぼろづき」よりやや多く、「ほしのゆめ」よりやや少なく、草型は穂数型である。ふ色およびふ先色は黄白で、短芒を稀に生じる。割粃の発生は「おぼろづき」よりやや少なく「ほしのゆめ」より少ない。
2. 出穂期は「おぼろづき」、「ほしのゆめ」並の中生の早であり、早期異常出穂をしにくい傾向がある。成熟期は「おぼろづき」、「ほしのゆめ」よりやや遅い、中生の早である。
3. 耐倒伏性は「おぼろづき」、「ほしのゆめ」よりやや劣る。障害型耐冷性は「おぼろづき」、「ほしのゆめ」にわずかに劣るやや強～強である。いもち病真性抵抗性遺伝子型は*Pii*、*Pik*と推定され、葉いもち圃場抵抗性はやや弱、穂いもち圃場抵抗性は、やや弱～中である。玄米収量は「おぼろづき」、「ほしのゆめ」より多収である。
4. 玄米千粒重は「おぼろづき」、「ほしのゆめ」よりやや重く、粒大は「おぼろづき」、「ほしのゆめ」と同

等である。玄米白度は「おぼろづき」並で「ほしのゆめ」より高く、玄米透明度は「ほしのゆめ」並である。玄米品質および検査等級は「ほしのゆめ」にやや劣る。炊飯米の食味は「ほしのゆめ」に明らかに優り、「おぼろづき」並かやや優り良好である。食味関連成分のアミロース含有率は「おぼろづき」より2～3ポイント程度高く、「ほしのゆめ」より5～6ポイント程度低い。白米蛋白質含量率は「おぼろづき」より低く、「ほしのゆめ」並である。

栽培適地と奨励態度

上川（名寄市風連町以南）、留萌（中南部）、空知、石狩、後志、胆振、日高、渡島、および檜山各振興局管内の「おぼろづき」の全てと、「ほしのゆめ」の一部に置き換えて栽培する。栽培上の注意として、穂ばらみ期耐冷性はやや強～強であるが十分とは言えないため、前歴期間および冷害危険期にかけて深水管理を徹底する。いもち病耐病性が十分でないため、発生予察に留意し、適切な防除を徹底する。耐倒伏性が不十分なので「北海道施肥標準」を遵守し、多肥栽培は厳に慎む。

試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			10a 当たり		玄 米		試験年次
				稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本)	玄米重 (kg)	左比 (%)	千粒重 (g)	等級	
上 川 農 試	ゆめぴりか	7.25	9.13	65	16.5	760	628	108	22.2	1下	2005～2007
	おぼろづき	7.24	9.12	60	17.2	735	584	100	21.8	1中下	
	ほしのゆめ	7.25	9.11	65	15.7	759	588	101	22.1	1中下	
中 央 農 試	ゆめぴりか	8. 4	9.16	68	16.1	870	554	106	21.6	1中下	2005～2007
	おぼろづき	8. 4	9.14	65	17.5	819	522	100	21.0	1中	
	ほしのゆめ	8. 4	9.13	69	15.0	820	537	103	21.2	1中下	
道 南 農 試	ゆめぴりか	8. 2	9.17	64	16.5	611	423	114	21.3	1下	2005～2007
	おぼろづき	8. 2	9.17	66	16.4	628	371	100	20.2	2上	
	ほしのゆめ	8. 2	9.16	69	15.4	704	434	117	20.7	1下	
北 農 研 セ ン タ ー	ゆめぴりか	8. 1	9.15	66	16.2	619	559	115	21.7	1中下	2005～2007
	おぼろづき	8. 2	9.14	66	16.5	608	487	100	20.8	1中下	
	ほしのゆめ	8. 1	9.14	68	15.2	649	544	112	21.4	1下	

参照 1) 北海道農政部編，平成20年普及奨励ならびに指導参考事項，1-4（2008）

- (4) **きたくりん**（系統名 空育172号）2012年
登録番号：（北海道）水稻北海道うち第62号
（種苗法）第 号

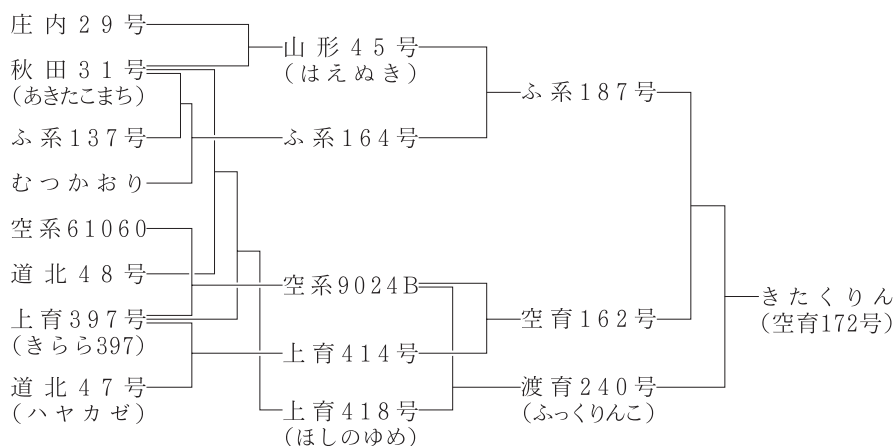
セールスポイント

いもち病抵抗性が強く本田防除が不要である。割粃が少ない。食味は良好である。

来歴 本品種は1999年に北海道立道南農業試験場（現北海道立総合研究機構道南農業試験場。以下、道南農試と略）において、道南地域向け耐病良食味品種の育成を目標に、青森県農業試験場藤坂支場（現 青森県農林総合研究センター藤坂稲作研究部）育成の耐病良食味系統「ふ系187号」を母，耐病良食味系統「空育162号」を父として行われた交配後代のF1を母とし，良食味系統「渡育240号」（のちの「ふっくりんこ」）を父とした人工

交配の雑種後代から育成された。2003年より北海道立中央農業試験場（現 北海道立総合研究機構中央農業試験場。以下、中央農試と略）の現地選抜系統として、「空

系D03095」、2005年より「空育172号」の系統名で各種試験を行い、2012年に北海道優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要

1. 稈長は「ななつぼし」よりやや短く、穂数は並で、草型は“穂数型”に属する。ふ色およびふ先色は“黄白”，芒性は“稀短”。粒着密度は「ななつぼし」並みの“中”である。割削の発生は、「ななつぼし」より少ない“少”。
2. 出穂期は「ななつぼし」より遅い“中生の中”。成熟期は「ななつぼし」より遅い“中生の中”。
3. 耐冷性は「ななつぼし」並の“強”。いもち病真性抵抗性遺伝子型はPi-a.iと推定され、いもち病抵抗性は葉いもちが「ななつぼし」に優る“強”，穂いもちは「ななつぼし」に優る“やや強～強”。耐倒伏性は「ななつぼし」よりやや強い“やや弱～中”。収量は「ななつぼし」並。
4. 玄米の粒形は“やや細長”。玄米の大きさは“やや大”。玄米の粒厚は「ななつぼし」よりやや薄い。玄米の千粒重は「ななつぼし」より重い。玄米の色沢は“やや淡”，玄米の光沢は“やや大”。玄米品質は「ななつぼし」よりやや劣る“中上”。玄米白度および白米白度は「ななつぼし」より高い。
5. アミロース含有率は、「ななつぼし」より高く，タ

ンパク質含有率は「ななつぼし」よりやや低い。食味は、「ななつぼし」並からやや優る“上下”。

栽培適地と奨励態度

北空知（雨竜町，北竜町，沼田町を除く），中空知（上砂川町，歌志内市を除く），南空知（岩見沢市，三笠市，美唄市，月形町），後志（共和町，岩内町），胆振（豊浦町，洞爺湖町，壮瞥町，伊達市），渡島（森町，八雲町八雲を除く），檜山およびこれに準ずる良地帯において「ななつぼし」の一部に置き換えて栽培する。

栽培上の注意は，玄米等級がやや劣るため，その主要因である白未熟粒の発生を助長しないよう「北海道施肥標準」を遵守し多肥栽培は厳に慎む。また，発生が多い場合は必要に応じて色彩選別を行う。熟期がやや遅いので適期移植に努め，側条施肥など生育を促進する栽培法を励行する。周囲にいもち病多発圃場等感染源がある場合は，基幹防除を実施する。また，採種圃におけるいもち病防除対策は既存品種に準じる（詳細は平成24年指導参考事項「圃場抵抗性に優れた水稻「空育172号」のいもち病防除対策」を参照）。

試験場名	品種名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			10a当たり		玄米		試験年次
				稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本)	玄米重 (kg)	左比 (%)	千粒重 (g)	等級	
中央農試	きたくりん	8.03	9.21	71	16.0	762	563	98	22.0	1下	2005～2011
	ななつぼし	8.01	9.17	70	16.7	767	577	100	21.6	1下	
	きらら397	8.03	9.21	68	16.4	769	575	100	22.2	1下	
	ふっくりんこ	8.05	9.22	73	16.8	817	581	101	22.5	1下	
道南農試	きたくりん	8.01	9.15	69	14.9	610	481	98	21.9	1下	2005～2011
	ななつぼし	7.31	9.15	71	16.2	601	489	100	21.5	1下	

試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			10 a 当たり		玄 米		試験年次
				稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本)	玄米重 (kg)	左比 (%)	千粒重 (g)	等級	
道 南 農 試	きらら397	7.31	9.15	64	16.1	608	474	97	22.3	1下	2005~2011
	ふっくりんこ	8.03	9.17	73	15.6	659	483	99	22.4	1下	
上 川 農 試	きたくりん	7.27	9.17	65	16.5	681	560	93	22.2	2上	2005~2011
	ななつぼし	7.25	9.16	67	16.5	642	602	100	21.9	2上	
	きらら397	7.26	9.18	61	16.2	664	569	94	22.3	2上	

注) 上川農試は2006, 2007年試験実施無し。

参照 1) 北海道農政部編, 平成24年普及奨励ならびに指導参考事項, 1-4 (2012)

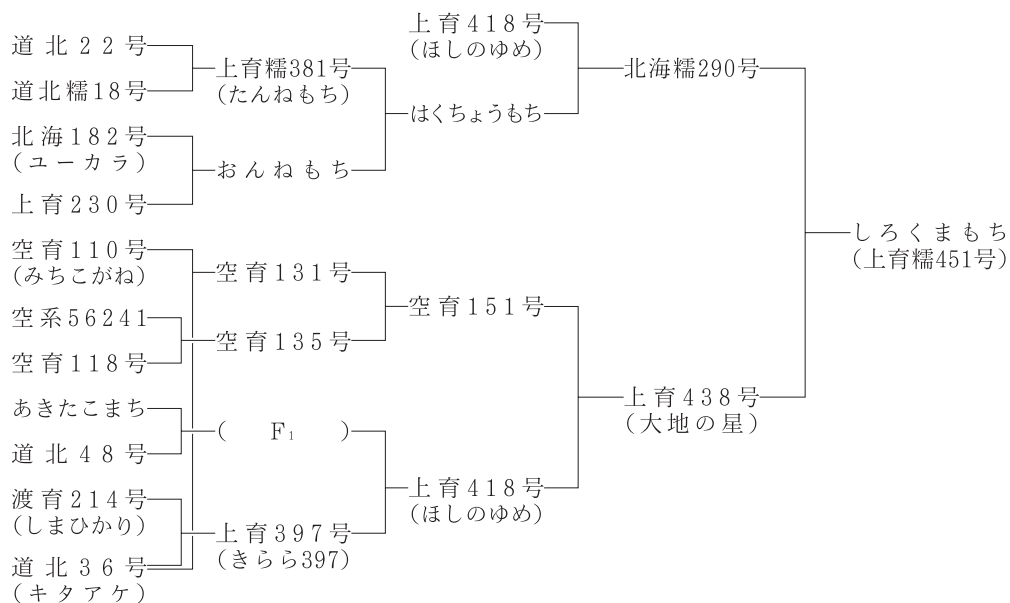
< 糯 種 >

- (1) しろくまもち (系統名 上育糯451号) 2007年
 登録番号: (北海道) 水稻北海道もち第59号
 (農水省) 水稻農林糯427号
 (種苗法) 第19268号

セールスポイント

もち硬化性が高く加工適性に優れ、穂ばらみ期耐冷性が極強である。

来歴 本品種は、2000年に北海道立上川農業試験場において、硬化性の高い糯品種の育成を目標に、高硬化性系統の「北海糯290号」を母、早生多収系統の「上育438号」(のちの「大地の星」)を父として人工交配を行い育成されたもので、2000年の冬期に温室にて養成したF1を蒔培養に供試した。2002年に「AC糯02025」、2004年より「上育糯451号」の系統名で各種試験を行い、2007年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次の通りである。



特性概要

1. 稈長は「はくちょうもち」よりやや長く、「風の子もち」よりやや短く、穂長は「はくちょうもち」、「風の子もち」より短い。穂数は「はくちょうもち」、「風の子もち」より多く、草型は穂数型である。ふ色およびふ先色は黄白で、極短芒を稀に生じる。
2. 出穂期は「はくちょうもち」、「風の子もち」より早い早生の早で、早生種のため「たんねもち」並に早期異常出穂をし易い。成熟期は「はくちょうもち」並からやや早く、「風の子もち」より早い早生の中である。
3. 穂ばらみ期耐冷性は「はくちょうもち」、「風の子もち」に優る極強である。いもち病真性抵抗性遺伝子型は *Pia*, *Pii* と推定され、葉いもち圃場抵抗性はやや弱く、穂いもち圃場抵抗性はやや弱～中である。玄米収量は「はくちょうもち」よりやや劣る。
4. 玄米千粒重は「はくちょうもち」、「風の子もち」より軽く、粒大は「はくちょうもち」、「風の子もち」より小さいやや小である。割粳の発生は「はくちょうもち」、「風の子もち」よりやや多い中である。玄米品質および検査等級は「はくちょうもち」、「風の子もち」

並である。玄米白度は「はくちょうもち」並で、「風の子もち」よりやや低く、白米白度は「はくちょうもち」、「風の子もち」並である。紅変米の発生は、「はくちょうもち」、「風の子もち」よりやや多い。食味は、おこわでは「はくちょうもち」並からやや優り、つきもちでは「はくちょうもち」にやや優る。食味関連成分の白米蛋白質含有率は「はくちょうもち」並で、つきもちの硬化性は「はくちょうもち」、「風の子もち」より高い。RVAピーク温度は「はくちょうもち」、「風の子もち」より高い。RVA最高粘度は「はくちょうもち」、「風の子もち」より低い。

栽培適地と奨励態度

オホーツク、上川、留萌、空知、後志、渡島各振興局管内において栽培する。栽培上の注意は、成苗栽培では早期異常出穂の恐れがあるので、育苗ハウスの適正な温度管理に努め、育苗日数を遵守する。初期の分けつ性がやや劣るため、側条施肥などにより初期生育を促進できる栽培法に努める。いもち病耐病性が弱いため、適期防除を徹底する。刈り遅れによる品質低下が生じやすいため、適期刈り取りに努める。

試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			10a 当たり		玄 米		試験年次
				稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本)	玄米重 (kg)	左比 (%)	千粒重 (g)	等級	
上 川 農 試	しろくまもち	7.21	9. 7	61	13.5	649	549	106	20.3	1中下	2004~2006
	はくちょうもち	7.24	9. 8	61	15.3	549	518	100	20.6	1下	
	風の子もち	7.26	9.13	66	17.0	576	568	110	22.0	1中下	
中 央 農 試	しろくまもち	7.30	9. 9	61	14.3	733	506	96	19.9	2上	2004~2006
	はくちょうもち	7.31	9.10	57	15.1	689	529	100	20.4	2中	
	風の子もち	8. 1	9.11	62	16.3	630	575	109	22.2	1下	
道 南 農 試	しろくまもち	8. 1	9.13	66	14.7	515	411	97	19.7	2上	2005~2006
	はくちょうもち	8. 1	9.12	65	15.2	448	424	100	20.5	2中上	
	風の子もち	8. 2	9.17	69	17.1	437	452	107	21.4	2上	
北 農 研 セ ン タ ー	しろくまもち	7.25	9. 8	65	14.2	649	539	92	19.7	2上	2004~2005
	はくちょうもち	7.29	9. 9	64	15.4	551	589	100	20.6	1	
	風の子もち	7.30	9.10	69	17.1	525	605	103	21.9	2中上	

参照 1) 北海道農政部編, 平成19年普及奨励ならびに指導参考事項, 1-3 (2007)

(2) きたゆきもち (系統名上育糯450号) 2009年

登録番号: (北海道) 水稲北海道もち第61号
(農水省) 水稲農林434号
(種苗法) 第20874号

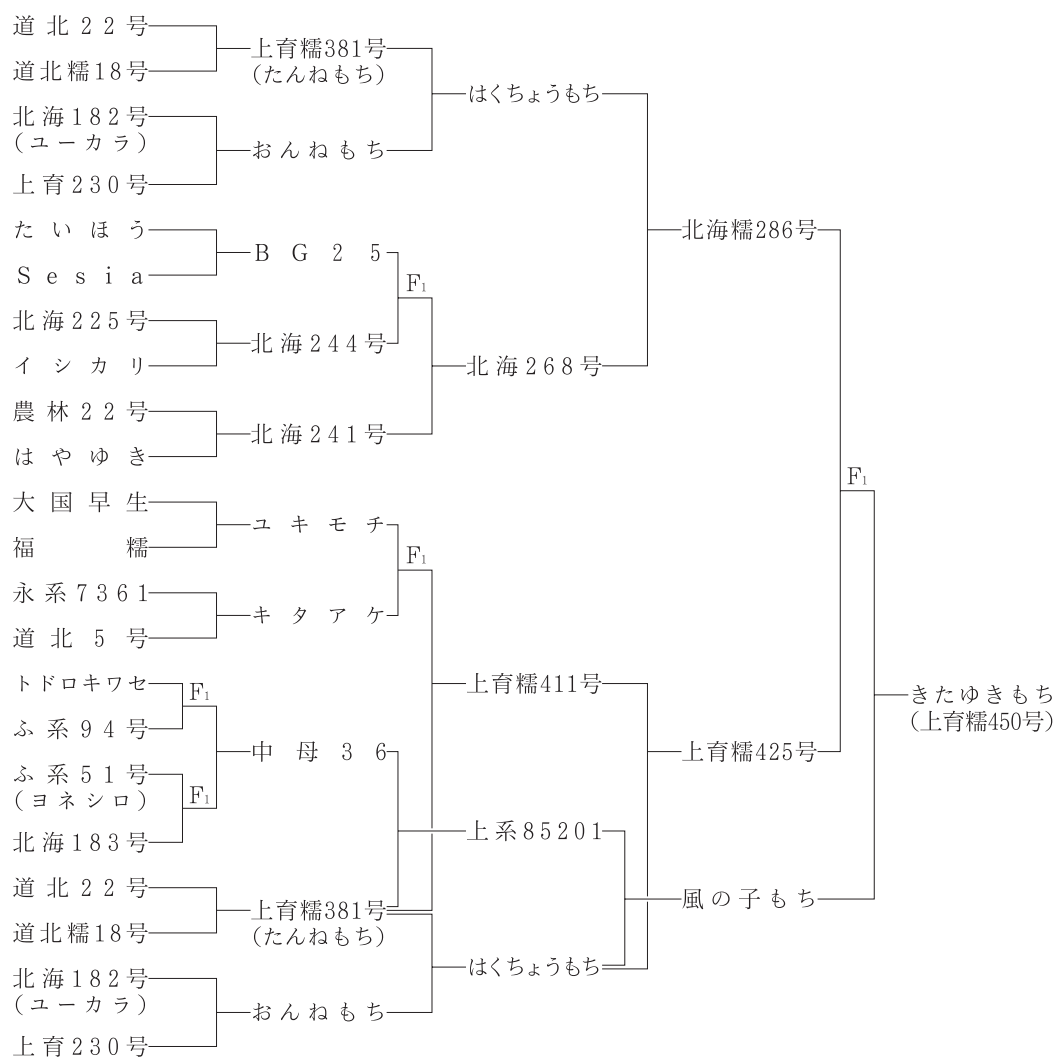
セールスポイント

穂ばらみ期耐冷性が極強の早生品種で、「はくちょうもち」より多収で、玄米白度が高く、白米白度がやや高い。さらに、つきもちとおこわでの食味がやや優る。

来歴 本品種は、1998年に北海道立上川農業試験場において、良質耐冷性糯品種の育成を目標に、「北海糯286号」(良質, 良食味)と「上育糯425号」(多収, 耐冷)のF1を母、「風の子もち」(良質)を父として人工交配を行った雑種後代から育成された。2002年より「上系糯02199」, 2004年より「上育糯450号」の系統名で各種の試験を行い、2009年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。

特性概要

1. 稈長は「はくちょうもち」よりやや長く、「風の子もち」よりわずかに短い。穂長は「はくちょうもち」より長く、「風の子もち」よりやや長い。穂数は「はくちょうもち」よりやや少なく、「風の子もち」並で、草型は偏穂数型である。一穂初数は「はくちょうもち」より多く、「風の子もち」よりやや少ない。穎色およびふ先色は黄白で、極短芒を稀に生じる。
2. 出穂期は「はくちょうもち」よりやや早く、「風の子もち」より早い早生の晩で、成熟期は「はくちょうもち」並で、「風の子もち」より早い早生の中である。耐倒伏性は「はくちょうもち」よりわずかに劣り、「風の子もち」並のやや強である。
3. 穂ばらみ期耐冷性は「はくちょうもち」, 「風の子もち」より強い極強, 開花期耐冷性は「はくちょうもち」, 「風の子もち」よりわずかに強い中~やや強である。いもち病真性抵抗性遺伝子型はPiaと推定され、葉いもち圃場抵抗性および穂いもち圃場抵抗性は、それぞ



れ「はくちょうもち」,「風の子もち」より弱いやや弱である。玄米収量は「はくちょうもち」より多く,「風の子もち」よりやや少ない。

4. 粒厚は「はくちょうもち」よりわずかに厚く,「風の子もち」よりやや薄い。千粒重は「はくちょうもち」より重く,「風の子もち」並である。割削の発生は「はくちょうもち」,「風の子もち」より少ない少である。玄米品質は「はくちょうもち」,「風の子もち」並で,検査等級は「はくちょうもち」,「風の子もち」にやや優る。玄米白度は「はくちょうもち」,「風の子もち」より高く,白米白度は「はくちょうもち」よりやや高く,「風の子もち」よりわずかに高い。紅変米の発生は「はくちょうもち」,「風の子もち」並である。

食味は,おこわでは「はくちょうもち」,「風の子もち」にやや優り,つきもちでは「はくちょうもち」にやや優り,「風の子もち」にわずかに優る。食味関連成分の白米蛋白質含有率は「はくちょうもち」並で,「風の子もち」よりやや高い。もち硬化性は「はくちょうもち」並で,「風の子もち」よりやや高い。

栽培適地と奨励態度

オホーツク,上川,留萌,空知,後志,渡島,十勝各振興局管内およびこれに準ずる地帯に,「風の子もち」の全てと「はくちょうもち」の一部に置き換えて栽培する。栽培上の注意は,いもち病耐病性が不十分であるため,発生予察に留意し,適切な防除に努める。

試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			10a当たり		玄 米		試験年次
				稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本)	玄米重 (kg)	左比 (%)	千粒重 (g)	等級	
上 川 農 試	きたゆきもち	7.23	9.11	65	17.3	615	525	106	21.8	1中下	2004~2008
	はくちょうもち	7.25	9.11	60	15.4	599	507	100	20.5	2上	
	風の子もち	7.26	9.16	66	17.3	592	557	109	21.8	2上	

試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			10a 当たり		玄 米		試験年次
				稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本)	玄米重 (kg)	左比 (%)	千粒重 (g)	等級	
中 央 農 試	きたゆきもち	7.29	9. 9	62	17.1	678	574	104	21.6	1中下	2004～2008
	はくちょうもち	7.30	9. 9	58	15.4	707	539	100	20.2	2中下	
	風の子もち	7.31	9.11	63	16.8	651	597	112	21.9	2上	
道 南 農 試	きたゆきもち	7.29	9.12	66	17.2	491	483	109	21.1	1下	2005～2008
	はくちょうもち	7.30	9.11	63	14.9	512	444	100	20.4	2中	
	風の子もち	7.31	9.14	67	16.5	487	491	111	21.4	2中上	
北 農 研 セ ン タ ー	きたゆきもち	7.27	9. 8	68	17.0	513	559	95	21.4	1下	2004～2005
	はくちょうもち	7.29	9. 9	64	15.4	551	589	100	20.6	1	
	風の子もち	7.30	9.10	69	17.1	525	605	103	21.9	2中上	

参照 1) 北海道農政部編, 平成21年普及奨励ならびに指導参考事項, 1-4 (2009)

(3) きたふくもち (系統名上育糯464号) 2013年

登録番号: (北海道) 水稻北海道もち第63号

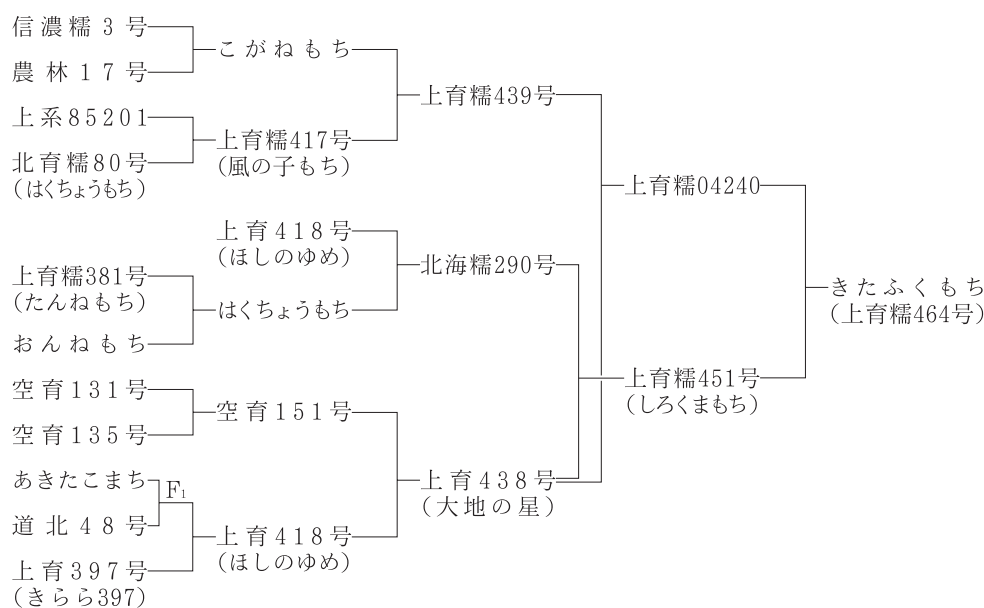
(農水省) 水稻農林 号

(種苗法) 第 号

セールスポイント

もち生地の硬化性が高く, 穂ばらみ期耐冷性と開花期耐冷性が極強で, 多収である。

来歴 本品種は2005年に北海道立上川農業試験場において, 硬化性の高い糯品種の育成を目標に, 「上系糯04240」を母, 「上育糯451号」(のちの「しろくまもち」) を父として人工交配を行った雑種後代から育成された。2008年に「上系08253」, 2010年より「上育糯464号」の系統名で各種の試験を行い, 2013年に優良品種となった。なお, 本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要

1. 稈長は「しろくまもち」, 「はくちょうもち」並で, 穂長は「しろくまもち」よりやや長く「はくちょうもち」より短い。穂数は「しろくまもち」並で「はくちょうもち」より多く, 草型は穂数型に属する。一穂粒数は「しろくまもち」並で「はくちょうもち」より少ない。穎色は黄白, ふ先色は褐で極短芒を稀に生じる。
2. 出穂期は「しろくまもち」より遅く「はくちょうもち」より早い早生の中で, 成熟期は「しろくまもち」,

「はくちょうもち」より遅い早生の晩である。耐倒伏性は「しろくまもち」に近く「はくちょうもち」より弱い中である。

3. 穂ばらみ期耐冷性は「しろくまもち」並で「はくちょうもち」より強い極強, 開花期耐冷性は「しろくまもち」, 「はくちょうもち」より強い極強である。いもち病真性抵抗性遺伝子型は *Pia*, *Pii* と推定され, 葉いもち圃場抵抗性は「しろくまもち」より強く「はくちょうもち」より弱い中, 穂いもち圃場抵抗性は「しろく

まもち」より強く「はくちょうもち」より弱い中である。玄米収量は「しろくまもち」より多く「はくちょうもち」よりやや多い。

4. 粒厚は「しろくまもち」, 「はくちょうもち」よりやや厚く, 千粒重は「しろくまもち」, 「はくちょうもち」より重い。割粳は「しろくまもち」, 「はくちょうもち」よりやや多い中である。玄米品質および検査等級は「しろくまもち」, 「はくちょうもち」並である。玄米白度は「しろくまもち」, 「はくちょうもち」よりやや高く, 白米白度は「しろくまもち」, 「はくちょうもち」並である。紅変米の発生は「しろくまもち」並で「はくちょうもち」より多い。食味は, おこわでは「しろくまもち」, 「はくちょうもち」並で, つきもちでは「しろくまもち」並で「はくちょうもち」より優る。食味

関連成分の白米蛋白質含有率は「しろくまもち」, 「はくちょうもち」より低い。つきもちの硬化性は「しろくまもち」より高く「はくちょうもち」よりさらに高い。

栽培適地と奨励態度

オホーツク, 上川, 留萌, 空知, 後志, 渡島, 十勝各振興局管内およびこれに準ずる地帯に「しろくまもち」の全てと「はくちょうもち」の一部に換えて栽培する。栽培上の注意は, 割粳がやや多いので斑点米や紅変米などの被害粒による品質低下を避けるため病害虫防除を適正に行うとともに, 適期刈り取りを励行する。早期異常出穂の恐れがあるので, 育苗ハウスの適正な温度管理に努め, 基準の育苗日数を遵守する。

試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			10a 当たり		玄 米		試験年次
				稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本)	玄米重 (kg)	左比 (%)	千粒重 (g)	等級	
上 川 農 試	きたふくもち	7.19	9. 7	60	14.7	708	562	103	22.3	2上	2010~2012
	しろくまもち	7.18	9. 4	61	14.4	706	545	100	20.6	1下	
	はくちょうもち	7.23	9. 5	61	15.9	590	531	97	20.9	1下	
中 央 農 試	きたふくもち	7.26	9.12	63	14.5	681	582	110	22.7	2下	2010~2012
	しろくまもち	7.24	9.10	63	13.7	669	527	100	20.9	2中	
	はくちょうもち	7.26	9. 9	60	15.0	612	529	100	21.3	2下	
普及見込み地帯	きたふくもち	7.28	9.11	64	14.3	657	575	110	22.4	1下	2011~2012
	しろくまもち	7.27	9. 9	64	14.0	680	523	100	20.6	1下	
	はくちょうもち	7.29	9.10	63	15.4	586	555	106	20.9	1下	

注) 普及見込み地帯は「きたふくもち」, 「しろくまもち」は20カ所, 「はくちょうもち」は18カ所の平均。

参照 1) 北海道農政部編, 平成25年普及奨励ならびに指導参考事項, 1-3 (2013)

<酒 種>

(1) 彗星 (系統名 空育酒170号) 2006年

登録番号: (北海道) 水稻北海道うち第58号
(種苗法) 第14300号

セールスポイント

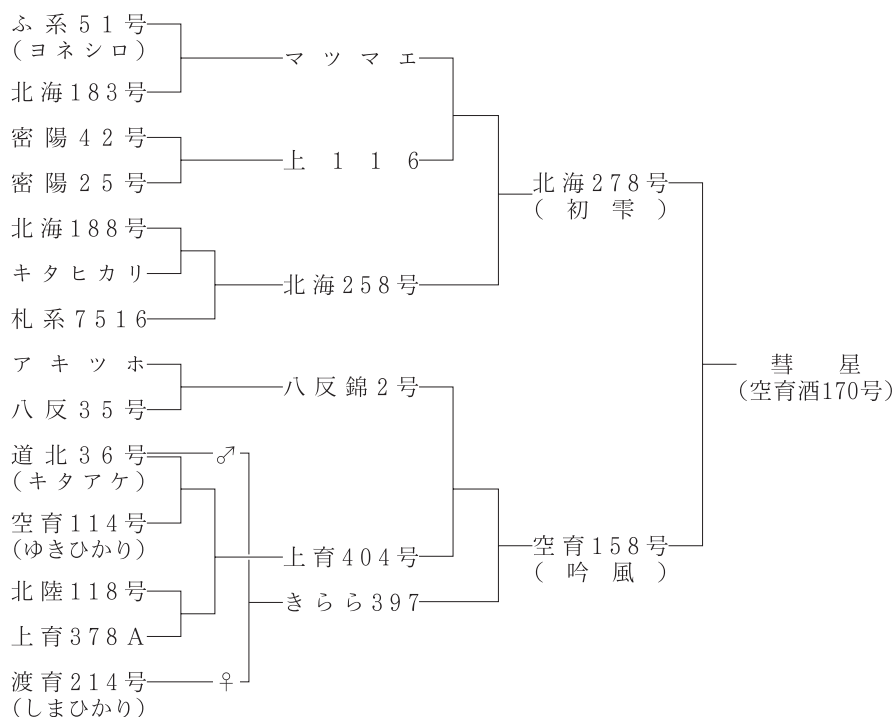
酒米に求められる千粒重が重く蛋白質含有率が低い。
多収であり耐冷性が強い。

来歴 本品種は1996年に北海道立中央農業試験場において, 道内栽培向け酒造好適米品種の育成を目標に, 耐冷性の強い酒造好適米系統「北海278号」(のちの「初雫」)を母とし, 心白のある酒造好適米系統「空育158号」(のちの「吟風」)を父として行われた人工交配の雑種後代から育成された。2000年に「空系00373」, 2003年より「空育酒170号」の系統名で各種試験を行い2006年に北海

道優良品種となった。なお, 本品種の系譜は次のとおりである。

特性概要

1. 稈長は「吟風」「きらら397」並で, 穂長は「初雫」より長く, 「吟風」「きらら397」より短い。穂数は「きらら397」より少なく「吟風」「初雫」より多い。草型は「吟風」「初雫」と同じ“中間型”。ふ色およびふ先色は“黄白”で, 少短芒を有する。粒着密度は「吟風」「彗星」並みの“中”である。割粳の発生は「吟風」より多く「初雫」「きらら397」より少ない。
2. 出穂期は「吟風」「初雫」「きらら397」並の“中生の早”で, 成熟期も「きらら397」「吟風」「初雫」並の“中生の早”である。
3. 障害型耐冷性は, 穂ばらみ期の耐冷性が「吟風」「きらら397」より強く, 「初雫」より弱い“強”であるが, 開花期耐冷性は「きらら397」より弱く「吟風」



並の“極弱”である。いもち病真性抵抗性遺伝子型は“*Pi-k*”と推定される。葉いもち抵抗性および穂いもち抵抗性は「きらら397」より強い“やや強”である。耐倒伏性は「吟風」並の“やや強～強”である。収量は「初雫」並に多収である。

4. 玄米の粒形は“中”，大きさは「吟風」「初雫」並の“やや大”。千粒重は「吟風」「初雫」「きらら397」より重い。心白の発現は「吟風」より少なく小さい。玄米品質は「吟風」並の“中上”。白米のアミロース含有率は「吟風」よりやや高く「初雫」並。蛋白質含有率は「吟風」より低く「初雫」「きらら397」並である。

酒造適性について、「吟風」と比べると心白発現率が劣る。精米適性は、「吟風」に比べ精米時間がやや長い傾向がある。無効精米率，碎米率はやや高い。浸

漬吸水率はやや低く，吸水時間は少し長めで，硬い印象がもたれる。原料処理，蒸米および製麴作業性が「吟風」並に良好である。官能試験の結果，「吟風」が柔らかい酒質を好む業者に評価されるのに対し，きれいなタイプの酒質を好む業者に評価される。

栽培適地と奨励態度

上川（土別市以南），留萌（中南部），空知，石狩，後志，胆振，日高，渡島，檜山各支庁管内の低蛋白質米安定生産が可能な良地帯で「初雫」の全部，および「吟風」と「きらら397」の一部に置き換えて栽培する。栽培上の注意事項は，初期分けつが少ない傾向にあるので，栽培基準の栽植密度を守り，側条施肥など初期生育を促進する栽培法を心がける。また，蛋白質含有率が高いと酒質を低下させる原因となるので，多肥栽培は避ける。

試験場名	品種名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			10a当たり		玄米		試験年次
				稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本)	玄米重 (kg)	左比 (%)	千粒重 (g)	等級	
中央農試	彗星	8.01	9.14	63	16.3	676	670	102	26.8	1	2004~2005
	吟風	8.02	9.15	63	16.2	601	656	100	25.0	1	
	初雫	8.02	9.14	66	15.6	604	652	99	25.1	1	
	きらら397	8.02	9.18	64	16.3	774	614	94	23.0	1	
上川農試	彗星	7.24	9.09	58	16.0	502	580	110	25.2	1	2004~2005
	吟風	7.25	9.09	56	16.1	492	525	100	24.3	1	
	初雫	7.24	9.09	62	15.3	501	566	108	24.3	1	
	きらら397	7.25	9.10	58	15.8	683	595	113	22.2	1	
道南農試	彗星	7.29	9.12	65	17.0	424	481	118	25.2	1	2004~2005
	吟風	7.28	9.14	63	16.2	420	409	100	23.4	1	

試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			10a 当たり		玄 米		試験年次
				稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本)	玄米重 (kg)	左比 (%)	千粒重 (g)	等級	
道 南 農 試	初 雫	7.30	9.12	67	15.5	382	446	109	23.8	1	2004~2005
	きらら397	7.30	9.15	64	16.6	557	470	115	22.2	1	
北 農 研	彗 星	7.30	9.12	66	16.7	490	659	110	26.2	特	2004~2005
	吟 風	7.29	9.11	64	16.8	523	599	100	24.0	1	
	初 雫	7.30	9.10	70	16.9	517	643	107	23.7	1	
	きらら397	7.30	9.13	63	16.4	612	601	100	22.5	2上	

参照 1) 北海道農政部編, 平成18年普及奨励ならびに指導参考事項, 1-3 (2006)
2) 田中 一生 等, 北海道立総合研究機構集報. 95, 1-12 (2011).

2. 小麦

※専門用語の解説

デオキシニバレノール (DON) : 赤かび病菌の特定の種 (*Fusarium graminearum*) が産生するかび毒。

フレッケン : 遺伝的特性として, 葉身に小斑点を生ずる症状で, 発生程度に品種間差があることが知られている。

ミリングスコア : 製粉歩留と灰分含量から算出される, 製粉特性を示す指標値。

ファリノグラム : 専用機器 (ファリノグラフ) によって得られる, 小麦粉を加水して一定の硬さになるように比較的穏やかに捏ね, さらにこね続けたときの生地の変化的変化を記したグラフ。一定の硬さの生地を形成

するために必要な水の量から, 粉の吸水率を知ることが出来る。

バリロメーターバリュウ : ファリノグラムから得られる値。一般に, 強力的な性質の小麦粉は大きい値, 薄力的な性質の小麦粉は小さい値となる。

エキステンソグラム : 専用機器 (エキステンソグラフ) によって得られる, 一定の硬さに調整した生地を伸ばして切れるまでの抵抗力の変化を記したグラフ。

ミキソグラム : 専用機器 (ミキソグラフ) によって得られる, 小麦粉を加水して比較的強く捏ねたときの生地の硬さの変化を記したグラフ。

- (1) **きたほなみ** (系統名 北見81号) 2006年
登録番号 : (北海道) 小麦北海道秋第18号
(農水省) 小麦農林168号
(種苗法) 第18438号

セールスポイント

灰分含量が少なく製粉性に優れ, 粉色及び製めん適性が優れ, 多収で穂発芽耐性に優れた秋まき品種である。

来歴 本品種は, 1994年に北海道立北見農業試験場において, 「北見72号」(後の「きたもえ」) を母, 「北系1660」を父として人工交配を行い育成したもので, 2001年より「北系1764」, 2002年より「北見81号」の系統名で各種試験を行い2006年に優良品種となった。本品種の系譜は次のとおりである。

特性概要

1. 叢性は直立である。稈長はやや短, 稈の細太はやや太で「ホクシン」と同程度, ワックスの多少は少であ

る。葉身の下垂度は「ホクシン」よりやや小さく, 穂型は棒状, ふ色は淡黄である。

2. 粒形は中, 粒の大小はやや大, 粒色は黄褐で, 千粒重はやや大, 容積重, 原麦粒の見かけの品質は「ホクシン」と同等である。

3. 出穂期及び成熟期はやや早生に属するが, 「ホクシン」と比較して出穂期で1日, 成熟期で2日遅い。

4. 耐倒伏性は「ホクシン」並, 耐寒性, 耐雪性は「ホクシン」並, コムギ縞萎縮病抵抗性はやや弱, 赤かび病抵抗性は中, 赤さび病抵抗性はやや強, うどんこ病抵抗性はやや強である。穂発芽性は「ホクシン」より強くやや難である。

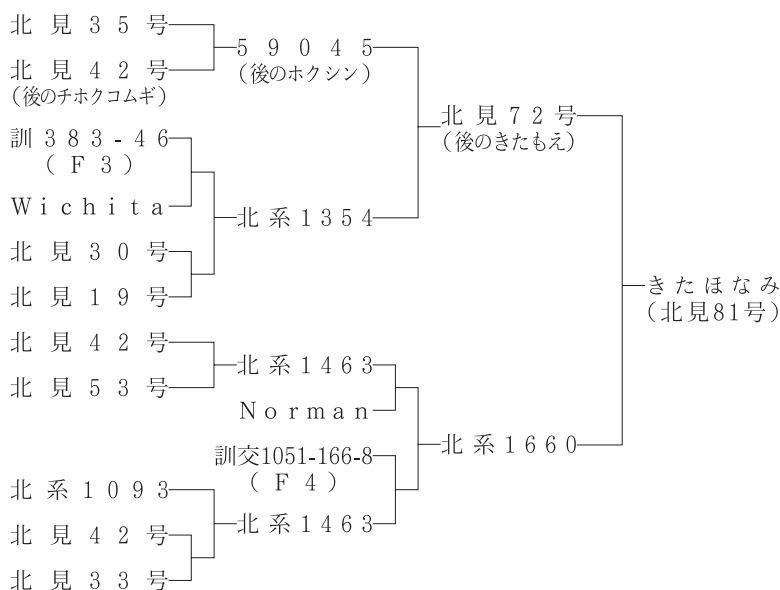
5. 子実重は「ホクシン」より優れる多である。

6. 製粉歩留はやや高, ミリングスコアは高でいずれも「ホクシン」より優れる。粉色は「ホクシン」より優れ, 粉質は粉状質, 60%粉の粗蛋白質含量は「ホクシン」よりやや低い。製めん適性は「ホクシン」と比較して色は優れ, 粘弾性は同程度で優れる。

栽培適地と奨励態度

「ホクシン」に置き換えて栽培する。コムギ縞萎縮病抵抗性がやや弱であるため多発圃場での栽培を避ける。

コムギ縞萎縮病の病徴は黄化症状より萎縮症状が強く発現する。



試験場名	品種名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	倒伏 程度	子実重 (kg/10a)	標準比 (%)	リットル重 (g/l)	千粒重 (g)	外観 品質	試験年次
北見農試	きたほなみ	6.11	7.28	84	8.5	785	1.7	851	114	824	38.9	中上	2002~ 2004
	ホクシン	6.10	7.26	85	8.6	760	1.8	748	100	819	38.9	上下	
	きたもえ	6.12	7.28	83	7.4	762	0.9	697	93	815	39.0	上下	
中央農試	きたほなみ	6.07	7.22	97	9.2	898	2.2	902	126	802	37.3	中上	2002~ 2004
	ホクシン	6.07	7.19	94	9.1	749	2.1	718	100	798	37.8	上下	
	きたもえ	6.09	7.21	95	8.0	826	0.1	809	113	794	39.2	中上	
上川農試	きたほなみ	6.10	7.19	84	8.7	779	1.6	737	112	789	36.0	上下	2002~ 2004
	ホクシン	6.09	7.18	82	8.7	676	1.6	660	100	779	35.9	中上	
	きたもえ	6.12	7.20	82	7.6	740	0.5	664	101	790	37.6	上下	
十勝農試	きたほなみ	6.09	7.24	85	8.6	634	0.0	689	118	800	39.2	中上	2002~ 2004
	ホクシン	6.07	7.22	87	8.8	612	0.0	586	100	794	38.3	中上	
	きたもえ	6.11	7.23	85	7.5	633	0.3	563	96	783	38.0	中上	

注1) 倒伏程度は無(0)～甚(5)の6段階評価。外観品質(原麦粒の見かけ上の品質)は上上, 上下, 中上, 中中, 中下, 下の6段階評価。

注2) リットル重は、ガラス升リットル重測定器による調査。

- 参照 1) 北海道農政部編, 平成18年普及奨励ならびに指導参考事項, 7-9 (2000)
2) 柳沢 朗等, 北海道立農試集報, 91, 1-13 (2007)

- (2) はるきらり (系統名 北見春67号) 2007年
登録番号: (北海道) 小麦北海道春第19号
(農水省) 小麦農林169号
(種苗法) 第19304号

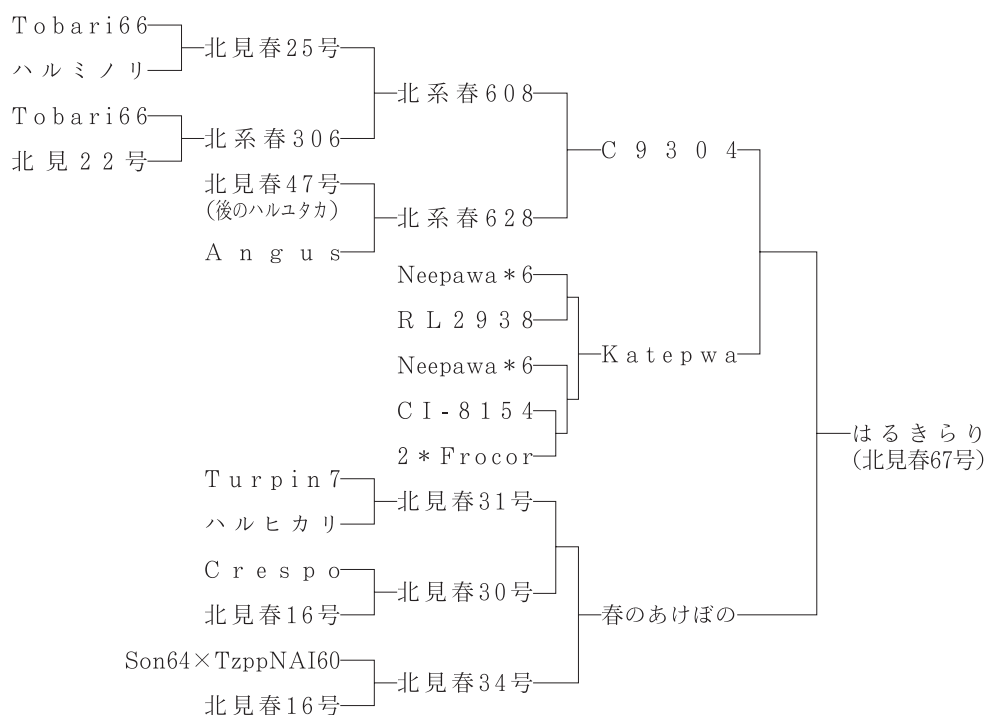
セールスポイント

穂発芽耐性が優れ、子実のデオキシニバレノール (DON) 蓄積が少なく、多収で製パン適性が優れる春まき品種である。

来歴 本品種は、1994年に北海道立中央農業試験場において、「C9304」と「Katepwa」のF1を母、「春のあけぼの」を父として交配を行い、育成したもので、2002年に北海道立北見農業試験場へ移管され「北系春743」、2003年より「北見春67号」の系統名で各種試験を行い、2007年に優良品種となった。本品種の系譜は次のとおりである。

特性概要

1. 株は閉じており、稈長は中で「ハルユタカ」よりやや長く「春よ恋」並である。稈の細太はやや太で「ハ



ルユタカ」並である。葉色は「ハルユタカ」より淡く、「春よ恋」並で、葉身の下垂度は小さい。フレッケンは無い。

2. 穂型は紡錘状で、粒着はやや密である。穂長は「ハルユタカ」、「春よ恋」より短い。蒴の色は紫で、芒は多く、ふ色は黄である。
3. 粒形は中、粒色は赤褐色で、黒目粒の多少は「春よ恋」よりやや多いが中に属する。千粒重は、かなり大で、「ハルユタカ」、「春よ恋」より重い。容積重は「ハルユタカ」よりやや大きく、「春よ恋」並の中である。原麦粒のみかけの品質は「ハルユタカ」、「春よ恋」よりやや優れる。粗蛋白質含量が「ハルユタカ」、「春よ恋」よりやや少ない。
4. 出穂期および成熟期ともに「ハルユタカ」、「春よ恋」並の中生である。赤さび病抵抗性は強、うどんこ病抵抗性は中、赤かび病抵抗性は「ハルユタカ」よりやや優れ、「春よ恋」並の中である。赤かび病発生時の子実におけるDON濃度は、「ハルユタカ」、「春よ恋」より少ない。穂発芽性は「ハルユタカ」、「春よ恋」より優れる難である。耐倒伏性は「ハルユタカ」よりやや劣るが、「春よ恋」よりやや優れるやや強である。
5. 子実重は「ハルユタカ」より多く、「春よ恋」並で

ある。

6. 粒の硬軟は「春よ恋」より軟らかい。製粉歩留は「ハルユタカ」より低い、「春よ恋」並からやや高い。60%粉粗蛋白質含量は「ハルユタカ」、「春よ恋」よりやや少なく、60%粉灰分含量もやや少ない。
7. フェリノグラムの吸水率は「ハルユタカ」並で「春よ恋」より低い。パロリメーターバリュウは「ハルユタカ」並で「春よ恋」よりやや小さい。エキステンソグラムの生地力の程度、生地の伸長抵抗は「ハルユタカ」並で「春よ恋」より小さい。生地の伸長度は「ハルユタカ」、「春よ恋」並で、「春よ恋」より小さい。生地の形状係数は「ハルユタカ」よりやや大きく、「春よ恋」より小さい。製パン適性は「ハルユタカ」より優れ、「春よ恋」に近い。

栽培適地と奨励態度

「ハルユタカ」と、「春よ恋」の一部に置き換えて栽培する。粗蛋白質含量がやや少ないため、開花期以降の尿素葉面散布などにより「春よ恋」並の原粒粗蛋白質含量を確保する。赤かび病発生時のDON汚染は少ないが、赤かび病抵抗性は中であるため、適切な防除に努める。

試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏 程度	子実重 (kg/10a)	標準比 (%)	リットル重 (g/l)	千粒重 (g)	外観 品質	試験年次
北見農試	はるきらり	6.25	8.12	88	7.6	492	0.6	551	107	824	44.5	上下	2003~ 2006
	ハルユタカ	6.26	8.11	85	8.1	488	0.4	515	100	814	41.2	中上	
	春よ恋	6.25	8.10	89	8.2	540	0.9	532	103	819	42.8	中上	

試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏 程度	子実重 (kg/10a)	標準比 (%)	リットル重 (g/l)	千粒重 (g)	外観 品質	試験年次
中央農試	はるきらり	6.19	8. 4	95	7.8	474	0.1	553	117	813	46.8	中上	2003～ 2006
	ハルユタカ	6.21	8. 3	87	8.5	463	0.0	473	100	812	40.9	中上	
	春 よ 恋	6.21	8. 2	96	8.5	487	0.4	545	115	824	42.5	中上	
上川農試	はるきらり	6.20	7.31	89	7.8	475	0.8	601	109	809	45.5	上下	2003～ 2006
	ハルユタカ	6.22	7.29	82	8.4	487	0.4	554	100	804	40.8	中上	
	春 よ 恋	6.22	7.29	89	8.4	481	1.6	557	101	811	40.3	中上	
十勝農試	はるきらり	6.22	8. 7	92	7.5	478	0.3	413	112	806	42.1	中上	2003～ 2006
	ハルユタカ	6.24	8. 6	86	8.0	505	0.0	368	100	796	38.6	上下	
	春 よ 恋	6.23	8. 5	92	8.1	507	0.1	405	110	806	39.2	中上	

注1) 倒伏程度は無(0)～甚(5)の6段階評価。外観品質は上上, 上下, 中上, 中中, 中下, 下の6段階評価。

注2) リットル重は、ガラスリットル重測定器による調査。

参照 1) 北海道農政部編, 平成19年普及奨励ならびに指導参考事項, 4-7 (2007)

2) 中道浩司等, 北海道立総合研究機構農試集報, 95, 25-37 (2011)

(3) ゆめちから (系統名 北海261号) 2009年

登録番号: (北海道) 小麦北海道秋第20号

(農水省) 小麦農林172号

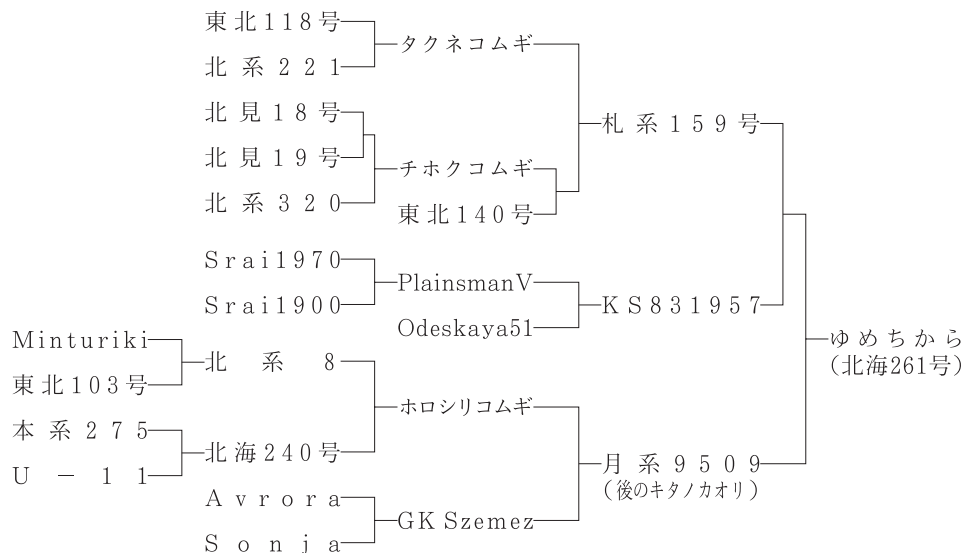
(種苗法) 第20751号

秋まき品種である。

来歴 本品種は、1996年に北海道農業試験場において、「札系159号」と「KS831957」のF1を母、「月系9509」を父として人工交配を行い、育成したもので、2003年より「勝系63号」、2005年より「北海261号」の系統名で各種試験を行い、2009年に優良品種となった。本品種の系譜は次のとおりである。

セールスポイント

コムギ縮萎病抵抗性に優れ、「ホクシン」等の中力小麦とブレンドすることにより優れた製パン適性を示す



特性概要

1. 叢性は中で、稈長は短で「ホクシン」よりやや短く、稈の細太は太で、ワックスの多少はかなり少である。葉身の下垂度は中で、穂型は棒状、ふ色は赤褐である。
2. 粒形は中、粒の大小は大、粒色は褐で、千粒重は大、容積重、原麦粒の見かけの品質は「ホクシン」と同等である。
3. 出穂期及び成熟期は「ホクシン」並のやや早生に属するが、「ホクシン」と比較して成熟期は2日遅い。

4. 耐倒伏性は強、耐寒性は「ホクシン」並の中で、耐雪性は「ホクシン」よりもやや劣る中、コムギ縮萎病抵抗性は「ホクシン」より優れる強、赤かび病抵抗性は中、赤さび病抵抗性は強、うどんこ病抵抗性はやや強、穂発芽性は「ホクシン」並の中である。
5. 子実重は「ホクシン」と同程度である。
6. 製粉歩留、ミリングスコアは「ホクシン」並で、粉質は硝子質、粗蛋白質含量は「ホクシン」より高い。
7. フェリノグラムの吸水率は「キタノカオリ」並に高

く、バリロメーターバリュウは高である。エキステンソグラムの生地の力の程度は大で、伸長抵抗は強、伸長度は中、形状係数は大である。ミクソグラムの生地形成時間が長いことから、生地の物性は「キタノカオリ」より強く、小麦粉の性質は超強力である。「ホクシン」等の中力小麦とブレンドすることにより優れた製パン適性を示す。

8. 原粒粗蛋白質含量が高く、醤油原料用としても利用できる。

栽培適地と奨励態度

コムギ縞萎縮病が発生し生産が安定しない地帯の「タ

クネコムギ」および登熟期間がやや低温で経過し低アミノ小麦の発生が懸念される地帯に栽培されている「キタノカオリ」の一部に置き換えて栽培する。不良土壌環境では、早期に枯れ上がり収量が低下することがある。気象および土壌条件により、葉身に斑点状またはかすり状に黄化する現象がみられる。これらは条斑病、赤さび病による症状と判別が可能であるが、原採種圃場の選定ならびに病害株の抜き取り作業での本現象と病害との区別に留意する。耐雪性が中であるので、雪腐病防除を励行する。超強力小麦としての特性を發揮させるため、蛋白質含量が低くならないように止葉期以降の窒素追肥を行う等の肥培管理に努める。

試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	倒伏 程度	子実重 (kg/10a)	標準比 (%)	リットル重 (g/l)	千粒重 (g)	外観 品質	試験年次
北 農 研 セ ン タ ー	ゆめちから	6.10	7.30	85	9.8	972	0.1	834	108	838	41.8	3.2	2005～ 2007
	ホクシン	6.10	7.28	92	9.1	1014	1.2	772	100	827	38.0	3.2	
	キタノカオリ	6.15	8.02	87	10.3	926	0.0	884	114	849	42.4	3.0	
中 央 農 試	ゆめちから	6.05	7.19	85	9.0	640	0.0	628	97	795	42.0	3.0	2005～ 2007
	ホクシン	6.07	7.18	93	8.2	767	0.3	645	100	796	40.8	3.0	
	キタノカオリ	6.11	7.23	87	9.2	582	0.0	623	97	787	43.8	2.3	
	タクネコムギ	6.01	7.16	101	7.5	925	2.5	589	91	784	39.7	3.0	
上 川 農 試	ゆめちから	6.07	7.18	81	9.1	567	0.0	679	100	804	44.3	3.7	2005～ 2007
	ホクシン	6.08	7.17	85	8.5	668	0.2	676	100	794	41.2	2.8	
	キタノカオリ	6.12	7.22	82	9.3	483	0.0	626	93	811	44.9	3.0	
十 勝 農 試	ゆめちから	6.09	7.25	82	8.9	585	0.0	540	95	822	41.0	3.4	2005～ 2007
	ホクシン	6.09	7.24	92	8.2	660	0.0	567	100	813	39.9	2.7	
	キタノカオリ	6.14	7.29	87	9.4	526	0.0	523	92	825	42.6	3.1	
北 見 農 試	ゆめちから	6.11	7.29	82	9.0	585	0.0	572	103	816	40.5	3.3	2005～ 2007
	ホクシン	6.11	7.27	86	8.3	666	0.3	554	100	800	37.7	3.0	
	キタノカオリ	6.15	8.01	83	9.4	558	0.1	551	99	818	42.7	3.0	

注1) 倒伏程度は無(0)～甚(5)の6段階評価、外観品質は1(上上)、2(上下)、3(中上)、4(中中)、5(中下)、6(下)の6段階評価。

注2) リットル重はガラス升リットル重測定器による調査、ただし北農研センターはブラウウェル穀粒計による調査。

参照 1) 北海道農政部編、平成21年普及奨励ならびに指導参考事項、33-35(2009)

2) 田引 正等、北海道農研研報、195、1-12(2011)

(4) **きたさちほ** (系統名 北見83号) 2011年
登録番号：(北海道)小麦北海道秋第20号
(農水省)小麦農林174号
(種苗法)第22745号

いて、「北系1731」を母、「北見72号」(後の「きたもえ」)を父として人工交配を行い、2005年より「北系1824」、2006年より「北見83号」の系統名で各種試験を行い、2011年に優良品種となった。本品種の系譜は次のとおりである。

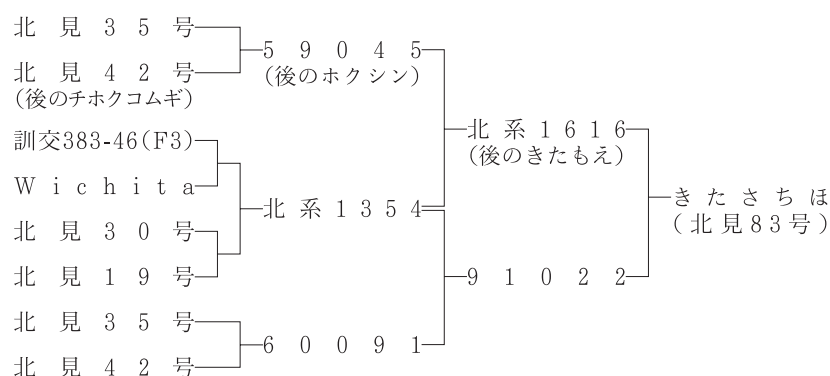
セールスポイント

コムギ縞萎縮病抵抗性が「きたもえ」と同程度に優れる。ゆでうどんの粘弾性が「きたもえ」より優れ、製めん適性が優れる。品質取引項目のひとつである容積重が大きい秋まき品種である。

特性概要

1. 叢性は直立、株の開閉はやや閉である。稈のワックスの多少は少、葉色はやや淡である。穂型は棒状で、粒着は密である。芒は無く、ふの色は淡黄である。粒形は中で、粒色は黄褐色である。
2. 稈長は「きたもえ」(対照品種)よりやや長く、「ホ

来歴 本品種は、1999年に北海道立北見農業試験場にお



クシン」(標準品種)と同程度である。穂長は「きたもえ」より長く、穂数は同程度である。千粒重は「きたもえ」と同程度である。容積重は「きたもえ」より大きい。原麦粒のみかけの品質は「きたもえ」と同程度である。

3. 出穂期及び成熟期はやや早生に属するが、育成地では、「きたもえ」と比較して出穂期は2日、成熟期は3日早い。
4. 耐寒性は中、耐雪性はやや強である。赤さび病抵抗性はやや弱、うどんこ病抵抗性はやや強、赤かび病抵抗性はやや弱である。コムギ縞萎縮病抵抗性は中である。穂発芽性はやや難である。耐倒伏性は強である。
5. 収量性は、育成地では「きたもえ」よりやや劣るが、その他の試験地では「きたもえ」とほぼ同程度である。コムギ縞萎縮病の発病が激しい圃場(表, 伊達市)では、「きたさちほ」の発病程度および子実重は「きたもえ」と同程度である。コムギ縞萎縮病の発病が軽微な圃場(表, 現地1および2)では、「きたさちほ」の発病程度は「ホクシン」, 「きたほなみ」より小さいか発病が認められず, 子実重は「ホクシン」に優り,

「きたほなみ」と同程度である。

6. 製粉歩留およびミリングスコアは「きたもえ」と同程度である。粉色は、粉の明るさ(L*)、粉の赤色み(a*)および粉の黄色み(b*)が、いずれも「きたもえ」と同程度である。60%粉粗蛋白含量および60%粉灰分含量は「きたもえ」と同程度である。アミロース含量は「きたもえ」よりやや低く、「ホクシン」と同程度である。ゆでうどんの官能評価は、色が「きたもえ」と同程度で、粘弾性が「きたもえ」より優れることから、総合点は「きたもえ」より高く、製めん適性は優れる。

栽培適地と奨励態度

「きたさちほ」はコムギ縞萎縮病抵抗性が「きたもえ」と同程度で、容積重が「きたもえ」より大きく品質取引への対応に有利である。製めん適性はゆでうどんの色、粘弾性ともに優れ、「きたもえ」の品質面の欠点が改良されている。以上から、「きたさちほ」を「きたもえ」に置き換えて普及することで、コムギ縞萎縮病多発地域の麦作振興と道産小麦の生産安定性の向上が期待される。

試験場名	品種名	出穂期(月日)	成熟期(月日)	稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/m ²)	倒伏程度	子実重(kg/10a)	標準比(%)	容積重(g)	千粒重(g)	外観品質	試験年次
北見農試	きたさちほ	6/10	7/25	86	8.4	712	0.8	549	96	837	35.8	中上	2006~ 2009
	きたもえ	6/12	7/28	82	7.3	720	0.5	575	100	819	35.3	中上	
	ホクシン	6/10	7/25	86	8.5	712	1.1	570	99	817	35.7	中上	
	きたほなみ	6/11	7/27	84	8.5	705	0.8	657	114	830	36.0	中上	
中央農試	きたさちほ	6/5	7/19	94	8.5	737	1.1	671	98	823	38.5	中上	2006~ 2009
	きたもえ	6/9	7/20	87	7.5	719	0.2	684	100	803	36.5	中上	
	ホクシン	6/5	7/17	91	8.4	720	1.0	610	89	802	37.3	中上	
	きたほなみ	6/7	7/20	89	8.6	777	0.9	767	112	806	38.1	中上	
上川農試	きたさちほ	6/5	7/16	86	8.6	626	0.1	625	106	805	42.5	中上	2006~ 2009
	きたもえ	6/9	7/17	79	7.3	624	0.0	591	100	786	39.2	中上	
	ホクシン	6/6	7/15	82	8.4	658	0.3	614	104	782	41.1	中上	
	きたほなみ	6/7	7/17	82	8.5	636	0.1	714	121	782	40.7	中上	
十勝農試	きたさちほ	6/7	7/24	93	8.5	686	0.0	551	103	843	38.6	中上	2006~ 2009
	きたもえ	6/8	7/22	88	7.4	660	0.0	533	100	823	37.2	中中	

試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	倒伏 程度	子実重 (kg/10a)	標準比 (%)	容積重 (g)	千粒重 (g)	外観 品質	試験年次
十勝農試	ホクシン	6/7	7/22	92	8.5	694	0.1	549	103	828	38.4	中上	2006～
	きたほなみ	6/8	7/24	87	8.7	627	0.0	600	112	839	38.8	中上	2009
伊達市	きたさちほ	6/5	7/18	90	8.7	775	0.7	501	100	847	38.6	—	2007～
	きたもえ	6/6	7/19	82	7.3	832	0.0	502	100	829	37.5	—	2009
現地 A	きたさちほ	6/8	7/22	80	8.9	613	1.0	586	110	825	36.8	—	2007～
	ホクシン	6/8	7/22	76	8.4	536	1.0	534	100	808	37.5	—	2009
現地 B	きたさちほ	6/9	7/22	82	9.1	676	1.5	620	98	817	35.5	—	2008～
	きたほなみ	6/10	7/22	80	8.9	669	1.8	634	100	809	34.9	—	2009

注1) 伊達市および現地1および2はコムギ萎縮病発生圃場での調査。同病害の発病程度は、伊達市が“多”～“甚”，現地A（4事例の平均）および現地B（2事例の平均）はいずれも“微”である。

注2) 倒伏程度は無(0)～甚(5)の6段階評価。外観品質（原麦粒の見かけ上の品質）は上上，上下，中上，中中，中下，下の6段階評価。

注3) 容積重はブラウエル穀粒計による調査，ただし上川農試はガラス升リットル重測定器による調査。

参照 1) 北海道農政部編，平成23年普及奨励ならびに指導参考事項，29-31（2012）

(5) つるきち（系統名 北見85号）2012年

登録番号：（北海道）小麦北海道秋第21号

（農水省）小麦農林175号

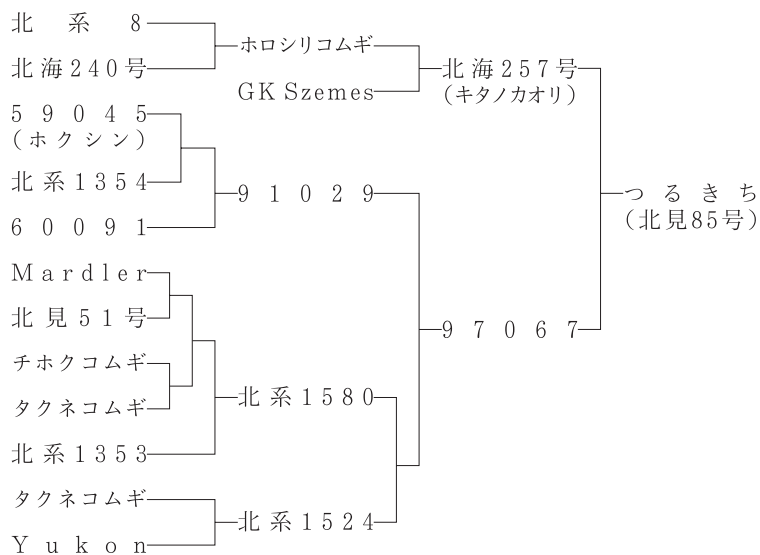
（種苗法）出願番号 第27056号

中華めん適性を有する秋まき品種である。

来歴 本品種は，2001年に北海道立北見農業試験場において，「北海257号」（後の「キタノカオリ」）を母，「97067」を父として人工交配を行い育成したもので，2007年より「北系1835」，2009年より「北見85号」の系統名で各種試験を行い2012年に優良品種となった。本品種の系譜は次のとおりである。

セールスポイント

硬質秋まき小麦の「キタノカオリ」より穂発芽耐性および低アミロ耐性に優れ，「キタノカオリ」並に優れた



特性概要

1. 叢性は直立である。稈長は短で「キタノカオリ」と同程度で「きたほなみ」より短い。稈の細太はかなり太で「キタノカオリ」と同程度で「きたほなみ」より太く，ワックスの多少は少である。葉身の下垂度は「きたほなみ」よりやや大きく，穂型は棒状，ふ色は淡黄である。
2. 粒形は中，粒の大小は大，粒色は褐で，千粒重は大で「キタノカオリ」と同程度で「きたほなみ」より大

きく，容積重，原麦粒の見かけの品質は「キタノカオリ」「きたほなみ」と同等である。

3. 中生に属し，出穂期は「キタノカオリ」より1～3日早く「きたほなみ」と同程度，成熟期は「キタノカオリ」より1日早く，「きたほなみ」より2日遅い。
4. 耐倒伏性は「キタノカオリ」と同程度で「きたほなみ」より優れる。耐寒性は「きたほなみ」より劣り，耐雪性は「キタノカオリ」と同程度で「きたほなみ」よりやや劣る。コムギ萎縮病抵抗性は「キタノカオリ」と同程度で「きたほなみ」よりやや劣る。

り」「きたほなみ」よりやや優る中、赤かび病抵抗性は中、赤さび病抵抗性はやや強、うどんこ病抵抗性は強である。穂発芽性は「キタノカオリ」より優り、「きたほなみ」よりやや劣る中である。

5. 子実重は「キタノカオリ」と同程度で「きたほなみ」よりやや劣る。
6. 製粉歩留、ミリングスコアは「キタノカオリ」並で、粉質は硝子質、原料及び60%粉の粗蛋白質含量は「キタノカオリ」並で「きたほなみ」より高い。
7. フェリノグラムの吸水率、バリロメーターバリュウは「キタノカオリ」とほぼ同程度である。エキステン

ソグラムの生地の力の程度は中で、伸長抵抗はやや強、伸長度は中、形状係数はやや大である。中華めん官能検査の評点は、めんの色、食感ともに「キタノカオリ」と同程度であり、中華めん適性は「キタノカオリ」並に優れる。

栽培適地と奨励態度

「キタノカオリ」および「きたほなみ」の一部に置き換えて栽培する。穂数不足が減収につながることから、穂数を確保する栽培管理に努める。耐雪性が中であり、冬損程度がやや大きい事例があるので、雪腐病防除を徹底する。

試験場名	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	倒伏 程度	子実重 (kg/10a)	標準比 (%)	容積重 (g)	千粒重 (g)	外観 品質	試験年次
北見農試	つるきち	6.11	7.28	80	9.9	627	0.0	607	100	824	41.5	中上	2009～ 2011
	キタノカオリ	6.12	7.29	84	9.7	676	0.1	606	100	829	39.6	中上	
	きたほなみ	6.11	7.26	87	8.6	836	1.0	681	112	821	33.9	中上	
	ホクシン	6.10	7.24	90	8.7	818	1.1	584	96	812	35.2	中上	
中央農試	つるきち	6.08	7.21	82	9.7	539	0.3	636	97	801	41.7	中上	2009～ 2011
	キタノカオリ	6.11	7.23	87	9.4	605	0.2	655	100	812	39.1	中上	
	きたほなみ	6.08	7.21	92	8.7	812	1.5	734	112	801	35.6	中上	
	ホクシン	6.06	7.18	92	8.5	745	2.5	586	89	789	35.3	中上	
上川農試	つるきち	6.08	7.19	72	9.4	452	0.0	481	92	790	42.4	中中	2009～ 2011
	キタノカオリ	6.11	7.21	77	9.4	521	0.0	523	100	785	39.2	中上	
	きたほなみ	6.08	7.18	81	8.3	679	0.5	605	116	784	36.6	中上	
	ホクシン	6.07	7.16	84	8.4	677	1.7	535	102	776	36.8	中上	
十勝農試	つるきち	6.10	7.26	80	9.7	512	0.0	519	97	823	43.3	中下	2009～ 2011
	キタノカオリ	6.12	7.27	87	9.7	586	0.0	536	100	833	41.3	中下	
	きたほなみ	6.09	7.24	92	8.6	756	0.1	624	116	847	37.8	中中	
	ホクシン	6.07	7.21	94	8.8	751	0.3	555	104	826	37.6	中上	

注1) 倒伏程度は無(0)～甚(5)の6段階評価。外観品質は上上、上下、中上、中中、中下、下の6段階評価。

注2) 容積重は、北見農試と十勝農試がインフラテック1241による調査。中央農試はブラウエル穀粒計による調査。上川農試はガラス升リットル重測定器による調査。

参照 1) 北海道農政部編、平成24年普及奨励ならびに指導参考事項、5-8 (2012)

3. 大豆

- (1) トヨハルカ (系統名 十育237号) 2005年
登録番号：(北海道)大豆北海道第40号
(農水省)だいで農林131号
(種苗法)第16458号

セールスポイント

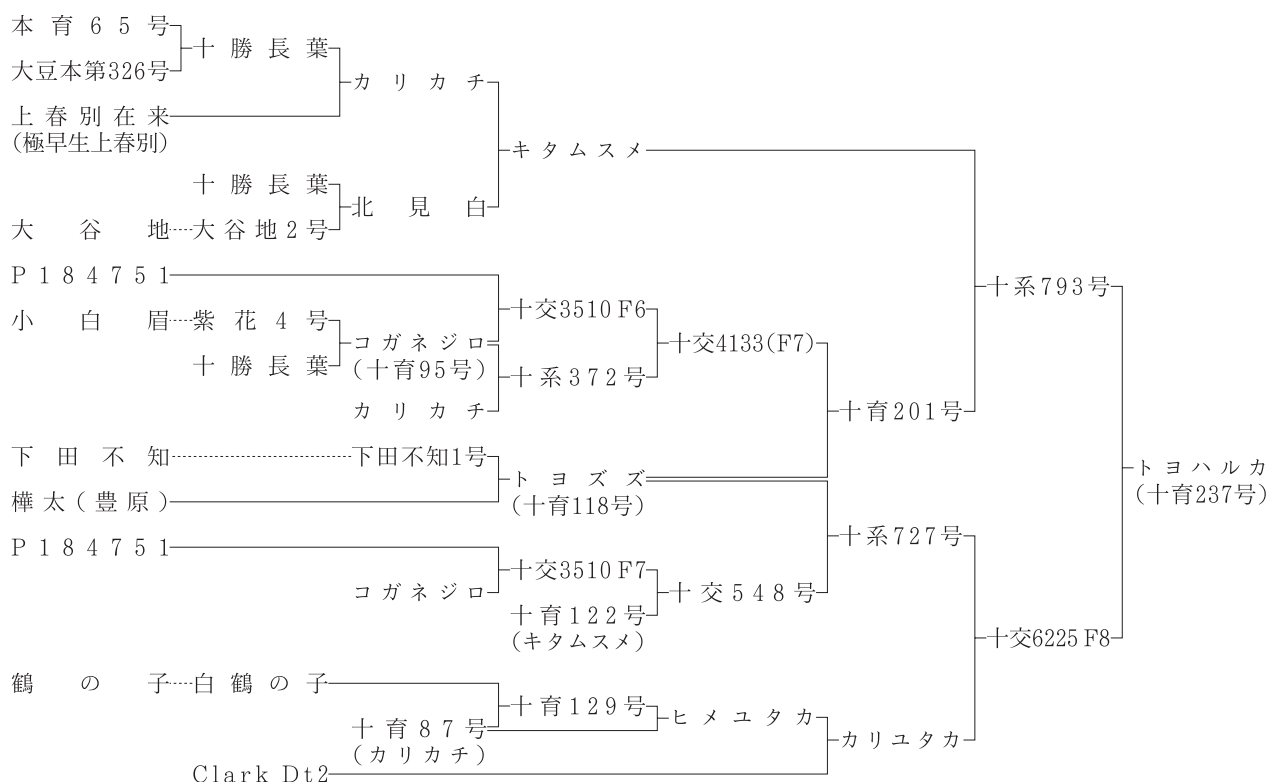
低温によるへそおよびへそ周辺着色抵抗性が強く外観品質に優れ、密植適性およびコンバイン収穫適性が高く、耐冷性およびダイズシストセンチュウ抵抗性を有する白目大粒品種である。

来歴 本品種は、ダイズシストセンチュウ抵抗性、低温

抵抗性、低温着色抵抗性で機械収穫向きの品種育成を目標に、1993年に北海道立十勝農業試験場において「十系793号」を母、「十交6225F8」を父として人工交配を行い、以後選抜と固定を図り、その後代から育成したもので、1999年から「十系907号」、2002年からは「十育237号」の系統名で各種試験を行い、2005年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。

特性概要

1. 主茎長、主茎節数および分枝数はそれぞれ「トヨムスメ」の短、少および中に対して短、少および少である。伸育型は有限であり、熟莢色は淡褐を呈する。



2. 胚軸の色と花色は紫，小葉の形は卵形で，毛茸は色が白で，形は直，その多少は中程度である。
3. 粒の形は「トヨムスメ」の扁球に対して球であり，粒の大小は同品種と同じ大である。また，粒の子葉色は黄，光沢は弱，へその色は黄，種皮の地色は黄白である。
4. 開花期および成熟期は，それぞれ「トヨムスメ」と同じやや早および中であり，生態型は夏大豆型に属する。
5. 標準栽培における子実収量は「トヨムスメ」よりやや少ないが，倒伏抵抗性は同品種より優れ，密植栽培による増収程度は同品種より優る。低温抵抗性（開花期／生育期）は「トヨムスメ」の中／中に対し，強／強である。
6. シストセンチュウ抵抗性は強，わい化病抵抗性は中である。茎疫病抵抗性は強／強（レース群Ⅰ／Ⅱ）で

- ある。裂莢の難易は「トヨムスメ」の易に対し中であり，最下着莢節位高は同品種よりやや高い高である。
7. 外観上の品質は「トヨムスメ」並で，裂皮粒の発生は「トヨムスメ」より多い易である。
8. 子実の粗蛋白および粗脂肪含有率は「トヨムスメ」同様にそれぞれ中および低である。遊離型全糖含有率は同品種並に高い。煮豆および納豆の加工適性は「トヨムスメ」と同等，豆腐加工適性は同品種より劣るが，味噌加工適性は同品種より優れる。

栽培適地と奨励態度

道央，上川南部，十勝中部に適する。栽培上の注意は，

1. わい化病抵抗性は中なので適切な防除に努めること，
2. シストセンチュウ・レース1発生圃場への作付けは避けること，
3. 収量とコンバイン適性向上のため密植栽培を励行すること，である。

試験地名	品 種 名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			倒 伏 程 度	10a当り		百粒重 (g)	品 質 (等級)	試験年次
				主茎長 (cm)	分枝数 (本)	莢 数 (莢)		子実重 (kg)	同左比 (%)			
十勝農試	トヨハルカ	7.21	9.30	55	3.4	56.2	無	322	96	37.3	2下	2002～ 2004
	トヨムスメ	7.20	10.2	55	4.4	60.8	少	335	100	37.4	3中	
	トヨコマチ	7.20	9.29	60	5.3	62.9	少	329	98	35.0	3中	
上川農試	トヨハルカ	7.14	9.28	63	4.8	70.2	少	413	100	38.3	2下	2002～ 2004
	トヨムスメ	7.14	9.28	60	6.4	70.2	中	411	100	37.7	3中	
	トヨコマチ	7.13	9.22	63	6.2	66.2	中	389	95	36.5	3上	
中央農試	トヨハルカ	7.17	9.27	63	4.1	65.3	少	374	94	38.6	2下	2002～ 2004
	トヨムスメ	7.16	9.29	64	6.3	69.1	中	400	100	39.8	3中	

試験地名	品 種 名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			倒 伏 程 度	10a当り		百粒重 (g)	品 質 (等級)	試験年次
				主茎長 (cm)	分枝数 (本)	莢 数 (莢)		子実重 (kg)	同左比 (%)			
中央農試	トヨコマチ	7.15	9.22	61	4.9	65.9	中	365	91	38.0	3上	2002~2004

参照 1) 北海道農政部編, 平成17年普及奨励ならびに指導参考事項, 4-6 (2005)。

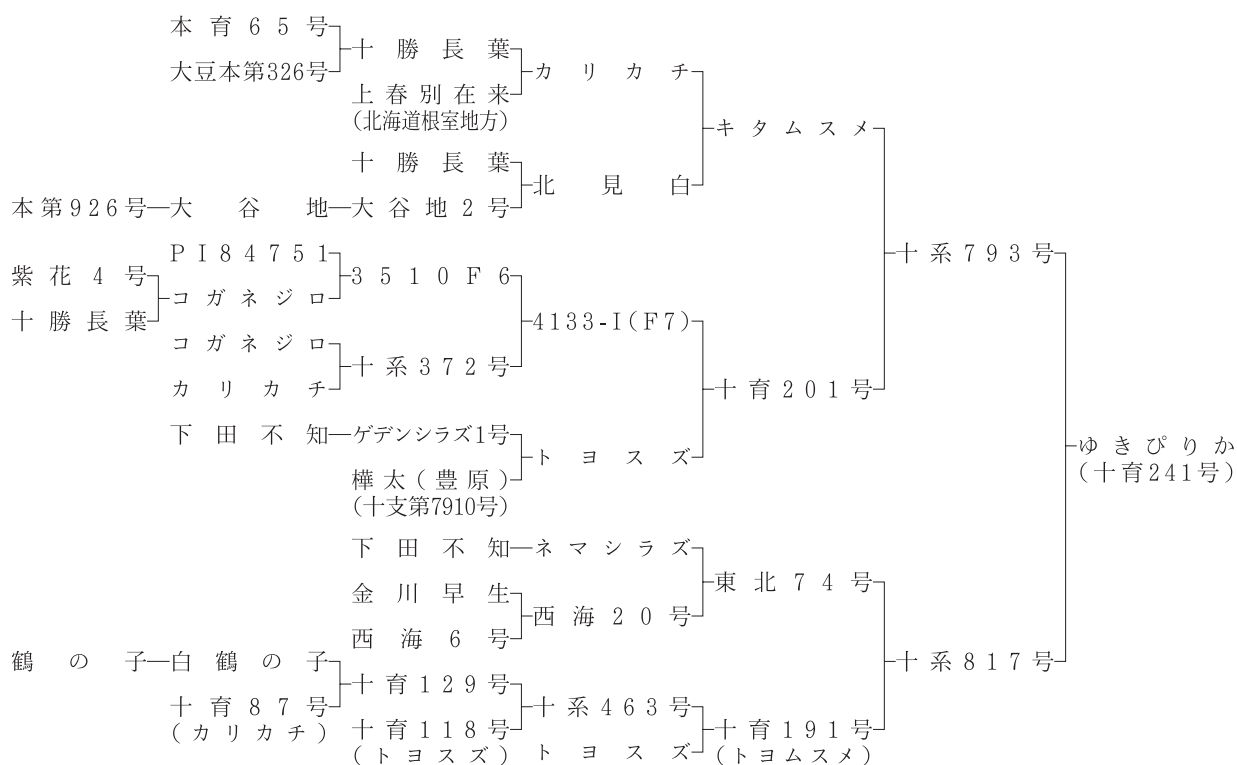
(2) ゆきぴりか (系統名 十育241号) 2006年

登録番号: (北海道) 大豆北海道第41号
(農水省) だいで農林133号
(種苗法) 第19475号

セールスポイント

大豆イソフラボン含量が一般品種の1.5倍程度高く、低温抵抗性、へそおよびへそ周辺着色抵抗性およびダイズシストセンチュウ抵抗性を有する白目中粒品種である。

来歴 本品種は、ダイズシストセンチュウ抵抗性で高蛋白含量の白目品種育成を目標に、1993年に北海道立十勝農業試験場において「十系793号」を母、「十系817号」を父として人工交配を行い、以後選抜と固定を図り、その後代から育成したもので、2000年から「十系920号」、2003年からは「十育241号」の系統名で各種試験を行い、2006年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要

1. 主茎長、主茎節数および分枝数はそれぞれ「トヨコマチ」の短、少および中に対して中、少および中である。伸育型は有限であり、熟莢色は淡褐を呈する。
2. 胚軸の色と花色は紫、小葉の形は卵形で、毛茸は色が白で、形は直、その多少は中程度である。
3. 粒の形は「トヨコマチ」の扁球に対して球であり、粒の大小は同品種と同じやや大である。また、粒の子葉色は黄、光沢は弱、へその色は黄、種皮の地色は黄白である。
4. 開花期および成熟期は、それぞれ「トヨコマチ」と

同じやや早であり、生態型は夏大豆型に属する。

5. 子実収量は「トヨコマチ」と同等で、倒伏抵抗性は同品種と同程度である。低温抵抗性（開花期/生育期）は「トヨコマチ」のやや強/やや強に対し、強/強である。
6. シストセンチュウ抵抗性は強、わい化病抵抗性は弱である。茎疫病抵抗性は強/強（レース群Ⅰ/Ⅱ）である。裂莢の難易は「トヨコマチ」と同様に易、最下着莢節位高は同品種と同様に高である。
7. 外観上の品質は「トヨコマチ」より優れ、裂皮粒の発生は同品種より多い易である。

8. 子実の粗蛋白および粗脂肪含有率は「トヨコマチ」同様にそれぞれ中および低である。遊離型全糖含有率は同品種よりやや低く、大豆イソフラボン含量は高い。煮豆、納豆、味噌および豆腐の加工適性は、いずれも「トヨコマチ」など白目中粒品種と同等である。

1. 主茎長が長く倒伏することがあり、密植しても増収効果が低いため標準密度で栽培すること、2. 「トヨコマチ」より裂莢しやすく収穫適期が短いため、茎水分低下後は速やかに収穫すること、3. 葉色が「トヨコマチ」より淡いが、品種の特性であるため慣行の肥培管理で良い、4. わい化病抵抗性は弱なので適切な防除に努めること、5. シストセンチュウ・レース1発生圃場への作付けは避けること、である。

栽培適地と奨励態度

道央、上川、網走、十勝に適する。栽培上の注意は、

試験地名	品 種 名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における		倒 伏 程 度	10a当り		百粒重 (g)	品 質 (等級)	総イソフラ ボン含量 (mg/100g)	試験年次
				主茎長 (cm)	莢 数 (莢)		子実重 (kg)	同左比 (%)				
十勝農試	ゆきぴりか	7.20	9.26	70	64.4	少	317	101	33.6	2中	534	2003～ 2005
	トヨコマチ	7.20	9.27	57	62.4	少	314	100	34.8	3中	340	
	ユキホマレ	7.20	9.26	53	66.0	無	312	99	35.1	2下	350	
北見農試	ゆきぴりか	7.20	9.28	80	74.0	少	376	98	33.2	2上	474	2003～ 2005
	トヨコマチ	7.18	9.25	63	69.3	少	382	100	35.8	2下	327	
	ユキホマレ	7.19	9.26	65	75.8	微	404	106	35.4	2中	—	
上川農試	ゆきぴりか	7.11	9.23	76	71.8	多	450	108	37.6	2中	615	2003～ 2005
	トヨコマチ	7.10	9.20	62	69.8	中	418	100	38.0	3上	388	
	ユキホマレ	7.10	9.20	62	78.1	中	451	108	38.0	2下	—	
中央農試	ゆきぴりか	7.16	9.20	66	64.0	少	336	94	34.8	2中	548	2003～ 2005
	トヨコマチ	7.15	9.19	59	65.2	少	359	100	36.9	2下	358	
	ユキホマレ	7.15	9.18	55	72.3	微	379	106	36.4	2上	—	

参照 1) 北海道農政部編, 平成18年普及奨励ならびに指導参考事項, 33-35 (2006)。

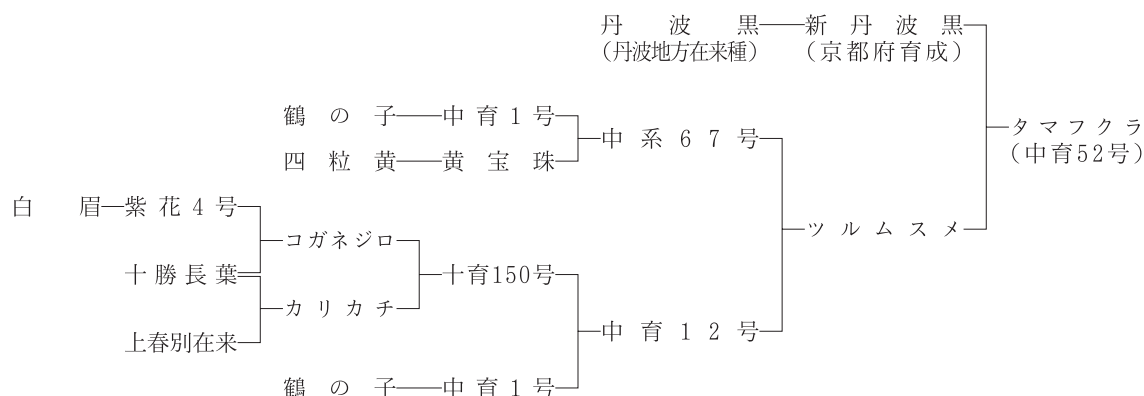
(3) タマフクラ (系統名 中育52号) 2007年
登録番号: (北海道) 大豆北海道第42号
(農水省) だいで農林136号
(種苗法) 第21235号

たなブランドを目指す。

セールスポイント

「タマフクラ」は、百粒重が60g以上と「ユウヅル」よりかなり重い白目極大粒品種である。道南地方において、これまでの道産大豆にない粒大の特徴を生かした新

来歴 本品種は、1993年に北海道立中央農業試験場において、極大粒、良質黒大豆「新丹波黒」(京都府にて在来種「丹波黒」より育成)を母として、わい化病抵抗性の白目極大粒品種「ツルムスメ」を父として人工交配を行い以降選抜、育成した。2002年から「中系385号」、2003年以降「中育52号」の系統名を付して各種試験を行い、2007年に優良品種となった。



特性概要

1. 伸育型は有限である。胚軸のアントシアニンの着色は無、花色は白である。毛茸は褐・直毛であり、その多少は中程度で、熟莢色の濃淡は淡である。
2. 茎の長さ、茎の節数および分枝の数はそれぞれやや長、やや少および中である。子実の大きさは「ユウヅル」の極大群の小に対し大であり、子実の形は球である。種皮の地色は黄白、臍の色は黄、子葉色は黄である。
3. 成熟期は「ユウヅル」と同じ晩である。倒伏抵抗性は同品種の中に対し強である。
4. 子実重は同品種並～やや劣るが、百粒重は60g以上と「ユウヅル」よりかなり重く、篩目9.7mm以上の収量が多い。
5. ダイズシストセンチュウ抵抗性、わい化病は、「ユ

ウヅル」同様弱である。

6. 粗蛋白含有率は「ユウヅル」と同程度の中、粗脂肪含有率は同品種の低より高い中である。全糖含有率は同品種よりやや低い。生豆の種皮色は「ユウヅル」よりやや暗いが、蒸煮豆の明るさは同程度であり、納豆、煮豆等の加工に適する。

栽培適地と奨励態度

渡島南部、檜山北部、檜山南部地域およびこれに準ずる地帯での栽培に適する。栽培上の注意は、ダイズシストセンチュウ抵抗性が弱なので、発生圃場への作付けは避ける、ダイズわい化病抵抗性が弱なので、適切な防除に努める、種子消毒その他の肥培管理及び収穫調整は従来極大粒品種に準じて行う、である。

試験場名	品系統名	成熟期(月日)	主茎長(cm)	倒伏程度	子実重(kg/10a)	同左比(%)	百粒重(g)	裂皮粒率(%)	品質	ふるい目9.5mm以上子実重(kg/a)	色調(L*)		煮豆の硬さ(g/cnf)	試験年次
											生豆	蒸煮豆		
中央農試(育成地)	タマフクラ	10/17	74	1.1	325	98	63.2	4.6	2下	21.8	68.2	51.6	731	2003～2006
	ユウヅル	10/15	83	2.5	332	100	41.6	27.2	3上	0.8	71.8	51.2	912	
道南農試(栽培適地)	タマフクラ	10/12	67	2.3	319	86	64.9	5.4	3下	30.4	69.4	50.9	777	2003～2006
	ユウヅル	10/7	70	2.6	364	100	42.8	24.3	3下	1.8	71.4	51.0	947	

注1) 道南農試の値は2005～2006年の2カ年平均。

注2) 色調のL*は大きい方が明るい。

注3) 裂皮粒率は幅1mm以上の粒数率。

参照 1) 北海道農政部編, 平成19年普及奨励ならびに指導参考事項, 35-38 (2007)。

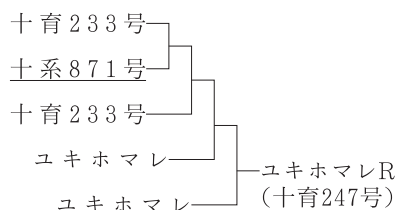
(4) ユキホマレR (系統名 十育247号) 2010年

登録番号: (北海道) 大豆北海道第43号
(農水省) だいで農林140号
(種苗法) 第21207号

セールスポイント

「ユキホマレ」にダイズシストセンチュウレース1抵抗性を戻し交配により導入した品種で、シストセンチュウ抵抗性以外の農業特性および加工適性は「ユキホマレ」と実質的に同等な白目中粒品種である。

来歴 本品種は、ダイズシストセンチュウレース1・3抵抗性の白目品種育成を目標に、1999年に北海道立十勝農業試験場において「十育233号」(後の「ユキホマレ」)を反復親, 「十系871号」を一回親としてDNAマーカー選抜を利用した戻し交配を行い、以後選抜と固定を図り、育成したもので、2006年から「十系1020号」、2007年からは「十育247号」の系統名で各種試験を行い、2010年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。



注1) 下線はダイズシストセンチュウレース1・3抵抗性を持つ

注2) 「十育233号」は後の「ユキホマレ」

特性概要

1. 主茎長、主茎節数および分枝数はそれぞれ「ユキホマレ」と同じ短、少および中である。伸育型は有限であり、熟莢色は淡褐を呈する。
2. 胚軸の色と花色は紫、小葉の形は卵形で、毛茸は色が白で、形は直、その多少は中程度である。
3. 粒の形および粒の大小は、それぞれ「ユキホマレ」と同じ球およびやや大である。粒の子葉色は黄、光沢は弱、へその色は黄、種皮の地色は黄白である。
4. 開花期および成熟期は、それぞれ「ユキホマレ」と同じやや早であり、生態型は夏大豆型に属する。
5. 子実収量は「ユキホマレ」と同等で、倒伏抵抗性は同品種と同じ強である。低温抵抗性（開花期／生育期）は「ユキホマレ」と同じやや強／強である。
6. シストセンチュウ抵抗性は「ユキホマレ」の強に対して極強、わい化病抵抗性は同品種と同じ弱である。茎疫病抵抗性は強／強（レース群Ⅰ／Ⅱ）である。裂莢の難易は「ユキホマレ」と同じ難、最下着莢節位高は同品種と同じ中である。

7. 外観上の品質は「ユキホマレ」と同等で、裂皮粒の発生は同品種並である。子実の粗蛋白および粗脂肪含有率は「ユキホマレ」同様にそれぞれ中および低である。遊離型全糖含有率は同品種と同等である。煮豆、納豆、味噌および豆腐の加工適性は、いずれも「ユキホマレ」と同等である。

栽培適地と奨励態度

道央、上川、網走、十勝のうち、「ユキホマレ」等のダイズシストセンチュウレース3抵抗性品種にセンチュウ被害が発生している地域に適する。栽培上の注意は、1. ダイズシストセンチュウレース1・3抵抗性を有するが、より病原性の強いレースの出現リスクを回避するため連作および短期輪作を避けること、2. ダイズシストセンチュウ発生地域への導入に際しては、優占レースを確認し、「スズヒメ」（レース1・3抵抗性の過去の優良品種）にシストの寄生する圃場への作付は避けること、3. その他栽培上の注意は「ユキホマレ」に準ずること、である。

試験地名	品 種 名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における		倒 伏 程 度	10a当り		百粒重 (g)	品 質 (等級)	試験年次
				主茎長 (cm)	莢 数 (莢)		子実重 (kg)	同左比 (%)			
十 勝 農 試	ユキホマレR	7.22	9.26	55	67.3	無	332	98	34.4	3上	2007～ 2009
	ユキホマレ	7.22	9.26	57	67.7	無	339	100	36.0	3上	
	トヨコマチ	7.21	9.26	64	63.1	微	338	101	36.9	合格	
北 見 農 試	ユキホマレR	7.23	9.29	58	67.4	微	347	98	32.9	3上	2007～ 2009
	ユキホマレ	7.23	9.29	63	70.5	微	354	100	34.9	3上	
	トヨコマチ	7.23	9.29	66	62.4	少	342	97	35.4	3中	
上 川 農 試	ユキホマレR	7.12	9.21	68	83.9	中	434	101	35.9	2上	2007～ 2009
	ユキホマレ	7.12	9.21	70	78.2	中	428	100	37.7	1	
	トヨコマチ	7.11	9.20	70	76.4	中	398	93	35.9	2中	
中 央 農 試	ユキホマレR	7.14	9.17	57	62.6	微	350	100	35.5	2中	2007～ 2009
	ユキホマレ	7.14	9.17	60	63.9	微	349	100	37.5	2上	
	トヨコマチ	7.15	9.17	63	62.0	中	344	99	36.3	2中	

参照 1) 北海道農政部編, 平成22年普及奨励ならびに指導参考事項, 35-38 (2010)。

- (5) ゆめのつる (系統名 中育60号) 2011年
登録番号: (北海道) 大豆北海道第44号
(農水省) だいで農林142号
(種苗法) 第22047号

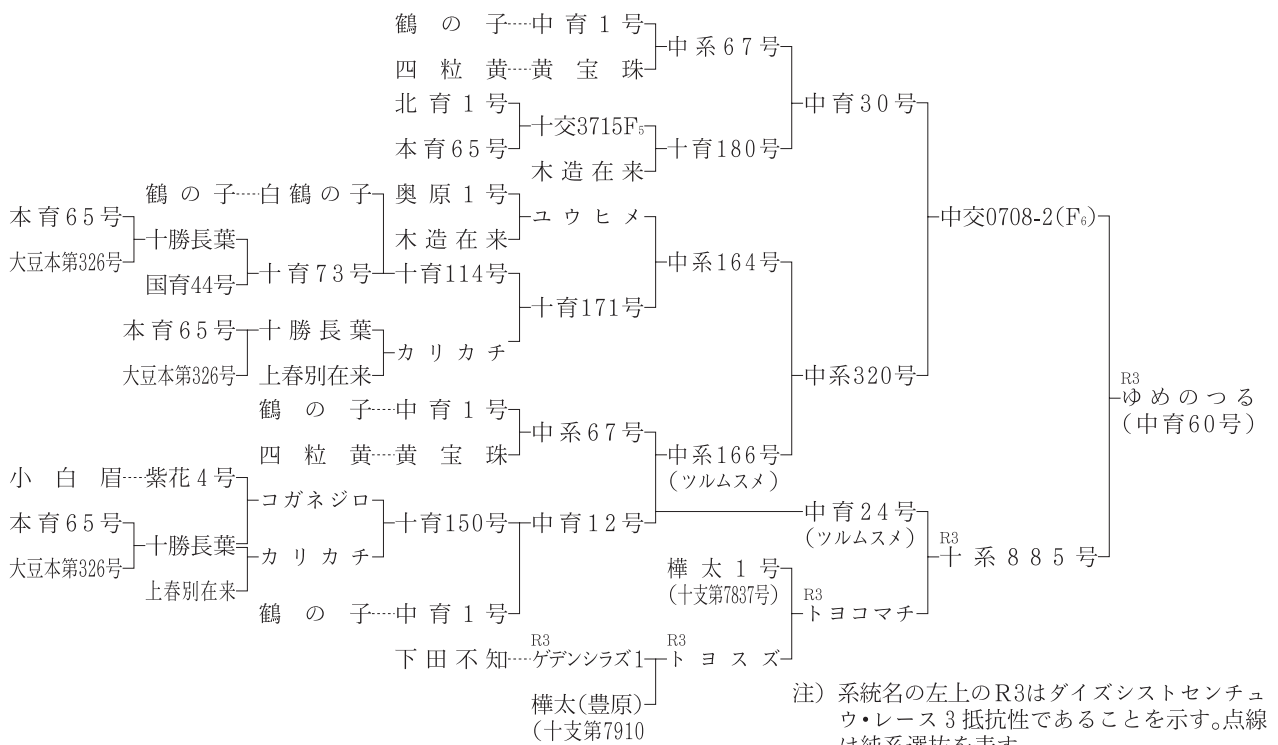
セールスポイント

「ユウヅル」に代わる道南地方向けの白目極大粒品種である。百粒重が「ユウヅル」並で、裂皮の発生が少なく外観品質が優れる。同品種より多収であり、ダイズシストセンチュウレース3抵抗性を有する。

来歴 本品種は、2001年に北海道立中央農業試験場において、極大粒・わい化病抵抗性・難裂皮性の「中交0708-2 (F6)」を母、大粒・ダイズシストセンチュウ抵抗性(レース3)・難裂皮性の「十系885号」を父とする交配を行い、その雑種後代から育成した品種である。2007年から「中系476号」、2008年からは「中育60号」の系統名で各種試験を行い、2011年に優良品種となった。

特性概要

1. 伸育型は有限である。胚軸のアントシアニンの着色



が無、花色は白である。毛茸は白・直毛であり、その多少は中程度である。熟莢の色は淡褐である。

- 主茎長、主茎節数および分枝数は各々「ユウヅル」の中、中および少に対して、中、少および中である。子実の大きさは極大群の小、形は球、種皮の地色は黄白、臍の色は黄でいずれも「ユウヅル」と同じである。
- 成熟期は「ユウヅル」と同じやや晩生である。道南農試では、成熟期が同品種より1～2日遅く、倒伏はやや少なく、多収である。
- 百粒重は「ユウヅル」並である。裂皮粒率が低く、外観品質に優れる。
- ダイズシストセンチュウ抵抗性は、「ユウヅル」の弱に対して、レース3に抵抗性の強である。ダイズわ

い化病抵抗性は「ユウヅル」の弱に対して中である。

- 粗蛋白含有率は「ユウヅル」と同じ中、粗脂肪含有率は同品種よりやや高い中である。全糖含有率は「ユウヅル」と同等である。加工適性は「ユウヅル」と同程度で、煮豆等の加工に適する。

栽培適地と奨励態度

渡島南部、檜山北部、檜山南部地域およびこれに準ずる地帯での栽培に適する。栽培上の注意は、ダイズシストセンチュウレース3抵抗性であるが、連作および短期輪作を避けるとともに、レース3抵抗性品種にシストが着生するような圃場では作付けを避けることである。

試験場名	品種名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			倒伏 程度	10a当り		百粒重 (g)	裂皮粒率 (%)	品質 (等級)	試験 年次
				主茎長 (cm)	分枝数 (本/株)	莢数 (莢/株)		子実重 (kg)	同左比 (%)				
中央農試 (育成地)	ゆめのつる	7/23	10/11	80	6.0	62	多	384	103	50.6	14.5	2下	2008～ 2010
	ユウヅル	7/25	10/14	86	4.5	57	甚	373	100	49.1	54.1	3下	
道南農試 (栽培適地)	ゆめのつる	7/23	10/3	82	5.6	69	少	371	109	50.4	24.1	3上	2008～ 2010
	ユウヅル	7/25	10/1	81	4.7	60	中	341	100	49.6	51.3	3中	

- 参照 1) 北海道農政部編, 平成23年普及奨励ならびに指導参考事項, 1-4 (2011).
2) 大西志全 等, 北海道立総合研究機構農試集報, 97, 1-14 (2013).

- (6) つぶらくろ (系統名 中育63号) 2012年
登録番号: (北海道) 大豆北海道第46号
(農水省) だいで農林143号
(種苗法) 第27097号

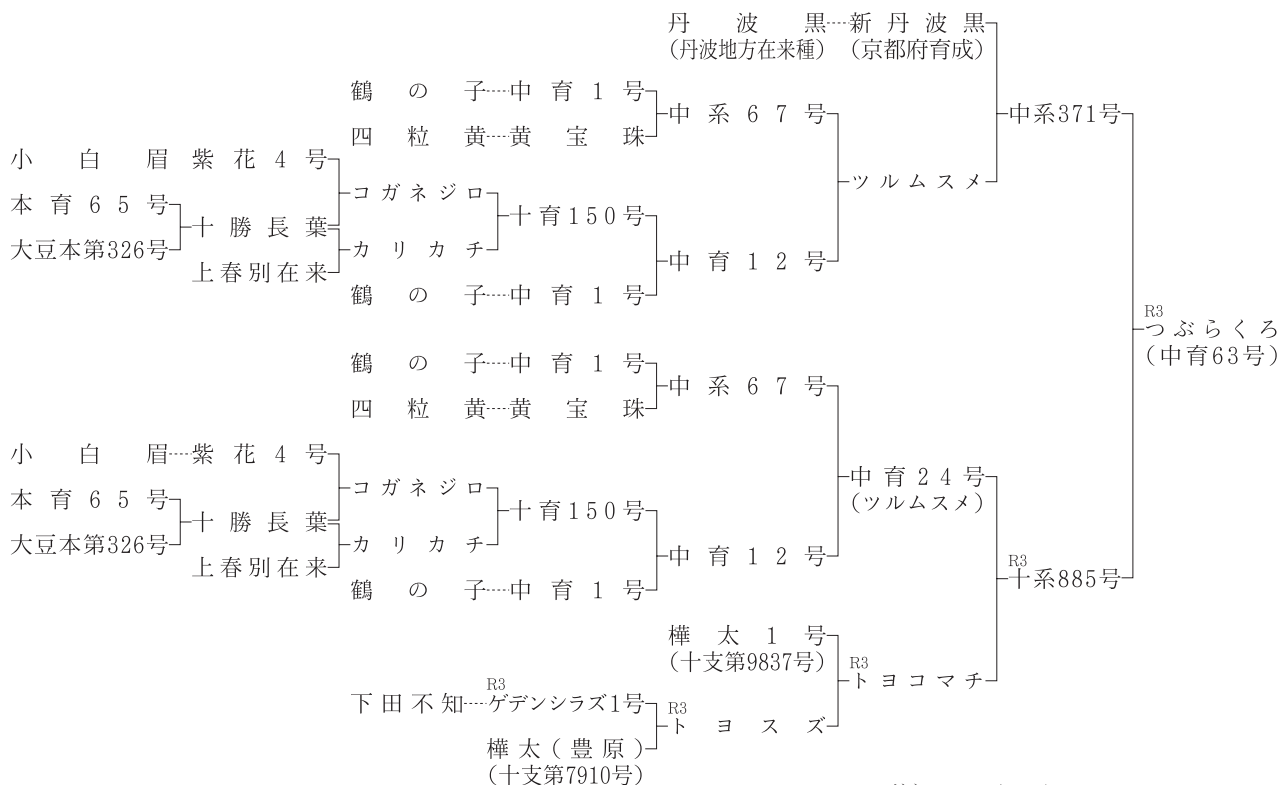
セールスポイント

道南地方の「晩生光黒」「いわいくろ」に代わる極大粒黒大豆品種である。黒大豆として初めてのダイズシストセンチュウレース3抵抗性を有する。両品種より多収で、百粒重は「いわいくろ」より重く、外観品質は同等

である。

来歴 本品種は、2001年に北海道立中央農業試験場において、「新丹波黒」×「ツルムスメ」の組合せより育成した極大粒黒大豆系統「中系371号」を母、ダイズシス

トセンチウ抵抗性で難裂皮性の白目大粒系統「十系885号」を父として人工交配を行い、その雑種後代から育成した。2006年から「中系463号」、2009年以降「中育63号」の系統名を付して各種試験を行い、2012年に優良品種となった。



注) R3:ダイズシストセンチウ・レース3抵抗性を示す。

特性概要

1. 伸育型は有限である。胚軸のアントシアニンの着色は無、花色は白である。毛茸は褐・直毛であり、その多少は中程度で、熟莢色の濃淡は中である。
2. 茎の長さ、茎の節数および分枝の数はそれぞれ長、中および中である。子実の大きさは極大群の小、子実の形は「晩生光黒」の球に対し、「いわいくろ」と同じ偏球である。種皮の地色、臍の色は黒、子葉色は黄である。粒の光沢は「晩生光黒」の強に対し「いわいくろ」と同じ中であり、種皮がやや蠟質である。
3. 成熟期は「いわいくろ」の中、「晩生光黒」の極晩に対し晩である。倒伏は少なく、多収である。
4. 百粒重は「いわいくろ」より重く、外観品質は同等である。

5. ダイズシストセンチウ抵抗性は、「いわいくろ」、「晩生光黒」の弱に対して、レース3に抵抗性の強である。
6. 粗蛋白含有率は「いわいくろ」よりやや高いやや低で、粗脂肪含有率は同品種と同じ中である。全糖含有率は同品種よりやや低い。煮豆加工適性は「いわいくろ」「晩生光黒」と同等に適する。

栽培適地と奨励態度

渡島南部、檜山北部、檜山南部地域およびこれに準ずる地帯での栽培に適する。栽培上の注意は、ダイズシストセンチウレース3抵抗性であるが、連作および短期輪作を避けるとともに、レース3抵抗性品種にシストが着生するような圃場では作付けを避けることである。

試験地名	品 種 名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における		倒 伏 程 度	10a当り		百粒重 (g)	品 質 (等級)	ダイズシスト センチウ 抵抗性	試験年次
				主茎長 (cm)	分枝数 (本)		子実重 (kg)	同左比 (%)				
中央農試 (育成地)	つぶらくろ	7/20	10/8	74	5.2	少	345	102	56.4	3上	強	2009~ 2011
	いわいくろ	7/19	9/30	61	4.6	中	337	100	50.5	3中	弱	

試験地名	品 種 名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における		倒 伏 程 度	10a当り		百粒重 (g)	品 質 (等級)	ダイズシスト センチュウ 抵抗性	試験年次
				主茎長 (cm)	分枝数 (本)		子実重 (kg)	同左比 (%)				
道南農試 (栽培適地)	つぶらくろ	7/22	9/29	81	6.0	中	392	107	56.1	3上	強	2009～ 2011
	いわいくろ	7/21	9/25	66	4.5	中	367	100	51.5	3上	弱	
	晩生光黒	7/28	10/5	90	4.7	甚	308	84	55.4	3中	弱	

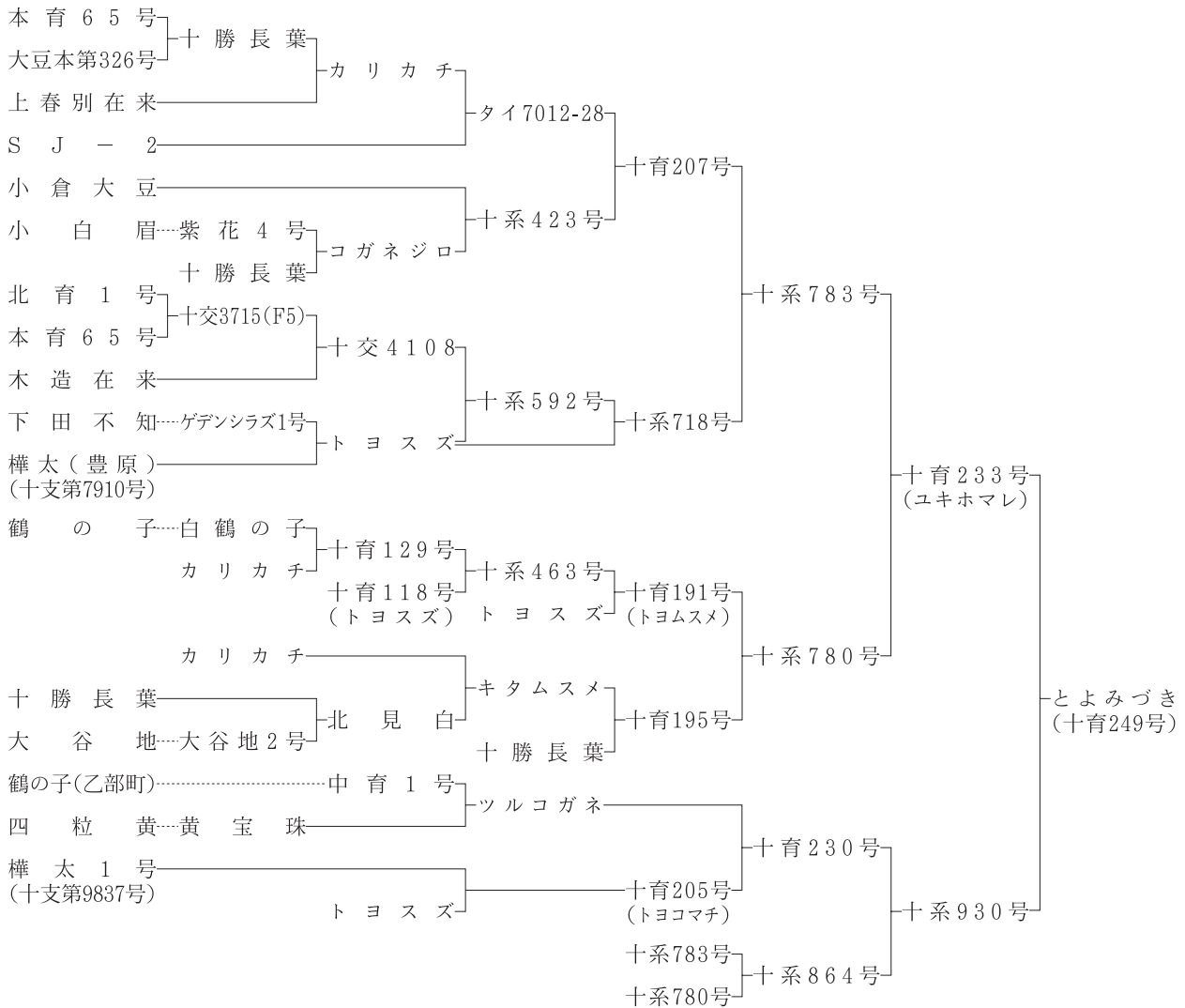
参照 1) 北海道農政部編, 平成24年普及奨励ならびに指導参考事項, 9-12 (2012)。

- (7) とよみづき (系統名 十育249号) 2012年
 登録番号: (北海道) 大豆北海道第45号
 (農水省) だいで農林144号
 (種苗法) 出願番号 第27001号

来歴 本品種は, ダイズシストセンチュウレース3抵抗性でダイズわい化病抵抗性の白目品種育成を目標に、2001年に北海道立十勝農業試験場において「十育233号」(後の「ユキホマレ」)を母, 「十系930号」を父とした交配を行い, 以後選抜と固定を図り, その後代から育成したもので, 2007年から「十系1037号」, 2009年からは「十育249号」の系統名で各種試験を行い, 2012年に優良品種となった。なお, 本品種の系譜は次のとおりである。

セールスポイント

豆腐破断応力が高く豆腐加工適性に優れ, 開花後の低温による裂開粒の発生が少なく, 低温抵抗性, へそ周辺着色抵抗性およびダイズシストセンチュウ抵抗性を有するやや早の白目中粒品種である。



特性概要

1. 主茎長, 主茎節数および分枝数はそれぞれ「ユキホ

マレ」と同じ短, 少および中である。伸育型は有限であり, 熟莢色は淡褐を呈する。

2. 胚軸の色と花色は紫，小葉の形は卵形で，毛茸は色が白で，形は直，その多少は中程度である。
3. 粒の形および粒の大小は，それぞれ「ユキホマレ」と同じ球およびやや大である。粒の子葉色は黄，光沢は弱，へその色は黄，種皮の地色は黄白である。
4. 開花期および成熟期は，それぞれ「ユキホマレ」と同じやや早であり，生態型は夏大豆型に属する。
5. 子実収量は「ユキホマレ」と同等で，倒伏抵抗性は同品種と同じ強であるが，密植により倒伏が多発することがある。低温抵抗性（開花期／生育期）は「ユキホマレ」のやや強／強に対し強／強で，開花後の低温による裂開粒の発生は少ない。
6. シストセンチュウ抵抗性は「ユキホマレ」と同じ強，わい化病抵抗性は同品種の弱に対しやや強である。茎疫病圃場抵抗性および耐湿性はそれぞれ，「ユキホマレ」と同じ強および中である。裂莢の難易は「ユキホ

- マレ」と同じ難，最下着莢節位高は同品種と同じ中である。
7. 外観上の品質は「ユキホマレ」と同等である。子実の粗蛋白含有率は「ユキホマレ」より高く，粗脂肪含有率は同品種並である。豆腐破断応力は「ユキホマレ」より高く，豆腐加工適性に優れる。煮豆，納豆および味噌の加工適性は，いずれも「ユキホマレ」と同等である。

栽培適地と奨励態度

- 道央，上川，網走，十勝に適する。栽培上の注意は，
1. 「ユキホマレ」に倒伏が発生する圃場では，栽植密度を同品種以下にすること，
 2. ダイズシストセンチュウレース3抵抗性であるが，連作および短期輪作を避けるとともに，レース3抵抗性品種にシストが着生する圃場では作付を避けること，である。

試験地名	品 種 名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における		倒 伏 程 度	10a当り		百粒重 (g)	品 質 (等級)	豆腐破 断応力 (g/cm ²)	試験年次
				主茎長 (cm)	莢 数 (莢)		子実重 (kg)	同左比 (%)				
十勝農試	とよみづき	7.17	9.22	69	69.9	微	364	105	38.6	2中	92	2009～ 2011
	ユキホマレ	7.17	9.20	64	65.7	微	347	100	36.1	2下	73	
	トヨコマチ	7.17	9.26	72	65.8	少	378	109	38.7	3上	93	
北見農試	とよみづき	7.19	9.23	63	74.6	微	363	101	34.6	2中	81	2009～ 2011
	ユキホマレ	7.19	9.23	59	73.3	微	360	100	35.2	2中	67	
	トヨコマチ	7.20	9.26	66	65.1	少	356	98	36.2	2中	86	
上川農試	とよみづき	7.11	9.15	81	77.6	多	369	97	34.6	2下	80	2009～ 2011
	ユキホマレ	7.11	9.15	73	72.6	多	380	100	35.0	2中	62	
	トヨコマチ	7.11	9.20	79	73.1	甚	372	98	34.8	3中	75	
中央農試	とよみづき	7.13	9.18	56	64.2	微	324	98	37.6	2下	91	2009～ 2011
	ユキホマレ	7.13	9.17	55	62.9	少	329	100	35.6	2下	67	
	トヨコマチ	7.14	9.20	62	63.7	中	349	106	36.3	3上	84	

参照 1) 北海道農政部編，平成24年普及奨励ならびに指導参考事項，13-16 (2012)。

4. 小豆

- (1) **きたろまん** (系統名 十育147号) 2005年
登録番号：(北海道) 小豆北海道第23号
(農水省) あずき農林16号
(種苗法) 第16296号

セールスポイント

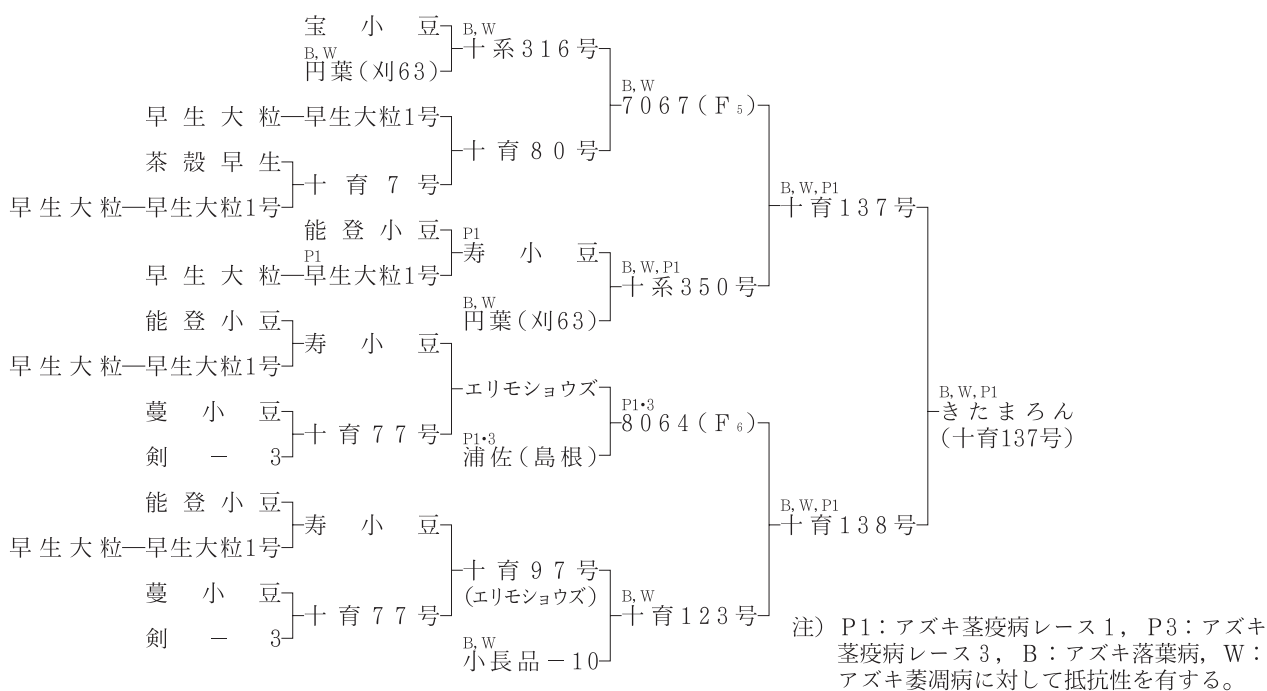
開花着莢期の耐冷性に優れ落葉病，茎疫病レース1及び萎凋病に抵抗性を有するやや早生の普通小豆品種である。

来歴 本品種は，成熟期が早く，良質，多収，落葉病・茎疫病・萎凋病抵抗性品種の育成を目標に，1995年北海

道立十勝農業試験場において「十育137号」を母，「十育138号」を父として人工交配を行い，以後選抜と固定を図り育成した。2000年より「十系782号」，2001年からは「十育147号」の系統名で各種試験を行い，2005年に優良品種となった。なお，本品種の系譜は次のとおりである。

特性概要

1. 主茎長は短の長で「きたのおとめ」より短く，主莢節数はやや少ない。分枝数は同等である。
2. 小葉の形は「きたのおとめ」と同じ円葉である。
3. 子実の形は円筒，大きさは中の大に属し，百粒重は



「きたのおとめ」, 「エリモショウズ」より重い。種皮色は「サホロショウズ」の赤に対して、「きたのおとめ」と同じ淡赤である。

4. 開花期は「きたのおとめ」と同等, 成熟期は「きたのおとめ」より早く, 「サホロショウズ」より遅い。
5. 開花着莢期の耐冷性は「エリモショウズ」と比べてやや強く, 耐倒伏性は「きたのおとめ」より強い。落葉病, 茎疫病レース1, 萎凋病に対して抵抗性を有する。
6. 子実収量は「きたのおとめ」とほぼ同じである。

栽培適地と奨励態度

道東の早生種栽培地帯及び早生・中生種栽培地帯, 及びこれに準ずる地帯に適する。

栽培にあたっては, ①落葉病・茎疫病レース1・萎凋病に抵抗性を持つが, 栽培に当たっては適正な輪作を守る, ②茎疫病発生圃場では, 優占するレースにより多発する可能性がある, ③開花前の低温により短茎化した場合, 機械収穫を行うと収穫損失が多くなる可能性がある, ④早生であるが, 夏期温暖な条件下では中生品種より成熟期が遅くなる場合がある。

試験場名	品 種 名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	倒 伏 程 度	成熟期の		10a当り		百粒重 (g)	品 質 (等級)	試験年次
					主莖長 (cm)	主莖節数 (節)	子実重 (kg)	同左比 (%)			
十勝農試	きたろまん	7.27	9.22	1.4	57	12.2	367	100	16.7	3下	2001~2004
	きたのおとめ	7.28	9.28	3.3	70	13.0	367	100	15.5	3下	
	エリモショウズ	7.28	9.27	3.3	71	13.2	371	101	15.5	3下	
	サホロショウズ	7.26	9.20	2.0	62	11.7	331	90	15.9	3下	
北見農試	きたろまん	7.28	9.26	1.8	56	11.3	381	100	18.2	3下	2001~2004
	きたのおとめ	7.29	10.03	2.9	62	12.5	380	100	16.2	4中	
	エリモショウズ	7.29	10.01	2.6	63	13.1	391	103	16.7	4中	
	サホロショウズ	7.26	9.23	1.5	52	10.7	341	90	17.3	4中	

注1) 播種期は, 十勝農試: 5月24日, 北見農試: 5月22日。
 2) 栽植密度: 畦幅60cm, 株間20cm, 2本立。
 3) 倒伏程度: 0(無), 0.5(微), 1(少), 2(中), 3(多), 4(甚)。

参照 1) 北海道農政部編, 平成17年普及奨励ならびに指導参考事項, 7-9 (2005)
 2) 青山聡 等, 北海道立農試集報, 94, 1-16 (2009)

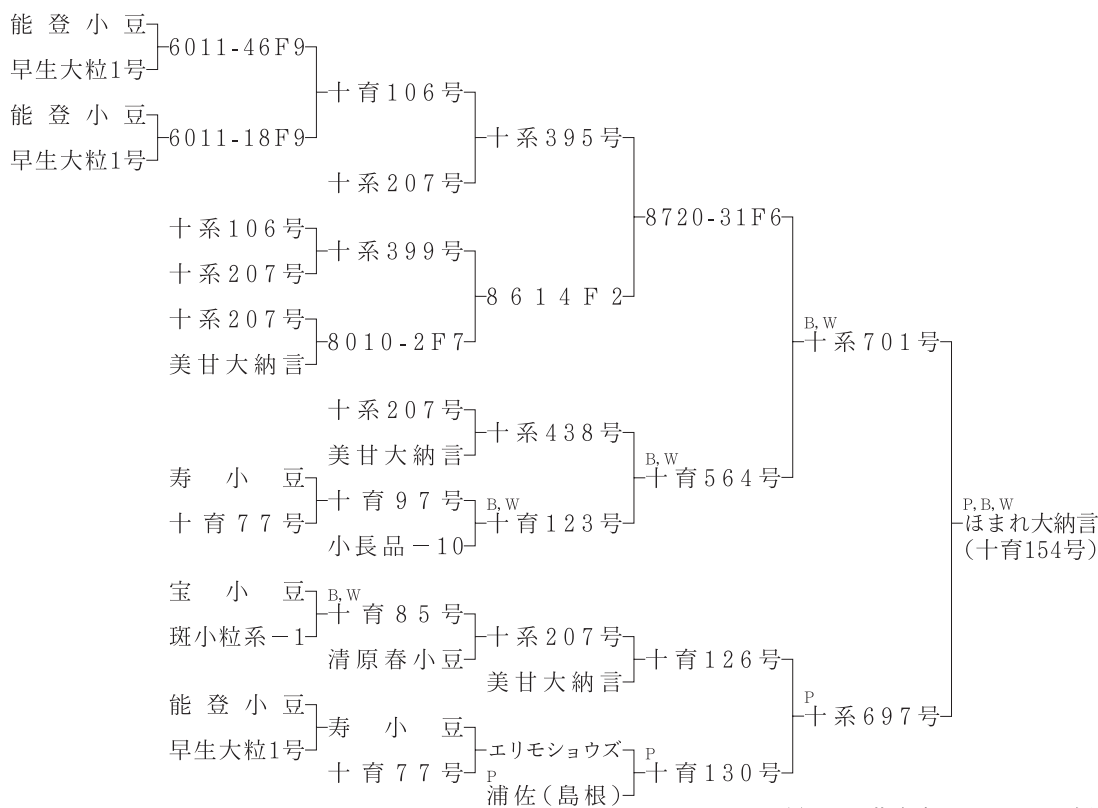
- (2) ほまれ大納言 (系統名 十育154号) 2008年
 登録番号: (北海道) 小豆北海道第24号
 (農水省) あずき農林第17号
 (種苗法) 第19421号

セールスポイント

大粒で大納言規格歩留まりが高く, 落葉病, 茎疫病 (レース1, 3), 萎凋病抵抗性を有し, 加工適性が高く特に風味が優れる大納言小豆品種である。

来歴 本品種は、極大粒、落葉病・茎疫病（レース1，3）・萎凋病抵抗性、道央以南向け大納言小豆品種の育成を目標とし、1997年に北海道立十勝農業試験場において「十系701号」を母，「十系697号」を父として人工交

配を行い、以後選抜と固定を図り育成した。2003年に「十系887号」，2004年からは「十育154号」の系統名で各種試験を行い、2008年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。



注) P：茎疫病レース1・3抵抗性，B：落葉病抵抗性，W：萎凋病抵抗性を有する。

特性概要

1. 主茎長は中の短，主茎節数は中，分枝数は中で、「アカネダイナゴン」と同じである。
2. 小葉の形は円葉である。毛茸の多少と形は少と鈍，花色は黄である。
3. 子実の形は「アカネダイナゴン」の烏帽子に対して「ほくと大納言」と同じ円筒，大きさは大に属し，百粒重は「アカネダイナゴン」より重く，「ほくと大納言」より軽い。種皮色は「アカネダイナゴン」の濃赤，「ほくと大納言」の淡赤に対して赤である。
4. 開花期は中，成熟期は中の晩とともに「アカネダイナゴン」「ほくと大納言」と同じである。

5. 耐倒伏性と低温抵抗性は中，落葉病抵抗性と萎凋病抵抗性は強，茎疫病抵抗性はかなり強である。
6. 子実収量は「アカネダイナゴン」より少ないが，大納言規格内歩留まりは高い。
7. 外観品質は「アカネダイナゴン」「とよみ大納言」と同等で，雨害による濃赤粒の発生が少ない。

栽培適地と奨励態度

道北，道央，道南の大納言小豆品種栽培地帯に適する。栽培上の注意としては，落葉病，茎疫病（レース1，3），萎凋病に抵抗性を持つが，栽培に当たっては適正な輪作を守る。

試験場名	品 種 名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	倒 伏 程 度	成熟期の		10a当り		大納言小 豆規格率 (%)	百粒重 (g)	品 質 (等級)	試験年次
					主茎長 (cm)	主茎節数 (節)	子実重 (kg)	同左比 (%)				
十勝農試	ほまれ大納言	7.30	9.24	4.0	94	15.2	324	91	98	20.8	3下	2004~ 2007
	アカネダイナゴン	7.28	9.23	4.0	89	14.8	357	100	92	18.2	3下	
	ほくと大納言	7.30	9.21	3.7	89	12.8	338	95	99	22.7	3下	
上川農試	ほまれ大納言	7.22	9.05	2.6	73	14.4	270	93	88	17.1	4上	2004~ 2007
	アカネダイナゴン	7.21	9.05	2.5	70	14.1	291	100	64	15.2	4中	

試験場名	品 種 名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	倒 伏 程 度	成熟期の		10a当り		大納言小 豆規格率 (%)	百粒重 (g)	品 質 (等級)	試験年次
					主茎長 (cm)	主茎節数 (節)	子実重 (kg)	同左比 (%)				
中央農試	ほまれ大納言	7.26	9.8	2.0	67	14.1	270	89	91	17.7	3下	2004～ 2007
	アカネダイナゴン	7.26	9.9	2.1	65	13.8	304	100	79	15.9	等外	
	ほくと大納言	7.27	9.8	1.3	58	11.7	268	88	98	18.9	4上	
	とよみ大納言	7.26	9.6	1.0	52	10.8	301	99	99	21.3	3下	
道南農試	ほまれ大納言	7.30	9.14	1.3	61	14.7	289	94	93	18.9	3中	2004～ 2007
	アカネダイナゴン	7.30	9.16	2.2	62	14.4	308	100	83	17.0	3下	
	ほくと大納言	7.30	9.13	1.8	59	12.0	269	87	97	20.7	3下	
	とよみ大納言	7.30	9.12	1.7	53	10.4	294	95	100	22.8	3上	

注1) 栽植密度：畦幅60cm，株間20cm，2本立。
 2) 播種期は，十勝農試：5月24日，上川農試：5月24日，中央農試：5月26日，道南農試：5月27日。
 3) 倒伏程度：0(無)，0.5(微)，1(少)，2(中)，3(多)，4(甚)。

参照 北海道農政部編，平成20年普及奨励ならびに指導参考事項，5-8 (2008)。

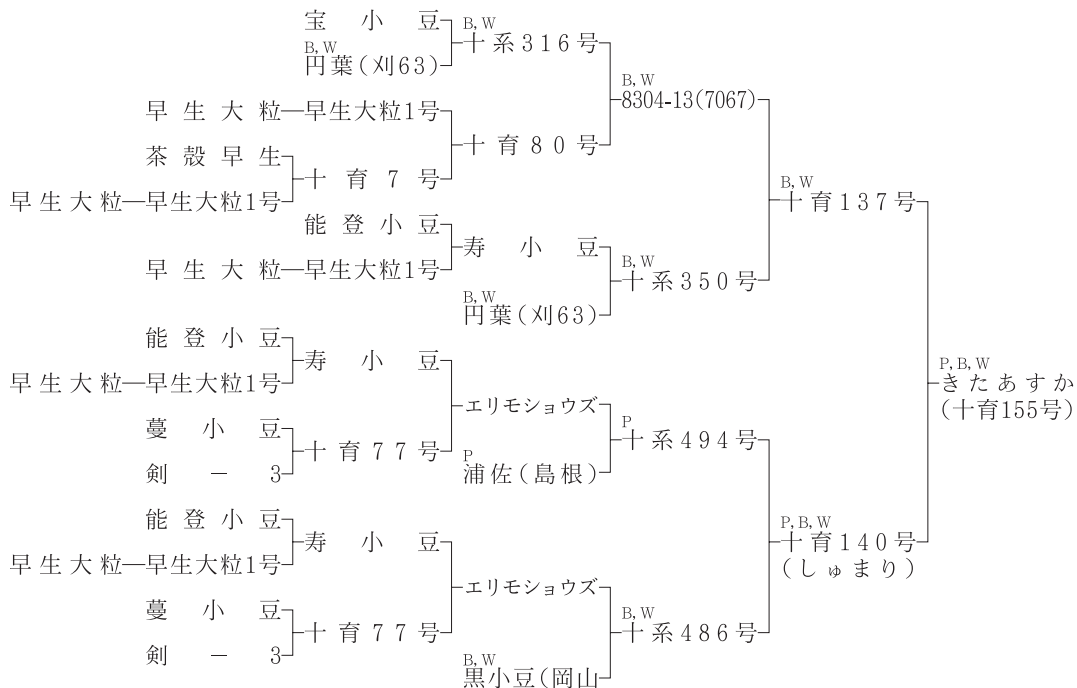
(3) **きたあすか** (系統名 十育155号) 2010年
 登録番号：(北海道) 小豆北海道第25号
 (農水省) あずき農林18号
 (種苗法) 第21548号

来歴

本品種は，道央以南向けの耐病性中晩生普通小豆品種の育成を目標に，1998年北海道立十勝農業試験場において「十育137号」を母，「十育140号」を父に人工交配し，以降選抜・固定をおこなって育成した。F5世代では，北海道立中央農業試験場において道央以南向けの選抜をおこなった。2003年には「十系881号」，2006年から「十育155号」の系統名で各種試験を行ない，2010年に優良品種になった。なお，本品種の系譜は次のとおりである。

セールスポイント

「エリモショウズ」に比べて多収で，粒大が大きく，流通上の普通小豆規格内歩留まりが高く，粒色はやや淡い道央以南向けの普通小豆である。アズキ落葉病 (レース1)，アズキ茎疫病 (レース1，3)，アズキ萎凋病に対して抵抗性を持つ。



注) 1. 浦佐(島根)：昭和36年島根県農試より導入した極晩生在来種。茎疫病抵抗性を有する。
 黒小豆(岡山)：昭和48年岡山県農試より導入した極晩生、種皮色灰白斑在来種。落葉病、萎凋病抵抗性を有する。
 2. 図内の太字アルファベットは耐病性の由来を示す。P：アズキ茎疫病 (Phytophthora stem rot) 抵抗性、B：アズキ落葉病 (Brown stem rot) 抵抗性、W：アズキ萎凋病 (Wilt) 抵抗性

特性概要

1. 主茎長は「エリモショウズ」より長いが、主茎節数は同程度で、上位節間が伸長する。分枝数は同程度。
2. 小葉の形は下位葉，上位葉とも円葉，熟莢色は褐，莢の長さは中，莢の幅は「エリモショウズ」より広い。
3. 「エリモショウズ」と比較して，開花期は同等からわずかに遅い。成熟期はやや遅い。
4. 莢数は「エリモショウズ」に比べやや少なく，一莢内胚珠数，一莢内粒数は同等，百粒重は重い。子実の形は「エリモショウズ」と比較するとやや短い。子実収量は多い。
5. 落葉病抵抗性，萎凋病抵抗性は強，茎疫病抵抗性はかなり強，低温抵抗性は「エリモショウズ」の中に対し，やや弱である。倒伏抵抗性は「エリモショウズ」のやや強に対し，中である。
6. 種皮の地色は「エリモショウズ」に比べ淡く，アン

の色調も「エリモショウズ」より明るい。外観品質は，十勝農試では「エリモショウズ」に劣るが，普及地帯では同品種と同等から優る。

7. 種皮歩合は「エリモショウズ」の中に対して低であり，アン粒子径は「エリモショウズ」に比べやや大きい。
8. 加工製品の試作試験では，同産地の「エリモショウズ」と比較して同等からやや優る評価が多い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は，道央・道南における早・中生種栽培地帯，中生種栽培地帯，中・晩生種栽培地帯およびこれに準ずる地帯である。

栽培にあたっては，落葉病・茎疫病（レース1，3）・萎凋病に抵抗性を持つが，適正な輪作体系を守る必要がある。

試験地名	品 種 名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	成熟期における			倒 伏 程 度	10a当り		百粒重 (g)	品 質 (等級)	試験年次
				主茎長 (cm)	分枝数 (本/株)	莢 数 (莢/株)		子実重 (kg)	同左比 (%)			
十勝農試	きたあすか	7.31	9.27	96	3.9	48	3.0	427	110	18.8	4上	2006～ 2009
	エリモショウズ	7.30	9.24	73	3.5	57	2.1	389	100	14.6	3中	
	しゅまり	7.30	9.23	77	4.1	50	1.5	366	94	15.0	3下	
中央農試	きたあすか	7.27	9.7	72	4.0	45	1.7	319	109	15.9	2下	2006～ 2009
	エリモショウズ	7.26	9.8	64	4.4	47	2.4	293	100	13.3	3中	
	しゅまり	7.27	9.7	66	4.7	46	1.9	273	93	12.7	3中	
上川農試	きたあすか	7.23	9.6	83	3.6	47	2.2	351	108	15.1	3上	2006～ 2009
	エリモショウズ	7.23	9.6	62	4.3	53	2.1	326	100	12.3	3上	
	しゅまり	7.23	9.7	66	4.8	50	2.0	327	100	11.8	3上	
道南農試	きたあすか	7.30	9.10	57	2.4	43	0.7	331	107	16.3	3中	2006～ 2009
	エリモショウズ	7.29	9.10	50	3.1	50	0.4	308	100	13.1	2下	
	しゅまり	7.29	9.9	54	3.4	46	0.4	294	95	12.5	3上	

注1) 播種期は，十勝農試：5月24日，中央農試：5月26日，上川農試：5月25日，道南農試：5月29日。

2) 栽植密度：畦幅60cm，株間20cm，2本立。

3) 倒伏程度：0(無)，0.5(微)，1(少)，2(中)，3(多)，4(甚)

参照 1) 北海道農政部編，平成22年普及奨励ならびに指導参考事項，1-4 (2010)

5. 菜豆

- (1) **福寿金時** (系統名 十育B78号) 2010年
登録番号：(北海道) 菜豆北海道第30号
(種苗法) 第21798号

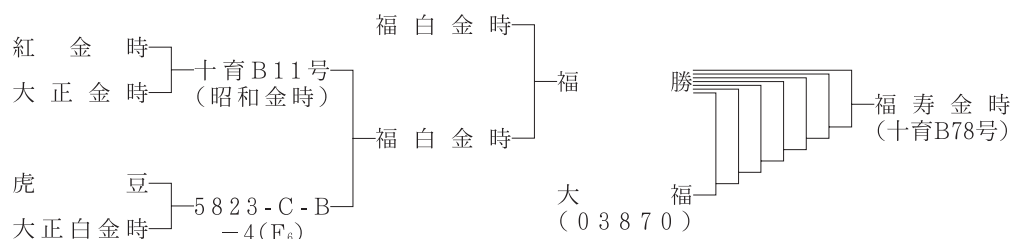
セールスポイント

インゲンマメ黄化病抵抗性“極強”であり，本病に対する薬剤防除は不要である。成熟期，収量性および粒大等は，金時類品種「福勝」とほぼ同等であり，加工適性も同程度に優れる。

来歴 本品種は，インゲンマメ黄化病（以後，“黄化病”と略す）に抵抗性を持ち，多収，大粒で良質の金時類品種育成を目標に，2001年に北海道立十勝農業試験場において，多収，大粒で良質の金時類品種「福勝」を反復親，黄化病抵抗性遺伝子 (*Sdvy-1*) を有する「大福」を1回親として，DNAマーカー選抜による連続6回の戻し交配を行い，選抜，固定を図り育成した品種である。なお，DNAマーカー選抜は，北海道立中央農業試験場（以後「中央農試」と略す）で行った。2006年から「十

系B392号], 2007年からは「十育B78号」の系統名で各種試験を行い, 2010年に優良品種となった。なお, 本品

種の系譜は次のとおりである。



注1) 十育番号についたアルファベット“B”は金時類であることを示す。
注2) 大福(03870):()内は中央農試遺伝資源部の登録番号。

特性概要

1. 伸育性と草型は“有限わい性”である。草丈は「福勝」と同等で, 「大正金時」よりやや高いが, 両品種と同じ“中”に属する。
2. 胚軸の色は“淡赤紫”で, 花色は“淡赤紫”, 若莢の地色は“緑”, 若莢の斑紋の色および若莢の斑紋の種類はいずれも“なし”で, 両品種と同じである。
3. 子実の形は“楕円体”で, 大きさは, 「大正金時」の“やや大”に対し, 「福勝」と同様“大”に属するが, わずかに大きい。種皮の地色は両品種よりやや淡い色調であるが同じ“赤紫”で, 種皮の斑紋の種類および種皮の環色はいずれも“なし”である。
4. 開花期は両品種と同じ“早”で, 成熟期は「大正金時」の“かなり早”に対し, 「福勝」と同じ“早”である。
5. 子実収量は「大正金時」の“やや少”に対し, 「福勝」と同じ“中”である。耐倒伏性は両品種と同じ“中”で, 成熟期における葉落ち良否は「大正金時」の“やや不良”に対し, 「福勝」と同じ“やや良”で

ある。

6. 黄化病抵抗性は, 「福勝」「大正金時」の“弱”に対し, 全く罹病しない“極強”である。炭そ病抵抗性は Race38に対し“有”, Race81に対し“有”, Race7に対し“無”で, いずれも「福勝」「大正金時」と同様である。
7. 子実の外観品質は, 「福勝」「大正金時」と同等である。煮豆の色は, 「福勝」よりやや薄い色調である。煮豆・甘納豆加工適性は, 「福勝」と同程度に優れる。

栽培適地と奨励態度

全道のいんげんまめ作付け地帯で「福勝」に置き換えて栽培する。栽培上の注意は, 次のとおりである。①「福勝」と同様に大粒であるので, 収穫・乾燥条件に留意し, 損傷粒の発生を防ぐ。②極端な多肥または疎植栽培は, 「福勝」と同様に茎折れの発生が多くなるのが懸念されるため, 避ける。③黄化病に対する防除は不要であるが, その他の病害には従来の品種と同様に罹病するため, 適切な防除に努める。

試験場名	品 種 名	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	倒 伏 程 度	葉 落 良 否	草 丈 (cm)	莢 数 (/株)	10 a 当り		百粒重 (g)	品 質 (等級)	試験年次
								子実重 (kg)	同左比 (%)			
十勝農試	福寿金時	7.13	9.10	0.5	2.2	56	16.5	331	103	91.0	2下	2007~2009
	福 勝	7.14	9.10	0.6	1.9	55	16.5	322	100	88.8	2下	
	大正金時	7.12	9.6	0.7	2.4	53	17.2	305	95	73.5	2下	
北見農試	福寿金時	7.13	9.15	1.4	3.8	52	17.3	359	101	93.7	3上	2007~2009
	福 勝	7.13	9.14	1.5	3.7	50	17.9	357	100	92.8	3上	
	大正金時	7.11	9.9	1.5	4.0	48	19.9	340	95	75.5	3下	

注1) 播種期は, 十勝農試: 5月27日, 北見農試: 5月23日。
2) 栽植密度: 畦幅60cm, 株間20cm, 2本立。
3) 倒伏程度: 0(無)~4(甚), 葉落良否: 1(良)~5(不良)。

参照 1) 北海道農政部編, 平成22年普及奨励ならびに指導参考事項, 5-8(2010)。

6. ばれいしょ

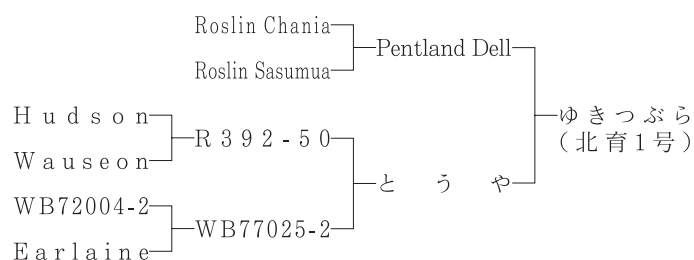
(1) ゆきつぶら (系統名 北育1号) 2005年

登録番号：(北海道) ばれいしょ北海道第43号
 (農水省) ばれいしょ農林54号
 (種苗法) 第16449号

セールスポイント

早生・白肉の生食用品種で、「男爵薯」より規格内いも収量が多い。ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持ち、ポテトサラダ加工適性が優れる。

来歴 本品種はジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持ち高品質で多収な早生の生食用品種育成を目標として、1991年に北海道立根釧農業試験場において「Pentland Dell」を母、「とうや」を父として交配した組合せから選抜したもので、1998年に「根系104号」、1999年からは「北育1号」の系統名で各種の試験を行い、2005年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要

1. そう性は中間型、茎長は中で、分枝数は少ない。葉色は緑色で、小葉の大きさは中である。花色は白色で、花の数は少なく、自然結果は中程度発生する。
2. 塊茎は短卵形で、目はやや浅い。皮色は白黄色、肉色は白色である。
3. 初期生育は「男爵薯」並であるが、塊茎の早期肥大性はやや遅い。枯凋期は「男爵薯」より数日遅いが早生に属する。休眠期間は「男爵薯」並のやや長である。
4. 上いも平均一個重は「男爵薯」よりやや小さいが、上いも収量および規格内いも収量は「男爵薯」より多い。でん粉価は「男爵薯」並である。
5. 食味は「男爵薯」並に優れ、甘みが強い。調理特性は、剥皮褐変が少なく、水煮調理後の肉質はやや粘質で、煮崩れ程度および調理後黒変は少ない。
6. 塊茎の生理障害は、褐色心腐、二次生長および中心空洞の発生がいずれも微であり、特に中心空洞の発生

が「男爵薯」より少ない。打撲黒変耐性は、既存品種で最も強い「ホッカイコガネ」と同等の強である。病害虫抵抗性は、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有し、疫病菌による塊茎腐敗抵抗性は強、Yモザイク病抵抗性、そうか病抵抗性は弱である。疫病抵抗性は強であるが、新レース出現により打破される可能性がある真性抵抗性と推定される。

栽培適地と奨励態度

北海道の生食用ばれいしょ栽培地帯に適する。栽培上の注意として、メトリブジン系の除草剤を植え付け後に散布すると薬害を生じる場合がある。疫病抵抗性があるが、抵抗性を侵す新レース出現の可能性があるため「男爵薯」に準じた防除を行う必要がある。「男爵薯」より塊茎の維管束褐変が発生しやすい傾向があるので、乾燥しやすい圃場で栽培する場合は注意する。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				でん粉 価 (%)	試験年次
							上いも 収量 (kg)	同左比 (%)	規格内 いも収量 (kg)	同左比 (%)		
北見農試	ゆきつぶら	5.29	9.5	51	12.0	86	4,750	128	3,892	128	16.3	1999, 2000, 2002, 2003
	男爵薯	5.29	8.30	34	9.5	84	3,700	100	3,033	100	16.2	
中央農試	ゆきつぶら	5.27	8.29	51	13.0	81	4,567	115	4,318	120	15.5	1999, 2000, 2002, 2003
	男爵薯	5.27	8.23	38	11.1	84	3,985	100	3,606	100	14.5	
上川農試	ゆきつぶら	5.25	8.30	58	13.8	85	5,119	113	5,045	135	13.8	1999, 2000, 2002, 2003
	男爵薯	5.25	8.26	40	11.2	94	4,527	100	3,742	100	13.8	

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10a当り				で ん 価 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	規格内 いも収量 (kg)	同左比 (%)		
十 勝 農 試	ゆきつぶら	5.27	8.27	59	12.5	80	4,421	126	4,244	129	15.0	1999, 2000, 2002, 2003
	男 爵 薯	5.28	8.24	42	10.1	80	3,508	100	3,292	100	14.7	
北 農 研	ゆきつぶら	5.24	9.8	57	12.5	86	4,768	122	3,829	122	16.7	1999, 2000, 2002, 2003
	男 爵 薯	5.24	9.2	38	10.6	87	3,921	100	3,142	100	16.2	

注1) 規格内いも収量は60～259gの塊茎の重量

- 参照 1) 北海道農政部編, 平成17年普及奨励ならびに指導参考事項, 10-12 (2005)
2) 池谷ら, 道総研農試集報. 95, 13-24 (2011)

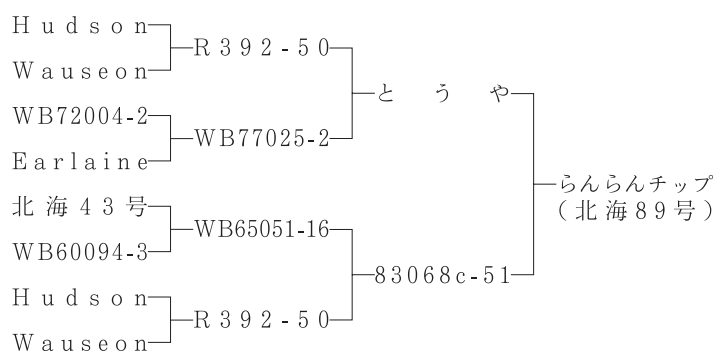
- (2) らんらんチップ (系統名 北海89号) 2005年
登録番号: (北海道) ばれいしょ北海道第44号
(農水省) ばれいしょ農林53号
(種苗法) 第16450号

テトチップ加工適性が「トヨシロ」より優れる。

来歴 本品種は早生でジャガイモシストセンチュウ抵抗性の品種育成を目標として, 1991年に農林水産省北海道農業試験場において, 「とうや」を母, 「83068C-51」を父として交配した組合せから選抜したもので, 1998年に「島系592号」, 2002年からは「北海89号」の系統名で各種の試験を行い, 2005年に優良品種となった。なお, 本品種の系譜は次のとおりである。

セールスポイント

中早生のジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つチップ加工原料用品種で, 「トヨシロ」同様に秋まき小麦の前作に栽培可能である。翌年2月までの貯蔵に適し, ポ



特性概要

1. そう性はやや直立で, 茎長は「トヨシロ」並。茎の太さは太, 茎色は緑色で, 分枝数はやや少。葉色は「トヨシロ」と同じ淡緑色で, 小葉は大きい。花色は白色で, 花の数は「トヨシロ」より少なく, 自然結果は稀である。
2. 塊茎は倒卵形で, 粒揃いは「トヨシロ」並のやや整。皮色は黄褐色, 目は浅く, 目の数は少ない。肉色は黄白である。
3. 枯凋期は「トヨシロ」と同じ中早生で, 休眠期間は「トヨシロ」よりやや短い中である。
4. 上いも平均一個重は「トヨシロ」よりやや小さく, 規格内いも収量は「トヨシロ」並かやや少ない。でん粉価は「トヨシロ」並である。
5. ポテトチップカラーは「トヨシロ」より優れ, 翌年2月までの貯蔵に適する。
6. 塊茎の生理障害は, 裂開が稀にみられるが, 二次生

長および中心空洞の発生がほとんどなく, 褐色心腐の発生が微である。打撲耐性は「トヨシロ」よりやや弱い弱である。病虫害抵抗性は, ジャガイモシストセンチュウに抵抗性を持ち, 疫病菌による塊茎腐敗には強い。そうか病, 疫病およびYモザイク病に対する抵抗性は弱である。

栽培適地と奨励態度

北海道の加工用ばれいしょ栽培地帯に適する。栽培上の注意として, 栽植密度に対する反応が大きく, 疎植では収量低下の度合いが大きいので避ける。「トヨシロ」より打撲に弱いので, 収穫や移送時に打撲を与えないように注意する。また, 目数が少ないので, 種いもを切断する場合は頂芽の位置に十分注意する。不均等な切断により, 茎数の減少, 萌芽の不揃いを招き, 疎植反応から収量低下に繋がる場合がある。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10a 当り				で ん 粉 価 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	規格内 いも収量 (kg)	同左比 (%)		
北 農 研	らんらんチップ	5.25	9.7	48	10.1	94	4,199	99	3,731	100	18.2	2002～2004
	トヨシロ	5.24	9.6	48	9.4	104	4,224	100	3,713	100	18.1	
中 央 農 試	らんらんチップ	5.25	9.2	51	14.5	80	5,099	97	4,238	97	16.3	2002～2004
	トヨシロ	5.25	9.1	51	14.2	84	5,276	100	4,380	100	16.7	
上 川 農 試	らんらんチップ	5.23	9.9	53	11.7	117	6,091	104	5,430	105	15.9	2002～2004
	トヨシロ	5.23	9.3	51	12.0	109	5,831	100	5,164	100	16.5	
十 勝 農 試	らんらんチップ	5.26	8.29	62	10.0	92	4,059	93	3,560	92	16.9	2002～2004
	トヨシロ	5.27	9.1	62	10.1	102	4,371	100	3,882	100	16.3	
北 見 農 試	らんらんチップ	5.28	9.3	39	8.4	88	3,391	92	2,955	91	17.8	2002～2004
	トヨシロ	5.30	8.31	40	7.5	104	3,555	100	3,253	100	17.4	

注1) 規格内いも収量は60～339gの塊茎の重量

参照 1) 北海道農政部編, 平成17年普及奨励ならびに指導参考事項, 13-15 (2005)

(3) さやあかね (系統名 北育8号) 2006年

登録番号: (北海道) ばれいしょ北海道第45号

(農水省) ばれいしょ農林59号

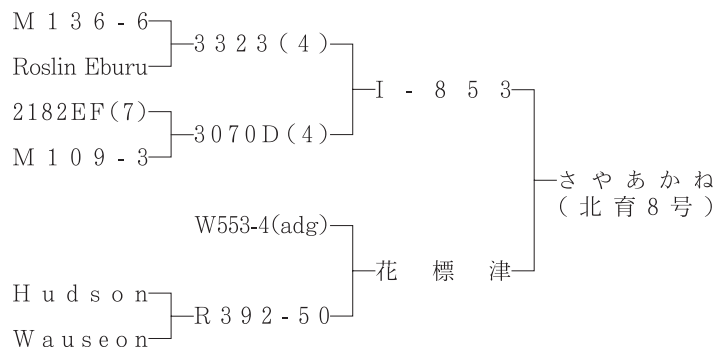
(種苗法) 第17446号

質に優れており, 食味が良くコロケ適性も優れる。

来歴 本品種は疫病圃場抵抗性およびジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つ生食用品種の育成を目標として, インド原産の「I-853」を母, 「花標津」を父として交配した組合せから選抜したもので, 2001年より「北系9号」, 2002年からは「北育8号」の系統名で各種の試験を行い, 2006年に優良品種となった。なお, 本品種の系譜は次のとおりである。

セールスポイント

ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つ中生の生食用品種である。疫病圃場抵抗性が強で疫病無防除栽培が可能である。規格内いも収量が多く, 芽が浅くて外観品



特性概要

1. そう性は中間型で, 茎長は「花標津」並のやや長, 茎の太さは「花標津」並の中, 分枝数は「花標津」並。葉色は緑色, 小葉の大きさは中, 花色は赤紫。花の数は「花標津」よりも少なく, 自然結果は少である。
2. 塊茎は球形, 皮色は淡赤。目の深さは「花標津」の深に対して中, 肉色は「花標津」の淡黄に対して黄白である。
3. 初期生育は「花標津」と同様のやや速, 塊茎の早期肥大性は「花標津」より早い中である。枯凋期は「花標津」よりやや早い中生, 塊茎の休眠期間は「花標津」

並のやや短である。

4. 規格内いも収量は「男爵薯」, 「花標津」より多い。株あたり上いも数は「花標津」より少なく, 上いも平均一個重は重い。でん粉価は「男爵薯」, 「花標津」よりやや高い。
5. 調理後の肉質は「男爵薯」並のやや粉質, 煮崩れの程度は「男爵薯」より多い多, 剥皮褐変はごく微, 調理後黒変の程度は微である。食味は「男爵薯」並で, コロケ適性を有する。
6. 塊茎の生理障害は, 褐色心腐の発生が少, 中心空洞および二次生長の発生が微である。打撲黒変耐性は

「男爵薯」よりやや強い。病害虫抵抗性は、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有し、疫病圃場抵抗性は「花標津」並の強である。Yモザイク病抵抗性はやや強、そうか病抵抗性は弱、粉状そうか病抵抗性は中である。

栽培適地と奨励態度

北海道の生食用ばれいしょ栽培地帯に適する。栽培上の注意として、褐色心腐が発生することがあるので、多肥や疎植をさけ、十分な培土を行う。黄変期に地上部が再生することがあるので、その場合には地上部処理を行う。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10a当り				でん 粉 価 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	規格内 いも収量 (kg)	同左比 (%)		
北見農試	さやあかね	5.27	9.23	63	12.1	80	4,476	141	3,746	138	17.5	2002～2004
	男爵薯	5.28	8.25	30	8.0	84	3,182	100	2,705	100	16.4	
	花標津	5.28	10.4	54	15.3	64	4,496	141	3,159	117	17.2	
中央農試	さやあかね	5.23	(9.28)	68	19.9	64	5,575	124	3,643	104	14.1	2002～2004
	男爵薯	5.24	8.17	38	14.0	73	4,498	100	3,488	100	15.4	
	花標津	5.23	9.19	72	23.4	57	5,827	130	3,215	92	14.3	
上川農試	さやあかね	5.22	9.15	72	15.5	97	6,589	129	5,321	127	15.6	2002～2004
	男爵薯	5.23	8.28	40	11.6	100	5,097	100	4,175	100	14.9	
	花標津	5.23	9.23	75	20.2	70	6,175	121	4,281	103	15.5	
十勝農試	さやあかね	5.24	9.15	91	12.1	85	4,454	113	3,679	107	15.5	2002～2004
	男爵薯	5.26	8.24	45	10.3	87	3,957	100	3,453	100	15.2	
	花標津	5.25	9.20	87	15.4	76	5,005	126	3,776	109	14.3	
北農研	さやあかね	5.22	9.12	65	12.6	83	4,572	119	3,703	113	16.6	2002～2004
	男爵薯	5.22	8.28	36	9.9	89	3,847	100	3,275	100	16.5	
	花標津	5.22	(9.21)	60	17.0	67	4,918	128	3,377	103	15.8	

注1) 枯凋期の括弧は未枯凋年を除く平均
2) 規格内いも収量は60～259gの塊茎の重量

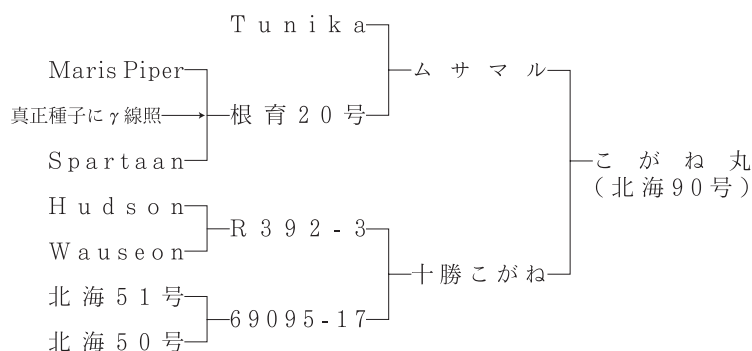
参照 1) 北海道農政部編, 平成18年普及奨励ならびに指導参考事項, 36-38 (2006)

(4) こがね丸 (系統名 北海90号) 2006年
登録番号: (北海道)ばれいしょ北海道第46号
(農水省)ばれいしょ農林55号
(種苗法)第17448号

来歴 本品種はジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持ち、大粒、多収、フライ加工適性を持つ品種の育成を目標として、1995年に農林水産省北海道農業試験場において、「ムサマル」を母、「十勝こがね」を父として交配した組合せから選抜したもので、2002年より「勝系2号」、2003年からは「北海90号」の系統名で各種試験を行い、2006年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。

セールスポイント

フライ加工適性が高く、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つ。中晩生で、でん粉価が高く大粒・多収で、曝光によるグリコアルカロイド増加が少ない。



特性概要

1. そう性は「ホッカイコガネ」よりやや開き、茎長はやや長く、茎の太さは「ホッカイコガネ」並の中で、分枝数は少である。
2. 塊茎は「ホッカイコガネ」よりやや短い楕円形で、皮色は黄褐、目の深さは浅い。肉色は「ホッカイコガネ」と同様の淡黄である。
3. 初期生育は「ホッカイコガネ」よりやや早い中。枯凋期は「ホッカイコガネ」並の中晩生で、塊茎の休眠期間は「ホッカイコガネ」よりやや長い。
4. 上いも平均一個重は「ホッカイコガネ」並の大粒で、規格内いも収量は「ホッカイコガネ」並か多く、でん粉価は高い。
5. フライは「ホッカイコガネ」に比べてやや褐変するが、十分使用可能な適性がある。肉質は「ホッカイコガネ」よりやや粉質の中で、煮崩れは中であり、生食用向けの「ホッカイコガネ」の置き換えには適さない。えぐ味の元であるグリコアルカロイドは光にあたるこ

とにより増加するが、「こがね丸」はその増加が少なく、収穫後の品質維持に優れる。

6. 塊茎の生理障害は、二次生長と褐色心腐の発生が無で、中心空洞の発生が微、打撲黒変耐性が弱である。病害虫抵抗性は、ジャガイモシストセンチュウに対し抵抗性を持ち、疫病、そうか病およびYモザイク病に対する抵抗性は「ホッカイコガネ」と同じ弱である。疫病菌による塊茎腐敗抵抗性は「ホッカイコガネ」よりやや弱いやや弱である。

栽培適地と奨励態度

北海道の加工用ばれいしょ栽培地帯に適する。栽培上の注意として、打撲黒変耐性が弱なので、収穫や移送時に打撲を与えないように注意する。「ホッカイコガネ」より中心空洞が発生しやすいので、十分な培土を行い、疎植・多肥をさける。疫病に対する塊茎腐敗がやや弱く、枯凋期が「ホッカイコガネ」より遅れることがあるので、生育後期まで適正な防除に努める。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10a 当り				でん 粉 価 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	規格内 いも収量 (kg)	同左比 (%)		
北 農 研	こ が ね 丸	5.27	9.24	90	9.4	133	5,299	100	4,776	98	19.3	2001～2005
	ホッカイコガネ	5.28	9.28	75	9.2	132	5,305	100	4,878	100	17.5	
中 央 農 試	こ が ね 丸	5.29	9.20	77	12.4	110	5,998	108	5,377	113	17.0	2003～2005
	ホッカイコガネ	5.31	9.20	68	13.8	91	5,534	100	4,772	100	16.3	
上 川 農 試	こ が ね 丸	5.29	10.3	78	11.2	146	7,159	132	6,356	136	18.2	2003～2005
	ホッカイコガネ	5.30	9.29	73	13.2	92	5,441	100	4,675	100	16.1	
十 勝 農 試	こ が ね 丸	5.28	9.21	118	9.0	124	5,027	96	4,580	97	18.4	2003～2005
	ホッカイコガネ	5.31	9.25	98	9.8	118	5,217	100	4,705	100	17.2	
北 見 農 試	こ が ね 丸	6.2	10.1	73	7.8	137	4,831	115	4,520	119	20.3	2003～2005
	ホッカイコガネ	6.3	10.3	59	8.9	107	4,209	100	3,805	100	18.5	

注1) 規格内いも収量は60～339gの塊茎の重量

参照 1) 北海道農政部編, 平成18年普及奨励ならびに指導参考事項, 39-41 (2006)

(5) きたかむい (系統名 HP01) 2007年

登録番号: (北海道) ばれいしょ北海道第48号
(農水省)
(種苗法) 第19543号

つ早生の生食用品種育成を目標として、1997年にホクレン農業総合研究所において、「イエローシャーク」を母、「とうや」を父として交配した組合せから選抜したもので、2004年から「HP01」の系統名で各種試験を行い、2007年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。

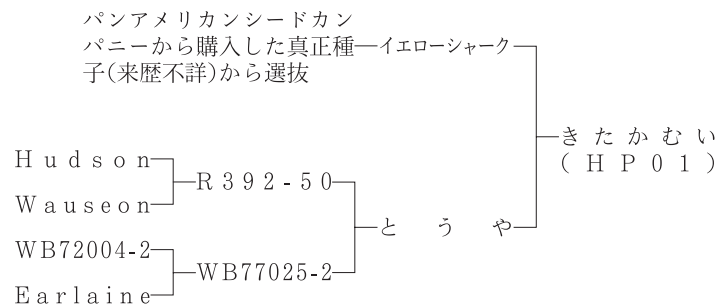
セールスポイント

早生の生食用品種で、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つ。「男爵薯」より規格内いも収量が多く、煮崩れ、調理後黒変が少なく良食味である。

来歴 本品種はジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持

特性概要

1. そう性は中間型で、茎長はやや短く、分枝数は少ない。葉色は緑色で、小葉は大きい。花色は白色で、花の数はやや多く、自然結果はほとんどない。



2. 塊茎は球形で、目はやや浅い。皮色は白黄で、目の数は少なく、肉色は白である。
3. 枯凋期は「男爵薯」並の早生で、休眠期間は「男爵薯」並のやや長である。
4. 株あたり上いも数は「男爵薯」並で、上いも平均一個重は「男爵薯」より大きく、規格内いも収量は「男爵薯」より多い。でん粉価は「男爵薯」より低い。
5. 「男爵薯」より剥皮褐変、煮崩れ、調理後黒変が少なく調理特性が優れる。肉質はやや粘質で良食味である。
6. 塊茎の生理障害は、中心空洞および二次生長の発生が微である。褐色心腐の発生は「男爵薯」よりやや多い少である。病虫害抵抗性は、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持ち、疫病、Yモザイク病およびそうか病に対する抵抗性は「男爵薯」と同様に弱である。

疫病菌による塊茎腐敗抵抗性は「男爵薯」よりやや強いやや弱であるが、疫病菌以外が原因となる腐敗が発生することがある。

栽培適地と奨励態度

北海道の生食用ばれいしょ栽培地帯一円に適する。栽培上の注意として、疫病や軟腐病等により塊茎の腐敗が発生することがあるので、防除を十分行うとともに、湿潤な土壌での栽培は避け、収穫時に塊茎に損傷を与えないように注意し、収穫後は涼しい場所でよく風乾する。褐色心腐が発生することがあるので、多肥や疎植を避け、十分な培土を行う。まれに維管束褐変が発生するので、乾燥しやすい圃場で栽培する際は注意する。「男爵薯」より倒伏しやすいので、多肥を避ける。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10a 当り				でん粉 価 (%)	試験年次
							上いも 収量 (kg)	同左比 (%)	規格内 いも収量 (kg)	同左比 (%)		
中央農試	きたかむい	6.3	8.29	66	12.9	101	5,720	124	4,698	134	12.4	2004~2006
	男爵薯	5.29	8.26	46	14.2	74	4,619	100	3,515	100	15.5	
上川農試	きたかむい	5.31	9.4	72	11.0	131	6,292	113	5,354	114	11.8	2004~2006
	男爵薯	5.27	9.7	54	13.1	96	5,590	100	4,695	100	14.3	
十勝農試	きたかむい	6.1	8.29	82	9.3	111	4,584	110	4,143	117	11.7	2004~2006
	男爵薯	5.29	9.2	54	11.4	84	4,167	100	3,537	100	14.5	
北見農試	きたかむい	6.2	9.8	57	10.3	114	5,193	125	4,618	122	13.0	2004~2006
	男爵薯	6.1	9.5	39	9.1	102	4,156	100	3,774	100	15.3	

注1) 規格内いも収量は60~259gの塊茎の重量

参照 1) 北海道農政部編, 平成19年普及奨励ならびに指導参考事項, 8-11 (2007)

(6) はるか(系統名 北海94号) 2007年

登録番号: (北海道) ばれいしょ北海道第47号
(農水省) ばれいしょ農林60号
(種苗法) 第17576号

白肉で、煮くずれが少なく、食味が優れ、ポテトサラダおよびコロッケ加工適性もある。「男爵薯」よりも多収で、青枯病にやや強い。

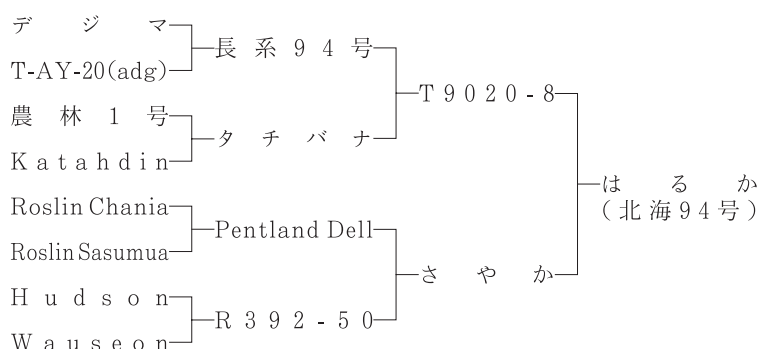
セールスポイント

目の周りが赤く着色した、外観に特徴のある中生で生食用のジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種である。

来歴 本品種は白肉で良食味のジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種を目標として、1994年に長崎県総合農林試験場愛野馬鈴薯支場において、「T9080-8」を母、「さやか」を父として交配採種し、1998年に農林水産省北海

道農業試験場において播種した実生集団より選抜したもので、2003年より「勝系7号」、2004年からは「北海94

号」の系統名で各種の試験を行い、2007年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要

1. そう性はやや直立で、茎長は「男爵薯」より長く、「さやか」並の中。茎色は緑色、茎の太さは中。葉色は緑色で、小葉の大きさは中。花色は赤紫色で、白色が両面先に分布する。花の数は多く、自然結果は少である。
2. 塊茎は倒卵形で、目はやや浅い。皮色は白で、目の周りが赤く着色した特徴のある外観を呈する。肉色は白色である。
3. 初期生育は「男爵薯」よりやや遅く「さやか」並、塊茎の早期肥大性は「男爵薯」、「さやか」並のやや速である。枯凋期は「男爵薯」よりも遅く「さやか」並の中生で、塊茎の休眠期間は「さやか」より短く、「男爵薯」並のやや長である。
4. 規格内いも収量は「男爵薯」よりも多く「さやか」並である。上いも平均一個重は「男爵薯」より大きく「さやか」よりやや小さい。でん粉価は「男爵薯」、「さやか」よりやや低い。
5. 調理後の肉質はやや粘、食味は中上である。水煮による煮くずれの程度は、「男爵薯」、「さやか」よりやや少ない少で、剥皮褐変は「男爵薯」、「さやか」より

も少ない微、調理後黒変は「さやか」よりやや多く「男爵薯」並の少である。ポテトサラダおよびコロケ加工適性を有しており、ポテトチップ・フライ適性は中である。

6. 塊茎の生理障害は、褐色心腐の発生が「さやか」同様に無、二次生長の発生が「さやか」よりわずかに多く、「男爵薯」並の微、中心空洞の発生が「さやか」より多く、「男爵薯」より少ない微である。打撲黒変耐性はやや強い。病害虫抵抗性は、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性遺伝子を有し、青枯病に対してもやや強の抵抗性を持つ。疫病菌による塊茎腐敗抵抗性は「男爵薯」より強く、「さやか」並のやや強である。疫病、そうか病およびYモザイク病に対する抵抗性は「男爵薯」、「さやか」同様に弱い。

栽培適地と奨励態度

北海道のばれいしょ栽培地帯に適する。栽培上の注意として、目数が少ないため、種いもを切断する場合は頂芽の位置に十分注意する。また、PVY-T系統の感染による上位葉の病徴は不明瞭なモザイクであるため採種管理に当たっては注意する。

試験場名	品種名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎長 (cm)	株当たり 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10a当り				でん粉 価 (%)	試験年次
							上いも 収量 (kg)	同左比 (%)	規格内 いも収量 (kg)	同左比 (%)		
北農研	はるか	5.27	9.20	62	9.4	107	4,395	114	3,952	120	15.9	2003~2006
	男爵薯	5.24	9.1	43	10.2	87	3,882	100	3,297	100	16.4	
	さやか	5.28	9.16	58	8.7	113	4,393	113	3,975	121	16.8	
中央農試	はるか	6.2	9.13	61	15.5	88	5,739	125	4,819	138	14.2	2004~2006
	男爵薯	5.29	8.26	46	14.2	74	4,619	100	3,515	100	15.5	
上川農試	はるか	5.31	9.22	67	13.1	108	6,229	112	5,422	116	14.0	2004~2006
	男爵薯	5.27	9.7	54	13.1	96	5,590	100	4,695	100	14.3	
十勝農試	はるか	5.29	9.15	83	11.1	87	4,320	104	3,862	110	13.7	2004~2006
	男爵薯	5.29	9.2	54	11.4	84	4,167	100	3,537	100	14.5	

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平 均 一 個 重 (g)	10 a 当り				で ん 粉 価 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	規格内 いも収量 (kg)	同左比 (%)		
北 見 農 試	は る か 男 爵 薯	6.3	9.25	58	8.6	120	4,605	111	4,120	111	15.7	2004~2006
		6.1	9.5	39	9.1	102	4,156	100	3,774	100	15.3	

注1) 規格内いも収量は60~259gの塊茎の重量

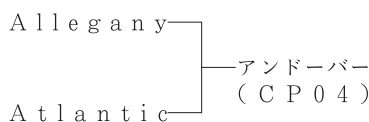
参照 1) 北海道農政部編, 平成19年普及奨励ならびに指導参考事項, 39-41 (2007)

(7) アンドーバー (系統名 CP04) 2008年

登録番号: (北海道)ばれいしょ北海道(輸)第49号
(農水省)
(種苗法)

セールスポイント

ポテトチップ加工適性が優れる, 油加工用品種である。
ジャガイモシストセンチュウ抵抗性と中程度のそうか病
抵抗性を持つ。



来歴 本品種は, 1981年にアメリカ合衆国ニューヨーク
州コーネル大学において「Allegany」を母, 「Atlantic」
を父として交配した組合せから選抜し, 1998年に公表
された品種である。カルビーポテト株式会社が1995年に
導入し, 2004年から「CP04」として各種の試験を行い,
2008年に優良品種となった。なお, 本品種の系譜は次の
とおりである。

特性概要

1. そう性はやや開張型で, 茎長はやや短く, 分枝数は
少ない。葉色は緑色で, 小葉は大きい。花色は白色で,
花の数は中で, 自然結果は認められない。
2. 塊茎は球形で, 目は浅い。皮色は黄褐色で, 表皮は
やや粗く, 肉色は白色である。
3. 初期生育は「トヨシロ」より早い, 塊茎の早期肥
大性はやや遅い。枯凋期は「トヨシロ」並の中早生で,
休眠期間は「トヨシロ」並の長である。
4. 上いも数は「トヨシロ」並, 上いも平均一個重は
「トヨシロ」より小さい。規格内いも収量は「トヨシ
ロ」より少なく, でん粉価は「トヨシロ」より低い。
5. ポテトチップの褐変程度は早掘り, 普通掘りとも無
で, 「トヨシロ」より優る。貯蔵後においても, 6℃貯
蔵の褐変程度はやや多で「トヨシロ」並, 9℃貯蔵で
は微で「トヨシロ」より優れている。原料不良率は

「トヨシロ」より低い。

6. 塊茎の生理障害は, 褐色心腐, 中心空洞および二次
生長の発生が「トヨシロ」並の微である。病害虫抵抗
性は, ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有し, 疫
病菌による塊茎腐敗およびそうか病に対する抵抗性は
中, 疫病およびYモザイク病に対する抵抗性は弱であ
る。

栽培適地と奨励態度

北海道のポテトチップ用ばれいしょ栽培地帯に適する。
栽培上の注意として, 開花期以降にウイルス病様(モザ
イク, えそ斑, 葉巻症状)の生理障害が発生することが
ある。特に干ばつ条件下や乾燥しやすい圃場で多発する
傾向があるので, 保水力が高く肥沃な圃場を選択し, 適
切な肥培管理に努める。原採種栽培におけるウイルス罹
病株抜き取り作業の際は, 生理障害との区別に留意する。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平 均 一 個 重 (g)	10 a 当り				で ん 粉 価 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	規格内 いも収量 (kg)	同左比 (%)		
中 央 農 試	ア ン ド ー バ ー ト ヨ シ ロ	5.28	8.26	54	13.9	69	4,239	83	3,009	72	15.3	2004, 2006
		5.28	9.2	57	14.2	83	5,095	100	4,158	100	17.2	
上 川 農 試	ア ン ド ー バ ー ト ヨ シ ロ	5.27	9.10	58	11.8	105	5,399	91	4,839	100	13.9	2004, 2006, 2007
		5.29	9.11	63	11.2	127	5,969	100	4,858	100	16.9	

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				で ん 価 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	規格内 いも収量 (kg)	同左比 (%)		
十 勝 農 試	ア ン ド ー バ ー ト ヨ シ ロ	5.28	9.2	61	9.5	98	4,092	89	3,695	90	14.0	2004, 2006, 2007
		5.29	9.3	69	10.9	96	4,622	100	4,087	100	16.1	
北 見 農 試	ア ン ド ー バ ー ト ヨ シ ロ	6.1	9.5	46	8.6	99	3,762	89	3,433	87	14.5	2004, 2006, 2007
		6.1	9.6	49	8.7	109	4,251	100	3,931	100	17.2	

注1) 規格内いも収量は60~339gの塊茎の重量

参照 1) 北海道農政部編, 平成20年普及奨励ならびに指導参考事項, 35-38 (2008)

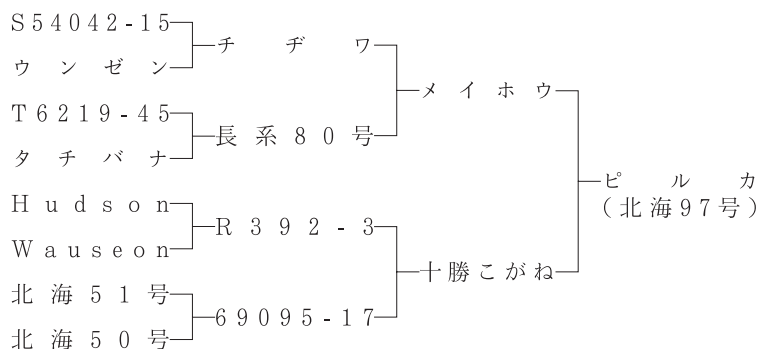
(8) ピルカ (系統名 北海97号) 2009年

登録番号: (北海道) ばれいしょ北海道第50号
(農水省) ばれいしょ農林61号
(種苗法) 第20750号

セールスポイント

多収で水煮適性の高い調理用品種である。長卵形で芽が浅く、外観・剥皮効率が優れる。中早生で、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つ。

来歴 本品種は外観の優れる多収・良食味ジャガイモシストセンチュウ抵抗性生食用品種の育成を目的として、1994年に長崎県総合農林試験場愛野馬鈴薯支場において「メイホウ」を母、「十勝こがね」を父として交配採種し、1999年に農林水産省北海道農業試験場において播種した実生集団より選抜したもので、2005年より「勝系12号」、2006年からは「北海97号」の系統名で各種の試験を行い、2009年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要

1. そう性は「男爵薯」並のやや直立で、茎長は「男爵薯」より長く、「メイクイン」並。茎の太さは「男爵薯」並の中。葉色は濃緑色で、小葉の大きさは中。花色は紫色で、花の数は多く、自然結果は少である。
2. 塊茎は長卵形で、目の数が少なく、目の深さは浅い。塊茎の肉色は明黄である。
3. 枯凋期は「メイクイン」並の中早生で、初期生育および塊茎の早期肥大性は「男爵薯」, 「メイクイン」よりやや劣る。
4. 上いも平均一個重および規格内いも収量は「男爵薯」より多い。でん粉価はやや低い。
5. 水煮調理後の煮崩れおよび黒変が少なく、食味が「男爵薯」並に優れるので、総合的に水煮適性が高い。ポテトチップ・フライの適性は「男爵薯」並である。

また、目が浅く二次生長が少ないので、剥皮効率が優れる。

6. 塊茎の生理障害の発生は少ない。打撲黒変耐性は「男爵薯」より強い中である。病虫害抵抗性は、ジャガイモシストセンチュウに抵抗性を有し、Yモザイク病、疫病およびそうか病に対する抵抗性は弱く、疫病菌による塊茎腐敗抵抗性はやや弱である。

栽培適地と奨励態度

北海道の生食用ばれいしょ栽培地帯に適する。栽培上の注意として、塊茎の目の数が少なく、萌芽時の整否や初期生育がやや劣り、その後の生育むらを生じやすいため、種いもの管理および播種に当たっては浴光育芽や芽の脱落防止等の適正な管理に努める。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10a 当り				でん粉 価 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	規格内 いも収量 (kg)	同左比 (%)		
北 農 研	ピ ル カ	5.29	9.10	58	9.5	107	4,443	118	3,654	118	15.0	2003～2008
	男 爵 薯	5.24	9.2	41	10.3	83	3,770	100	3,109	100	16.4	
	メ ー ク イ ン	5.26	9.13	56	11.9	83	4,299	114	3,421	110	16.3	
中 央 農 試	ピ ル カ	5.30	9.2	50	13.9	91	5,559	113	4,469	109	14.2	2006～2008
	男 爵 薯	5.25	8.25	43	12.6	88	4,918	100	4,106	100	15.7	
上 川 農 試	ピ ル カ	5.31	9.22	52	13.7	104	6,198	117	4,520	115	14.0	2006～2008
	男 爵 薯	5.28	9.10	52	11.1	112	5,300	100	3,918	100	15.3	
十 勝 農 試	ピ ル カ	5.31	9.6	79	11.2	104	5,185	124	4,374	133	12.7	2006～2008
	男 爵 薯	5.30	8.30	55	12.4	77	4,188	100	3,300	100	14.2	
北 見 農 試	ピ ル カ	6.6	9.13	70	8.6	126	4,800	110	3,800	97	13.5	2006～2008
	男 爵 薯	6.1	9.5	46	9.5	104	4,383	100	3,905	100	14.9	

注 1) 規格内いも収量は60～259gの塊茎の重量

参照 1) 北海道農政部編, 平成21年普及奨励ならびに指導参考事項, 36-38 (2009)

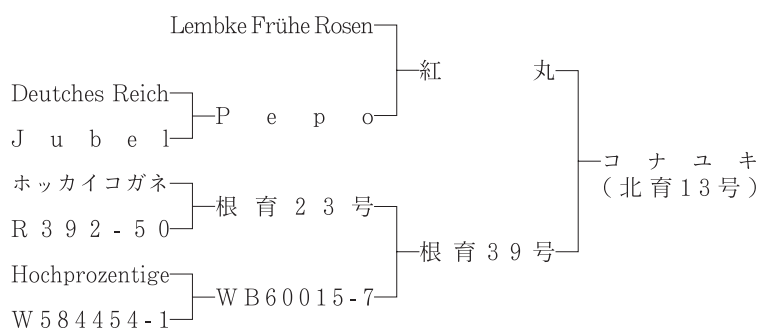
(9) コナユキ (系統名 北育13号) 2010年

登録番号: (北海道) ばれいしょ北海道第51号
(農水省) ばれいしょ農林62号
(種苗法) 第21865号

セールスポイント

ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つ, 中晩生のでん粉原料用品種である。やや小粒であるがでん粉収量は「コナフブキ」並で, でん粉品質は「紅丸」並に良好である。

来歴 本品種は, ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持ち, でん粉品質が高く多収なでん粉原料用品種の育成を目標として, 1998年に北海道立北見農業試験場において, 「紅丸」を母, 「根育39号」を父として交配した組合せから選抜したもので, 2005年より「北系28号」, 2006年からは「北育13号」の系統名で各種の試験を行い, 2010年に優良品種となった。なお, 本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要

1. そう性はやや直立, 茎長と茎の太さは「コナフブキ」並の中, 分枝数は多。葉色は濃, 複葉の大きさは中。花数は中, 花色は白, 自然結果は無である。
2. ふく枝は短く, 塊茎の着生は浅い。塊茎は球形で, 目の深さは「コナフブキ」並。皮色は紫, 肉色は紫斑である。
3. 初期生育はやや速, 塊茎の早期肥大性もやや速であ

- る。枯凋期は「コナフブキ」並の中晩性である。塊茎の休眠期間は「コナフブキ」より短いやや短である。
4. 上いも収量は「コナフブキ」並の中で, 上いも平均一個重は軽い, 株あたり上いも数は多い。でん粉価は「コナフブキ」並で, でん粉収量は「コナフブキ」並の多である。
5. 離水率およびリン含量は「紅丸」並である。でん粉粒子の大きさは「紅丸」よりやや小さく「コナフブキ」

並、灰分含量は「コナフブキ」より低く「紅丸」並である。

6. 塊茎の生理障害は、褐色心腐の発生が「コナフブキ」並の微、中心空洞の発生が無である。病害虫抵抗性は、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有し、疫病抵抗性、疫病菌による塊茎腐敗抵抗性、そうか病抵抗性およびYモザイク病抵抗性はいずれも弱である。

栽培適地と奨励態度

北海道のでん粉原料用ばれいしょ栽培地帯（主としてジャガイモシストセンチュウ発生地帯）に適する。栽培上の注意として、塊茎が小さいので、「コナフブキ」より収穫時の掘り残しが多い。多雨や土壌の水分過多で「コナフブキ」より減収する事例があったので、排水不良地での栽培は避ける。塊茎の休眠期間がやや短いため、収穫後の保管に留意する。疫病菌による塊茎腐敗抵抗性が弱であるので、疫病防除を適切におこなう。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				でん粉 価 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	でん粉 収 量 (kg)	同左比 (%)		
北見農試	コナユキ	6.1	10.1	75	14.9	79	5,106	105	1,015	101	20.9	2006～2009
	コナフブキ	6.3	10.5	74	10.1	111	4,879	100	1,004	100	21.6	
	紅丸	6.1	10.8	80	11.9	108	5,594	115	862	86	16.4	
	アスタルテ	6.3	10.13	89	14.6	88	5,654	116	1,085	108	20.1	
十勝農試	コナユキ	5.27	9.24	88	16.3	68	4,795	105	949	104	20.8	2006～2009
	コナフブキ	5.30	9.27	96	10.7	97	4,557	100	913	100	21.0	
	紅丸	5.29	9.28	98	12.7	100	5,598	123	853	93	16.2	
北農研	コナユキ	5.28	9.29	63	15.4	62	4,204	102	874	95	21.9	2006～2009
	コナフブキ	5.30	10.1	70	9.4	99	4,141	100	916	100	23.3	

参照 1) 北海道農政部編, 平成22年普及奨励ならびに指導参考事項, 9-12 (2010)

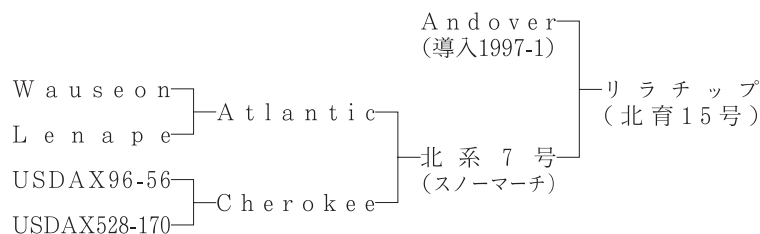
(10) リラチップ (系統名 北育15号) 2013年

登録番号: (北海道) ばれいしょ北海道第52号
(農水省) ばれいしょ農林 号
(種苗法) 第 号

セールスポイント

ポテトチップ加工適性が高く、特に長期貯蔵後の品質は「スノーデン」以上である。ジャガイモシストセンチュウ抵抗性と中程度のそうか病抵抗性を併せ持つ。

来歴 本品種は、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つ高品質ポテトチップ原料用品種の育成を目標として、2000年に北見農試において「Andover」を母、「北系7号 (スノーマーチ)」を父として交配した組合せから選抜したもので、2007年から「北系31号」、2008年からは「北育15号」の系統名で各種試験を行い、2013年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要

1. そう性は中間型、草姿はやや直立で、茎長は「トヨシロ」および「スノーデン」並。複葉の大きさは中。花色は白で、花の数は「トヨシロ」並、自然結果はほとんどない。

2. 塊茎の形は卵形で、目は浅い。皮色は淡ベージュで、肉色は白である。
3. 塊茎の早期肥大性は「スノーデン」より早く、「トヨシロ」より遅いやや遅である。枯凋期は「スノーデン」より早く「トヨシロ」より遅い中生で、休眠期間

- は「トヨシロ」より短く「スノーデン」並の中である。
4. 上いも平均一個重は「トヨシロ」より軽く、「スノーデン」並の中である。規格内いも収量は「トヨシロ」、「スノーデン」よりやや重い。でん粉価は「トヨシロ」、「スノーデン」より低い。
5. ポテトチップ加工適性は、貯蔵後の翌年の5～6月に、特に他品種より高品質なポテトチップの生産が可能で、実需評価も高い。
6. 塊茎の生理障害は、褐色心腐の発生が「スノーデン」よりやや高い微であり、中心空洞および二次生長の発生が、それぞれ「スノーデン」並の微、極微である。病害虫抵抗性は、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性

を持つほか、そうか病抵抗性が中である。疫病およびYモザイク病に対する抵抗性は弱、疫病菌による塊茎腐敗抵抗性は「スノーデン」より弱く「トヨシロ」並のやや弱である。

栽培適地と奨励態度

北海道の加工用ばれいしょ栽培地帯に適する。栽培上の注意として、でん粉価の向上を図るため、多肥を避け、早植え、浴光催芽などの基本技術を励行し、完熟塊茎の生産に努める。中心空洞の発生を防ぐため、疎植を避ける。疫病菌による塊茎腐敗抵抗性がやや弱であるので、疫病防除を適切に行う。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				でん粉 価 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	規格内 いも収量 (kg)	同左比 (%)		
北 見 農 試	リ ラ チ ッ プ	6.6	9.16	74	10.7	102	4,854	100	4,343	102	14.2	2008～2012
	ト ヨ シ ロ	6.6	9.6	75	9.1	122	4,859	100	4,256	100	15.6	
	ス ノ ー デ ン	6.5	10.5	93	10.0	104	4,581	94	4,196	99	14.9	
	き た ひ め	6.4	9.18	79	8.7	118	4,400	91	4,057	95	15.3	
中 央 農 試	リ ラ チ ッ プ	5.25	8.28	54	12.4	107	5,835	113	5,200	117	13.2	2011, 2012
	ト ヨ シ ロ	5.26	8.30	55	11.2	106	5,183	100	4,461	100	17.1	
	ス ノ ー デ ン	5.25	9.5	69	15.1	78	5,019	97	3,826	86	14.2	
上 川 農 試	リ ラ チ ッ プ	6.1	9.14	58	12.4	103	5,186	102	4,585	105	14.0	2009～2012
	ト ヨ シ ロ	5.31	9.4	61	11.1	107	5,103	100	4,363	100	15.5	
	ス ノ ー デ ン	5.30	9.23	73	14.0	90	5,554	109	4,669	107	14.7	
十 勝 農 試	リ ラ チ ッ プ	6.1	9.8	67	10.4	104	4,819	108	4,398	111	13.7	2009～2012
	ト ヨ シ ロ	5.31	9.4	70	10.1	99	4,445	100	3,975	100	16.0	
	ス ノ ー デ ン	5.31	9.15	87	10.8	80	4,059	91	3,228	81	14.2	
北 農 研	リ ラ チ ッ プ	6.7	9.10	56	8.7	108	4,125	94	3,815	101	14.6	2009～2012
	ト ヨ シ ロ	6.3	9.5	52	10.9	91	4,373	100	3,785	100	17.3	
	ス ノ ー デ ン	6.4	9.14	60	10.0	96	4,192	96	3,713	98	14.9	

注1) 規格内いも収量は60～339gの塊茎の重量

参照 1) 北海道農政部編, 平成25年普及奨励ならびに指導参考事項, 4-7 (2013)

7. そば

(1) キタノマシュウ (系統名 北海6号) 2006年

登録番号: (北海道) そば北海第3号

(農水省) そば農林4号

(種苗法) 第13298号

セールスポイント

有限伸育性で「キタワセソバ」より草丈が低く、耐倒伏性にやや優る。甘みがあり良食味である。

来歴 本品種は、北海道農業試験場（現北海道農業研究センター）において、耐倒伏性・短茎・多収そば品種の育成を目標として、1995年に「キタワセソバ」集団より発見・選抜した伸育性が有限の変異個体に由来する系統である。1997年に「キタワセD」の系統名で生産力検定予備試験に供試し、2002年より「北海6号」として各種試験に供試し、2006年に優良品種となった。

特性概要

1. 草型は直立・短枝型，葉の大きさは小，花色は白で，いずれも「キタワセソバ」と同じである。分枝数は「キタワセソバ」より多いやや少である。花房数は「キタワセソバ」と同程度の少である。草丈及び主茎長は「キタワセソバ」よりやや短いかなり短である。なお，形態に関して特筆すべき点は，伸育性が有限である。
2. 生態型は北海道に適する夏型であり，開花期は「キタワセソバ」とほぼ同程度の早，成熟期は「キタワセソバ」と同程度のかなり早。子実収量は「キタワセソバ」と同程度の中である。耐倒伏性が「キタワセソバ」よりやや強いやや強である。
3. 千粒重は「キタワセソバ」と同程度の重であり，容積重は「キタワセソバ」に比し重いかなり重である。

製粉歩留りは「キタワセソバ」と同程度の中である。食味は「キタワセソバ」とほぼ同程度の中である。実需による製粉・製麺試験結果では，丸抜きの製粉歩留りが「キタワセソバ」と比較して高く，製麺時（操作性）が「良い～粘る」，製麺時（香り）「ふっつ～やや強い」であり，食味試験では「甘味があり，良食味である」との評価を得た。

栽培適地と奨励態度

全道一円に適する。栽培上の注意は，1.他品種と交雑するので，集团的に隔離栽培する，2.多肥もしくは晩播により倒伏しやすくなるので，適正施肥及び適期播種に努める，3.「キタワセソバ」並に脱粒するので，適期収穫に努める，である。

試験場名	品 種 名	播種期 (月日)	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	草 丈 (cm)	分枝数 (株)	倒 伏 程 度	子実重 (kg/10a)	同左比 (%)	千粒重 (g)	容積重 (g/l)	製 粉 歩 留 (%)	検 査 等 級	試 験 年 次
北農研 センター (芽室)	キタノマシュウ	6.3	7.8	8.22	111	3.0	0.4	180	99	29.7	632	55.3	2～3	2002～ 2005
	キタワセソバ	6.3	7.8	8.21	112	2.3	1.1	182	100	29.3	601	55.5	2～3	
	キタユキ	6.3	7.9	8.30	125	2.7	1.0	147	81	27.7	643	55.6	3～外	
中央農試	キタノマシュウ	6.5	7.11	8.21	126	3.8	0.2	200	106	28.7	578	53.1	3	2002～ 2005
	キタワセソバ	6.5	7.10	8.20	133	3.4	1.0	188	100	28.3	536	52.1	2～3	
上川農試	キタノマシュウ	6.3	7.7	8.16	116	3.4	0.5	233	100	28.1	554	52.9	3～外	2002～ 2005
	キタワセソバ	6.3	7.7	8.16	123	3.1	0.6	233	100	28.2	539	54.6	3～外	
十勝農試	キタノマシュウ	6.3	7.9	8.17	115	2.7	0.3	132	100	30.6	582	52.7	1～3	2002～ 2005
	キタワセソバ	6.3	7.9	8.17	115	1.8	0.3	132	100	29.5	538	52.9	1～3	
北見農試	キタノマシュウ	6.3	7.17	8.18	101	3.0	0.5	200	97	30.5	591	56.3	3～外	2002～ 2005
	キタワセソバ	6.3	7.13	8.18	103	2.4	1.1	206	100	30.0	584	56.0	3～外	

- 参照 1) 北海道農政部編，平成18年普及奨励ならびに指導参考事項，42-44（2006）。
2) 本田裕 等，北海道農業研究センター研究報告，191，1-22（2009）。

(2) レラノカオリ（系統名 北海11号）2012年

登録番号：（北海道）そば北海道第4号
（農水省）そば農林7号
（種苗法）第19525号

に由来する。「端野・緋牛内」は1986年，北海道農業試験場（遠軽）が端野町緋牛内で収集した遺伝資源である。2001年から選抜を開始し，2007年から「北海11号」として各種試験に供試し，2012年に優良品種となった。

セールスポイント

「キタワセソバ」よりも千粒重がやや重く，大粒であることから夾雑物の除去などの調製作業性に優れ，且つ実需者ラインでの製粉特性にも優れ，食味は「キタワセソバ」並である。収量は「キタワセソバ」並からやや多収である。

来歴 本品種は，北海道農業研究センター（芽室）において，早熟・多収・粒大・高品質ソバ品種の育成を目標にして，早熟多収と認められた遺伝資源「端野・緋牛内」

特性概要

1. 伸育型は無限，草型は直立・短枝型。「キタワセソバ」と比較して，草丈および主茎長は短いやや短，主茎節数は少ないやや少である。葉の大きさは中，花色は白，分枝数は中，花房数は少，いずれも「キタワセソバ」と同じである。
2. 生態型は北海道に適する夏型であり，開花期は「キタワセソバ」と同程度の中，成熟期は「キタワセソバ」より早い，やや早である。脱粒の難易は同程度の中，子実の収量は「キタワセソバ」並からやや多である。

耐倒伏性は「キタワセソバ」と同程度の中である。

3. 容積重は「キタワセソバ」に比しやや小、千粒重は「キタワセソバ」よりやや大であり、粒の幅は同程度の中であるが、粒の幅がやや広の大粒である。製粉歩留りは「キタワセソバ」より優れる。製麺性および食味は「キタワセソバ」とほぼ同程度の中である。

栽培適地と奨励態度

全道一円に適する。栽培上の注意は、1.早刈りすると容積重が小さくなるため適期収穫に努める、2.他品種と交雑するので、採種圃場は集团的に隔離栽培する、である。

試験場名	品 種 名	播種期 (月日)	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	草 丈 (cm)	分枝数 (株)	倒 伏 程 度	子実重 (kg/10a)	同左比 (%)	千粒重 (g)	容積重 (g/l)	製 粉 歩 留 (%)	検 査 等 級	試 験 年 次
北農研センター (芽室)	レラノカオリ	6.2	7.8	8.15	105	2.0	1.1	187	100	30.7	564	67.2	外	2009～ 2011
	キタワセソバ	6.2	7.8	8.17	112	2.0	1.3	187	100	29.5	594	66.8	外	
中央農試	レラノカオリ	6.3	7.8	8.15	126	2.4	1.4	152	102	32.6	589	71.7	2	2009～ 2011
	キタワセソバ	6.3	7.8	8.17	131	3.0	1.7	149	100	31.4	616	71.9	2	

参照 1) 北海道農政部編, 平成24年普及奨励ならびに指導参考事項, 26-28 (2012)。

2) 森下敏和 等, 北海道農業研究センター研究報告, 199, 1-12 (2013)。

8. だったんそば

- (1) 北海T8号 2007年

登録番号：(北海道) だったんそば北海道第1号
(農水省) だったんそば農林1号
(種苗法) 第14403号

セールスポイント

「道南産」(道内で栽培された在来種)と比較して、倒伏においてやや優り、やや多収である。また、普通そば品種「キタワセソバ」より、子実中にルチンを数十倍の量を含む。

来歴 本品種は、1978年に旧ソ連の全ソ植物生産研究所から導入しただったんそば遺伝資源「Rotundatum」について、北海道農業試験場(現北海道農業研究センター)が寒地に適しただったんそば品種の育成を目的として、1991年から純系選抜により育成したものである。2004年から「北海T8号」の系統名で各種試験を行い、2007年に優良品種に認定された。なお、2006年7月には「北海T8号」の名称で品種登録された。

特性概要

1. 草型は直立・短枝型で、草丈および主茎長は「道南産」より低い中であり、主茎節数や分枝数はやや少である。

2. 茎の太さはやや細で、茎色は「道南産」が淡緑であるのに対して濃紅である。花色は緑黄で、普通そばの「キタワセソバ」の白と異なる。
3. 開花期が「道南産」と同じ中であり、成熟期もほぼ同じ中である。「道南産」に比べてやや多収であり、耐倒伏性にやや優る。
4. 粒型は平滑型であり、千粒重は中であり、「道南産」よりやや重い。ただし、普通そばの「キタワセソバ」に比べると軽い。粒の長さとは幅は、「道南産」に比べて長さがやや短で幅がやや広であるため、粒の長幅比は小である。
5. 製粉歩留は「道南産」と同程度の中であり、食味及び苦味も同程度の中である。
6. ルチン含量が「道南産」並に極めて高い。

栽培適地と奨励態度

全道一円に適する。栽培上の注意は次の通りである。(1) 普通そばとは交雑しないが、後作を普通そばとした場合、野良生えにより種子が混入するので、後作物の選定に留意する。(2) 多肥により倒伏し、減収するので、適正施肥量に努める。(3) 密植による顕著な増収効果がないので、適正播種量に努める。(4) 「キタワセソバ」より脱粒しやすいので、適期収穫に努める。

試験場名	品 種 名	播種期 (月日)	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	草 丈 (cm)	第1次 分枝数 (本/株)	倒 伏 程 度	脱 粒 (kg/10a)	子実重 (kg/10a)	標準比 (%)	容積重 (g/L)	千粒重 (g)	製 粉 歩 留 (%)	ルチン (mg/100g)	試 験 年 次
北農研 センター	北海T8号	6/5	7/19	8/26	170	3.8	4.1	12.5	180	137	651	18.4	54.2	933	2004～ 2006
	道南産(標準・対照)	6/5	7/22	8/26	174	5.7	4.8	8.5	131	100	665	17.3	54.5	1114	
	キタワセソバ(参考)	6/4	7/8	8/21	116	2.3	1.9	6.6	173	132	592	28.1	55.9	18	
	北海T8号	5/19	7/8	8/11	152	3.6	4.2	7.8	259	116	663	18.0	56.6	948	
	道南産	5/19	7/9	8/12	158	4.1	4.6	5.7	224	100	670	16.9	55.8	1093	
中央農試	北海T8号	6/4	7/16	8/28	150	4.3	1.4	—	217	94	596	16.3	51.0	—	2004～ 2006
	道南産	6/4	7/20	8/30	155	5.4	3.1	—	231	100	611	15.7	49.7	—	
	キタワセソバ	6/4	7/10	8/18	131	3.0	0.7	—	216	94	719	28.5	52.1	—	
上川農試	北海T8号	6/4	7/14	8/27	138	2.6	1.3	—	262	115	559	16.4	51.8	—	2004～ 2006
	道南産	6/4	7/14	8/28	149	3.1	1.9	—	227	100	586	16.8	51.1	—	
	キタワセソバ	6/4	7/9	8/18	124	2.0	1.0	—	199	88	532	28.3	54.4	—	

注) 倒伏程度(無: 0～甚: 5)

- 参照 1) 北海道農政部編, 平成19年普及奨励ならびに指導参考事項, 42-44 (2007)。
2) 本田 裕 等, 北海道農研研報, 192, 1-13 (2010)。

Ⅱ 特 用 作 物

1. てんさい

- (1) リゾマックス (系統名 H133R) 2005年
登録番号：(北海道) てんさい輸交第57号

セールスポイント

そう根病抵抗性を持ち「ユキヒノデ」より収量性が高く、品質がやや優れる。

来歴 本品種は、オランダのアドバンタ社が二倍体単胚雄性不稔系統「HDKPP912208」を種子親に、二倍体多胚系統「HC561425B」を花粉親として育成した二倍体単胚の一代雑種である。2001年にホクレン農業共同組合連合会が輸入し、2002年から「H133R」の系統名で各種の試験を行い、2005年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿は中間、葉長は中、葉数はやや多である。根形は円錐形、露肩はやや少で分岐根は少である。

2. 根重は「ユキヒノデ」より重く、根中糖分は低く、糖量は多い。
3. 有害性非糖分は、アミノ態窒素およびカリウムが「ユキヒノデ」並で、ナトリウムが低く、不純物価は「ユキヒノデ」よりやや低い。
4. 抽苔耐性は「ユキヒノデ」より強い強である。
5. 耐病性は、そう根病抵抗性が「ユキヒノデ」と同様の強、褐斑病抵抗性が「ユキヒノデ」よりやや弱いや強、根腐病抵抗性が「ユキヒノデ」より強いや強、黒根病が「ユキヒノデ」よりやや弱い中である。
6. 耐湿性は「ユキヒノデ」並の中である。

栽培適地と奨励態度

適地は北海道一円である。栽培上の注意は、根腐病抵抗性がやや強であるが、通常の防除を行うこと、根中糖分が低いので北海道施肥基準を越えるような多肥栽培は避けることが挙げられる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	リゾマックス	7.70	17.42	1,340	111	99	110	87	2002, 2004
	モノホマレ	6.91	17.61	1,215	100	100	100	100	
北 見 農 試	リゾマックス	7.09	17.85	1,266	112	98	110	85	2002~2004
	モノホマレ	6.35	18.16	1,154	100	100	100	100	
	ユキヒノデ	6.25	18.48	1,155	98	102	100	95	
中 央 農 試	リゾマックス	9.46	15.62	1,476	106	100	106	97	2002~2004
	モノホマレ	8.89	15.68	1,391	100	100	100	100	
	ユキヒノデ	8.93	15.98	1,424	100	102	102	100	
上 川 農 試	リゾマックス	8.42	17.92	1,508	112	98	109	89	2002~2004
	モノホマレ	7.54	18.25	1,378	100	100	100	100	
	ユキヒノデ	8.03	18.32	1,470	106	100	107	102	

注) 中央農試の不純物価は2003, 2004年平均

- 参照** 1) 北海道農務部編, 平成17年普及奨励ならびに指導参考事項, 63-65 (2005)。
2) 有田敬俊 等, 北海道立農試集報. 89,43-46 (2005)。

- (2) クローナ (系統名 HT22) 2006年
登録番号：(北海道) てんさい輸交第58号

セールスポイント

「スコーネ」より根中糖分が高く、糖量が優れる。

来歴 本品種は、スウェーデンのシンジェンタ種子会社が二倍体雄性不稔系統「MS402-E」を種子親に、四倍

体多胚系統「4X/12」を花粉親として育成した三倍体単胚の一代雑種である。2001年に北海道糖業株式会社が輸入し、2002年から「HT22」の系統名で各種の試験を行い、2006年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや開平、葉長は中、葉数はやや少である。根形はやや短円錐形、露肩は中で分岐根は少である。

- 根重は「スコーネ」並で、根中糖分は高く、糖量はやや多い。
- 有害性非糖分は、アミノ態窒素、カリウムおよびナトリウムが「スコーネ」並で、不純物価は「スコーネ」並である。
- 抽苔耐性は「スコーネ」と同じ強である。
- 耐病性は、褐斑病抵抗性および根腐病抵抗性が「スコーネ」並の弱で、黒根病抵抗性が「スコーネ」よりやや弱い中である。そう根病抵抗性はない。

6. 耐湿性は「スコーネ」並の中である。

栽培適地と奨励態度

適地は北海道一円である。栽培上の注意は、褐斑病抵抗性および根腐病抵抗性が弱なので適切な防除に努めること、黒根病抵抗性が中であるが、多湿となった圃場では黒根病の発生が多い傾向があるので排水不良な圃場での栽培を避けること、そう根病抵抗性を持たないので発病圃場での栽培を避けることが挙げられる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	ク ロ ー ナ	7.07	18.62	1,316	101	107	107	85	2002, 2004, 2005
	モ ノ ホ マ レ	7.03	17.46	1,226	100	100	100	100	
	ス コ ー ネ	6.99	18.03	1,259	99	103	103	90	
北 見 農 試	ク ロ ー ナ	6.30	19.40	1,222	98	106	104	86	2002~2005
	モ ノ ホ マ レ	6.43	18.29	1,177	100	100	100	100	
	ス コ ー ネ	6.62	18.73	1,241	103	102	105	93	
中 央 農 試	ク ロ ー ナ	8.92	16.19	1,442	100	105	106	91	2002~2005
	モ ノ ホ マ レ	8.90	15.35	1,363	100	100	100	100	
	ス コ ー ネ	8.88	15.88	1,407	100	103	103	88	
上 川 農 試	ク ロ ー ナ	7.78	18.94	1,470	100	105	105	92	2002~2005
	モ ノ ホ マ レ	7.75	18.02	1,395	100	100	100	100	
	ス コ ー ネ	7.88	18.35	1,445	102	102	104	95	

注) 中央農試の不純物価は2003~2005年平均

- 参照 1) 北海道農務部編, 平成18年普及奨励ならびに指導参考事項, 10-12 (2006)。
2) 有田敬俊 等, 北海道立農試集報. 91,65-69 (2007)。

- (3) アニマート (系統名 H134) 2006年
登録番号: (北海道) てんさい輸交第59号

セールスポイント

「アーベント」, 「アセンド」並の糖量で根中糖分が高く、品質がやや優れる。

来歴 本品種は、ベルギーのセスバンデルハーベ種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「MOMS14B8,13,4」を種子親に、四倍体多胚系統「T53/35」を花粉親として育成した三倍体単胚の一代雑種である。2002年にホクレン農業協同組合連合会が輸入し、2003年から「H134」の系統名で各種の試験を行い、2006年に優良品種となった。

特性概要

- 葉姿はやや開平、葉長はやや短、葉数は中である。根形はやや短円錐形、露肩はやや少で分岐根は少である。
- 根重は「アーベント」, 「アセンド」より低く、根

中糖分は高く、糖量は並である。

- 有害性非糖分は、アミノ態窒素が「アーベント」並で「アセンド」よりやや低く、カリウムおよびナトリウムが「アーベント」, 「アセンド」並で、不純物価は「アーベント」, 「アセンド」よりやや低い。
- 抽苔耐性は「アーベント」, 「アセンド」並の強である。
- 耐病性は、褐斑病抵抗性が「アーベント」, 「アセンド」並の弱、根腐病が「アーベント」, 「アセンド」並のやや弱、黒根病抵抗性が「アセンド」並の中である。そう根病抵抗性はない。
- 耐湿性は「アーベント」並で、「アセンド」よりやや強い中である。

栽培適地と奨励態度

適地は北海道一円である。栽培上の注意は、褐斑病抵抗性は弱なので適切な防除に努めること、黒根病抵抗性が中であるが多湿と成った圃場では黒根病の発生が多い傾向にあるので排水不良な圃場での栽培を避けること、

そう根病抵抗性を持たないので発病圃場での栽培を避けることが挙げられる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
十 勝 農 試	ア ニ マ ー ト	7.09	18.14	1,285	98	105	103	80	2004, 2005
	モ ノ ホ マ レ	7.22	17.29	1,247	100	100	100	100	
	ア ー ベ ン ト	7.01	18.02	1,263	97	104	101	89	
	ア セ ン ド	7.53	17.78	1,338	104	103	107	88	
北 見 農 試	ア ニ マ ー ト	6.76	19.54	1,321	103	106	109	81	2003~2005
	モ ノ ホ マ レ	6.56	18.52	1,215	100	100	100	100	
	ア ー ベ ン ト	6.81	18.85	1,282	104	102	106	99	
	ア セ ン ド	6.98	18.75	1,307	106	101	108	99	
中 央 農 試	ア ニ マ ー ト	8.82	16.11	1,420	96	106	102	85	2003~2005
	モ ノ ホ マ レ	9.17	15.20	1,391	100	100	100	100	
	ア ー ベ ン ト	9.22	15.71	1,448	101	103	104	91	
	ア セ ン ド	9.33	15.69	1,463	102	103	105	87	
上 川 農 試	ア ニ マ ー ト	8.50	18.77	1,595	104	104	108	80	2003~2005
	モ ノ ホ マ レ	8.16	18.08	1,474	100	100	100	100	
	ア ー ベ ン ト	8.62	18.43	1,587	106	102	108	93	
	ア セ ン ド	8.64	18.60	1,605	106	103	109	85	

参照 1) 北海道農務部編, 平成18年普及奨励ならびに指導参考事項, 13-15 (2006)。

2) 佐藤三佳子 等, 北海道立総合研究機構農試集報. 95, 51-55 (2011)。

(4) かちまる (系統名 KWS 4 S 6 5) 2007年

登録番号: (北海道) てんさい輸交第60号

セールスポイント

「えとぴりか」より収量性がやや高く黒根病抵抗性がやや優る。

来歴 本品種は, ドイツのKBS種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「MS 8A 3768」を種子親に, 四倍体多胚系統「PS 0X8015」を花粉親として育成した三倍体単胚の一代雑種である。2002年に日本甜菜製糖株式会社が輸入し, 2004年から「KWS4S65」の系統名で各種の試験を行い, 2007年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや開平, 葉長は中, 葉数は中である。根形

はやや短円錐形, 露肩は中で分岐根は少である。

2. 根重は「えとぴりか」よりやや重く, 根中糖分はやや低く, 糖量はやや多い。

3. 有害性非糖分は, アミノ態窒素, カリウムおよびナトリウムが「えとぴりか」並で, 不純物価は高い。

4. 抽苔耐性は「えとぴりか」と同じ強である。

5. 耐病性は, 褐斑病抵抗性が「えとぴりか」並の弱, 根腐病抵抗性がやや強いやや弱, 黒根病抵抗性がやや強いやや強である。そう根病抵抗性は持たない。

栽培適地と奨励態度

適地は北海道一円である。栽培上の注意は, 褐斑病抵抗性が弱なので適切な防除に努めること, そう根病抵抗性を持たないので発病圃場での栽培は避けることが挙げられる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 見 農 試	か ち ま る	7.80	18.32	1,427	110	102	113	91	2004~2006
	モ ノ ホ マ レ	7.08	17.89	1,261	100	100	100	100	
	え と び り か	7.01	18.73	1,311	99	105	104	78	
十 勝 農 試	か ち ま る	7.75	17.08	1,329	111	101	113	86	2004~2006
	モ ノ ホ マ レ	6.98	16.84	1,178	100	100	100	100	
	え と び り か	7.13	17.59	1,256	102	104	107	74	
中 央 農 試	か ち ま る	10.19	15.12	1,544	110	102	112	86	2004, 2005
	モ ノ ホ マ レ	9.27	14.82	1,373	100	100	100	100	

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
中 央 農 試	えとびりか	9.55	15.76	1,507	103	106	110	73	2004, 2005
上 川 農 試	かちまる	8.79	18.46	1,614	108	103	110	91	2004, 2005
	モノホマレ	8.15	17.95	1,461	100	100	100	100	
	えとびりか	8.30	19.04	1,577	102	106	108	84	

参照 1) 北海道農務部編, 平成19年普及奨励ならびに指導参考事項, 12-14 (2007)。

2) 山崎敬之 等, 北海道立総合研究機構農試集報, 96, 47-51 (2012)。

(5) レミエル (系統名 H135) 2008年

登録番号: (北海道) てんさい輸交第61号

セールスポイント

「アセンド」より糖量がやや多く,品質が優れる。

来歴 本品種は, ベルギーのセスパンデルハーベ種子会社育成の二倍体単胚雄性不稔系統「MOMS14B,13,4」を種子親に, 四倍体多胚系統「T103/98」を花粉親として, 育成した三倍体単胚の一代雑種である。2003年にホクレン農業協同組合連合会が輸入し, 2004年から「H135」の系統名で各種の試験を行い, 2008年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや開平, 葉長は中, 葉数はやや多である。

根形は円錐形, 露肩は中で分岐根は少である。

2. 根重, 根中糖分は「アセンド」並で, 糖量は「アセンド」よりやや多い。

3. 有害性非糖分は, アミノ態窒素が「アセンド」よりやや低く, カリウムが同程度, ナトリウムが低く, 不純物価は「アセンド」よりやや低い。

4. 抽苔耐性は「アセンド」と同じ強である。

5. 耐病性は, 褐斑病抵抗性が「アセンド」並の弱, 根腐病抵抗性が「アセンド」並のやや弱, 黒根病抵抗性が「アセンド」並の中である。そう根病抵抗性はない。

栽培適地と奨励態度

適地は北海道一円である。栽培上の注意は, 褐斑病抵抗性が弱なので, 適切な防除に努めること, そう根病抵抗性を持たないので, 発病圃場では栽培しないことが挙げられる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 見 農 試	レミエル	7.31	18.37	1,341	104	103	108	84	2004~2007
	モノホマレ	7.04	17.77	1,247	100	100	100	100	
	アセンド	7.44	18.16	1,346	106	102	108	90	
十 勝 農 試	レミエル	7.55	16.82	1,270	107	101	109	82	2004~2007
	モノホマレ	7.03	16.61	1,169	100	100	100	100	
	アセンド	7.38	16.9	1,247	105	102	107	91	
中 央 農 試	レミエル	9.64	15.31	1,474	104	103	107	80	2004, 2005
	モノホマレ	9.27	14.82	1,373	100	100	100	100	
	アセンド	9.38	15.35	1,439	101	104	105	84	
上 川 農 試	レミエル	8.67	18.41	1,595	106	103	109	89	2004, 2005
	モノホマレ	8.15	17.95	1,461	100	100	100	100	
	アセンド	8.58	18.56	1,589	105	103	109	83	

注) 十勝農試の不純物価は2004~2006年平均

参照 1) 北海道農務部編, 平成20年普及奨励ならびに指導参考事項, 9-11 (2008)。

2) 山崎敬之 等, 北海道立総合研究機構農試集報, 96, 53-57 (2012)。

(6) リッカ (系統名 HT28) 2008年
登録番号：(北海道) てんさい輸交第62号

セールスポイント

そう根病抵抗性を持ち、「モリーノ」より収量性が優る。また褐斑病抵抗性を持ち、被害軽減が期待できる。

来歴 本品種は、スウェーデンのシンジェンタ種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「MS-412-0」を種子親に、二倍体多胚系統「2X/62」を花粉親として育成した二倍体単胚の一代雑種である。2004年に北海道糖業株式会社が輸入し、2005年から「HT28」の系統名で各種の試験を行い、2008年に優良品種となった

特性概要

1. 葉姿はやや直立、葉長はやや長、葉数はやや多である。根形は円錐形、露肩はやや多で分岐根は少である。
2. 根重は「モリーノ」、「クローナ」より重く、根中

糖分は「モリーノ」より高く「クローナ」よりやや低く、糖量は「モリーノ」、「クローナ」より多い。

3. 有害性非糖分は、アミノ態窒素およびカリウムが「モリーノ」よりやや低く「クローナ」並、ナトリウムが「モリーノ」、「クローナ」より低く、不純物価は「クローナ」並で「モリーノ」より低い。
4. 抽苔耐性は「モリーノ」、「クローナ」と同じ強である。
5. 耐病性は、そう根病抵抗性が「モリーノ」と同様の強、褐斑病が「モリーノ」並で「クローナ」より強いやや強、根腐病抵抗性が「モリーノ」、「クローナ」よりやや強いやや弱、黒根病抵抗性が「モリーノ」よりやや強く「クローナ」並の中である。

栽培適地と奨励態度

適地は北海道一円である。栽培上の注意は、多湿圃場で黒根病が多発した試験例があり、適切な排水対策に努めることが挙げられる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 見 農 試	リ ッ カ	7.84	18.08	1,416	110	103	114	82	2005~2007
	モ ノ ホ マ レ	7.11	17.55	1,244	100	100	100	100	
	モ リ ー ノ	7.43	17.53	1,299	105	100	104	116	
	ク ロ ー ナ	7.03	18.61	1,302	99	106	105	86	
十 勝 農 試	リ ッ カ	8.25	16.91	1,393	118	103	122	88	2005~2007
	モ ノ ホ マ レ	6.99	16.34	1,143	100	100	100	100	
	モ リ ー ノ	7.54	16.34	1,232	108	100	108	113	
	ク ロ ー ナ	7.23	17.20	1,243	103	105	109	86	
中 央 農 試	リ ッ カ	9.30	14.61	1,359	104	102	106	77	2005
	モ ノ ホ マ レ	8.92	14.37	1,279	100	100	100	100	
	モ リ ー ノ	8.81	13.92	1,225	99	97	96	101	
	ク ロ ー ナ	8.83	15.27	1,349	99	106	105	89	
上 川 農 試	リ ッ カ	9.54	17.46	1,664	114	101	115	90	2005
	モ ノ ホ マ レ	8.36	17.34	1,447	100	100	100	100	
	モ リ ー ノ	8.16	17.60	1,435	98	101	99	112	
	ク ロ ー ナ	8.29	18.28	1,514	99	105	105	94	

注) 十勝農試の不純物価は2005、2006年平均

- 参照** 1) 北海道農務部編, 平成20年普及奨励ならびに指導参考事項, 12-15 (2008)。
2) 山崎敬之 等, 北海道立総合研究機構農試集報, 97, 53-57 (2013)。

(7) ゆきまる (系統名 KWS 5 R 1 6) 2009年
登録番号：(北海道) てんさい輸交第63号

セールスポイント

そう根病抵抗性を持ち、根中糖分も一般品種並で「きたさやか」より高い。

来歴 本品種は、ドイツのKWS種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「MS 0J 1799」を種子親に、二倍体多胚系統「PS 0R 7621」を花粉親として育成した二倍体単胚の一代雑種である。2005年に日本甜菜製糖株式会社が輸入し、2007年から「KWS5R16」の系統名で各種の試験を行い、2009年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿は直立，葉長は中，葉数は中である。根形はやや短円錐形，露肩は中で分岐根は少である。
2. 根重は「きたさやか」よりやや軽く，根中糖分は「きたさやか」より高く，糖量は「きたさやか」よりやや多い。
3. 有害性非糖分は，アミノ態窒素が「きたさやか」よりやや高く，カリウムが同様，ナトリウムが「きたさやか」より低い。不純物価は「きたさやか」よりやや高い。

4. 抽苔耐性は「きたさやか」と同じ強である。
5. 耐病性は，そう根病抵抗性が「きたさやか」と同様の強，褐斑病と黒根病抵抗性が「きたさやか」より弱く，それぞれやや弱と中，根腐病抵抗性が「きたさやか」並の弱である。

栽培適地と奨励態度

適地は北海道一円である。栽培上の注意は，褐斑病がやや弱，根腐病が弱なので，適切な防除につとめることが挙げられる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 見 農 試	ゆ き ま る	7.74	18.30	1,414	111	102	114	92	2005～2008
	モ ノ ホ マ レ	6.99	17.87	1,245	100	100	100	100	
	き た さ や か	7.74	17.31	1,336	111	97	107	79	
十 勝 農 試	ゆ き ま る	7.29	17.29	1,259	107	103	111	100	2005～2008
	モ ノ ホ マ レ	6.81	16.73	1,139	100	100	100	100	
	き た さ や か	8.04	16.43	1,317	118	98	116	79	
中 央 農 試	ゆ き ま る	8.92	14.75	1,315	100	103	103	88	2005
	モ ノ ホ マ レ	8.92	14.37	1,279	100	100	100	100	
	き た さ や か	9.18	13.82	1,269	103	96	99	83	
上 川 農 試	ゆ き ま る	8.55	17.93	1,533	102	103	106	101	2005
	モ ノ ホ マ レ	8.36	17.34	1,447	100	100	100	100	
	き た さ や か	9.06	16.54	1,498	108	95	104	91	

注) 十勝農試の不純物価は2005，2006年平均

- 参照 1) 北海道農務部編，平成21年普及奨励ならびに指導参考事項，5-8 (2009)。
2) 佐藤三佳子 等，北海道立総合研究機構農試集報. 95, 56-60 (2011)。

(8) リポルタ (系統名 HT30) 2010年
登録番号：(北海道) てんさい輸交第65号

セールスポイント

これまでにない4病害複合抵抗性品種である。

来歴 本品種は，スウェーデンのシンジェンタ種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「HI0130xHI0427」を種子親に，二倍体多胚系統「HI0380」を花粉親として育成した二倍体単胚の一代雑種である。2006年に北海道糖業株式会社が輸入し，2007年から「HT30」の系統名で各種の試験を行い，2010年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿は直立，葉長は中，葉数は中である。根形は円錐形，露肩はやや多く分岐根は少である。
2. 根重は「クローナ」よりやや重く「リッカ」より軽く，根中糖分は「クローナ」よりやや低く「リッカ」

並，糖量は「クローナ」よりやや高く「リッカ」よりやや低い。

3. 有害性非糖分は，アミノ態窒素およびカリウムが「クローナ」，「リッカ」より低く，ナトリウムが「クローナ」より低く「リッカ」並，不純物価は「クローナ」，「リッカ」より低い。
4. 抽苔耐性は「クローナ」，「リッカ」よりやや弱いやや強である。
5. 耐病性は，そう根病抵抗性が「リッカ」同様の強，褐斑病，根腐病抵抗性が「クローネ」，「リッカ」より強い強，黒根病抵抗性が「クローネ」，「リッカ」より強いやや強である。

栽培適地と奨励態度

適地は北海道一円である。栽培上の注意として，抽苔抵抗性がやや強であるため他の品種より抽苔しやすく，早期播種や，過度の低温による馴化処理はさけることが挙げられる。また各種病害に抵抗性があるが，全く罹病

しない訳ではないので、防除は必要である。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 見 農 試	リ ボ ル タ	7.23	18.68	1,350	107	102	109	70	2007～2009
	モ ノ ホ マ レ	6.77	18.37	1,243	100	100	100	100	
	ク ロ ー ナ	7.07	19.19	1,356	104	104	109	86	
	リ ッ カ	7.65	18.72	1,431	113	102	115	92	
十 勝 農 試	リ ボ ル タ	6.74	17.75	1,190	107	103	110	68	2007～2009
	モ ノ ホ マ レ	6.32	17.15	1,079	100	100	100	100	
	ク ロ ー ナ	6.54	17.91	1,162	103	104	108	81	
	リ ッ カ	7.34	17.55	1,280	116	102	119	84	

注) 十勝農試の不純物価は2007年のみ

- 参照 1) 北海道農務部編, 平成22年普及奨励ならびに指導参考事項, 13-16 (2010)。
2) 佐藤三佳子 等, 北海道立総合研究機構農試集報. 96, 59-65 (2012)。

(9) パピリカ (系統名 H137) 2010年
登録番号: (北海道) てんさい輸交第66号

セールスポイント

そう根病抵抗性を持ち、「レミエル」等の近年導入された一般品種よりも根重が重く糖量が多い。

来歴 本品種は、ベルギーのセスバンデルハーベ種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「HDKPP912037」を種子親に、二倍体多胚系統「HC13028」を花粉親として育成した二倍体単胚の一代雑種である。2005年にホクレン農業協同組合連合会が輸入し、2006年から「H137」の系統名で各種の試験を行い、2010年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿は直立、葉長は中、葉数は多である。根形はやや短円錐形、露肩はやや多で分岐根は少である。
2. 根重は「レミエル」、「リゾマックス」より重く、根中糖分は「レミエル」並で「リゾマックス」より高

3. 有害性非糖分は、アミノ態窒素が「レミエル」、「リゾマックス」より低く、カリウムが同程度、ナトリウムが「レミエル」並で「リゾマックス」より低い。不純物価は「レミエル」、「リゾマックス」並である。
4. 抽苔耐性は「レミエル」、「リゾマックス」と同じ強である。
5. 耐病性は、そう根病抵抗性が「レミエル」、「リゾマックス」同様強、褐斑病抵抗性が「リゾマックス」より弱く「レミエル」よりやや強いやや弱、根腐病抵抗性が「リゾマックス」より弱く「レミエル」並のやや弱、黒根病抵抗性が「リゾマックス」「レミエル」並の中である。

栽培適地と奨励態度

適地は北海道一円である。栽培上の注意は、褐斑病、根腐病がやや弱なので、適切な防除につとめることが挙げられる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 見 農 試	パ ピ リ カ	7.99	18.33	1,458	114	102	116	78	2006～2009
	モ ノ ホ マ レ	7.01	17.92	1,252	100	100	100	100	
	レ ミ エ ル	7.47	18.54	1,382	107	103	110	80	
	リ ゾ マ ッ ク ス	8.16	17.78	1,447	116	99	116	79	
十 勝 農 試	パ ピ リ カ	7.59	17.50	1,324	119	104	124	80	2006～2009
	モ ノ ホ マ レ	6.37	16.85	1,070	100	100	100	100	
	レ ミ エ ル	6.93	17.02	1,171	109	101	109	79	
	リ ゾ マ ッ ク ス	7.40	17.14	1,262	116	102	118	77	

注) 十勝農試の不純物価は2006, 2009年平均

- 参照 1) 北海道農務部編, 平成22年普及奨励ならびに指導参考事項, 17-20 (2010)。
2) 佐藤三佳子 等, 北海道立総合研究機構農試集報. 96, 67-71 (2012)。

(10) **アマホマレ** (系統名 北海98号) 2010年
 登録番号：(北海道) てんさい北海道交第64号
 (種苗法) 第22384号

セールスポイント

糖量が既存の普及品種と遜色がないにもかかわらず、根中糖分が高い。

来歴 本品種は、北海道農業研究センターがベルギーのセスバンデルハーベ種子会社との共同研究によって育成したもので、北農研育成の二倍体単胚雄性不稔系統「JMS-59」を種子親に、セスバンデルハーベ育成の四倍体多胚系統「PKS5335」を花粉親として交配した三倍体単胚の一代雑種である。2004年に交配を行い、2007年から「北海98号」の系統名で各種の試験を行い、2010年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿は中間、葉長は長、葉数はやや多である。根形はやや短円錐形、露肩は中で分岐根は少である。
2. 根重は「モノホマレ」よりやや重く、根中糖分は高く、糖量は多い。
3. 有害性非糖分は、アミノ態窒素、カリウム、ナトリウムが「モノホマレ」より低く、不純物価は低い。
4. 抽苔耐性は「モノホマレ」と同じ強である。
5. 耐病性は、そう根病抵抗性が弱、褐斑病抵抗性が「クローネ」「えとぴりか」「レミエル」より強い中、根腐病、黒根病抵抗性が「クローネ」「えとぴりか」「レミエル」並の弱および中である。

栽培適地と奨励態度

適地は北海道一円である。栽培上の注意は、そう根病抵抗性が弱なので発生圃場での栽培は避けること、根腐病抵抗性が弱なので適切な防除に努めることが挙げられる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 農 研	ア マ ホ マ レ	7.24	19.33	1,400	102	105	108	77	2007~2009
	モ ノ ホ マ レ	7.09	18.35	1,300	100	100	100	100	
北 見 農 試	ア マ ホ マ レ	7.01	19.58	1,371	104	107	110	74	2007~2009
	モ ノ ホ マ レ	6.77	18.37	1,243	100	100	100	100	

参照 1) 北海道農務部編, 平成22年普及奨励ならびに指導参考事項, 39-42 (2010)。

(11) **ラテール** (系統名 H139) 2012年
 登録番号：(北海道) てんさい輸交第68号

セールスポイント

“強”の褐斑病抵抗性を持ち、そう根病抵抗性も持つ。また「スタウト」より根重、根中糖分が優れ、糖量が多い。

来歴 本品種は、ベルギーのセスバンデルハーベ種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「HC13017」を種子親に、二倍体多胚系統「HS01A2226」を花粉親として育成した二倍体単胚の一代雑種である。2007年にホクレン農業協同組合連合会が輸入し、2008年から「H139」の系統名で各種の試験を行い、2012年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや直立、葉長は中、葉数はやや多である。

根形はやや短円錐形、露肩は中で分岐根は少である。

2. 根重は「スタウト」よりやや重く、根中糖分は「スタウト」より高く、糖量は「スタウト」より多い。
3. 有害性非糖分は、アミノ態窒素が「スタウト」より低く、カリウム、ナトリウムが同程度で、不純物価は「スタウト」よりやや低い。
4. 抽苔耐性は「スタウト」と同じ強である。
5. 耐病性は、そう根病抵抗性が強、褐斑病抵抗性が「スタウト」並の強、根腐病抵抗性が「スタウト」より弱い弱、黒根病抵抗性が「スタウト」並のやや強である。

栽培適地と奨励態度

適地は北海道一円である。栽培上の注意は、根腐病が弱なので、適切な防除に努めることが挙げられる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 見 農 試	ラ テ ー ル	7.44	18.56	1,374	108	105	113	75	2008～2011
	モ ノ ホ マ レ	6.89	17.7	1,217	100	100	100	100	
	ス タ ウ ト	7.02	17.94	1,254	102	101	103	88	
十 勝 農 試	ラ テ ー ル	6.35	17.66	1,117	106	106	112	74	2008～2011
	モ ノ ホ マ レ	6.00	16.63	997	100	100	100	100	
	ス タ ウ ト	6.03	16.93	1,017	101	102	102	80	

注) 不純物価は北見農試が2008, 2009年平均, 十勝農試が2009年のみ

参照 1) 北海道農務部編, 平成24年普及奨励ならびに指導参考事項, 17-19 (2012)。

(12) クリスター (系統名 HT32) 2012年

登録番号: (北海道) てんさい輸交第69号

セールスポイント

「フルーデンR」並の高糖分品種でありながら, そう根病抵抗性, 褐斑病, 黒根病の3病害に複合抵抗性を持ち, 「クローナ」「フルーデンR」よりも糖量が多い。

来歴 本品種は, スウェーデンのシンジェンタ種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「HI0378×HI0377」を種子親に, 二倍体多胚系統「HI0341」を花粉親として育成した二倍体単胚の一代雑種である。2008年に北海道製糖株式会社が輸入し, 2009年から「HT32」の系統名で各種の試験を行い, 2012年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿はやや開平, 葉長は中, 葉数はやや少である。

根形は円錐形, 露肩は中で分岐根は少である。

2. 根重は「フルーデンR」より重く, 「クローナ」並

で, 根中糖分は「フルーデンR」, 「クローナ」並で, 糖量は「フルーデンR」より多く, 「クローナ」より多い。

3. 有害性非糖分は, アミノ態窒素は「フルーデンR」より高く, 「クローナ」並で, カリウムは「フルーデンR」, 「クローナ」より低く, ナトリウムは「フルーデンR」, 「クローナ」並で, 不純物価は「フルーデンR」より低く, 「クローナ」よりやや低い。

4. 抽苔耐性は「フルーデンR」, 「クローナ」と同じ強である。

5. 耐病性は, そう根病抵抗性が「クローナ」, 「フルーデンR」同様強, 褐斑病抵抗性が「クローナ」より強く「フルーデンR」よりやや強い強, 根腐病抵抗性および黒根病抵抗性が「クローナ」, 「フルーデンR」よりやや強いやや弱およびやや強である。

栽培適地と奨励態度

適地は北海道一円である。栽培上の注意はない。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 見 農 試	ク リ ス タ ー	7.41	18.13	1,344	106	105	111	85	2009～2011
	モ ノ ホ マ レ	6.97	17.33	1,207	100	100	100	100	
	ク ロ ー ナ	7.18	17.95	1,287	103	104	107	95	
十 勝 農 試	ク リ ス タ ー	6.19	16.93	1,037	105	105	109	74	2009～2011
	モ ノ ホ マ レ	5.91	16.20	954	100	100	100	100	
	ク ロ ー ナ	6.27	16.68	1,031	106	103	108	81	

注) 不純物価は2009年のみ

参照 1) 北海道農務部編, 平成24年普及奨励ならびに指導参考事項, 20-22 (2012)。

(13) えぞまる (系統名 KWS 9 R38) 2012年
登録番号：(北海道) てんさい輸交第70号

セールスポイント

そう根病抵抗性を持ち、「かちまる」「ゆきまる」より根重および糖量がかなり優れる。

来歴 本品種は、ドイツのクラインワンツレーベン種子会社が二倍体単胚雄性不稔系統「MS4J1812」を種子親に、二倍体多胚系統「PS5RV6048」を花粉親として育成した二倍体単胚の一代雑種である。2008年に日本甜菜製糖株式会社が輸入し、2009年から「KWS9R38」の系統名で各種の試験を行い、2012年に優良品種となった。

特性概要

1. 草姿は中間、葉長はやや短、葉数はやや多である。根形はやや短円錐形、露肩は中で分岐根は少である。
2. 根重は「かちまる」、「ゆきまる」より重く、根中糖分は「かちまる」、「ゆきまる」よりやや高く、糖量は「かちまる」、「ゆきまる」より多い。

3. 有害性非糖分は、アミノ態窒素が「ゆきまる」よりやや低く「かちまる」並、カリウムが「かちまる」、「ゆきまる」並、ナトリウムが「かちまる」よりやや高く「ゆきまる」より高い。不純物価は「かちまる」並で「ゆきまる」よりやや低い。
4. 抽苔耐性は「かちまる」、「ゆきまる」よりやや弱いやや強である。
5. 耐病性は、そう根病抵抗性が「ゆきまる」と同様の強、褐斑病抵抗性が「かちまる」並で「ゆきまる」よりやや弱い弱、根腐病抵抗性が「かちまる」よりやや強く「ゆきまる」より強い中、黒根病抵抗性が「かちまる」よりやや弱く「ゆきまる」並の中である。

栽培適地と奨励態度

適地は北海道一円である。栽培上の注意は、多湿となった圃場では根腐れ症状の発生が多い傾向があるので、排水不良な圃場での栽培を避ける、褐斑病抵抗性が弱なので、適切な防除に努める、抽苔耐性がやや強であるため、早期播種や過度の低温による馴化処理は避けることがあげられる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 見 農 試	え ぞ ま る	7.89	17.76	1,401	113	102	116	83	2009~2011
	モ ノ ホ マ レ	6.97	17.33	1,207	100	100	100	100	
	か ち ま る	7.60	17.33	1,315	109	100	109	90	
	ゆ き ま る	7.71	17.48	1,347	111	101	112	95	
十 勝 農 試	え ぞ ま る	7.19	17.21	1,226	122	106	129	73	2009~2011
	モ ノ ホ マ レ	5.91	16.20	954	100	100	100	100	
	か ち ま る	6.64	16.42	1,079	112	101	113	80	
	ゆ き ま る	6.34	16.37	1,035	107	101	108	89	

注) 不純物価は2009年のみ

参照 1) 北海道農務部編, 平成24年普及奨励ならびに指導参考事項, 23-25 (2012)。

(14) みつぼし (系統名 北海101号) 2012年
登録番号：(北海道) てんさい北海道交第67号
(種苗法) 第 号

セールスポイント

そう根病、褐斑病および黒根病の抵抗性を持ち、特に黒根病抵抗性は、複合抵抗性の代表的な品種「リボルタ」よりも強い。

来歴 本品種は、北海道農業研究センターがスウェーデンのシンジェンタ種子会社との共同研究によって育成したもので、北農研育成の二倍体単胚雄性不稔系統「JMS

64」を種子親に、シンジェンタ育成の二倍体多胚系統「L40200」を花粉親として交配した二倍体単胚の一代雑種である。2006年に交配を行い、2009年から「北海101号」の系統名で各種の試験を行い、2012年に優良品種となった。

特性概要

1. 葉姿は直立、葉長は中、葉数は多である。根形はやや短円錐形、露肩は中で分岐根は少である。
2. 根重は「モノホマレ」より重く「リボルタ」並、根中糖分は「モノホマレ」並で、「リボルタ」より低く、糖量は「モノホマレ」より多く、「リボルタ」並であ

る。

3. 有害性非糖分は、アミノ態窒素が「モノホマレ」より低く「リボルタ」並、カリウムが「モノホマレ」よりやや低く「リボルタ」よりやや高く、ナトリウムが「モノホマレ」、「リボルタ」より低い。不純物価は「モノホマレ」より低く「リボルタ」より高い。
4. 抽苔耐性は「モノホマレ」よりやや弱く「リボルタ」並のやや強である。
5. 耐病性は、そう根病抵抗性、褐斑病抵抗性が「リボ

ルタ」と同様の強、根腐病抵抗性が「リボルタ」より弱い中、黒根病抵抗性が「リボルタ」よりやや強い強である。

栽培適地と奨励態度

適地は北海道一円である。栽培上の注意として抽苔発生が多くなる場合があるため、早期播種や、育苗中の過度の低温による馴化処理は避けることが挙げられる。

試験場名	品 種 名	根 重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖 量 (kg/10a)	対「モノホマレ」比(%)				試験年次
					根 重	根中糖分	糖 量	不純物価	
北 農 研	み つ ぼ し	7.29	16.43	1,199	110	101	110	77	2009~2011
	モ ノ ホ マ レ	6.64	16.30	1,090	100	100	100	100	
	リ ボ ル タ	7.12	16.89	1,204	107	104	110	71	
北 見 農 試	み つ ぼ し	7.58	17.27	1,308	109	100	108	83	2009~2011
	モ ノ ホ マ レ	6.97	17.33	1,207	100	100	100	100	
	リ ボ ル タ	7.46	17.92	1,335	107	103	111	72	

注) 北見農試の不純物価は2009年のみ

参照 1) 北海道農務部編, 平成24年普及奨励ならびに指導参考事項, 37-40 (2012)。

Ⅲ 果 樹

1. りんご

(1) 紅将軍 2009年

登録番号：(北海道)りんご移第14号
(種苗法)第3589号

セールスポイント

着色良好で果実のほぼ全面が濃赤色に着色し、さびの発生が少なく外観が優れる。蜜入りが良好で甘味と酸味のバランス良く食味が優れる。

来歴 本品種は山形県で民間育成された品種である。「ふじ」の枝変わりである「やたか」の枝変わり品種である。山形県の株式会社天香園により品種登録出願され、1993年7月27日に品種登録された。北海道では、2009年に優良品種となった。

特性の概要

1. 樹姿は開張する。樹勢は中で、樹体の大きさは「つがる」より大きく「ハックナイン」より小さい。葉色は緑である。花芽の着生は比較的良好である。
2. 発芽から開花に至るまでの生育相は、ほぼ「つがる」、「ハックナイン」と同時期に経過する。収穫期は10月中旬で「つがる」より17~20日遅い。
3. 1樹あたり収量は「つがる」より多く「ハックナイ

ン」より少ない。

4. 果実は扁円錐形で、果実の大きさは「つがる」並で「ハックナイン」より小さい。着色は濃赤で、ほぼ全面に着色し、縞が入らない。果肉がしまっている。食味は甘さと酸味の調和がとれており、品質は良好である。蜜が良く入る。心かびはわずかに見られる。
5. 貯蔵期間としては室温で1週間、冷蔵で1~2か月程度と考えられる。
6. 「つがる」との交配親和性には問題ないが、「ふじ」および「ハックナイン」とは交雑不和合性である。一般防除下で特に問題となる病害虫は認められない。

栽培適地と奨励態度

本道のりんご栽培地域に適する。「つがる」から「ハックナイン」の間に収穫期を迎える中生の品種として品質および栽培特性に優れ、「ふじ」と異なり果実の全面に着色する特徴があり、市場出荷はもとより観光果樹園や直売所など多様な場面において、販売面の品揃えを増やすことができる。従って本品種は中生の基幹品種として有望である。強樹勢、着果不足および排水不良条件下では裂果の発生を助長することがあるので、適正樹勢の維持、適正着果および土壌排水性の改善に努める。

試験場所	品種名	満開期 (月日)	収穫期 (月日)	積算 収量 (kg)	果実品質						試験年次
					果実重 (g)	着色 (0~10)	硬度 (lb)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	蜜入り (0~3)	
中 央 試 農	紅 将 軍	5.28	10.18	123.1	327	9.4	13.4	14.3	0.45	2.1	2000~2008
	つ が る	5.29	10.01	73.5	300	9.2	12.9	14.3	0.35	0.1	
	ハックナイン	5.28	11.01	127.9	381	7.4	12.8	13.3	0.54	0.8	

- 注 1) 満開期、収穫期は2004~2008年の平均
2) 積算収量は1樹あたり収量で、樹齢4~10年生の積算値
3) 果実品質は2005~2008年の平均値

参照 1) 北海道農政部編, 平成21年普及奨励ならびに指導参考事項, 9-11 (2009)

(2) 昂林 2009年

登録番号：(北海道)りんご移第13号

セールスポイント

着色良好で縞が入り、さびの発生が少なく外観が優れる。蜜が入り、甘味と酸味のバランス良く食味が優れる。

来歴 本品種は、「昂林」は福島県の民間で育成された

品種で、遺伝子判断の結果、「ふじ」の枝変わりまたは「ふじ」のアポミクシスの可能性が高いと報告されている。北海道では、2009年に優良品種となった。

特性の概要

1. 樹姿は開張する。樹勢は中で、樹体の大きさは「つがる」より大きく「ハックナイン」より小さい。葉色は緑である。花芽の着生は比較的良好である。

2. 発芽から開花に至るまでの生育相は、ほぼ「つがる」、「ハックナイン」と同時期に経過する。収穫期は10月中旬で「つがる」より17～20日遅い。
3. 1樹あたり収量は「つがる」より多く「ハックナイン」より少ない。
4. 果実は扁円形で、果実の大きさは「つがる」並で「ハックナイン」より小さい。着色は濃赤で、不明瞭だが縞が入る。果肉がしまっている。食味は甘さと酸味の調和がとれており、品質は良好である。蜜は入ることが地域差が見られる。心かびはわずかに見られる。
5. 貯蔵期間としては室温で1週間、冷蔵で1～2か月程度と考えられる。

6. 「つがる」との交配親和性には問題ないが、「ふじ」および「ハックナイン」とは交雑不和合性である。一般防除下で特に問題となる病害虫は認められない。

栽培適地と奨励態度

本道のりんご栽培地域に適する。「つがる」から「ハックナイン」の間に収穫期を迎える中生の品種として品質および栽培特性に優れ、道産りんごの柱として市場出荷や観光果樹園など幅広い場面での利用が期待出来る。強樹勢、着果不足および排水不良条件下では裂果の発生を助長することがあるので、適正樹勢の維持、適正着果および土壌排水性の改善に努める。

試験場所	品種名	満開期 (月日)	収穫期 (月日)	積算 収量 (kg)	果実品質						試験年次
					果実重 (g)	着色 (0～10)	硬度 (lb)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	蜜入り (0～3)	
中 央 農 試	昂 林	5.28	10.18	76.5	308	9.0	13.2	13.9	0.47	0.8	2000～2008
	つ がる	5.28	10.01	48.9	300	9.0	12.9	14.4	0.33	0.1	
	ハックナイン	5.28	11.01	96.5	401	7.5	13.1	13.6	0.57	0.7	

- 注 1) 満開期、収穫期は2004～2008年の平均
 2) 積算収量は1樹あたり収量で、樹齢4～10年生の積算値
 3) 果実品質は2005～2008年の平均値

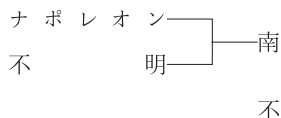
参照 1) 北海道農政部編, 平成21年普及奨励ならびに指導参考事項, 39-41 (2009)

2. おうとう

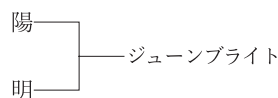
- (1) ジューンブライト (系統名 おうとうHC1号) 2005年
 登録番号: (北海道) おうとう北海道第1号
 (種苗法) 第14917号

セールスポイント

収穫期が早く果実は大玉である。耐寒性は強く道内のほとんどの栽培品種と交配親和性を有する。



来歴 本品種は1987年に北海道立道南農業試験場において、「南陽」を種子親とした種子を採取し、獲得した実生から選抜した。1995年に大玉で食味が良好であることを認めたことから系統名「HC1」を付した。1997年から北海道立中央農業試験場、1998年から現地において試験を開始し果実品質等の検討を行った結果、早生品種としては果実が大きく品質良好なことから2005年に北海道の優良品種として認定され、2007年3月2日に種苗登録された。



特性の概要

1. 樹勢は強く、樹は大きくなる。樹姿は「北光」と同様に直立する。花束状短果枝の着生程度は「佐藤錦」、「北光」より少なく、「南陽」より多い。
2. 発芽期と開花期はともに「北光」と同時期である。収穫盛期は6月下旬で「佐藤錦」よりやや早い。
3. 結果量は多く、生理落果は少ない。収量は「佐藤錦」、

「北光」並である。耐寒性は「佐藤錦」、「南陽」より強く「北光」並みに強い。

4. 果形は「佐藤錦」と同じ心臓形である。果実は「佐藤錦」、「北光」より大きい。果皮の着色は「南陽」より多く「佐藤錦」より少ない。果肉の硬さはやや軟らかく、果汁が多い。甘みはやや少なく、酸味は中程度である。

5. 裂果の程度は「佐藤錦」並みである。年次によって「南陽」と同様の黄変落葉が見られるが、生育への大きな影響は見られない。
6. 「佐藤錦」, 「北光」, 「南陽」と交配親和性を有する。灰星病抵抗性, 虫害抵抗性はともに中程度であり, 一般防除下で特に問題は認められなかった。

は6月下旬であり, 「佐藤錦」より3日ほど早い。また, 「佐藤錦」に比べ大玉であることから収穫調整作業に有利である。耐寒性が「北光」並に強いことから, 耐寒性が制限要因となっている地域への新たな導入も期待できる。現在の本道栽培品種すべてと交配親和性があることから, 園地全体の結実の良化が図ることができる。

なお, 「佐藤錦」並みに裂果することから裂果防止のための雨よけ被覆を実施する

栽培適地と奨励態度

全道のおうとう栽培地域に適する。本品種の収穫盛期

試験場所	品種名	満開期 (月日)	収穫期 (月日)	積算 収量 (kg)	果実品質			試験年次
					果実重 (g)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	
中央農試	ジューンブライト	5.14	6.29	8.3	6.3	13.9	0.52	2000~2008
	佐藤錦	5.17	6.29	8.6	5.8	14.2	0.46	
	北光	5.15	7.05	8.9	6.0	17.0	0.70	
	南陽	5.19	7.12	5.0	8.6	13.2	0.47	

- 注 1) 満開期, 収穫期は2002~2004年の平均
 2) 積算収量は1樹あたり収量で, 樹齢7~9年生の積算値
 3) 果実品質は2002~2004年の平均値

- 参照 1) 北海道農政部編, 平成17年普及奨励ならびに指導参考事項, 16-18 (2005)
 2) 井上哲也 等, 北海道立農試集報, 92, 41-49 (2008)。

IV 花 き

1. 花ゆり

- (1) きらりゴールド (系統名 Li-26号) 2006年
登録番号：(北海道)花ゆり北海道第9号
(種苗法)第17023号

セールスポイント

花色・花形や草姿，増殖性に優れ，小球開花性が高く一年球を切り花生産に利用できる。

来歴 本品種は，1998年に北海道立中央農業試験場と花・野菜技術センターにおいて，小輪性アジアティック系品種の育成を目標に，アジアティック系品種「アラスカ」を母，花蕾が小さい育成系統「95AA69-3」を父として，花柱切断受粉法による交配と胚珠培養により得た雑種から育成された。2003年から「Li-26」の系統名で各種試験を行い，2006年に優良品種となった。

特性概要

1. 冷凍貯蔵球を用いた5月定植栽培では採花までの日数(在圃日数)は約53日で，草丈は約72cm(球周10-12cmの球根)である。

場所名	品 種 名	供 試 球 周 (cm)	在 圃 日 数 (日)	草 丈 (cm)	茎 長 (cm)	花 径 (cm)	花蕾数 (個/本)	葉 長 (cm)	採 花 本 数 (本/a)	葉 枯 病 発 生 程 度	試験年次
花・野菜 技 術 セ ン タ ー	きらりゴールド	10-12	53	72.3	57.3	11.4	6.0	6.3	4444	微	2003~ 2005
	モ ナ	12-14	59	83.7	58.8	15.2	6.8	10.2	4444	無	
	き た き ら り	12-14	57	69.5	61.0	9.7	3.5	7.8	15110	微	

注 1) 供試作型：冷凍貯蔵球利用5月定植

注 2) 採花本数：定植球数×1球あたりの花茎数で算出

注 3) 葉枯病発生程度：無-微-少-中-多(観察による評価)

- 参照** 1) 北海道農政部編，平成18年普及奨励ならびに指導参考事項，45-47(2006)。
2) 大宮 知等，北海道立農試集報，94,41-53(2009)。

- (2) きらりレモン (系統名 Li-27号) 2006年
登録番号：(北海道)花ゆり北海道第10号
(種苗法)第17024号

セールスポイント

花色・花形や草姿，増殖性に優れ，小球開花性が高く一年球を切り花生産に利用できる。

来歴 本品種は，1998年に北海道立中央農業試験場と花・野菜技術センターにおいて，小輪性アジアティック系品

2. 花径は約11cmで花色は鮮やかな黄金色，わずかに斑点を有するが，香りはない。
3. 花房の形は総状(段咲き)で，花向きは垂直方向より約25度の上向き咲きであるため，花束やアレンジメントに使いやすく，輸送時の箱詰めもしやすい。
4. 小さい球根でも花蕾が多くつき，球周8-10cm球では3，4輪規格，同10-12cm球では5，6輪規格の切花を採花できる。
5. りん片挿しでは1.6gのりん片から約1.3個の一年球を形成する。一年球の肥大性は良好で，切花栽培に利用できる球周8cm以上の球根の占める割合は約30%である。

栽培適地と奨励態度

全道一円のゆり栽培(施設栽培)に適する。上記の特性は，凍結貯蔵球利用による5月定植作型での成績であり，他の作型は未検討である。球周12cm以上の球根は花蕾数がやや多くなるので，作期や市場性を考慮して使用する。防除管理等はアジアティック系品種に準じて行う。

種の育成を目標に，アジアティック系品種「アラスカ」を母，花蕾が小さい育成系統「95AA69-3」を父として，花柱切断受粉法による交配と胚珠培養により得た雑種から育成された。2003年から「Li-27」の系統名で各種試験を行い，2006年に優良品種となった。

特性概要

1. 冷凍貯蔵球を用いた5月定植栽培では採花までの日数(在圃日数)は約54日で，草丈は約70cm(球周10-12cmの球根)である。

- 花径は約10cmで花色は澄んだレモン色，わずかに斑点を有するが，香りはない。
- 花房の形は総状（段咲き）で，花向きは垂直方向より約25度の上向き咲きであるため，花束やアレンジメントに使いやすく，輸送での箱詰めもしやすい。
- 小さい球根でも花蕾が多くつき，球周8-10cm球では3，4輪規格の切花を，同10-12cm球では5，6輪規格の切花を採花できる。
- りん片挿しでは1.8gのりん片から約1.5個の一年球を形成する。一年球の肥大性は良好で，切花栽培に利

用できる球周8cm以上の球根の占める割合は約40%である。

栽培適地と奨励態度

全道一円のゆり栽培（施設栽培）に適する。上記の特性は凍結貯蔵球利用による5月定植作型での成績であり，他の作型は未検討である。球周12cm以上の球根は花蕾数がやや多くなるので，作期や市場性を考慮して使用する。防除管理等はアジアティック系品種に準じて行う。

場所名	品 種 名	供 試 球 周 (cm)	在 圃 日 数 (日)	草 丈 (cm)	茎 長 (cm)	花 径 (cm)	花蕾数 (個/本)	葉 長 (cm)	採 花 本 数 (本/a)	葉 枯 病 発 生 程 度	試験年次
花・野菜 技術 センター	きらりレモン	10-12	54	64.8	50.2	9.6	5.7	6.3	4444	微	2003～ 2005
	モナ	12-14	59	83.7	58.8	15.2	6.8	10.2	4444	無	
	きたきらり	12-14	57	69.5	61.0	9.7	3.5	7.8	15110	微	

注 1) 供試作型：冷凍貯蔵球利用5月定植

注 2) 採花本数：定植球数×1球あたりの花茎数で算出

注 3) 葉枯病発生程度：無-微-少-中-多（観察による評価）

参照 1) 北海道農政部編，平成18年普及奨励ならびに指導参考事項，48-50（2006）。

2) 大宮 知等，北海道立農試集報，94，41-53（2009）。

- (3) きらりマジック（系統名 Li-30号）2006年
登録番号：（北海道）花ゆり北海道第11号
（種苗法）第17025号

セールスポイント

花色・花形や草姿，増殖性に優れ，小球開花性が高く一年球を切り花生産に利用できる。

来歴 本品種は，1998年に北海道立中央農業試験場と花・野菜技術センターにおいて，小輪性アジアティック系品種の育成を目標に，アジアティック系品種「紅胡蝶」を母，花蕾が小さい育成系統「95AA69-3」を父として，花柱切断受粉法による交配と胚珠-胚培養法により得た雑種から育成された。2003年から「Li-30」の系統名で各種試験を行い，2006年に優良品種となった。

特性概要

- 冷凍貯蔵球を用いた5月定植栽培では採花までの日数（在圃日数）は約56日で，草丈は約77cm（球周8-10cmの球根）である。

- 花径は約10cmで花色は淡い黄色で花弁先が濃い桃色となる2色咲きで，開花後徐々に色調が変化し，全体的に淡い桃色となる。斑点はほとんどなく，香りもない。

- 花房の形は総状（段咲き）で，花向きは垂直方向より約20度の上向き咲きであるため，花束やアレンジメントに使いやすく，輸送時の箱詰めもしやすい。

- 小さい球根でも花蕾が多くつき，球周8-10cm球でも5，6輪規格の切花を採花できる。

- りん片挿しでは2.1gのりん片から約1.6個の一年球を形成する。一年球の肥大性は良好で，切花栽培に利用できる球周8cm以上の球根の占める割合は約30%である。

栽培適地と奨励態度

全道一円のゆり栽培（施設栽培）に適する。上記の特性は凍結貯蔵球利用による5月定植作型での成績であり，他の作型は未検討である。球周10cm以上の球根は花蕾数がやや多くなるので，作期や市場性を考慮して使用する。防除管理等はアジアティック系品種に準じて行う。

場所名	品 種 名	供 試 球 周 (cm)	在 圃 日 数 (日)	草 丈 (cm)	茎 長 (cm)	花 径 (cm)	花 蕾 数 (個/本)	葉 長 (cm)	採 花 本 数 (本/a)	葉 枯 病 発 生 程 度	試 験 年 次
花・野菜 技 術 セ ン タ ー	きらりマジック	8-10	56	76.6	60.3	10.1	6.2	6.7	4444	無	2003～ 2005
	モ ナ	12-14	59	83.7	58.8	15.2	6.8	10.2	4444	無	
	きたきらり	12-14	57	69.5	61.0	9.7	3.5	7.8	15110	微	

注 1) 供試作型：冷凍貯蔵球利用 5 月定植

注 2) 採花本数：定植球数×1 球あたりの花茎数で算出

注 3) 葉枯病発生程度：無－微－少－中－多（観察による評価）

参照 1) 北海道農政部編，平成18年普及奨励ならびに指導参考事項，51-53（2006）。

2) 大宮 知等．北海道立農試集報．94，41-53（2009）。

(4) ミスティレディ（系統名 細育4号）2006年

登録番号：（北海道）花ゆり北海道第12号

（種苗法）第17026号

セールスポイント

球根肥大生が良好で，花色が鮮赤紫色，中輪でややカップ咲きの切花向け品種である。

来歴 本品種は，1997年に旧北海道立中央農業試験場（現道総研中央農業試験場）において，小球開花性，大輪，多様な花色品種の育成を目標とし，場内保有個体「94LA191-16」（シンテッポウユリ品種「ホワイトランサー」×アジアティック系品種「クレテ」）を母，「クレテ」を父として，花柱切断受粉法による戻し交配と胚珠－胚培養により得た雑種から育成された。2004年から「細育4号」の系統名で各種試験を行い，2006年に優良品種となった。

特性概要

1. 草丈および茎長は「ファンギオ」よりかなり短い。
2. 萌芽期，開花始は「ファンギオ」よりやや遅いが，開花の早晩性は「ファンギオ」と同じ早である。葉枯病の発生は見られない。
3. 花卉表面の色は鮮赤紫色で少数の斑点を有するが目立たない。花の形はややすぼんだスカシユリ型（ややカップ咲き）で，着生角度は斜上向きである。花茎は「ファンギオ」より小さい中輪である。花蕾数は「ファンギオ」よりやや少ない。
4. 一年養成球の肥大性は「ファンギオ」と同程度に良好で，翌年摘蕾時の花蕾数は「ファンギオ」よりやや少ないが，輪数の揃いが良く一年養成球を切花栽培に利用できる。

栽培適地と奨励態度

全道一円のゆり栽培（施設栽培）に適する。秋植え，無加温ハウス栽培での成績であり，抑制および促成栽培は未検討である。

場所名	品 種 名	萌芽期 (月日)	開花始 (月日)	草 丈 (cm)	茎 長 (cm)	花 径 (cm)	花 蕾 数 (個/本)	内花被 斑点数	外花被 斑点数	採 花 本 数 (本/a)	葉 枯 病 発 生 程 度	試 験 年 次
中央農試	ミスティレディ	4/26	7/15	105.5	88.1	12.0	4.9	14.2	1.0	4,444	無	2004～ 2005
	ファンギオ	4/21	7/12	141.1	122.9	17.8	5.9	23.3	5.1	4,444	無	
	クレテ	4/28	7/ 8	101.2	85.7	12.1	6.9	12.4	2.5	4,444	無	

注 1) 供試作型は秋植え（10月定植），無加温ハウス（裾寒冷紗）

注 2) 採花本数は調査株から障害株および花蕾数 2 輪以下の花茎を除き栽植密度より算出

参照 1) 北海道農政部編，平成18年普及奨励ならびに指導参考事項，54-56（2006）。

2) 玉掛 秀人等．北海道立農試集報．92，29-39（2008）。

- (5) **ロイヤルスノー**（系統名 細育12号）2006年
 登録番号：（北海道）花ゆり北海道第13号
 （種苗法）第17027号

セールスポイント

花色は開花初期には淡緑色でその後白色となる切花向け品種で、家庭用のみならず業務用としての需要も期待できる。

来歴 本品種は、1997年に旧北海道立中央農業試験場（現道総研中央農業試験場）において、小球開花性、大輪、多様な花色品種の育成を目標とし、シンテッポウユリ品種「ホワイトランサー」を母、アジアティック系品種「アラスカ」を父として、花柱切断受粉法による交配と胚珠-胚培養により得た雑種から育成された。2004年から「細育12号」の系統名で各種試験を行い、2006年に優良品種となった。

特性概要

1. 草丈および茎長は「アイスベルグ」と同程度である。
2. 萌芽期、開花始は「アイスベルグ」と同程度で、開花の早晩性は早である。葉枯病の発生は見られない。
3. 花卉表面の色は開花初期には単緑黄色でその後白色となる。ごく少数の斑点を有するがほとんど目立たない。花の形はスカシユリ型で、着生角度は斜上向きである。花茎は「アイスベルグ」よりやや小さい中大輪である。花蕾数は「アイスベルグ」より多い。
4. 一年養成球の肥大性は「アイスベルグ」より良好である。翌年摘蕾時の花蕾数は「アイスベルグ」よりやや少ないが、輪数の揃いが良く一年養成球を切花栽培に利用できる。

栽培適地と奨励態度

全道一円のゆり栽培（施設栽培）に適する。秋植え、無加温ハウス栽培での成績であり、抑制および促成栽培は未検討である。

場所名	品 種 名	萌芽期 (月日)	開花始 (月日)	草 丈 (cm)	茎 長 (cm)	花 径 (cm)	花蕾数 (個/本)	内花被 斑点数	外花被 斑点数	採 花 本 数 (本/a)	葉 枯 病 発 生 程 度	試験年次
中央農試	ロイヤルスノー	4/24	7/14	86.5	69.6	16.9	5.2	5.6	0.7	4,444	無	2004~ 2005
	アイスベルグ	4/23	7/14	88.4	70.4	18.6	3.2	9.2	0.8	3,778	無	
	アラスカ	5/ 3	7/14	61.1	45.4	13.6	6.7	22.7	8.0	4,444	無	

注 1) 供試作型は秋植え（10月定植）、無加温ハウス（裾寒冷紗）

注 2) 採花本数は調査株から障害株および花蕾数2輪以下の花茎を除き栽植密度より算出

- 参照** 1) 北海道農政部編, 平成18年普及奨励ならびに指導参考事項, 57-59 (2006).
 2) 玉掛 秀人等. 北海道立農試集報. 92, 29-39 (2008).

V 野 菜

1. たまねぎ

- (1) 収多郎（系統名 北見交39号）2006年
登録番号：（北海道）たまねぎ北海道交第9号
（種苗法）第17103号

セールスポイント

極早生で、8月から出荷可能な辛味が少ない良食味の
大球・多収品種であり、変形・分球等の規格外球発生率
が低い。

来歴 本品種は、収量性に優れた北海道向けの極早生品
種の育成を目標として、北見農業試験場がホクレン農業
総合研究所と共同で育成した細胞質雄性不稔系統「BP
R93509-01A」を種子親とし、(株)サカタのタネが育成し
た花粉親系統「NS」を交配して得られた単交配一代雑
種である。2002年に「SCX09」、2003年からは「北見交
39号」の系統名で各種試験を行い、2006年に優良品種
（普及奨励事項）となった。

特性概要

1. 生育盛期における生葉数は、「北早生3号」より多
く、「北はやて2号」とほぼ同程度である。草丈は、
「北早生3号」よりやや長く、「北はやて2号」よりや
や短い。葉鞘径は、「北早生3号」より太く、「北はや
て2号」と同程度である。草姿は開張し、葉色は淡い。
葉折れ、葉先枯れはやや多い。
2. 肥大期は「北早生3号」より遅く、「北はやて2号」

- 参照** 1) 北海道農政部編, 平成18年普及奨励ならびに指導参考事項, 16-18 (2006)
2) 柳田大介等, 北海道立総合研究機構農試集報. 96, 15-25 (2012).

- (2) クエルリッチ（系統名 月交22号）2006年
登録番号：（北海道）たまねぎ北海道交第10号
（農水省）たまねぎ農林交9号
（種苗法）第17105号

セールスポイント

既存品種よりもケルセチンを平均で25%多く含む、春
まき栽培に適した高貯蔵性赤タマネギF1品種である。

来歴 本品種は、(株)日本農林社が育成した種子親系統雄
「NOR-1A」と、北農研センターが海外導入品種

よりやや遅い。倒伏期は「北早生3号」よりやや遅く、
「北はやて2号」と同程度である。

3. 乾腐病抵抗性は「北早生3号」に優り、「北はやて
2号」にやや優る。
4. 春まき露地移植栽培における抽台発生は認められな
い。
5. 規格内収量は「北早生3号」、「北はやて2号」に優
る。規格内収量構成のうち、2LおよびL大比率が全
体の8割以上を占める。規格内率は「北早生3号」に
優り、「北はやて2号」と同等である。平均一球重は
「北早生3号」、「北はやて2号」に優る。
6. 球の外観はやや扁平の地球型である。「北早生3号」、
「北はやて2号」と比較して、ピルビン酸生成量は同
等であり、Brixは同等からやや低く、乾物率は低い。
7. 収穫年10月末までの健全球数率は、「北早生3号」
と同程度で、「北はやて2号」にやや劣る。

栽培適地と奨励態度

全道のたまねぎ栽培地帯に適する。乾腐病抵抗性は
「北はやて2号」よりやや優るが、激発ほ場での栽培は
避ける。裂皮等による球品質低下を防ぐため、適期の根
切りおよび枯葉揃い後の速やかな収穫に努める。本品種
は根張りが強いいため、根切りが不十分な場合には切断さ
れなかった根が土中に残り、球の二次肥大や枯葉時期の
遅延につながるおそれがある。

「Southport Red Globe」から選抜育成した花粉親系統
「SRG-12」とを交配して得られた単交配一代雑種であ
る。2001年から「月交24号」の系統名で各種試験を行い、
2006年に優良品種（普及推進事項）となった。

特性概要

1. 草勢は、「スーパー北もみじ」と同等でやや強く、
葉色は濃い。生理的な葉先の枯れは他の品種よりも少
ない。
2. 倒伏期は8月4日で、中晩生品種に分類される。
3. 規格内収量は546kg/aで「スーパー北もみじ」よ

り約2割少ない。規格内率は86%、1球重は約200gである。

4. 外皮は紫色で色斑はない。球形指数は93で、外観は球～やや縦長の球形（紡錘）となる。りん片葉は薄く枚数の多い葉数型たまねぎで、Brix値は他の品種に比べ高い。

参照 1) 北海道農政部編, 平成18年普及奨励ならびに指導参考事項, 60-61 (2006)
2) 室崇人等, 北海道農試研報. 192, 25-32 (2010).

(3) **早次郎** (系統名 北見交38号) 2007年

登録番号: (北海道) たまねぎ北海道交第11号
(種苗法) 第18366号

セールスポイント

8月上旬から出荷可能な極早生品種であり、市場評価が高い濃い外皮色を有する。難防除土壌病害である乾腐病に強い抵抗性を示す。

来歴 本品種は、8月上旬からの早期出荷に対応できる北海道向け極早生品種の育成を目標として、北見農業試験場がホクレン農業総合研究所と共同で育成した細胞質雄性不稔系統「BPR93511-03-01A」を種子親とし、(株)サカタのタネが育成した花粉親系統「NS」を交配して得られた単交配一代雑種である。2002年に「SCX08」、2003年からは「北見交38号」の系統名で各種試験を行い、2007年に優良品種（普及奨励事項）となった。

特性概要

1. 生育盛期における生葉数は、「北早生3号」よりやや多く、「北はやて2号」と同程度である。草丈は、「北早生3号」より長く「北はやて2号」と同程度である。葉鞘径は、「北早生3号」より太く「北はやて2号」と同程度である。葉色は淡く、草姿は開張し、葉先枯れの発生はやや多い。
2. 肥大期は、「北早生3号」と同程度で「北はやて2号」よりやや早い。倒伏期は、「北早生3号」と同程度から

参照 1) 北海道農政部編, 平成19年普及奨励ならびに指導参考事項, 18-20 (2007)
2) 柳田大介等, 北海道立総合研究機構農試集報. 96, 15-25 (2012).

(4) **えぞまる** (系統名 HT46) 2009年

登録番号: (北海道) たまねぎ北海道交第12号
(種苗法) 第21043号

5. 6ヵ月貯蔵後の健全率は、「スーパー北もみじ」と同程度に高く、長期貯蔵性を有している

栽培適地と栽培態度

全道のたまねぎ栽培地帯に適する。栽培地域や気象条件によっては長球が多発することに留意する。

やや早く、「北はやて2号」より早い。

3. 乾腐病抵抗性は、「北早生3号」、「北はやて2号」に優り、「スーパー北もみじ」にやや優る。
4. 予備検定試験を含めた過去5ヵ年の早期は種作型移植栽培による生産力検定試験において、ごく僅かに抽台株発生は認められたが、他年次および他育成場における抽台発生は認められていない。
5. 規格内収量並びに規格内率は、「北早生3号」に優り、「北はやて2号」にやや優る。平均一球重は、「北早生3号」に優り「北はやて2号」と同程度である。規格外球の発生は少ない。
6. 球形状は地球型である。外皮色は、「北早生3号」よりやや濃く、「北はやて2号」と同程度である。ピルビン酸生成量は、「北早生3号」と同程度で「北はやて2号」より高い。乾物率とBrixは、「北早生3号」、「北はやて2号」と同程度である。
7. 収穫年10月末までの健全率数は、「北早生3号」に優り「北はやて2号」と同程度である。

栽培適地と奨励態度

全道のたまねぎ栽培地帯に適する。乾腐病抵抗性は、「北早生3号」、「北はやて2号」より優るが、激発ほ場での栽培は避ける。本品種は根張りが強いいため、根切り作業が不十分な場合には切断されなかった根が土中に残り、球の二次肥大や枯葉遅延につながるおそれがあるため、根切りには十分に留意する。

セールスポイント

加工用途向けの大球・多収品種であり、貯蔵性に優れる。難土壌病害である紅色根腐病に強い抵抗性を示す。

来歴 本品種は、大球・多収を目的として育成した種子親系統「PR94504-01-03A」と花粉親系統「PR94517-01-01m1M」を交配して得られた北見農業試験場とホクレン農業総合研究所との共同研究による単交配一代雑種である。2003年に「PRCX273」、2004年に「北見交46号」の系統名で各種試験を行い、2009年に系統名を「HT46」に変更の後、同年に優良品種（普及奨励事項）となった。

特性概要

1. 生育盛期の生葉数は、「スーパー北もみじ」よりやや少なく、「純心」と同程度である。草丈は、「スーパー北もみじ」より長く、「純心」よりやや長い。葉鞘径は同程度である。葉色並びに草姿は、「スーパー北もみじ」と同程度である。
 2. 倒伏期は、「スーパー北もみじ」よりやや遅く、「純心」よりやや早い。
 3. 乾腐病抵抗性は、「スーパー北もみじ」に劣る。
 4. 紅色根腐病激発ほ場における被害程度が小さく、本
- 参照 1) 北海道農政部編, 平成21年普及奨励ならびに指導参考事項, 12-14 (2009)

- (5) ゆめせんか (系統名 北見交54号) 2012年
登録番号: (北海道) たまねぎ北海道交第13号
(種苗法) 第 号

セールスポイント

乾物率とBrixが高く、加熱時間の短縮や製品完成時の歩留率向上が可能である。冷凍製品を解凍した際の離水率が低い、焦げ色が緩和される等の優れた加熱加工適性を持つ。

来歴 本品種は、加熱加工用途に適した品種の育成を目的として、細胞質雄性不稔系統「W447A」を種子親とし、北見農試育成の高乾物率・高Brix系統「北見48号(AWW86261-01M1m1M4y)」を花粉親として得られた単交配一代雑種である。2007年に「TEST0605」、2008年からは「北見交54号」の系統名で各種試験を行い、2012年に優良品種（普及推進事項）となった。

特性概要

1. 地上部生育盛期における生葉数は、「スーパー北もみじ」より少ない。草丈と葉鞘径は、「スーパー北も

参照 1) 北海道農政部編, 平成24年普及奨励ならびに指導参考事項, 41-43 (2012)

病害に対して強い抵抗性を持つ。

5. 耐抽台性は、「スーパー北もみじ」ほど強くはないが、「純心」より発生率は低い。
6. 総収量および平均一球重は、「スーパー北もみじ」に優り、「純心」にやや劣る。規格内収量は「スーパー北もみじ」に優り、「純心」にやや優る。収量構成において、2L以上とL大の合計が全体の90%を占める。
7. 球形状は地球型である。球外観品質は、青果用品種「スーパー北もみじ」にやや劣り、加工用品種「純心」にやや優る。乾物率、Brixは「スーパー北もみじ」より低く、「純心」よりやや高い。貯蔵性は「スーパー北もみじ」にやや劣り、「純心」に優る。

栽培適地と奨励態度

全道のたまねぎ栽培地帯に適するが、乾腐病抵抗性は「スーパー北もみじ」より劣るので、本病害が多発するほ場での栽培は避ける。耐抽台性は「スーパー北もみじ」ほど強くないため、早期は種や早期定植は避ける。

みじ」と同程度である。草色はやや濃く、草姿は、「スーパー北もみじ」と同程度である。

2. 倒伏期は、「スーパー北もみじ」より1日遅い。
3. 耐抽台性は「スーパー北もみじ」に劣る。
4. 育成場における規格内収量、総収量、平均一球重並びに規格内率は、「スーパー北もみじ」と同程度である。
5. 貯蔵性は「スーパー北もみじ」にやや劣る。
6. 乾腐病抵抗性は、「スーパー北もみじ」と同程度である。
7. 球形状はやや甲高の地球型で外皮色はやや黄色味が強い。乾物率とBrixは「スーパー北もみじ」より高い。
8. 加熱加工業者の評価では、加熱処理の仕上がり時間の短縮が可能で、製品完成時のBrixは高い。加熱加工製品の凍結解凍後の離水は少ない。加熱加工した際の製品歩留は高い。製品の焦げ色の緩和が可能である。

栽培適地と栽培態度

全道のたまねぎ栽培地帯に適する。耐抽台性はやや低いため、抽台発生懸念地域での栽培や早期定植は避ける。

2. いちご

- (1) **きたのさち**（系統名 道南27号）2006年
登録番号：（北海道）いちご北海道第5号
（種苗法）第18013号

セールスポイント

果実品質（外観，食味，日持ち性）に優れた，無加温半促成栽培向け品種である。網走地域に適する。

来歴 網走管内のいちごの生産振興を図るため，「宝交早生」並に多収で，「けんたろう」と同等程度に高品質な無加温半促成栽培用品種の育成を目標に，1994年に「きたえくぼ」を種子親に「久留米52号」（のちの「さちのか」）を花粉親として交配して栄養系選抜法により育成された。1999年より「道南27号」の系統名で各種試験を行い，2006年に優良品種となった。

特性概要

1. 「けんたろう」に比べ葉数が多い。また，葉柄および果房が長く収穫作業の支障となることがある。収穫終期に生理的な葉の枯れ上がりが見られることがある

が，実用的な問題はない。

2. 早晚性は「けんたろう」や「宝交早生」よりやや遅く「きたえくぼ」より早い。子苗生産力は「けんたろう」と同程度である。
3. 規格内収量は「けんたろう」より多い。
4. うどんこ病耐病性は「けんたろう」と同等程度に強い。萎凋病耐病性は「けんたろう」とほぼ同程度であるが，萎黄病および灰色かび病耐病性は「けんたろう」より弱い。
5. 栽培地により果実品質に差を生じやすい。普及対象地域の北見市では，「けんたろう」と比較して果実中心空洞はやや大きい，外部品質がやや優れ，果実がやや硬く，日持ち性にやや優れ，糖度がやや高く，食味は同等かやや良で，市場での評価が高い。

栽培適地と奨励態度

網走管内の無加温半促成栽培に適する。萎凋病と萎黄病に対する耐病性が劣るので，耕種的防除や土壌消毒に努めるとともに，灰色かび病耐病性が劣るので，適期防除を心がける。

試験所	品種名	開花期 始期 (月日)	収穫期 始期 (月日)	葉数 (枚/株)	規格内果			規格内率 (%)	糖度 (Brix)	日持ち 性	市場性	試験年次
					収量 (kg/a)	同左比 (%)	平均一果重 (g)					
道南農試	きたのさち	4.13	5.21	41.0	345.4	126	14.3	77.0	9.1	3.8	2.3	2000～2005
	けんたろう	4.12	5.15	33.0	274.5	100	13.6	76.5	9.7	4.2	3.0	
	きたえくぼ	4.18	5.23	26.7	207.9	76	12.3	52.1	9.3	3.2	—	
	宝交早生	4.14	5.17	43.4	309.1	113	13.8	68.0	8.3	1.2	—	
北見市	きたのさち	5.2	6.1	—	127.7	159	11.4	65.7	9.6	4.2	4.0	2000～2004
	けんたろう	4.29	5.28	—	80.4	100	10.8	61.8	9.4	3.0	3.0	
	きたえくぼ	5.2	6.2	—	100.0	124	10.2	54.0	9.9	4.2	—	
	宝交早生	4.29	5.27	—	127.7	159	11.1	60.1	9.1	2.0	—	

注 1) 葉数は，2000～2002年における収穫始期の平均値。

2) 日持ち性は，5（良）～1（不良）。

3) 市場性は，「けんたろう」を3とした場合の「きたのさち」の評価。5（良）～1（不良）。

4) 市場性評価（2004年）は，道南農試産果実を用い，函館中央卸売市場のいちご仲卸人20名で行った。

5) 市場性評価（2005年）は，訓子府町産果実を用い，北見市卸売市場の関係者35名で行った。

参照 1) 北海道農政部編，平成18年普及奨励ならびに指導参考事項，62-64（2006）。

- (2) **なつじろう**（系統名 道南29号）2007年
登録番号：（北海道）いちご北海道第6号
（種苗法）第19204号

持ち性）に優れた，雨よけ夏秋どり栽培向けの品種である。

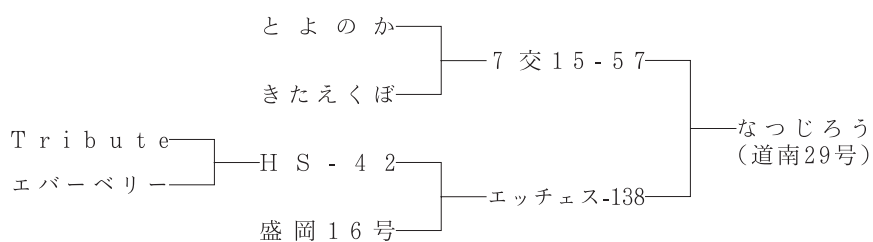
セールスポイント

高設栽培において多収で，果実品質（外観，食味，日

来歴 本品種は，高設栽培向け高品質・多収を育種目標に2001年に道南農業試験場育成の「7交15-57」を種子親に，北海三共株式会社（現，ホクサン）育成の「エッ

チェス-138」を花粉親にして交配し、栄養系選抜法により育成された。2004年より「道南29号」の系統名で各

種試験を行い、2007年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要

1. 収穫始期の草丈は「エッチェス-138」と比べてやや低く、葉数および芽数はやや少ない。草姿は中間性であり、草勢はやや強い。
2. 四季成り性を有し、栽培期間を通して安定して出蕾する。生理障害果の一種である種子浮き果の発生率は「エッチェス-138」より低く、高設栽培における上物収量は多い。
3. うどんこ病抵抗性は「エッチェス-138」よりやや弱く、特に成り疲れ症状を呈すると病果の発生が多くなる。「エッチェス-138」と比べて萎黄病に対する抵抗性は弱く、萎凋病には同程度、疫病にはやや強い。「エッチェス-138」は黒斑病に罹病性であるが、「なっじろう」は抵抗性を有する。
4. 果形はやや長円錐形である。果皮色は鮮赤色で、光

沢は「エッチェス-138」と同等である。糖度はやや低いが、酸度も低いため糖酸比がやや高く、食味はやや良い。果実の中心空洞は「エッチェス-138」よりやや大きいものの、果実硬度が高く、日持ち性は供試した品種の中で最も優れており業務用に適している。

栽培適地と奨励態度

全道のいちご栽培地域に適し、適応作型は雨よけ夏秋どり栽培である。高設栽培で能力を発揮する品種であるが、土耕栽培でも利用可能である。但し、萎黄病に対する抵抗性が劣るので、無病苗の確保や土壌消毒に努める必要がある。また、着果数が多い品種であることから、着果負担に起因する成り疲れを防ぐために芽数および果房数調整作業を適切に行う。

品 種 名	収 量 性				果 実 品 質 特 性								試験年次
	上物収量 (kg/a)	同左比 (%)	上物一果重 (g)	種子浮き果率 (%)	果 形	糖 度 (a) (Brix)	酸 度 (b) (%)	糖酸比 (a/b)	食 味	日 持 ち 性 (日)	果実硬度 (g/φ3mm)		
											果皮	果肉	
なっじろう	206	115	10.7	7.1	やや長円錐	8.9	0.75	12.9	3.5	7.5	156	156	
エッチェス-138	179	100	10.1	10.1	円錐	9.1	0.80	12.1	2.9	6.1	152	147	
カレイニャ	146	83	10.8	8.8	円錐	9.7	0.64	17.1	3.7	6.0	123	106	
ペチカ	144	80	11.2	12.2	やや長円錐	9.8	0.60	17.5	3.6	5.8	123	100	
きみのひとみ	208	116	11.4	7.0	やや長円錐	9.3	0.77	17.8	3.7	4.4	97	91	
エラシ	92	44	10.3	33.3	卵円錐	9.4	0.71	15.6	2.9	4.8	124	—	

- 注 1) 試験は5月定植・7～11月収穫の作型で実施した。
 2) 高設栽培における給液希釈倍率は3,000倍（EC値で0.4mS/cm）とした。但し、花房養成期のみ2,500倍とした。
 3) 上物果は7g以上の秀品を指す。
 4) 食味は収穫期間中に4～5回にわたり5段階で評価し、その平均値を示した。5（良）～3（標準品種並）～1（不良）。
 5) 日持ち性および果実硬度は、毎年9月に室温で評価した。
 6) 日持ち性は業務用に利用可能な状態であった日数の平均値を示した。

参照 1) 北海道農政部編, 平成19年普及奨励ならびに指導参考事項, 21-23 (2007).

3. メロン

<実とり用>

- (1) **FG14** (系統名 空知交14号) 2006年
登録番号：(北海道)メロン北海道交第3号
(種苗法)第17186号

セールスポイント

うどんこ病耐病性を有するため「G-08」より農薬の散布回数を減らすことが可能である。ネット形質がやや優れる。肉質がやや優れ、ウリ科特有の青臭みも少ないため食味が良い。

来歴 現在の緑肉主力品種である「G-08」と同等以上の果実品質および収量性を有し、「G-08」よりうどんこ病耐病性が優れることを育種目標とした。花・野菜技術センターにおいて1998年に育成した固定系統「HM-G52」を種子親、遺伝資源として導入した固定系統「Dkg」を花粉親として2002年に最初のF1交配を行った。2002、2003年に「02X-1」の系統名で生産力検定予備試験に供試した。平成2004年より「空知交14号」の系統名を付して、生産力検定試験および道内各産地における地域適応性検定試験等を実施し、2006年に優良品種に認定された。

特性概要

- 「G-08」に比べ、つる長はやや長いが葉色はやや淡く、葉身長および葉柄長はやや短い。総合的に判断して草勢は同等である。
- 両性花着生率は「G-08」と同等である。着果率は年次によってやや変動があるがほぼ同等である。「G-08」に対し両性花開花始は2日程度早く、成熟日数も

2日程度短いため収穫日は4～5日早い。

- 果形はやや長玉であるが「G-08」と同等の果径比(縦径/横径)である。果皮色は濃緑～淡緑である。ネットの密度、太さは同等であるが、盛上りはやや優れる。結果枝はやや細い。「G-08」と同様に成熟に伴う果皮色の変化や離層の形成は認められないが、二次ネットの形成がやや明瞭であるため収穫判定難易はやや易である。
- 糖度はやや劣る。しかし、肉質がやや優れ、「G-08」と異なりウリ科特有の青臭みが少ないことから食味はやや優れる傾向である。果肉色は淡緑～白緑で、やや優れる。適食時期は収穫後4～6日目であり、日持ち性は無加温半促成では同等、ハウス抑制では劣る。
- 平均一果重は同等である。収穫率率、良果率は同等である。良果収量は同等である。
- つる割病についてはレース0およびレース2に抵抗性を有するが、レース1,2yには抵抗性はない。うどんこ病については「G-08」と比較して強い耐病性を有する。

栽培適地と奨励態度

全道のメロン栽培地域に適する。生育期全般にわたってハウス内を高温管理した場合、低糖度果や裂果の発生が助長されるため栽培管理に注意する。特にハウス抑制栽培などハウス内が高温になりやすい作型での栽培は避ける。「FG14」はネット形質や食味が良いことに加えて、うどんこ病耐病性を示すため「G08」より農薬の散布回数を減らした栽培が可能である。このことから減農薬メロン栽培を目指す産地の維持発展に大きく貢献できる品種と考えられる。

場所名	作型	品種名	成熟日数(日)	規格内収量(kg/a)	同左標準対比(%)	規格内率(%)	平均一果重(kg)	ネット密度	糖度(Brix)	うどんこ病耐病性	試験年次
花・野菜センター	無加温半促成	FG-14	57	369	105	95.2	2.13	4.9	14.5	強	2004～2005
		G-08	59	351	100	98.5	2.01	5.0	15.8	弱	

注 1) ネット密度は1(粗)～5(密)で評価。

- 参照** 1) 北海道農政部編, 平成18年普及奨励ならびに指導参考事項, 65-67 (2006)
2) 八木亮治 等, 北海道立農試集報. 94, 31-40 (2009).

- (2) **ゆめてまり** (系統名 空知交16号) 2008年
登録番号：(北海道)メロン北海道交第4号
(種苗法)第19681号

セールスポイント

ネットが非常に盛上るため、アールスメロンに近い果実外観品質となる。赤肉臭が少なく、クセのない味である。草姿がコンパクトで整枝作業が容易である。

来歴 現在の道内主力赤肉品種である「ルピアレッド」より果実外観品質が優れ、草姿のコンパクト性及びうどんこ病耐病性を有することを育種目標とした。花・野菜技術センターと株式会社大学農園が共同で育成した固定系統「DHM-R2」を種子親とし、大学農園が育成した固定系統「Dkg」を花粉親として2004年に最初のF1交配を行った。2004年に「04RX-1」の系統名で生産力検定予備試験に供試した。2005年より「空知交16号」の系統名を付して、生産力検定試験および道内各産地において地域適応性検定試験等を実施し、2008年に優良品種に認定された。

特性概要

1. つる長、葉身長及び葉柄長は「ルピアレッド」とほぼ同等で、草姿のコンパクト性を有しており、整枝作業が行いやすい。草勢は同等である。
2. 両性花着生率及び着果率は「ルピアレッド」と同等である。開花始及び成熟日数は同等であるため、収穫日も同等である。
3. 果形はほぼ正球で、果皮色は緑～淡緑である。ネットの太さ及び盛上りは「ルピアレッド」より優れる。「ルピアレッド」と同様に成熟に伴う果皮色の変化や離層の形成が無い。収穫は二次ネットの形成及び成熟

日数で判断するが、「ルピアレッド」より裂果しやすい特性を有していることから収穫判定難易はやや難である。

4. 糖度は「ルピアレッド」と同等である。果肉はやや硬いが、赤肉臭が少なく、クセのない味である。日持ち性はやや優れる。
5. 平均一果重は「ルピアレッド」よりやや重い。裂果の発生がやや多い傾向であるため、収量性は同等である。
6. つる割病についてはレース0及びレース2に抵抗性があるが、レース1,2yに抵抗性は無い。うどんこ病については「ルピアレッド」と同様に耐病性を有する。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は全道のメロン栽培地域である。適応作型は無加温半促成作型で、ハウス抑制作型には適さない。収穫直前まで土壌水分が多い場合、あるいは過剰に果皮が硬化する管理（ハウス内の低温や乾燥）を行った場合は裂果が発生する恐れがあるため、栽培管理に注意する。高級メロンとされるアールスメロンに近い外観品質を有し、食味も良好であるため高価格が期待できる。このことから「ルピアレッド」との差別化を目指す産地の維持発展に大きく貢献できる品種と考えられる。

場所名	作 型	品 種 名	成 熟 日 数 (日)	規格内 収 量 (kg/a)	同左標 準対比 (%)	規格 内率 (%)	平 均 一果重 (kg)	ネット 盛上り	ネット 太 さ	糖 度 (Brix)	試験年次
花・野菜センター	無加温半促成	ゆめてまり	51	310	97	98	1.90	4.2	3.9	14.1	2005～2007
		ルピアレッド	50	319	100	100	1.82	1.9	2.9	14.1	

注 1) ネットは1(低, 細)～5(高, 太)で評価。

参照 1) 北海道農政部編, 平成20年普及奨励ならびに指導参考事項, 39-41 (2008).

- (3) **北かれん** (系統名 空知交20号) 2011年
登録番号: (北海道)メロン北海道交第5号
(種苗法)第22170号

セールスポイント

えそ斑点病に抵抗性を有する国内初の赤肉メロンである。また、ワタアブラムシ、うどんこ病、つる割病など主要な病害虫にも抵抗性がある。香りが良く食味も良好である。

来歴 えそ斑点病やワタアブラムシなど主要な病害虫に抵抗性を有し、果実品質は現在の道内主力赤肉品種の「ルピアレッド」と同等以上で、草姿がコンパクトであることを育種目標とした。花・野菜技術センターと株式

会社大学農園が共同で育成した固定系統「DHM-R3」を種子親とし、同じく共同で育成した固定系統「DHM-R4」を花粉親として2008年に最初のF1交配を行った。2008年に「08RXc-10」の系統名で組合せ能力試験に供試した。その結果、特性が非常に優れていたことから2009年より「空知交20号」の系統名を付して、生産力検定試験、病害虫抵抗性試験、特性検定試験ならびに道内各産地において地域適応性検定試験を実施し、2011年に優良品種に認定された。

特性概要

1. つる長、節間長および葉柄長は「ルピアレッド」と同等で、草姿のコンパクト性を有しており、整枝作業が行いやすい。草勢は、着果期ではやや旺盛で、収穫

期では同等である。

2. 両性花着生率および着果率は「ルピアレッド」と同等で、着果性は良好である。開花始および成熟日数は同等であるため、収穫日は変わらない。
3. 果形はほぼ正球である。果梗部に離層は形成されるが、結果枝の離脱は認められない。果皮色は成熟にともない緑からやや黄色味を帯びたクリームへと変化する。ネットは「ルピアレッド」より盛上りが優れ、バランス良く形成される。花痕径はやや大きい。
4. 糖度は「ルピアレッド」と同等からやや高い。果肉色は赤橙～橙である。赤肉臭が少なく、香りはやや優れる。肉質は硬さがやや硬く、繊維もやや多い。食味は同等である。日持ち性はやや優れる。
5. 平均一果重は「ルピアレッド」と同等で、収量性も同等である。
6. えそ斑点病に抵抗性を有する。ワタアブラムシに抵

抗性を有する。つる割病についてはレース0, レース2に抵抗性であるが、レース1, レース1,2yには罹病性である。うどんこ病についてはレース1に抵抗性で、レースN2に耐病性で、レース5には罹病性である。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は全道のメロン栽培地域である。適応作型は無加温半促成作型で、ハウス抑制作型には適さない。収穫適期の判断基準は果梗部に離層が形成され始めたときか、二次ネットの形成が赤道部と花痕部の間に達したときとするが、果実表面が25%程度黄化した場合は、試し切り等で内部品質（糖度等）を確認したうえで収穫する。えそ斑点病とワタアブラムシに抵抗性を持つ国内初の赤肉メロンである。このため、えそ斑点病発生圃場でも接ぎ木や土壌消毒をしなくても作付が可能であり、ワタアブラムシの防除回数も削減できる。

場所名	作型	品種名	成熟日数(日)	規格内収量(kg/a)	同左標準対比(%)	規格内率(%)	平均一果重(kg)	ネット盛上り	糖度(Brix)	えそ斑点病発病株率(%)	試験年次
花・野菜センター	無加温半促成	北かれん ルピアレッド	51	319	92	95	1.81	3.9	15.0	0	2009～2010
			50	349	100	99	1.95	1.6	14.6	100	

注 1) ネット盛上りは1(低)～5(高)で評価。
2) えそ斑点病発病株率は幼苗検定による結果。

参照 1) 北海道農政部編, 平成23年普及奨励ならびに指導参考事項, 8-11 (2011).

<台木>

- (1) どうだい4号(系統名 空知台交4号)2005年
登録番号:(北海道)台木類(メロン)北海道交第4号
(種苗法)第15779号

セールスポイント

日本初のえそ斑点病およびつる割病(レース1,2y)抵抗性台木品種である。つる割病レース0, レース2にも抵抗性を有し、接ぎ木作業性や果実肥大性が良好で台木特性も優れる。

来歴 土壌伝染性病害であるえそ斑点病およびつる割病(レース1,2y)(以下, レース1,2y)に複合抵抗性を有し、接ぎ木作業性などの台木特性が優れていることを育種目標とした。花・野菜技術センターにおいて育成した両病害抵抗性固定系統「HM-4」を種子親とし、えそ斑点病に抵抗性を有する育成固定系統「HM-3」を花粉親として2002年に最初のF1交配を行った。2003年より「空知台交4号」の系統名を付して生産力検定試験, 病害抵抗

性検定試験ならびにえそ斑点病やレース1,2yが発生している産地で地域適応性検定試験を実施し、2005年に優良品種に認定された。

特性概要

1. 胚軸長は「どうだい2号」よりやや短いが「どうだい3号」より長く、胚軸径は「どうだい2号」よりやや細いが「どうだい3号」と同等であり、接ぎ木作業性に問題はない。また、道内主要実とり品種との接ぎ木親和性に問題は認められない。
2. 草勢は穂木品種によりやや変動するが、「どうだい2号」や自根と同等である。両性花着生率・着果率は「どうだい2号」や自根と同等である。開花始, 着果日, 収穫日は穂木品種によりやや変動するが、「どうだい2号」とは同等, 自根に対しては同等から2日程度遅い。成熟日数は「どうだい2号」や自根と同等である。
3. 果実外部・内部品質ともに、「どうだい2号」や自根と同等である。果実の肉質に異常は認められない。
4. 果実肥大性は穂木によりやや変動するが、「どうだ

い2号」や自根とほぼ同等である。収穫果率、良果率が「どうだい2号」や自根と同等からやや高いことから良果収量は同等からやや多い。

5. えそ斑点病に対して「どうだい3号」と同様に抵抗性を有し、発生圃場において穂木の発病を著しく軽減する。つる割病については、レース1,2yに対して「どうだい2号」と同程度のやや強い抵抗性を示し、激発圃場を除き、一般の発生圃場では十分な実用性を有する。レース0, レース2に対しても抵抗性を有する。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は全道のメロン栽培地域で、えそ斑点病およびレース1,2yの発生が確認された圃場または発生の恐れがある圃場とする。ただし、レース1,2y抵抗性は「どうだい2号」と同程度のやや強であるため、「どうだい4号」を導入する際には「メロンつる割病レース1,2y抵抗性台木品種「どうだい2号」導入指針」(平成15年普及奨励事項ならびに指導参考事項, 71-72 (2003年))に従う。

場所名	品 種 名		接ぎ木 時胚軸 長(mm)	収穫期 草 勢	成 熟 日 数 (日)	規格内 収 量 (kg/a)	平 均 一果重 (kg)	糖 度 (Brix)	つる割病 レース1, 2y 発病度	えそ斑点 病発病株 率 (%)	試験年次
	台 木	穂 木									
花・野菜 センター	どうだい4号	赤肉キング系	34	3	46	355	2.02	12.8	64	0	2003~ 2004
	どうだい2号		39	3	46	327	1.97	12.6	50	100	
	どうだい3号		26	3	46	336	2.03	12.5	—	0	
	(自根)		—	3	46	325	1.95	12.5	—	—	
	金剛1号		29	—	—	—	—	—	100	100	
	どうだい4号	ルピアレッド		3	52	306	1.72	14.1			
	どうだい2号			3	52	282	1.72	13.9			
	どうだい3号			3	53	313	1.73	14.2			
	(自根)			3	52	321	1.81	14.2			

- 注 1) 収穫期草勢は1(弱)–3(どうだい2号並)–5(強)で評価。
2) つる割病レース1,2y発病度は幼苗検定による結果, 0(健全)–100(枯死)。
3) えそ斑点病発病率は幼苗検定による結果。

参照 1) 北海道農政部編, 平成17年普及奨励並びに指導参考事項, 19-20 (2005年)

- (2) どうだい6号(系統名 空知台交6号)2008年
登録番号:(北海道)台木類(メロン)北海道交第5号
(種苗法)第19678号

セールスポイント

えそ斑点病抵抗性を有し、つる割病(レース1,2y)抵抗性が「どうだい4号」より強い。幼苗期に徒長しづらい特性を有しており接ぎ木作業を行いやすい。また、果実肥大性が良好で台木特性が優れる。

来歴 えそ斑点病抵抗性を有し、つる割病(レース1,2y)(以下、レース1,2y)に対する抵抗性が「どうだい4号」より強く、接ぎ木作業性などの台木特性が優れていることを育種目標とした。花・野菜技術センターにおいて育成した両病害抵抗性固定系統「HM-5」を種子親とし、同じく両病害に抵抗性を有する育成固定系統「HM-4」を花粉親として2005年に最初のF1交配を行った。2006年より「空知台交6号」の系統名を付して、生産力検定試験、病害抵抗性検定試験ならびに道内のえそ斑点病やレース1,2yが発生している産地において地域適応性検定

試験を実施し、2008年に優良品種に認定された。

特性概要

- 胚軸長および胚軸径は「どうだい4号」と同等であるため、接ぎ木作業性は同等である。「ワンツーシャット」や「ダブルガード」に比べて徒長しづらく、接ぎ木作業性がやや優れる。
- 草勢は穂木品種によりやや変動するが、「どうだい4号」,「ワンツーシャット」と同等,「ダブルガード」よりやや優れる。両性花着生率と着果率は「どうだい4号」と同等で、開花始と成熟日数も同等である。
- ネット形質は各台木品種と同等である。糖度は穂木品種によりやや変動するが、「どうだい4号」,「ワンツーシャット」と同等,「ダブルガード」よりやや優れる。
- 果実肥大性は穂木品種によりやや変動するが、「ワンツーシャット」よりやや劣り,「どうだい4号」と同等,「ダブルガード」よりやや優れる。収量性は「どうだい4号」,「ワンツーシャット」と同等で,「ダブルガード」よりやや優れる。

5. えそ斑点病に対して「どうだい4号」と同様に抵抗性を有し、発生圃場において穂木の発病を著しく軽減する。つる割病については、レース1,2yに対して「どうだい4号」よりも強い量的抵抗性を示し、甚発生圃場を除き十分な実用性を有する。レース0、レース2に対しても抵抗性を有する。

びレース1,2yの発生が確認された圃場または発生の恐れがある圃場とする。ただし、低温伸長性が「どうだい4号」よりやや劣るため、道北地域の無加温半促成作型のうち、4月上～中旬定植の栽培を避ける。レース1,2yに対する抵抗性は「どうだい4号」より優れるが、菌密度が高いと罹病する場合がある。従来の抵抗性台木でも発病する圃場では土壌還元消毒や輪作を行って菌密度を下げた後に「どうだい6号」を用いる。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は全道のメロン栽培地域で、えそ斑点病および

場所名	品 種 名		接ぎ木時		収穫期 草 勢	成 熟 日 数 (日)	規 格 内 収 量 (kg/a)	平 均 一 果 重 (kg)	糖 度 (Brix)	つる割病 レース1,2y 発病度	えそ斑点 病発病株 率 (%)	試験年次
	台 木	穂 木	胚軸長 (mm)	胚軸径 (mm)								
花・野菜 センター	どうだい6号	赤肉キング系	31	1.9	2.5	44	361	1.99	13.0	44	0	2006～ 2007
	どうだい4号		32	1.9	3.0	44	372	2.08	12.7	75	0	
	ダブルガード		38	1.9	1.5	44	336	1.85	12.3	36	0	
	ワンツーシャット		46	2.0	2.5	44	373	2.10	12.8	46	0	
	どうだい2号	—	—	—	—	—	—	—	—	57	100	
	どうだい6号	ルピアレッド			2.5	51	329	1.84	14.3			
	どうだい4号				3.0	51	310	1.86	14.6			
	ダブルガード				2.5	51	302	1.79	14.2			
ワンツーシャット				2.5	51	331	1.83	14.3				

- 注 1) 収穫期草勢は1(弱)～3(どうだい4号並)～5(強)で評価。
 2) つる割病レース1,2y発病度は幼苗検定による結果、0(健全)～100(枯死)。
 3) えそ斑点病発病率は幼苗検定による結果。

参照 1) 北海道農政部編、平成20年普及奨励ならびに指導参考事項、16-18(2008年)

4. かぼちゃ

(1) TC2A(系統名 TC2A)2007年

登録番号：(北海道)かぼちゃ北海道第1号
 (農水省)かぼちゃ農林1号
 (種苗法)第17187号
 (商標名)ほっとけ栗たん

1996年に交配して、短節間形質と高乾物率等によって個体選抜を行い、自殖して得られた固定系統である。「BHA」は、「近成芳香」と「錦芳香」との交配から得られた固定系統である。2004年から「TC2A」の系統名で各種試験を行い、2007年に優良品種となった。

セールスポイント

短節間性を有し、摘心・整枝・誘引が不要で、果実が株もとに着果するため、収穫が容易な省力・軽労化向きの良食味かぼちゃ品種である。

来歴 本品種は、(独)農業・食品産業技術総合研究機構北海道農業研究センターと(株)渡辺採種場の共同研究により、良食味で短節間性を持つことを目標に育成された。花粉親品種「北海1号」(品種登録番号第17188号)と渡辺採種場育成の種子親系統「BHA」を交配して得られた単交配一代雑種である。「北海1号」は、「まさかり」とコーネル大学から導入した「Bush Buttercup」を

特性概要

1. 主枝(親蔓)の、13節前後までは節間が詰まり短節間性の草姿を示す。それ以降の節位は開花期頃から徐々に伸長して普通草姿となる。側枝(子蔓)数は、「えびす」よりも少ない。
2. 雌花と雄花の開花時期は「えびす」、「つるなしやっこ」とほぼ同じである。着果は「えびす」よりも下位節であり、節間が詰まるため株もと近くに着果する。
3. 果実重量は「えびす」並の1.8～2.0kg程度である。密植栽培が可能のため、総収量および規格内収量は「えびす」よりも多い。
4. 果形は果頂部が凸となる心臓形である。果皮色は濃

- 緑で、緑色の縞が入る。また、花痕は小さく、果皮の硬さは「えびす」と同程度である。果肉は橙黄色で、肉厚である。Brixおよび乾物率は「えびす」や「つるなしやっこ」よりも高く、高粉質で、食味が優れる。
5. 側枝の発生が少なく、摘心、整枝・誘引作業が不要である。また、果実が株もと近くに着生するために「えびす」よりも収穫作業が容易である。
6. うどんこ病の発生程度は「えびす」と同程度ある。

栽培適地と奨励態度

全道のかぼちゃ栽培地帯に適する。生育初期の親蔓は短節間性を示し、子蔓の発生が少ない特性をもつ。この特性を利用して親蔓を摘心せずにそのまま伸長させる放任栽培においては、密植により収量性が「えびす」と同等以上となることから、従来の摘心・整枝・誘引の作業は不要である。但し、株もと近くの茎葉が枯れ上がった場合には果実に日焼けが生ずることがある。また、栽培法は2006年指導参考事項「短節間かぼちゃの栽培法」に準じて行う。

場所名	品 種 名	蔓 長		側枝数	着果節位	平均一果重(kg)	果数(果/株)	総収量(kg/a)	収規格量内(kg/a)	果肉厚(mm)	B r i x	乾物率(%)	肉 質	食 味	作業時間			試験年次
		10節(cm)	15節(cm)												摘心	整枝	収穫	
北海道農業研究センター	T C 2 A	18	86	1.8	12.2	2.0	1.3	262	215	29.9	13.4	22.0	粉質	3.9	—	—	—	2004 ～ 2006
	えびす	55	125	4.4	15.6	1.7	2.0	185	155	27.1	10.6	17.2	粘～粉	3.4	—	—	—	
	つるなしやっこ	14	44	1.0	10.5	2.2	1.7	317	241	31.5	9.6	15.9	粘質	2.6	—	—	—	
花・野菜技術センター	T C 2 A	37	145	—	9.1	2.0	1.1	284	262	—	—	—	—	—	—	—	—	2004 ～ 2005
	えびす	121	229	—	10.5	2.3	2.3	288	245	—	—	—	—	—	—	—	—	
	つるなしやっこ	19	83	—	9.4	2.1	1.1	295	245	—	—	—	—	—	—	—	—	
(公財) 道中央農業振興公社	T C 2 A	32	113	3.3	—	1.8	1.0	232	195	30.3	11.1	21.1	粉質	—	0	0	8.8	2005 ～ 2006
	えびす	107	203	5.9	—	1.8	2.1	151	142	26.6	9.0	15.9	粘～粉	—	1.1	1.3	14.8	
	つるなしやっこ	20	73	3.0	—	1.8	1.1	281	250	28.4	9.2	16.7	粘質	—	0	0	10.0	

注 1) 食味評価はパネリスト38名による。5(良)～3(普通)～1(不良)。

- 参照 1) 北海道農政部編, 平成19年普及奨励ならびに指導参考事項, 15-17 (2007).
2) 杉山慶太 等, 北海道農業研究センター研究報告. 190, 1-58 (2009).

5. ながいも

(1) 十勝4号(系統名 十勝4号)2013年

登録番号: (北海道)

(種苗法)

セールスポイント

「十勝4号」は一般に栽培されている「十勝選抜系統」より太く、約20%多収であり、一般栽培上の欠点は認められない。

来歴 「十勝4号」は2005年に北海道立十勝農業試験場(現北海道立総合研究機構十勝農業試験場)において、ながいも「音更選抜系統」(以下音更選抜)の定芽部位を利用して得られた突然変異系統である。2008年にいも径がもっとも太い1系統(「TB0804」)を選抜し、増殖、生産力検定予備試験を経て、2011年から「十勝4号」の系統名で各種試験を行い、2013年に優良品種となった。

特性概要

- 不定芽の形成は「音更選抜」と同等の“良”で、催芽期間は「音更選抜」と同等である。催芽時の腐敗は「音更選抜」とほぼ同等である。
- 草勢、分枝性は、「音更選抜」と同等で、雌雄性は「音更選抜」と同様に雄株である。葉の形状は、「音更選抜」と同じ“長心臓形”であるが、「音更選抜」に比べ、葉長が短く、葉のくぼみがやや浅い。
- 萌芽期は「音更選抜」と同等で、黄変期は3日程度早い。
- ヤマノイモえそモザイク病に対する抵抗性は「音更選抜」と同等の“中”である。
- 規格内収量は「音更選抜」より約20%多収である。
- いもの形状は「音更選抜」と同様の“長楕円形”であるが、いも径が太く、平均1本重が重い。
- いもの乾物率、粘度は「音更選抜」並の品質である。とろろおよび短冊にした場合の食味は、「音更選抜」

並である。とろろの加工適性は「音更選抜」と同等である。

8. 貯蔵性は「音更選抜」と同等の“中”である。

9. 増殖性は「音更選抜」とほぼ同等の“良”と判定される。

場所名	品 種 名	規格内収量 (kg/10a)	同左比 (%)	規 格 内 率 (%)	多数本 いも株率 (%)	全 長 (cm)	調整長 (cm)	いも径 (cm)	平均1本重 (g)	乾物率 (%)	粘度 (Pa/s)	ヤマノイモ えそモザイク 病抵抗性
十勝農試	十勝4号	4,560	116	91.9	15.0	59	41	7.1	1014	16.2	3.4	中
	音更選抜	3,929	100	92.2	15.0	61	42	6.1	876	15.8	3.2	中
	川西選抜	3,988	102	88.9	11.1	62	43	6.4	942	16.0	3.3	—

参照 1) 北海道農政部編, 平成25年普及奨励ならびに指導参考事項, 8-10 (2013年)

6. やまのいも

(1) きたねばり (系統名 十勝3号) 2011年

登録番号: (北海道)

(種苗法)

セールスポイント

「きたねばり」は北海道で栽培されているながいもに比べ、重要病害であるヤマノイモえそモザイク病に強く、短根で、とろろ粘度が高く内部品質が優れている。

来歴 「きたねばり」は2000年に北海道立十勝農業試験場(現北海道立総合研究機構十勝農業試験場)において、いちょういも「No.11」を母、ながいも「音更選抜」を父に人工交配を行った組み合わせから育成された。2005年に形状や収量性から1系統を選抜し、増殖、生産力検定予備試験を経て、2008年から「十勝3号」の系統名で各種試験を行い、2011年に優良品種となった。

特性概要

1. 「音更選抜」に比べ不定芽の形成がやや劣り、1週間程度長い催芽期間を要する。
2. 草勢は「音更選抜」より弱く、分枝は「音更選抜」より少ない。つる径は「音更選抜」より太い。葉の形状は「音更選抜」の「長心臓形」に対し「心臓形」でくびれ部分が少ない。葉色は「音更選抜」より淡く、葉長が長く、葉脚部の窪み深は「音更選抜」より深い。雌雄性は雄株である。むかご着生は「音更選抜」よりやや少ない。

3. 黄変期は「音更選抜」とほぼ同程度である。

4. ヤマノイモえそモザイク病に対する抵抗性は「音更系統」より強い“強”である。

5. 規格内収量は標準的な栽植密度では「音更選抜」と同程度であるが、密植では「音更選抜」よりやや低収となる。多数本いも株率はきわめて低く、1株につき1本のいもが収穫される。

6. いもの形状は「音更選抜」「川西選抜」の「長紡錘形」に対し短根の「紡錘形」である。

7. いもの乾物率は「音更選抜」に比べ5ポイント程度高く、粘度は「音更選抜」より高い。すりおろしたとろろの食味は、粘りが強く食味評価はやや高い。とろろの加工適性は良好である。

8. 「音更選抜」「川西選抜」と同程度の貯蔵性を有する。

9. 増殖性について、むかご着生数は「音更選抜」に比べ少なく、むかごからとれる種いも(1年子いも)は、「音更選抜」よりやや小さい。切片(100g)からは、「音更選抜」とほぼ同程度の大きさの種いもが収穫できる。

栽培適地と奨励態度

十勝及びこれに準ずる地域に適応する。ながいもに比べ不定芽の形成がやや劣り、1週間程度長い催芽期間を要することから、催芽時の腐敗の発生を防止するために適切な管理に努める。

場所名	品 種 名	規格内収量 (kg/10a)	同左比 (%)	規 格 内 率 (%)	多数本 いも株率 (%)	全 長 (cm)	調整長 (cm)	いも径 (cm)	平均1本重 (g)	乾物率 (%)	粘度 (Pa/s)	ヤマノイモ えそモザイク 病抵抗性
十勝農試	きたねばり	4,290	106	92.3	1.0	47	32	8.8	974	21.5	5.4	強
	音更選抜	4,063	100	92.7	19.8	58	39	6.2	873	16.5	3.5	中
	川西選抜	4,033	99	86.8	19.2	57	38	6.6	935	16.7	3.6	中

参照 1) 北海道農政部編, 平成23年普及奨励ならびに指導参考事項, 5-7 (2011年)

IV 飼料作物

1. アカクローバ

(1) アレス (系統名 SW Ares) 2007年
登録番号：(北海道) クローバ類北海道第9号

セールスポイント

チモシーに対する競合力が穏やかで、永続性に優れる品種である。

来歴 スウェーデンのSvalof weibull AB社が育成し、2006年にOECD登録された。道内には雪印種苗株式会社が導入し、2004年から2006年まで各種の試験を行い、2007年に北海道優良品種となった。

特性概要

1. 早晚性：開花始期は「クラノ」より遅く、晩生に属する。
2. 混播適性：マメ科率30～40%を概ね維持し、年次間

- および番草間の変動が「クラノ」より小さく、優れる。
3. 競合力：「クラノ」より穏やかである。
 4. 越冬性：「クラノ」並である。
 5. 収量性：単播では「クラノ」並である。混播では、チモシーの収量が「クラノ」よりやや多く、混播区全体の収量は「クラノ」並かやや多い。
 6. 永続性：3年目秋のクローバ被度が「クラノ」より高く、2年目に対する3年目の収量比が「クラノ」より高いことから、「クラノ」より優れる。
 7. 耐病性：菌核病には「クラノ」よりやや優れ、うどんこ病および葉枯性病害には「クラノ」並かやや劣る。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。チモシー中生品種との混播に適するが、チモシー早生品種との組み合わせでも利用できる。

	チモシー中生品種区乾物収量の「クラノ」比(%) ¹⁾				チモシー早生品種乾物収量の「クラノ」比(%) ¹⁾			
	チモシー	アカクローバ	全体	マメ科率(%)	チモシー	アカクローバ	全体	マメ科率(%)
ア レ ス	109	100	105	39.0	103	91	99	28.5
ク ラ ノ	(109.8)	(78.6)	(188.4)	41.2	(130.7)	(66.5)	(197.1)	31.5
ホ ク セ キ	97	127	110	48.0	83	118	95	40.4

注 試験年次は2004～2006年。チモシー中生品種の結果は5場所6試験地の平均値、早生品種の結果は根釧農試および北見農試の平均値。

2年目および3年目の合計収量の場所平均。収量は「クラノ」区は実数 (kg/a)。

参照 1) 北海道農政部編, 平成19年普及奨励ならびに指導参考事項, 24-26 (2007)。

(2) リョクユウ (系統名 北海13号) 2010年
登録番号：(北海道) クローバ類北海道第10号
(農水省) アカクローバ農林6号
(種苗法) 第22027号

セールスポイント

永続性に優れ、競合力の強いイネ科牧草との混播により安定したマメ科率を長期に維持できる。

来歴 1991年より北海道農業研究センターと根釧農試において、永続性と耐寒性の向上を目指して育成を開始した。途中、475個体を選抜し、1997年より2サイクル目の選抜を行った。2000年に、永続性に優れた8母系を選抜し、2002年から2005年まで北農研と根釧農試で生産力

予備検定試験を実施した。その結果、「北海13号」を付し、2005年より系統適応性等の各種試験に供試した。2010年に北海道優良品種となった。

特性概要

1. 早晚性：開花始期は「ナツユウ」と同日で、早生に属する。
2. 永続性：アカクローバ収量の後半(4, 5年目)の前半(2, 3年目)比が「ナツユウ」より高いことなどから、「ナツユウ」より優れる。
3. 混播適性：混播区での総乾物収量は、オーチャードグラス混播、チモシー極早生品種混播のいずれでも、「ナツユウ」区と同程度かやや多く、これらとの組み合わせによる混播適性は優れる。同様にみて、根釧に

限り、チモシー早生品種との混播適性も優れる。

4. 競合力：「ナツユウ」より強い。
5. 耐病性：菌核病および葉枯性病害の罹病程度は「ナツユウ」並である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。競合力が強いため、混播するイネ科牧草はオーチャードグラスおよびチモシー極早生品種を基本とする。チモシー早生品種との混播は、夏季冷涼湿潤な根釧地域等に限定し、播種量を抑える。それ以外の地域では再生の穏やかな品種を利用する。

イネ科混播草種・熟期別のアカクローバ収量 (kg/a) および後半収量の前半収量に対する割合

	オーチャードグラス			チモシー極早生品種			チモシー早生品種		
	前半	後半	後/前(%)	前半	後半	後/前(%)	前半	後半	後/前(%)
リョクユウ	84	25	34	78	29	38	96	63	65
ナツユウ	82	23	30	70	22	31	88	47	53

注 1) 試験年次は2005～2009年。

前半とは2, 3年目の, 後半とは4, 5年目のアカクローバ収量。

参照 1) 北海道農政部編, 平成22年普及奨励ならびに指導参考事項, 24-25 (2010)。

(3) 北海17号 (系統名 北海17号) 2013年

登録番号：(北海道) アカクローバ北海道第11号
(農水省) アカクローバ農林 号
(種苗法) 第 号

セールスポイント

国内育成では初めての晩生品種である。チモシー中生品種との混播適性が高く, さらに耐寒性がやや優れる品種である。

来歴 北海道農業研究センターが1995年より育成を開始した。2000年から, 「クラノ」との比較により母系選抜を行い, 「北育20号」を開発した。2005年から4カ年, 生産力予備検定試験を実施した。「北海17号」を付し, 2009年より地域適応性等各種の試験を行った。2013年に北海道優良品種となった。

特性概要

1. 早晚性：開花始期は, 「アレス」より6日遅く, 晩生に属する。
2. 耐寒性：「アレス」より強い“やや強”である。
3. 混播適性：混播区での総乾物収量からみて, 春播種では「アレス」区と同程度, 夏播種では「アレス」区よりやや優れる。
4. 競合力：「アレス」並である。
5. 永続性：「アレス」と同等かやや優れる。
6. 耐病性：うどんこ病の罹病程度は「アレス」より小さく, 菌核病およびモザイク病の罹病程度も「アレス」より小さい。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。チモシー中生品種との混播に利用する。

	開花始期 (1番草) (月日)	着花茎出現程度 (2番草) 1(極少)～9(極多)	最終年晩秋のRC被度 (%)	うどんこ病 1(極強)～9(極弱)
北海17号	7月9日	2.2	23	1.9
アレス	7月3日	2.4	24	2.8

注 試験年次は2009～2012年。

開花始期は北農研個体植えのデータ(2カ年平均)。着花茎出現程度は2, 3年目前試験平均。最終年晩秋の被度は北海道10試験の平均である。

参照 1) 北海道農政部編, 平成25年普及奨励ならびに指導参考事項, 11-13 (2013)。

2. シロクローバ

- (1) リースリング (系統名 Riesling) 2005年
登録番号：(北海道) クローバ類輸第 8 号

セールスポイント

永続性、クローバ率の安定性に優れる品種である。

来歴 Cebeco Seeds社 (オランダ) が育成し、1996年にOECD登録された。道内にはホクレン農業協同組合連合会が導入した。2002年から2004年まで道内各地において各種の試験を行い、2005年に北海道優良品種となった。

特性概要

- 形態特性：小葉長、草丈ともに「カリフォルニアラジノ」より小さく、タイプは「中葉型」である。

- 越冬性：「カリフォルニアラジノ」並である。
- 耐病性：クローバ菌核病の発生が少ない。
- 収量性：2, 3年目のオーチャードグラスとの合計年平均乾物収量、シロクローバ収量ともに「カリフォルニアラジノ」並である。
- 競合力：クローバ被度は「カリフォルニアラジノ」よりやや低いが、混播時のクローバ率は同程度で、競合力は「カリフォルニアラジノ」並である。
- 永続性：年次の経過に伴うクローバ率の減衰の程度が小さく、永続性は高い。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。「中葉型」であるが、「大葉型」と同様にオーチャードグラスとの混播に向く。

	クローバ率											
	根 釧		北農研		天 北		滝 川		北 見		畜 試	
	平均	3/2 年目比	平均	3/2 年目比	平均	3/2 年目比	平均	3/2 年目比	平均	3/2 年目比	平均	3/2 年目比
リースリング	43	76	39	73	22	67	29	70	21	100	11	51
カリフォルニアラジノ	45	81	40	58	18	73	24	20	27	58	11	23

注 クローバ率は、混播試験におけるシロクローバ収量割合 (%)。

「平均」は、播種後2, 3年目の平均値を示す。

参照 1) 北海道農政部編, 平成17年普及奨励ならびに指導参考事項, 66-68 (2005)。

- (2) コロボックル (系統名 北海1号) 2011年
登録番号：(北海道) シロクローバ北海道第9号
(農水省) シロクローバ農林合6号
(種苗法) 第22135号

セールスポイント

耐寒性に優れる。小葉型で競合力が穏やかなため、チモシー晩生品種およびメドウフェスクとの混播・短草利用条件で基幹草種を抑圧しない。

来歴 2001年から、耐寒性に優れる放牧用系統の育成を目指し、東北農試育成の「東北17~20号」を、根釧農試およびホクレン畜産技術研究所において評価した。特性の優れた「東北17号」を育種母材とし、北農研および根釧農試において越冬性他の特性に優れる計9個体を選抜した。これらを親クローンとし、交配して得た種子を「北海1号」とし、2006年から2008年まで系統適応性等の各種試験に供試した。また、2008年から2010年まで、北農研および根釧農試において、メドウフェスクとの混播

試験を実施した。2011年に北海道優良品種となった。

特性概要

- 形態的特性：草丈、小葉長、小葉幅ともに小葉型の「タホラ」より小さく、小葉型の中でも最も小型である。小型のため、個体の拡がりもやや小さい。葉斑は「タホラ」より鮮明で、花色はやや赤みが強く、外観からの区別性は高い。
- チモシー混播・放牧利用での特性(道東)：本品種は穏やかな競合力を持ち、2, 3年目のシロクローバ被度は、「タホラ」区より低かった。チモシー収量は「タホラ」区比110%であった。チモシーとの混播・短草利用に適すると判断される。
- メドウフェスク混播・放牧利用での特性(道東・根釧)：2, 3年目のシロクローバ被度は、「タホラ」区より低かった。メドウフェスク収量は「タホラ」区と同程度であった。メドウフェスクとの混播・短草利用に適すると判断される。
- 永続性：3年目の被度からみて、永続性は問題ない

ものと判断される。

5. 耐寒性：「タホラ」の「中」に対し、本品種は「強」である。菌核病罹病程度は「タホラ」と同等である。

栽培適地と奨励態度

チモシー，メドウフェスク基幹放牧地が利用される北海道東部地域に適する。チモシーまたはメドウフェスクと混播し，短草で利用する。既存の小葉型品種よりさらに小型であるため，採草利用，兼用利用，および長草丈での放牧利用には適さない。

	シロクローバ被度(%)						
	チモシーとの混播				メドウフェスクとの混播		
	根 釧	北 見	畜 試	平 均	北農研	根 釧	平 均
コ ロ ボ ッ ク ル	28.3	29.9	18.4	25.5	37.0	36.6	36.8
タ ホ ラ	68.9	38.7	29.7	45.7	47.8	61.5	54.7

注 シロクローバ被度は，混播試験におけるシロクローバ冠部被度(%)，2，3年目平均。「平均」は，播種後2，3年目の平均値を示す。

参照 1) 北海道農政部編，平成23年普及奨励ならびに指導参考事項，26-27(2011)。

3. アルファルファ

- (1) ケレス(系統名 SBA9801) 2005年
登録番号：(北海道)アルファルファ北海道合第7号

セールスポイント

多収かつ耐病性に優れた早生品種である。

来歴 雪印種苗株式会社が合成品種法によって育成した品種である。2002年から「SBA9801」の系統名で各種の試験を行い，2005年に北海道優良品種となった。

特性概要

1. 早晚性：開花は「マキワカバ」とほぼ同時期の早生に属する。

2. 越冬性および早春の草勢：「マキワカバ」と同等である。
3. 収量性：3カ年合計で「マキワカバ」に比べ104%とやや多収である。
4. 倒伏程度：「マキワカバ」と同程度である。
5. 耐病性：バーティシリウム萎凋病に抵抗性である。そばかす病抵抗性は「マキワカバ」よりやや優れる。
6. オーチャードグラスまたはチモシーとの混播適性は，「マキワカバ」と大差はない。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。一般的な栽培技術が適用可能である。

	乾物収量 (%, kg/a)	越冬性 1(極不良)－9(極良)	倒伏程度 1(極強)－9(極弱)	そばかす病 1(極強)－9(極弱)
ケ レ ス	104	6.1	4.1	3.0
マ キ ワ カ バ	236.6	5.7	4.4	3.8

注 試験年次は2002～2004年(根釧のみ2003～2004)。データは6場所の平均値。乾物収量は3カ年の合計で，「マキワカバ」は実数，「ケレス」は「マキワカバ」比(%)。

参照 1) 北海道農政部編，平成17年普及奨励ならびに指導参考事項，33-35(2005)。

4. チモシー

- (1) なつちから (系統名 北見25号) 2010年
登録番号：(北海道) チモシー北海道第10号
(種苗法) 第22052号

セールスポイント

年間収量が多く、耐倒伏性が「ノサップ」より強く、混播栽培に必要な競合力が「ノサップ」、「オーロラ」より優れる採草利用向けの早生品種である。

来歴 本品種は、北海道立北見農業試験場において、早生で収量性、耐倒伏性、混播適性および採種性に優れる品種の育成を目標として、57栄養系の後代と2品種を材料とした個体選抜試験に由来する28栄養系の交配による集団選抜法により育成した。2005年から「北見25号」の系統名で、ホクレン農業協同組合連合会との共同研究により、各種の検定試験を行い、2010年に優良品種となった。

特性概要

1. 出穂始は「ノサップ」と比べ同日か1日遅く、「オーロラ」と比べ1～2日遅く、早晚性は早生に属する。
2. 3か年(2～4年目)ならびに4か年(1～4年目)の合計乾物収量はいずれも、「ノサップ」、「オーロラ」より高い値を示し、年次別乾物収量は、1年目は「ノサップ」、「オーロラ」と同程度であるが、2年目以降は「ノサップ」、「オーロラ」より多収である。したがって、収量性は「ノサップ」、「オーロラ」より優れる。
3. 再生草勢が2番草において「ノサップ」、「オーロラ」より優れ、とくに2番草は多収である。
4. 越冬性は、「ノサップ」と同程度、「オーロラ」と比べ同程度かやや優れる。雪腐病に対する耐病性は「強」で「ノサップ」、「オーロラ」と同程度、耐寒性は「強」

で「ノサップ」と同程度で、「オーロラ」よりやや優れる。

5. 斑点病抵抗性は、「ノサップ」、「オーロラ」より優れる。すじ葉枯病抵抗性は、「ノサップ」、「オーロラ」と同程度である。
6. 耐倒伏性は、「オーロラ」よりやや劣るものの「ノサップ」より優れる。
7. アカクローバ混播条件下における3か年ならびに4か年の合計乾物収量は、チモシー収量、チモシーとアカクローバとの合計収量とも、「ノサップ」、「オーロラ」より多い。また、マメ科率は、「ノサップ」、「オーロラ」と比べ低く、より適正な値で推移する。したがって、混播栽培に必要な競合力は「ノサップ」、「オーロラ」より優れる。
8. 種子収量は、「ノサップ」、「オーロラ」より多く、採種性は「ノサップ」、「オーロラ」より優れる。
9. 飼料成分は番草別にみると、1番草と3番草は「ノサップ」と同程度であるが、2番草で「ノサップ」と比べ、繊維の割合がやや高くなる傾向にある。
10. 草丈は、1番草では「ノサップ」と同程度かやや高く、2番草は「ノサップ」、「オーロラ」より高く、3番草は「ノサップ」と同程度である。出穂程度は、1番草では「ノサップ」と同程度かやや低く、2番草は「ノサップ」より高く、「オーロラ」と同程度かやや高い。個体植条件下における1番草の茎数は「ノサップ」と比べやや少なく、草型はやや直立型に近い。

栽培適地と奨励態度

適応地域は、北海道全域とし、「ノサップ」と置き換える。年間2～3回の採草利用を主体とする。耐倒伏性、混播適性は良好であるが、1番草は生育状況を観察し、収穫時期など適切な刈取り管理に努める。

試験場所名	品種名	出穂始 (月・日)	番草別乾物収量			年次別合計乾物収量				試験年次
			1番草	2番草	3番草	2年目	3年目	4年目	3か年合計	
北見農試	なつちから	6.12	97	116	98	101	102	101	101	2006～2009
	ノサップ	6.12	50.8	18.0	12.0	89.1	72.4	80.8	242.3	
	オーロラ	6.11	96	103	96	89	103	101	97	
上川農試 天北支場	なつちから	6.17	105	125	90	107	109	108	108	
	ノサップ	6.17	49.9	19.1	9.3	81.1	75.3	78.4	234.8	
	オーロラ	6.16	104	114	90	104	106	105	105	
根釧農試	なつちから	6.19	100	122	—	103	108	111	107	
	ノサップ	6.19	62.1	29.7	—	102.5	93.7	79.4	275.5	
	オーロラ	6.18	94	108	—	90	102	104	98	
畜試	なつちから	6.15	104	138	106	100	112	121	111	

試験場所名	品種名	出穂始 (月.日)	番草別乾物収量			年次別合計乾物収量				試験年次
			1番草	2番草	3番草	2年目	3年目	4年目	3か年合計	
畜 試	ノ サ ッ プ	6.15	56.1	16.8	18.0	91.6	94.7	86.0	272.3	2006～2009
	オーロラ	6.14	102	108	97	93	104	111	102	
北 農 研 センター	なつちから	6.10	98	134	92	104	97	100	100	
	ノ サ ッ プ	6. 8	71.2	9.1	15.9	107.8	93.3	87.4	288.4	
	オーロラ	6. 9	97	107	101	103	98	94	99	
ホクレン (音更)	なつちから	6.14	110	117	97	110	106	—	108	
	ノ サ ッ プ	6.14	64.1	25.6	27.1	137.9	95.5	—	233.4	
	オーロラ	6.13	102	104	94	97	105	—	100	
全 場 所 平 均	なつちから	6.15	101	125	98	103	106	108	105	
	ノ サ ッ プ	6.14	58.0	18.5	13.8	94.4	85.9	82.4	262.7	
	オーロラ	6.13	99	108	97	96	103	103	100	

注) 系統(地域)適応性検定試験の結果. 乾物収量は「ノサップ」対比指数(%), 「ノサップ」は実数(kg/a)。いずれも2～4年目の平均値。ただし, ホクレン(音更)の出穂始は2年目の値, 番草別乾物収量は2, 3年目の平均値。3か年合計は2～4年目の合計。「—」は未調査。全場所平均はホクレン(音更)を除く5場所の平均値。

- 参照 1) 北海道農政部編, 平成22年普及奨励ならびに指導参考事項, 21-23 (2010)
2) 足利和紀 等, 道総研農試集報. 96, 1-14 (2012)

(2) SBT0308 (系統名 SBT0308) 2010年

登録番号: (北海道) チモシー北海道合第11号
(種苗法) 第21344号

セールスポイント

中生の早で, 「キリタツプ」と比べ, 年間収量が多く, 斑点病抵抗性が強く, 1番草刈取後の再生が優れ, 混播適性が良好である。

来歴 本品種は, 雪印種苗株式会社が栄養系評価試験および多交配後代検定試験の結果から6栄養系を選抜し, 合成品種法により育成した。2007年から各種試験を行い, 2010年に優良品種となった。なお, 市販品種名は「アルテミス」である。

特性概要

1. 出穂始は中生の晩の「キリタツプ」より6～7日早く, 早晚性は“中生の早”である。
2. 出穂程度は一斉刈りでは1, 2番草とも中生の晩の「キリタツプ」より高い。
3. 中生の晩の「キリタツプ」と比べ1番草はやや多収,

2番草は多収で, 年間合計乾物収量は多収である。

4. 越冬性は「キリタツプ」と同程度, 早春草勢は「キリタツプ」よりやや優れる。
5. 「キリタツプ」と比べ斑点病抵抗性はやや優れるが, すじ葉枯れ病抵抗性は同程度かやや劣る。
6. 耐倒伏性は「キリタツプ」と同程度である。
7. 草丈は, 一斉刈りでは「キリタツプ」と比べ, 1番草は同程度かやや高く, 2番草は高い。
8. 1番草刈取後の再生は「キリタツプ」より優れる。
9. 秋の草勢は「キリタツプ」と同程度である。
10. 混播適性は「キリタツプ」より良好である。
11. 模擬放牧(単播・多回刈り)条件下における乾物収量が, 「ホクシュウ」と比べ春季は少ないが夏季は多く, 年間合計では同程度である。また, 秋の被度は「ホクシュウ」と同程度で高い。したがって, 多回刈適性は「ホクシュウ」と同程度である。

栽培適地と奨励態度

全道一円に適する。収量性, 斑点病抵抗性, 混播適性に優れる中生の早の品種として主に採草で利用するが, 放牧でも利用できる。

試験場所名	品種名	出穂始 (月.日)	番草別乾物収量		年次別合計乾物収量			試験年次
			1番草	2番草	2年目	3年目	2か年合計	
北 見 農 試	SBT0308	6.18	103	130	111	108	110	2007～2009
	キリタツプ	6.24	66.5	23.8	101.7	78.6	180.3	
上 川 農 試 天 北 支 場	SBT0308	6.23	106	136	113	112	112	
	キリタツプ	6.26	79.6	23.4	108.3	97.6	205.9	

試験場所名	品種名	出穂始 (月.日)	番草別乾物収量		年次別合計乾物収量			試験年次
			1番草	2番草	2年目	3年目	2か年合計	
根 釧 農 試	SBT0308	6.28	102	124	109	107	108	2007~2009
	キリタツプ	7.4	89.4	35.8	126.2	124.3	250.5	
畜 試	SBT0308	6.20	107	161	112	128	119	
	キリタツプ	6.25	78.8	22.0	119.8	81.5	201.3	
畜 試 滝 川 試 験 地	SBT0308	6.11	110	138	120	118	119	
	キリタツプ	6.19	78.3	38.4	107.4	126.0	233.4	
北 農 研 セ ン タ ー	SBT0308	6.11	100	126	105	104	105	
	キリタツプ	6.19	95.9	21.3	140.6	93.6	234.2	
全場所平均	SBT0308	6.18	104	135	111	113	112	
	キリタツプ	6.25	81.4	27.5	117.3	100.3	217.6	

注) 乾物収量は「キリタツプ」対比指数(%), 「キリタツプ」は実数(kg/a)。出穂始と番草別乾物収量は2, 3年目の平均値。2か年合計は2, 3年目の合計。

参照 1) 北海道農政部編, 平成22年普及奨励ならびに指導参考事項, 26-28 (2010)

(3) SBT0310 (系統名 SBT0310) 2010年

登録番号: (北海道) チモシー北海道合第12号

(種苗法) 第21343号

セールスポイント

中生で、「キリタツプ」と比べ、年間収量が多く、斑点病抵抗性がやや強く、耐倒伏性がやや強い。多回利用条件下における乾物収量が年間を通して「ホクシュウ」よりやや多い。

来歴 本品種は、雪印種苗株式会社が栄養系評価試験および多交配後代検定試験の結果から6栄養系を選抜し、合成品種法により育成した。2007年から各種試験を行い、2010年に優良品種となった。なお、市販品種名は「ヘリオス」である。

特性概要

1. 出穂始は中生の晩の「キリタツプ」より4日早く、早晚性は“中生”である。
2. 出穂程度は一斉刈りでは1, 2番草とも中生の晩の「キリタツプ」より高い。
3. 中生の晩の「キリタツプ」と比べ1番草は同程度の収量であるが、2番草は多収で、年間合計乾物収量は多収である。

4. 越冬性は「キリタツプ」と同程度、早春草勢は「キリタツプ」と同程度である。
5. 「キリタツプ」と比べ斑点病抵抗性はやや優れるが、すじ葉枯れ病抵抗性は同程度である。
6. 耐倒伏性は「キリタツプ」よりやや優れる。
7. 草丈は、一斉刈りでは「キリタツプ」と比べ、1番草は同程度かやや高く、2番草は高い。
8. 1番草刈取後の再生は「キリタツプ」よりやや優れる。
9. 秋の草勢は「キリタツプ」と同程度である。
10. 混播適性は「キリタツプ」と比べ同程度かやや良好である。
11. 模擬放牧(単播・多回刈り)条件下における乾物収量が、「ホクシュウ」と比べ春季, 夏季, 秋季のいずれにおいてもやや多く、年間合計ではやや多い。また、秋の被度は「ホクシュウ」と同程度で高い。したがって、多回刈適性は「ホクシュウ」と比べ同程度かやや良好である。

栽培適地と奨励態度

全道一円に適する。収量性, 斑点病抵抗性, 耐倒伏性に優れる中生品種として主に採草で利用するが、放牧でも利用できる。

試験場所名	品種名	出穂始 (月.日)	番草別乾物収量		年次別合計乾物収量			試験年次
			1番草	2番草	2年目	3年目	2か年合計	
北見農試	SBT0310	6.20	101	122	107	106	107	2007～2009
	キリタツプ	6.24	66.5	23.8	101.7	78.6	180.3	
上川農試 天北支場	SBT0310	6.24	97	115	101	100	101	
	キリタツプ	6.26	79.6	23.4	108.3	97.6	205.9	
根釧農試	SBT0310	6.29	98	111	102	102	102	
	キリタツプ	7.4	89.4	35.8	126.2	124.3	250.5	
畜試	SBT0310	6.22	98	141	102	116	108	
	キリタツプ	6.25	78.8	22.0	119.8	81.5	201.3	
畜試滝川 試験地	SBT0310	6.15	103	127	107	113	111	
	キリタツプ	6.19	78.3	38.4	107.4	126.0	233.4	
北農研 センター	SBT0310	6.14	98	124	103	102	103	
	キリタツプ	6.19	95.9	21.3	140.6	93.6	234.2	
全場所平均	SBT0310	6.21	99	122	104	106	105	
	キリタツプ	6.25	81.4	27.5	117.3	100.3	217.6	

注) 乾物収量は「キリタツプ」対比指数(%), 「キリタツプ」は実数(kg/a)。出穂始と番草別乾物収量は2, 3年目の平均値。2か年合計は2, 3年目の合計。

参照 1) 北海道農政部編, 平成22年普及奨励ならびに指導参考事項, 29-31 (2010)

5. スムーズブロムグラス

(1) フーレップ (系統名 北見7号) 2005年

登録番号: (北海道) スムーズブロムグラス北海道合第2号
(農水省) スムーズブロムグラス農林合2号
(種苗法) 第15415号

セールスポイント

「アイカップ」より収量性および褐斑病抵抗性に優れる。

来歴 本品種は、北海道立北見農業試験場において、生育良好で耐病性に優れる中生個体の選抜を2サイクル繰り返し、選抜した5母系16栄養系の交配による母系選抜法で育成した。2002年から、「北見7号」の系統名で各種の試験に供試し、2005年に優良品種となった。

特性概要

1. 早晚性は、出穂始が6月5日と「アイカップ」と同日であることから、「アイカップ」と同じ中生である。
2. 2～3年目の年間合計乾物収量が「アイカップ」より多いため、収量性は優れる。
3. 褐斑病に対しては「アイカップ」より低い罹病程度を示すため、褐斑病抵抗性は強い。
4. 越冬性は「アイカップ」より優れる。耐寒性は「アイカップ」と同じ“中”である。
5. 混播適性、飼料成分および採種性は「アイカップ」並である。
6. 形態的特性については、「アイカップ」より葉長、穂長が長い。

栽培適地と奨励態度

適応地域は北海道全域であり、「アイカップ」と置き換える。採草利用を主体とする。

試験場所名	品種名	出穂始 (月.日)	番草別乾物収量			年次別合計乾物収量			試験年次
			1番草	2番草	3番草	2年目	3年目	2か年合計	
北見農試	フーレップ	6.2	99	110	104	105	103	104	2002～2004
	アイカップ	6.2	32.0	26.3	18.1	82.0	70.5	152.5	
上川農試 天北支場	フーレップ	6.5	113	115	114	108	120	114	
	アイカップ	6.5	41.7	27.2	19.9	96.4	81.1	177.5	

試験場所名	品種名	出穂始 (月.日)	番草別乾物収量			年次別合計乾物収量			試験年次
			1番草	2番草	3番草	2年目	3年目	2か年合計	
根 釧 農 試	フーレップ	6.9	96	104	105	98	102	100	2002～2004
	アイカップ	6.9	37.2	27.9	16.9	85.2	78.8	164.0	
畜 試	フーレップ	6.3	112	108	113	116	106	111	
	アイカップ	6.3	32.5	30.5	16.1	74.4	83.7	158.1	
北 農 研 セ ン タ ー	フーレップ	6.5	109	107	124	113	108	110	
	アイカップ	6.6	38.5	22.7	7.1	62.6	73.7	136.3	
全場所平均	フーレップ	6.5	106	109	110	108	108	108	
	アイカップ	6.5	36.4	26.9	15.6	80.1	77.6	157.7	

注) 乾物収量は「アイカップ」対比指数(%), 「アイカップ」は実数(kg/a)。出穂始と番草別乾物収量は2, 3年目の平均値。2か年合計は2, 3年目の合計。

- 参照 1) 北海道農政部編, 平成17年普及奨励ならびに指導参考事項, 24-26 (2005)
2) 玉置宏之 等, 北海道立農試集報. 89, 25-34 (2005)

6. ペレニアルライグラス

(1) チニタ (系統名 天北5号) 1999年

登録番号: (北海道) ペレニアルライグラス北海道合第2号
: (種苗法) 第18471号

セールスポイント

採草・放牧兼用利用に適した中生品種で、放牧条件下での採食性が良好である。採種時の種子収量が多い。

来歴 本品種は北海道立上川農業試験場天北支場において、越冬性、早春草勢、収量性に優れた採草・放牧兼用利用向け品種の育成を目標として育成された中生品種である。道内で収集したエコタイプ由来の6栄養系による合成品種法により育成された。2005年から「天北5号」の系統名で各種試験を行い、2008年に優良品種となった。

特性概要

1. 出穂始は「ポコロ」より5～8日, 「ファントム」より4～5日早く, 早晚性は中生の早に属する。
2. 兼用利用での乾物収量は, 1番草は「ポコロ」より少ないが「ファントム」よりやや多く, 2番草以降の多回刈合計は「ポコロ」より多く「ファントム」と同程

度であることから, 中生種としてはやや多収である。

1番草収穫後の季節生産性は「ポコロ」よりやや優れる。

3. 越冬性は「ポコロ」, 「ファントム」よりやや劣る場合があるが、実用上問題がないレベルを有する。

4. 飼料成分は, 兼用利用1番草の粗蛋白質含量が「ポコロ」より高く, 多回利用時の水溶性糖類含量が「ポコロ」, 「ファントム」より高い。

5. 放牧条件下での採食性が「ポコロ」と比べてやや良好であり, 放牧適性は「ポコロ」よりやや優れる。

6. 採種性は「ポコロ」, 「ファントム」より非常に優れる。

7. 葉腐病罹病程度は「ポコロ」より低く, 斑点病および網斑病罹病程度は「ポコロ」と同程度である。

8. 混播適性は「ポコロ」と同程度で良好である。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道北, 道央および道南であり, 土壤凍結地帯での栽培は避ける。利用方法は1番草を採草し, その後放牧を行う兼用利用を主とする。造成2年目に倒伏が発生する場合がありますので, 採草時は適期に刈り取る。

試験場所名	品種名	出穂始 (月/日)	越冬性	早春草勢	兼用利用での乾物収量			種子収量 (kg/a/年)	試験年次
					1番草	夏秋合計	年間合計		
天北支場	チニタ	6/14	4.9	7.0	89	111	98	7.90	2005～2007
	ファントム	6/19	5.1	5.6	83	113	94	4.98	
	ポコロ	6/22	4.8	5.9	(115.1)	(75.3)	(190.4)	5.15	
北農研	チニタ	6/6	4.9	5.1	75	132	89	—	
	ファントム	6/10	5.7	4.9	71	132	86	—	
	ポコロ	6/11	5.9	6.3	(125.0)	(39.8)	(164.8)	—	

注) 越冬性および早春草勢は9：極良～1：極不良による観察評点。
乾物収量の値は「ポコロ」が実数 (kg/a), 他は「ポコロ」対比 (%) である。

- 参照 1) 北海道農政部編, 平成20年普及奨励ならびに指導参考事項, 19-22 (2008)。
2) 吉田昌幸 等, 北海道立農試集報, 94, 17-30 (2009)。

7. イタリアンライグラス

(1) プリモラ (原名 Primora) 2011年
登録番号：(北海道) イタリアンライグラス輸第3号

セールスポイント

1 番草が多収で, 地下茎型イネ科雑草防除能力が高い早生品種である。

来歴 本品種は, デンマークのDLF Trifolium社が育成した4倍体の品種で, 高収量育成系統由来の6個体の栄養系からなる合成品種法で育成された。ホクレン農業協同組合連合会及び雪印種苗株式会社が導入し, 2008年から各種試験を行い, 2011年に優良品種となった。

特性概要

1. 出穂始は「ビリオン」より1日早く, 「マンモスB」より2日遅く, 早晚性は早生に属する。
2. 出穂程度は「ビリオン」より多く, 「マンモスB」よりやや少ない。
3. 乾物収量は3カ年全道平均で「ビリオン」比105%でやや多く, 「マンモスB」並。番草別では1番草で多収。
4. 耐倒伏性は「ビリオン」より弱く, 「マンモスB」並である。

5. 耐病性は「ビリオン」及び「マンモスB」並である。
6. 最終刈取り時(3番草)の地下茎型イネ科雑草の乾物収量が「ビリオン」と比べやや少なく, 雑草防除能力は高い。
7. 草丈は1番草で「ビリオン」より高く, 2, 3番草では「ビリオン」及び「マンモスB」と同程度である。
8. 乾物率は各番草とも「ビリオン」よりやや高く, 「マンモスB」並である。
9. 秋の草勢は「ビリオン」, 「マンモスB」と同程度である。
10. 越冬後再生率は「ビリオン」及び「マンモスB」並である。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は稲作地帯を除く全道である。本品種は除草剤を使用しない耕種的雑草防除技術に利用できるが, アカヒゲホソミドリカスミカメの発生源となることから, 稲作地帯での栽培は避ける。自然下種による野生化を防ぐため, 開花期前に収穫する。イタリアンライグラスは道内では一年生であるが, 冬期間の気象条件によっては一部の個体が越冬することがあるので, 後作栽培においては開花期前までに耕起を行う。

品種名	出穂始 (月/日)	越冬後 再生率 (%)	乾物収量 ¹⁾				3番草地下茎型イネ科雑草収量 ¹⁾²⁾				試験年次
			1番草	2番草	3番草	年間合計	2008年	2009年	2010年	3カ年平均	
Primora	7/ 9	11	118	102	101	105	22	157	67	83	2008～2010
ビリオン(標準)	7/10	13	(147)	(239)	(287)	(673)	(13)	(15)	(23)	(17)	
マンモスB(比較)	7/ 7	9	126	100	100	106	43	90	82	74	

注) 1) 「ビリオン」が実数 (kg/a), 他は「ビリオン」対比 (%) である (北農研・天北・根釧・北見・畜試の3カ年平均)。
2) 2008年及び2009年はシバムギ優占草地, 2010年はリードカナリーグラス優占草地への播種 (根釧農試)。

- 参照 1) 北海道農政部編, 平成23年普及奨励ならびに指導参考事項, 12-14 (2011)。

(2) タチサカエ (原名 タチサカエ) 2011年
登録番号：(北海道) イタリアンライグラス移第4号
(種苗法) 第17089号

セールスポイント

多収で, 地下茎型イネ科雑草防除能力が高い早生品種である。

来歴 本品種は、タキイ種苗株式会社が育成した4倍体の品種で、「ナガハヒカリ」及び「ジャイアントイタリアン」を母材とした集団選抜により育成された。2008年から各種試験を行い、2011年に優良品種となった。

特性概要

1. 出穂始は「ビリオン」より1日、「マンモスB」より4日遅く、早晩性は早生に属する。
2. 出穂程度は1～3番草のいずれも「ビリオン」より低く、番草が進むにつれその差が大きくなる傾向にある。
3. 「ビリオン」と比べ年間合計乾物収量は多収で、特に3番草が多収である。
4. 耐倒伏性は「ビリオン」と同程度である。
5. 冠さび病及び葉腐病抵抗性は「ビリオン」、「マンモスB」と同程度である。
6. 最終刈取り時（3番草）の地下茎型イネ科雑草の乾

物収量が「ビリオン」より少なく、雑草防除能力は高い。

7. 草丈は1～3番草とも「ビリオン」と同程度である。
8. 乾物率は1, 2番草が「ビリオン」と同程度で, 3番草はやや低い。
9. 秋の草勢は「ビリオン」よりやや優れる。
10. 越冬後再生率は「ビリオン」よりやや高い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は稲作地帯を除く全道である。本品種は除草剤を使用しない耕種的雑草防除技術に利用できるが、アカヒゲホソミドリカスミカメの発生源となることから、稲作地帯での栽培は避ける。自然下種による野生化を防ぐため、開花期前に収穫する。イタリアンライグラスは道内では一年生であるが、冬期間の気象条件によっては一部の個体が越冬することがあるので、後作栽培においては開花期前までに耕起を行う。

品種名	出穂始 (月/日)	越冬後 再生率 (%)	乾物収量 ¹⁾				3番草地下茎型イネ科雑草収量 ¹⁾²⁾				試験年次
			1番草	2番草	3番草	年間合計	2008年	2009年	2010年	3カ年平均	
タチサカエ	7/11	21	107	106	116	111	69	144	52	84	2008～2010
ビリオン(標準)	7/10	13	(147)	(240)	(287)	(673)	(13)	(15)	(23)	(17)	
マンモスB(比較)	7/7	9	125	100	100	106	43	90	82	74	

注) 1) 「ビリオン」が実数 (kg/a), 他は「ビリオン」対比 (%) である (北農研・天北・根釧・北見・畜試の3カ年平均)。
2) 2008年及び2009年はシバムギ優占草地, 2010年はリードカナリーグラス優占草地への播種 (根釧農試)。

参照 1) 北海道農政部編, 平成23年普及奨励ならびに指導参考事項, 15-17 (2011)。

(3) **ヒタチヒカリ** (原名 ヒタチヒカリ) 2011年
登録番号: (北海道) イタリアンライグラス移第5号
(種苗法) 第7090号

セールスポイント

やや多収で、耐倒伏性がやや優れ、地下茎型イネ科雑草防除能力が極めて高い晩生品種である。

来歴 本品種は、茨城県畜産試験場が育成した4倍体の品種で、「ヤマアオバ」等の倍加11系統を母材として、6世代の集団選抜と2世代の母系選抜により育成された。2008年から各種試験を行い、2011年に優良品種となった。

特性概要

1. 出穂始は「ビリオン」より7日、「マンモスB」より10日遅く、早晩性は晩生に属する。
2. 出穂程度は1～3番草のいずれも「ビリオン」より低く、番草が進むにつれその差が大きくなる。

3. 「ビリオン」と比べ, 1番草は多収で, 2番草が低収, 3番草は同程度で, 年間合計乾物収量はやや多収である。

4. 耐倒伏性は「ビリオン」よりやや優れる。
5. 冠さび病抵抗性は「ビリオン」、「マンモスB」と同程度で, 葉腐病抵抗性はやや劣る。
6. 最終刈取り時（3番草）の地下茎型イネ科雑草の乾物収量が「ビリオン」より少なく、雑草防除能力は極めて高い。
7. 草丈は1番草が「ビリオン」と同程度で, 2, 3番草は低い。
8. 乾物率は1番草が「ビリオン」と同程度で, 2, 3番草はやや低い。
9. 秋の草勢は「ビリオン」と同程度である。
10. 越冬後再生率は「ビリオン」より高い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は稲作地帯を除く全道である。本品種は除草

剤を使用しない耕種の雑草防除技術に利用できるが、アカヒゲホソミドリカスミカメの発生源となることから、稲作地帯での栽培は避ける。本品種は出穂程度が低く、出穂茎を確認しづらいので、収穫は生育日数で1番草50～60日、2番草30日、3番草45日程度を目安とし、自然下種による野生化を防ぐため、開花期前に収穫する。イ

タリアンライグラスは道内では一年生であるが、冬期間の気象条件によっては一部の個体が越冬することがあり、とくに本品種は越冬後再生率が高いことから、後作栽培においては雑草化を防ぐため、開花期前までに耕起を行う。

品種名	出穂始 (月/日)	越冬後 再生率 (%)	乾物収量 ¹⁾				3番草地下茎型イネ科雑草収量 ¹⁾²⁾				試験年次
			1番草	2番草	3番草	年間合計	2008年	2009年	2010年	3カ年平均	
ヒタチヒカリ	7/17	27	125	94	101	104	17	93	19	41	2008～2010
ピリオン(標準)	7/10	13	(147)	(240)	(287)	(673)	(13)	(15)	(23)	(17)	
マンモスB(比較)	7/7	9	125	100	100	106	43	90	82	74	

注) 1) 「ピリオン」が実数 (kg/a), 他は「ピリオン」対比 (%) である (北農研・天北・根釧・北見・畜試の3カ年平均)。

2) 2008年及び2009年はシバムギ優占草地, 2010年はリードカナリーグラス優占草地への播種 (根釧農試)。

参照 1) 北海道農政部編, 平成23年普及奨励ならびに指導参考事項, 18-20 (2011)。

8. オーチャードグラス

(1) はるねみどり (系統名 北海29号) 2005年

登録番号: (北海道) オーチャードグラス北海道合第9号
(農水省) オーチャードグラス農林合第10号
(種苗法) 第15414号

セールスポイント

早生に属し, 越冬性および早春の草勢に優れ, 3年目収量および春と秋の収量が優れている。

来歴 1992年に基礎集団を展開し, 1995年に再生に優れた225個体を選抜した。225栄養系を多回刈りと少回刈り処理し, 1997年に再生と各時期の草勢に優れた5栄養系を選抜し多交配した。1999年に合成2代を採種し, 「北海29号」を付した。2002年より系統適応性等の各種試験に供試し, 2005年に北海道優良品種となった。

特性概要

1. 早晚性: 出穂始は, 「ワセミドリ」より1日遅く, 「早生」に属する。
2. 収量性: 「ワセミドリ」と同程度かやや優れる。1番草収量はやや多く, 4番草収量が多い。3年目収量は多く, 3年目の収量の低下は小さい。
3. 越冬性と早春の草勢: 「ワセミドリ」より優れる。
4. 混播適性: アカクローバは年平均約20%を維持し, 混播適性は, 「ワセミドリ」と同程度である。
5. 耐倒伏性ほか: 耐倒伏性, 飼料成分, 採種性は「ワセミドリ」と同程度で, 形態的特性に大差はない。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。採草および放牧に利用できる。黒さび病の発生がやや多いので, 発生した場合は早めに収穫する。

	番草別収量(「ワセミドリ」比%)				3年目収量の前年比 (%)
	1番草	2番草	3番草	4番草	
はるねみどり	104	100	100	109	93
ワセミドリ	37.3	30.8	28.3	16.3	89

注) 道内系適場所5カ所の平均値を示す。

番草別収量は, 「ワセミドリ」は実数 (kg/a), データは2, 3年目平均。

参照 1) 北海道農政部編, 平成17年普及奨励ならびに指導参考事項, 21-23 (2005)。

(2) **パイカル** (系統名 HOG-1) 2006年

登録番号：(北海道) オーチャードグラス北海道合第10号

セールスポイント

晩生に属し、収量性、越冬性に優れた品種である。

来歴 ホクレン農業協同組合連合会が、1983年から越冬性、耐病性等を中心に優良栄養系の選抜を行い、それら栄養系の多交配後代検定試験から優良9栄養系を選定し、1999年に合成した。合成2代種子を用い、2003年から2005年まで道内各地において各種試験に供試した。2006年に北海道優良品種となった。

特性概要

1. 早晚性：出穂始は「ヘイキング」と同じで、「ハル

	番草別収量(「ワセミドリ」比%)			3年目収量の前年比(%)
	1番草	2番草	3番草	
パイカル	111	109	93	85
ヘイキング	95.1	52.6	49.1	82

注) 道内6カ所の平均値を示す。

番草別収量は、「ヘイキング」は実数 (kg/a), データは2, 3年目合計。

参照 1) 北海道農政部編, 平成18年普及奨励ならびに指導参考事項, 19-21 (2006)。

ジマン」より2日遅く、晩生に属する。

2. 収量性：「ヘイキング」より優れる。番草別にみると1番草, 2番草は優れ, 3番草は劣る。3年目収量の低下は「ヘイキング」と同程度である。

3. 越冬性：「ヘイキング」より優れ, 早春の草勢は、「ヘイキング」よりやや優れる。

4. 競合力：アカクローバとの競合力は、「ヘイキング」より強い。

5. 耐倒伏性：「ヘイキング」と同程度である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。採草および放牧に利用できる。黒さび病にやや弱いので、発生した場合は早めに収穫する。

9. メドウフェスク

(1) **まきばさかえ** (系統名 北海15号) 2009年

登録番号：(北海道) メドウフェスク北海道合第3号
(農水省) メドウフェスク農林合第3号
(種苗法) 第22044号

セールスポイント

雪腐病抵抗性の向上により土壤凍結地帯の道東での越冬性が優れる。多収で、特に春季と秋季に優れる。

来歴 北農研と根釧農試で1994年から1996年にかけて144系統からなる基礎集団を評価した。1997年に越冬性、草勢などに優れる栄養系を選抜し、場所ごとに多交配した。それら後代を用い、1998年から2000年までシロクローバ混播条件にて多回刈り処理を行い、2001年に5栄養系を選定し、多交配した。2002年に合成2代を採種し、「北海15号」を付した。2005年から系統適応性等の各試験に供試した。2009年に北海道優良品種となった。

特性概要

1. 早晚性：出穂始は「ハルサカエ」より約1日早く、早生に属する。

2. 越冬性：越冬性および早春の草勢は、「ハルサカエ」および「プラデール」より安定して優れ、特に土壤凍結地帯の道東においては両品種との差が大きい。

3. 耐病性：雪腐大粒菌核病に対する抵抗性は、「ハルサカエ」および「プラデール」より優れる。耐寒性は「ハルサカエ」と同程度で、「プラデール」より優れる。

4. 収量性：3カ年合計乾物収量は、「ハルサカエ」比108, 道東平均では107と多収である。年次ごとの収量は、「ハルサカエ」を上回り、「プラデール」と比較しても優れる傾向である。季節生産性は、「ハルサカエ」より春季と秋季に優れ、夏季は同程度である。

栽培適地と奨励態度

北海道一円、特に道東などの土壤凍結地帯に適する。放牧利用を主体とする。

	越冬性	乾物収量（「ハルサカエ」比％）			
		2年目	3年目	4年目	合計
まきばさかえ	6.0	107	104	110	107
ハルサカエ	4.7	70.4	58.1	56.6	185.1
プラデール	4.1	102	91	88	94

注) 道内系適場所7カ所のうち、道東4場の平均値。

越冬性は、2年目以降の3カ年平均値。乾物収量は年間合計（「ハルサカエ」は実数（kg/a））。

参照 1) 北海道農政部編，平成21年普及奨励ならびに指導参考事項，15-17（2009）。

10. ケンタッキーブルーグラス

(1) ラトー（系統名 Lato）2007年

登録番号：（北海道）ケンタッキーブルーグラス北海道第1号

セールスポイント

発芽・定着時草勢に優れる。多収で、シロクロバとの競合力に優れる。

来歴 ドイツのSteinach社が育成し、1989年にOECD登録された。2001年から雪印種苗株式会社が予備試験を開始し、2004年から2006年にかけて道内各地で各種試験が行われた。2007年に北海道優良品種となった。

特性概要

1. 早晚性：出穂始は「トロイ」より3日遅く、「早生」

に属する。

2. 発芽，初期生育：「トロイ」より優れる。

3. 収量性：乾物収量は2年目（播種翌年）から「トロイ」より多く，3年目も安定して多収である。季節別にみると春季，夏季は「トロイ」より多く，秋季は同程度である。

4. 越冬性および早春の草勢：「トロイ」より優れる。

5. 越冬前草勢：「トロイ」よりやや優れ，秋の被度は「トロイ」より高い。

6. 競合力：シロクロバとの競合力は，「トロイ」より大きい。

栽培適地と奨励態度

北海道一円に適する。放牧に利用できる。

	定着時草勢	乾物収量（「トロイ」比％）			混播試験でのシロクロバ率（％）
		春季	夏季	秋季	
ラ ト ー	7.3	109	109	100	24
ト ロ イ	5.0	10.7	10.4	8.7	43

注) 定着時草勢は，4調査の平均値。乾物収量は，2，3年目の平均値。シロクロバ率は，「ソーニャ」との混播試験での2，3年目1番草の平均値（畜試）。

参照 1) 北海道農政部編，平成19年普及奨励ならびに指導参考事項，45-47（2007）。

11. とうもろこし（飼料用）

(1) ぱびりか（系統名 北交62号）2005年

登録番号：（北海道）とうもろこし（飼）北海道交第29号
（農水省）とうもろこし農林交64号
（種苗法）第18763号

セールスポイント

初期生育に優れ，多収で，乾物中の雌穂の割合が高く，すす紋病抵抗性に優れる。

来歴 1998年に「Ho87」を種子親とし，「To85」を花粉親として両親系統間の交配を行い，根釧農試での2か年の現地組合せ能力検定試験の後，2001年に「月交593」の系統番号を付した。その後，生産力検定試験，系統適応性検定試験および病害抵抗性と耐冷性の特性検定試験で有望と認め，2002年に「北交62号」の系統名を付した。2005年に北海道優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「エマ」より2日早く、収穫時熟度は「エマ」並で、総体乾物率は「エマ」より高い。熟期は“早生の早”に属する。
2. 耐倒伏性は「エマ」並である。
3. 初期生育は「エマ」より優れる。
4. 乾物総重および推定TDN収量は「エマ」より多い。乾雌穂重割合は「エマ」より高い。

5. すず紋病抵抗性は「エマ」および「ダイヘイゲン」より優れる。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は根釧地域に限定する。露地での通常畦幅栽培では、密植するとなびきの発生が多くなるので、栽培密度は10アール当たり8000～8500本程度とする。

試験場名	品 種 名	初 期 生 育 (1極不良-9極良)	絹 糸 抽 出 期 (月日)	倒 伏 折 損 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当 り			総 体 乾 物 率 (%)	乾 物 中 T D N (%)	試 験 年 次
						乾 総 重 (kg)	T D N (kg)	同 左 比 (%)			
根 釧 農 試	ぱ び り か	6.9	8.16	24.3	糊中～後	1099	787	109	26.1	71.6	2001～2004
	エ マ	4.6	8.18	22.0	糊熟後期	1038	719	100	22.9	69.3	

参照 1) 北海道農政部編, 平成17年普及奨励ならびに指導参考事項, 27-29 (2005)

(2) きたちから (系統名 北交64号) 2005年

登録番号: (北海道) とうもろこし(飼)北海道交第30号
(農水省) とうもろこし農林交57号
(種苗法) 第18652号

セールスポイント

耐倒伏性が強く、多収で、収穫時の乾物率が高い中生品種である。

来歴 本品種は独立行政法人北海道農業研究センターが、耐倒伏性と多収性に優れた中生品種の育成を目標に、1998年にデント種「Ho68」を種子親、デント種「GY302」を花粉親として両親系統間の交配を行い、組合せ能力検定試験の後、2000年に「月交587」の系統名を付し、十勝農試での生産力検定予備試験を行った。その後、生産力検定試験、系統適応性検定試験および病害抵抗性と耐冷性の特性検定試験で有望と認め、2002年より「北交64号」の系統名で各種の試験を行い、2005年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「ロイヤルデント90H」より4日遅いが、収穫時熟度は「ロイヤルデント90H」並で、総体乾物率は「ロイヤルデント90H」よりやや高い。熟期は“中生の早”に属する。
2. 耐倒伏性は「ロイヤルデント90H」並である。
3. 発芽期及び初期生育は「ロイヤルデント90H」並である。
4. 乾物総重は「ロイヤルデント90H」より多い。乾物中推定TDN割合は「ロイヤルデント90H」よりやや高い。
5. 稈長及び着雌穂高は「ロイヤルデント90H」よりやや高い。
6. すず紋病抵抗性は「キタユタカ」より強く、「ロイヤルデント90H」よりやや強い。ごま葉枯病抵抗性は「キタユタカ」および「ロイヤルデント90H」より強い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央北部、十勝中部および網走内陸部の気象条件が良好な地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 生 育 (1極不良-9極良)	絹 糸 抽 出 期 (月日)	倒 伏 折 損 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当 り			総 体 乾 物 率 (%)	乾 物 中 T D N (%)	試 験 年 次
						乾 総 重 (kg)	T D N (kg)	同 左 比 (%)			
十 勝 農 試	きたちから	5.0	8.4	0.7	黄 初	1637	1185	107	27.7	72.4	2000～2004
	ロイヤルデント90H	5.5	7.30	2.0	黄 初	1523	1104	100	25.3	72.5	
十 勝 牧 場	きたちから	8.7	8.7	5.0	乳後-糊初	1588	1114	102	27.0	70.2	2002～2004
	ロイヤルデント90H	8.3	8.2	3.6	糊初-中	1515	1116	100	25.3	73.7	
北 見 農 試 (遠軽町)	きたちから	5.0	8.8	27.8	糊 中	1454	1012	105	28.8	69.6	2003～2004
	ロイヤルデント90H	6.0	8.3	37.4	糊 中	1327	964	100	26.6	72.6	

試験場名	品 種 名	初 期 育 (1極不良 -9極良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 損 (%)	収穫時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
上 川 農 試 (士別市)	きたちから	7.0	8.9	0.0	糊初-中	1891	1364	102	30.4	72.1	2003~2004
	ロイヤルデント90H	7.3	8.6	0.0	糊初-中	1869	1343	100	26.6	71.9	

参照 1) 北海道農政部編, 平成17年普及奨励ならびに指導参考事項, 30-32 (2005)

(3) 39F83 (系統名 X0739A) 2005年

登録番号: (北海道) とうもろこし(飼)輸交第31号

セールスポイント

やや多収な早生品種である。

来歴 本品種は、アメリカのパイオニア社が育成したデント種×フリント種の単交配一代雑種である。2001年にホクレン農業協同組合連合会が導入し、2002年より「X0739A」の系統名で各種の試験を行い、2005年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「オーロラ82」より1日遅く、収穫時熟度は「オーロラ82」並である。雌穂および総体乾物率は「オーロラ82」より高い。熟期は“早生の中”に属す

る。

2. 耐倒伏性は「オーロラ82」並である。
3. 発芽期は「オーロラ82」より1日遅く、初期生育は「オーロラ82」よりやや劣る。
4. 乾物総重, 推定TDN収量は「オーロラ82」よりやや多い。乾雌穂重割合は「オーロラ82」より高く、乾物中推定TDN 割合は「オーロラ82」よりやや高い。
5. 稈長および着雌穂高は「オーロラ82」よりやや高い。
6. すず紋病抵抗性は「ダイヘイゲン」よりやや強く「オーロラ82」並である。ごま葉枯病抵抗性は「ダイヘイゲン」より強く「オーロラ82」並である。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央北部, 十勝および網走地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 育 (1極不良 -9極良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 損 (%)	収穫時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
北 見 農 試	3 9 F 8 3	4.5	8.8	12.0	黄 初	1516	1100	92	26.1	72.6	2002~2004
	オ ー ロ ラ 82	6.0	8.6	15.7	黄 中	1654	1192	100	25.1	72.0	
十 勝 農 試	3 9 F 8 3	5.2	8.2	4.3	黄 初	1698	1243	103	29.2	73.1	2002~2004
	オ ー ロ ラ 82	5.8	8.1	0.7	黄 初	1679	1205	100	26.9	71.8	
上 川 農 試	3 9 F 8 3	7.0	7.24	2.3	黄 中	1955	1408	111	31.3	72.0	2002~2004
	オ ー ロ ラ 82	7.6	7.23	0.9	黄 中	1784	1271	100	27.7	71.3	

参照 1) 北海道農政部編, 平成17年普及奨励ならびに指導参考事項, 36-37 (2005)

(4) 39H32 (系統名 39H32) 2005年

登録番号: (北海道) とうもろこし(飼)輸交第32号

セールスポイント

やや多収で耐倒伏性がやや強い早生品種である。

来歴 本品種は、アメリカのパイオニア社が育成したデント種×フリント種の単交配一代雑種である。2001年にホクレン農業協同組合連合会が導入し、2002年より「39H32」の系統名で各種の試験を行い、2005年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「オーロラ82」より1日遅い。収穫時熟度 および総体乾物率は「オーロラ82」並で、雌穂乾物率は「オーロラ82」よりやや高い。熟期は“早生の中”に属する。
2. 耐倒伏性は「オーロラ82」よりやや強い。
3. 発芽期は「オーロラ82」並で、初期生育は「オーロラ82」よりやや劣る。
4. 乾物総重, 推定TDN収量は「オーロラ82」よりやや多い。乾雌穂重割合は「オーロラ82」より高く、乾物中推定TDN 割合は「オーロラ82」よりやや高い。

5. 稈長は「オーロラ82」より高く、着雌穂高は「オーロラ82」よりやや高い。
6. すず紋病抵抗性は「ダイヘイゲン」よりやや強く「オーロラ82」並である。ごま葉枯病抵抗性は「ダイヘイゲン」よりやや強く「オーロラ82」並である。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央北部、十勝および網走地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 生育 (1極不良-9極良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 折 損 (%)	収穫時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
北 見 農 試	3 9 H 3 2	5.1	8. 7	1.9	黄 初	1628	1178	99	24.3	72.4	2002~2004
	オ ー ロ ラ 82	6.0	8. 6	15.7	黄 中	1654	1192	100	25.1	72.0	
十 勝 農 試	3 9 H 3 2	5.5	8. 3	4.3	黄 初	1782	1301	108	27.3	73.0	2002~2004
	オ ー ロ ラ 82	5.8	8. 1	1.3	黄 初	1679	1205	100	26.9	71.8	
上 川 農 試	3 9 H 3 2	6.3	7.25	0.0	黄初~中	1979	1428	112	28.4	72.2	2002~2004
	オ ー ロ ラ 82	7.6	7.23	0.9	黄 中	1784	1271	100	27.7	71.3	

参照 1) 北海道農政部編, 平成17年普及奨励ならびに指導参考事項, 38-39 (2005)

(5) シンシア90 (系統名 SL9945) 2005年

登録番号: (北海道)とうもろこし(飼)北海道交第34号

セールスポイント

耐倒伏性がやや強い早生品種である。

来歴 本品種は、雪印種苗株式会社が育成したデント種×フリント種の単交配一代雑種である。2002年より「SL9945」の系統名で各種の試験を行い、2005年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「オーロラ82」より1日遅く、収穫時熟度は「オーロラ82」並である。雌穂乾物率は「オーロラ82」より高く、総体乾物率は「オーロラ82」よりやや高

い。熟期は“早生の中”に属する。

2. 耐倒伏性は「オーロラ82」よりやや強い。
3. 発芽期および初期生育は「オーロラ82」並である。
4. 乾物総重, 推定TDN収量, 乾雌穂重割合および乾物中推定TDN割合は、いずれも「オーロラ82」並である。
5. 稈長および着雌穂高は「オーロラ82」並である。
6. すず紋病抵抗性は「ダイヘイゲン」より強く「オーロラ82」並である。ごま葉枯病抵抗性は「ダイヘイゲン」より極めて強く「オーロラ82」より強い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央北部、十勝および網走地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 生育 (1極不良-9極良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 折 損 (%)	収穫時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
北 見 農 試	シ ン シ ア 90	5.9	8. 7	1.4	黄 初	1517	1094	93	26.6	72.1	2002~2004
	オ ー ロ ラ 82	6.0	8. 6	15.7	黄 中	1633	1176	100	25.3	71.9	
十 勝 農 試	シ ン シ ア 90	6.4	8. 1	2.0	黄 初	1743	1240	103	28.7	71.2	2002~2004
	オ ー ロ ラ 82	5.8	8. 1	1.3	黄 初	1679	1205	100	26.9	71.8	
上 川 農 試	シ ン シ ア 90	7.7	7.24	0.0	黄 中	1920	1362	107	30.8	71.0	2002~2004
	オ ー ロ ラ 82	7.6	7.23	0.9	黄 中	1784	1271	100	27.7	71.3	

参照 1) 北海道農政部編, 平成17年普及奨励ならびに指導参考事項, 42-43 (2005)

(6) **ブリザック** (系統名 HK0901) 2005年
登録番号：(北海道)とうもろこし(飼)輸交第33号

セールスポイント

多収な中生品種である。

来歴 本品種は、ドイツのクラインワンツレーベン育種株式会社が育成したデント種×フリント種の単交配一代雑種である。2000年にホクレン農業協同組合連合会が導入し、2002年より「HK0901」の系統名で各種の試験を行い、2005年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「ロイヤルデント90H」より3日遅く、収穫時熟度、雌穂および総体乾物率は「ロイヤルデント90H」並である。熟期は“中生の早”に属する。

2. 耐倒伏性は「ロイヤルデント90H」よりやや弱い。
3. 発芽期および初期生育は「ロイヤルデント90H」並である。
4. 乾物総重、推定TDN収量は「ロイヤルデント90H」より多い。乾雌穂重割合および乾物中推定TDN割合は「ロイヤルデント90H」並である。
5. 稈長および着雌穂高は「ロイヤルデント90H」よりやや高い。
6. すず紋病抵抗性は「キタユタカ」より強く「ロイヤルデント90H」よりやや強い。ごま葉枯病抵抗性は「キタユタカ」および「ロイヤルデント90H」並である。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は、道央北部、十勝中部および網走内陸の気象条件の良好な地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 生 育 (1極不良 -9極良)	絹 糸 抽 出 期 (月日)	倒 伏 折 損 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾 物 率 (%)	乾 物 中 T D N (%)	試 験 年 次
						乾 総 重 (kg)	T D N (kg)	同 左 比 (%)			
北 見 農 試	ブ リ ザ ッ ク	5.1	8. 8	19.9	黄 初	1611	1166	104	23.6	72.3	2002~2004
	ロイヤルデント90H	5.8	8. 5	0.9	黄 初	1560	1118	100	24.6	71.7	
十 勝 農 試	ブ リ ザ ッ ク	5.4	8. 2	8.2	黄 初	1753	1274	112	26.0	72.6	2002~2004
	ロイヤルデント90H	5.7	7.31	0.2	黄 初	1572	1137	100	26.2	72.3	
上 川 農 試	ブ リ ザ ッ ク	7.0	7.25	6.5	黄初~中	2083	1490	114	27.4	71.5	2002~2004
	ロイヤルデント90H	7.5	7.21	0.0	黄初~中	1802	1302	100	27.8	72.2	

参照 1) 北海道農政部編, 平成17年普及奨励ならびに指導参考事項, 40-41 (2005)

(7) **SH1353** (系統名 SH1353) 2005年
登録番号：(北海道)とうもろこし(飼)北海道交第35号

セールスポイント

多収な中生品種である。

来歴 本品種は、雪印種苗株式会社が育成したデント種×フリント種の単交配一代雑種である。2002年より「SH1353」の系統名で各種の試験を行い、2005年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「ロイヤルデント90H」より4日遅く、収穫時熟度は「ロイヤルデント90H」並である。雌穂乾物率は「ロイヤルデント90H」より低く、総体乾物率は「ロイヤルデント90H」並である。熟期は“中生の早”に属する。
2. 耐倒伏性は「ロイヤルデント90H」並である。

3. 発芽期は「ロイヤルデント90H」より2日早く、初期生育は「ロイヤルデント90H」よりやや優れる。
4. 乾物総重は「ロイヤルデント90H」より多く、推定TDN収量は「ロイヤルデント90H」よりやや多い。乾雌穂重割合は「ロイヤルデント90H」より低く、乾物中推定TDN割合は「ロイヤルデント90H」よりやや低い。
5. 稈長および着雌穂高は「ロイヤルデント90H」より高い。
6. すず紋病抵抗性は「キタユタカ」および「ロイヤルデント90H」より強い。ごま葉枯病抵抗性は「キタユタカ」および「ロイヤルデント90H」より強い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は、道央北部、十勝中部および網走内陸の気象条件の良好な地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 生育 (1極不良-9極良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 折 損 (%)	収穫時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
北 見 農 試	S H 1 3 5 3	6.2	8.9	16.2	黄 初	1647	1167	104	23.8	70.9	2002~2004
	ロイヤルデント90H	5.8	8.5	0.9	黄 初	1560	1118	100	24.6	71.7	
十 勝 農 試	S H 1 3 5 3	6.9	8.3	6.4	黄 初	1772	1252	110	25.0	70.6	2002~2004
	ロイヤルデント90H	5.7	7.31	0.2	黄 初	1572	1137	100	26.2	72.3	
上 川 農 試	S H 1 3 5 3	8.1	7.25	0.5	黄初~中	1991	1407	108	28.0	70.6	2002~2004
	ロイヤルデント90H	7.5	7.21	0.0	黄初~中	1802	1302	100	27.8	72.2	

参照 1) 北海道農政部編, 平成17年普及奨励ならびに指導参考事項, 44-45 (2005)

(8) KD417 (系統名 KD417) 2005年

登録番号: (北海道) とうもろこし(飼)輸交第36号

セールスポイント

すず紋病抵抗性が強く, 多収な中生品種である。

来歴 本品種は, ドイツのクラインワッツレーベン育種株式会社が育成したデント種×フリント種の単交配一代雑種である。2000年にカネコ種苗株式会社が導入し, 2002年より「KD417」の系統名で各種の試験を行い, 2005年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「ロイヤルデント90H」より4日遅く, 収穫時熟度は「ロイヤルデント90H」並である。雌穂乾物率は「ロイヤルデント90H」よりやや低く, 総体乾物率は「ロイヤルデント90H」並である。熟期は“中生の

早”に属する。

2. 耐倒伏性は「ロイヤルデント90H」よりやや弱い。
3. 発芽期は「ロイヤルデント90H」より1日早く, 初期生育は「ロイヤルデント90H」よりやや劣る。
4. 乾物総重, 推定TDN収量は「ロイヤルデント90H」より多い。乾雌穂重割合および乾物中推定TDN割合は「ロイヤルデント90H」並である。
5. 稈長および着雌穂高は「ロイヤルデント90H」よりやや高い。
6. すず紋病抵抗性は「キタユタカ」および「ロイヤルデント90H」より強い。ごま葉枯病抵抗性は「キタユタカ」および「ロイヤルデント90H」並である。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は, 道央北部, 十勝中部および網走内陸の気象条件の良好な地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 生育 (1極不良-9極良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 折 損 (%)	収穫時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
北 見 農 試	K D 4 1 7	4.5	8.9	15.3	黄 初	1683	1211	108	23.6	71.9	2002~2004
	ロイヤルデント90H	5.8	8.5	0.9	黄 初	1560	1118	100	24.6	71.7	
十 勝 農 試	K D 4 1 7	5.0	8.3	18.9	黄 初	1735	1263	111	25.2	72.8	2002~2004
	ロイヤルデント90H	5.7	7.31	0.2	黄 初	1572	1137	100	26.2	72.3	
上 川 農 試	K D 4 1 7	7.1	7.25	0.5	黄初~中	2095	1498	115	27.3	71.5	2002~2004
	ロイヤルデント90H	7.5	7.21	0.0	黄初~中	1802	1302	100	27.8	72.2	

参照 1) 北海道農政部編, 平成17年普及奨励ならびに指導参考事項, 46-47 (2005)

(9) デュカス (系統名 HK1806) 2006年

登録番号: (北海道) とうもろこし(飼)輸交第37号

セールスポイント

多収で, 耐倒伏性が強く, 初期生育が優れる早生品種である。

来歴 本品種は, ドイツのクラインワッツレーベン育種株式会社が育成した(フリント種×デント種)×デント種の三系交配一代雑種である。2001年にホクレン農業協同組合連合会が導入し, 2003年より「HK1806」の系統名で各種の試験を行い, 2006年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「エマ」より1日遅く、収穫時熟度および雌穂乾物率は「エマ」並である。熟期は「エマ」と同じ早生の早である。
2. 初期生育は「エマ」より優れ、稈長は「エマ」より高く、着雌穂高は「エマ」並かやや高い。耐倒伏性は「エマ」より強い。
3. すず紋病抵抗性は「ダイヘイゲン」並で「エマ」より強い。ごま葉枯病抵抗性は「ダイヘイゲン」および

「エマ」より強い。

4. 乾物総重、推定TDN収量は「エマ」より多く、乾雌穂重割合は「エマ」より高い。乾物中推定TDN割合は「エマ」よりやや高い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は根釧及び道北地域である。すず紋病抵抗性が十分ではないので、連作を避け、適正な肥培管理を行う。

試験場名	品 種 名	初 期 生 育 (1極不良-9極良)	絹 糸 抽 出 期 (月日)	倒 伏 折 損 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾 物 率 (%)	乾 物 中 T D N (%)	試験年次
						乾 総 重 (kg)	T D N (kg)	同 左 比 (%)			
天 北 農 試	デ ュ カ ス	7.7	8.11	4.0	黄中後	1,407	1,039	107	32.9	73.8	2003～2005
	エ マ	6.1	8.10	12.3	黄後	1,347	972	100	32.1	72.2	
根 釧 農 試	デ ュ カ ス	6.6	8.12	8.7	糊後～黄初	1,250	901	110	28.1	71.9	
	エ マ	4.7	8.11	32.9	黄初	1,146	817	100	25.4	71.1	
北 見 農 試	デ ュ カ ス	6.0	8.1	11.6	黄中	1,579	1,164	114	29.8	73.8	
	エ マ	5.8	7.31	30.6	黄中	1,405	1,020	100	26.3	72.6	
十 勝 農 試	デ ュ カ ス	6.6	7.30	1.5	黄中	1,702	1,248	119	31.7	73.3	
	エ マ	4.9	7.30	2.9	黄中	1,453	1,048	100	27.4	72.1	

参照 1) 北海道農政部編, 平成18年普及奨励ならびに指導参考事項, 22-23 (2006)。

(10) **TH058** (系統名 TH058) 2006年

登録番号: (北海道)とうもろこし(飼)輸交第38号

セールスポイント

収量性, 耐倒伏性およびすず紋病抵抗性等に優れる中生品種である。

来歴 本品種は, フランスのコサードセメセンス社が育成した単交配(デント×フロント, 構成系統は不明)の一代雑種である。2000年にOECD登録された。2001年にタキイ種苗株式会社が導入し, 2003年より各種の試験を行い, 2006年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期, 収穫時熟度および総体乾物率はいずれも「クラリカ」並で, 熟期は“中生の中”に属する。

2. 耐倒伏性は「クラリカ」より強い。

3. 発芽期は「クラリカ」並で, 初期生育は「クラリカ」並かやや優れる。

4. 乾物総重および推定TDN収量は「クラリカ」より平均で5%多い。乾雌穂重割合は「クラリカ」並である。

5. 稈長は「クラリカ」よりやや高く, 着雌穂高は「クラリカ」よりやや低い。

6. すず紋病抵抗性は「クタユタカ」より強く「クラリカ」よりやや強い。ごま葉枯病抵抗性は「クタユタカ」並で「クラリカ」より弱い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は北部を除く道央地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 生 育 (1極不良-9極良)	絹 糸 抽 出 期 (月日)	倒 伏 折 損 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾 物 率 (%)	乾 物 中 T D N (%)	試験年次
						乾 総 重 (kg)	T D N (kg)	同 左 比 (%)			
上 川 農 試	T H 0 5 8	8.1	7.25	0.0	黄中～後	2293	1667	108	32.3	72.7	2003～2005
	ク ラ リ カ	8.0	7.25	55.6	黄中	2106	1542	100	33.0	73.2	
畜 試 滝川試験地	T H 0 5 8	6.2	8.6	15.3	黄中	1880	1394	103	29.8	74.2	2003～2005
	ク ラ リ カ	5.7	8.6	21.3	黄後	1806	1349	100	31.2	74.8	

試験場名	品 種 名	初 期 育 (1極不良 -9極良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 折 損 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
北 農 研 セ ン タ ー	T H 0 5 8	7.7	7.31	46.3	黄中～後	1959	1441	107	33.2	73.5	2003～2005
	ク ラ リ カ	7.1	7.31	49.1	黄後	1832	1344	100	32.5	73.4	

参照 1) 北海道農政部編, 平成18年普及奨励ならびに指導参考事項, 24-25 (2006)

(11) DKC34-20 (系統名 SH0481) 2007年
登録番号: (北海道) とうもろこし(飼)輸交第39号

セールスポイント

耐倒伏性, すず紋病抵抗性および収量性等に優れる中生品種である

来歴 本品種は, フランスのモンサント社が育成した単交配(デント×デント, 構成系統は不明)の一代雑種である。2004年にOECD登録された。2002年に雪印種苗株式会社を導入し, 2004年より各種の試験を行い, 2007年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「TH9861」より1日遅く「おおぞら」より2～3日早い。雄穂開花期は「TH9861」より3～4日遅く「おおぞら」より1日遅い。収穫時熟度は

「TH9861」よりやや遅れ「おおぞら」並で, 総体乾物率は「おおぞら」並である。熟期は“中生の中”に属する。

2. 耐倒伏性は「おおぞら」と同程度だが, 折損は「おおぞら」より少ない。
3. 発芽期は「おおぞら」並で, 初期生育は「おおぞら」並かやや劣る。
4. 乾物総重および推定TDN収量は「おおぞら」並である。乾雌穂重割合は「おおぞら」よりやや高い。
5. 稈長および着雌穂高は「おおぞら」よりやや低い。
6. すず紋病抵抗性とごま葉枯病抵抗性は, いずれも「キタユタカ」および「おおぞら」より強い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は北部を除く道央地域および道南地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 育 (1極不良 -9極良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 折 損 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
上 川 農 試	D K C 3 4 - 2 0	8.4	7.26	17.4	黄初～中	2177	1587	102	34.6	72.9	2004～2006
	お お ぞ ら	8.4	7.29	6.3	黄中～後	2168	1555	100	34.8	71.8	
	T H 9 8 6 1	8.4	7.24	12.5	黄中	2027	1494	96	30.8	73.7	
畜 試 滝 川 試 験 地	D K C 3 4 - 2 0	4.9	8.5	16.4	黄後	1730	1279	103	34.3	73.9	2004～2006
	お お ぞ ら	5.9	8.8	10.1	黄後	1698	1237	100	33.4	72.9	
	T H 9 8 6 1	5.4	8.5	11.5	黄後	1700	1267	102	30.8	74.5	
北 農 研 セ ン タ ー	D K C 3 4 - 2 0	7.0	7.29	40.5	黄中～後	1918	1397	100	33.4	72.8	2004～2006
	お お ぞ ら	7.5	7.31	47.7	黄後	1934	1395	100	33.8	72.1	
	T H 9 8 6 1	6.9	7.28	45.7	黄後	1905	1405	101	31.2	73.8	
十 勝 農 試	D K C 3 4 - 2 0	5.4	8.5	5.4	黄初	1835	1331	104	30.2	72.5	2004～2006
	お お ぞ ら	5.4	8.7	63.5	黄初	1815	1283	100	29.3	70.7	
	T H 9 8 6 1	5.5	8.4	20.4	黄初	1721	1267	99	25.9	73.6	

参照 1) 北海道農政部編, 平成19年普及奨励ならびに指導参考事項, 27-28 (2007)

(12) KD500 (系統名 KE3500) 2007年
登録番号: (北海道) とうもろこし(飼)輸交第40号

セールスポイント

総体乾物率がやや高く, 初期生育が良好な中生品種である。

来歴 本品種はドイツのクラインワンツレーベル社が育成したデント種×デント種の単交配一代雑種である。2002年にカネコ種苗株式会社が導入し、2004年より「KE3500」の系統名で各種の試験を行い、2007年に優良品種となった。2003年にOECD登録されている。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「36B08」並か1日早い。収穫時熟度は「36B08」並で、総体乾物率は「36B08」よりやや高い。熟期は“中生の晩”に属する。
2. 耐倒伏性は「36B08」並である。
3. 発芽期は「36B08」並で、初期生育は「36B08」よ

り優れる。

4. 乾総重及び推定TDN収量は「36B08」並である。乾雌穂重割合、乾物中推定TDN割合は「36B08」並である。
5. 稈長及び着雌穂高は「36B08」より高い。
6. すず紋病抵抗性及びごま葉枯病抵抗性は「キタユタカ」より強く「36B08」より弱い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は北部を除く道央地域、道南地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 生 育 (1極不良-9極良)	絹 糸 抽 出 期 (月日)	倒 伏 折 損 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾 物 率 (%)	乾 物 中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
畜 試 滝川試験地	K D 5 0 0	6.7	8. 8	9.2	黄後	1960	1435	99	33.9	73.2	2005～2006
	3 6 B 0 8	5.2	8. 9	13.5	黄後	1990	1444	100	31.8	72.6	
北 農 研 セ ン タ ー	K D 5 0 0	7.4	7.31	49.5	黄中-後	2102	1501	103	31.5	71.4	2004～2006
	3 6 B 0 8	6.5	7.31	41.4	黄中	2032	1454	100	29.6	71.6	

参照 1) 北海道農政部編, 平成19年普及奨励ならびに指導参考事項, 29-30 (2007)

(13) 北交65号 (系統名 北交65号) 2008年

登録番号：(北海道)とうもろこし(飼)北海道交第41号
(農水省)とうもろこし農林交65号
(種苗法)第19600号

セールスポイント

初期生育に優れ、耐倒伏性とすず紋病抵抗性が強い、高消化性の晩生品種である。

来歴 本品種は独立行政法人北海道農業研究センターが、2001年にデント種「Ho102」を種子親、フリント種「Ho95」を花粉親として両親系統間の交配を行い、組合せ能力検定試験および生産力検定試験の後、2004年に「月交604」の系統名を付した。その後、生産力検定試験、系統適応性検定試験および特性検定試験で有望と認め、2005年より「北交65号」の系統名で各種の試験を行い、2008年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「35G86」より1日程度早いが、収穫時熟度および総体乾物率は「35G86」並である。熟期は“晩生の早”に属する。
2. 耐倒伏性は「35G86」より強い。
3. 発芽期は「35G86」より1日早く、初期生育は「35G86」より優れる。
4. 乾物総重および推定TDN収量は「35G86」よりやや少ないが、乾雌穂重割合、乾物中推定TDN割合は「35G86」よりやや高く、消化性に優れる。
5. 稈長及び着雌穂高は「35G86」より低い。
6. すず紋病抵抗性は「3540」より強く、「35G86」並である。ごま葉枯病抵抗性は「3540」より強く、「35G86」並である。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央中部(上川を除く)、道央南部および道南地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 生 育 (1極不良-9極良)	絹 糸 抽 出 期 (月日)	倒 伏 折 損 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾 物 率 (%)	乾 物 中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
北 農 研 セ ン タ ー	北 交 6 5 号	7.5	8. 4	30.4	黄 中	1942	1409	93	30.8	66.4	2003～2007
	3 5 G 8 6	6.9	8. 5	48.8	黄中-後	2116	1518	100	31.9	63.7	
	3 6 B 0 8	6.6	8. 1	41.4	黄中-後	2025	1465	97	31.4	64.5	

試験場名	品 種 名	初 期 生 育 (1極不良-9極良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 折 損 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾 物 率 (%)	乾 物 中 T D N (%)	試 験 年 次
						乾 総 重 (kg)	T D N (kg)	同 左 比 (%)			
畜 試 滝川試験地	北 交 65 号	6.6	8.13	24.1	黄中-後	1803	1316	97	30.2	66.7	2005~2007 倒伏折損は 2004
	3 5 G 8 6	5.4	8.14	58.0	黄 中	1870	1359	100	30.7	64.3	
	3 6 B 0 8	5.8	8.12	27.0	黄中-後	1879	1367	101	30.2	64.9	
種子協会支所 (江別市)	北 交 65 号	7.5	8. 7	35.2	黄初-中	2058	1491	95	30.6	66.3	2005~2007
	3 5 G 8 6	6.2	8. 8	35.0	黄初-中	2173	1562	100	31.1	63.8	
	3 6 B 0 8	5.2	8. 6	17.7	黄初-中	1991	1442	92	30.8	64.6	
畜 試	北 交 65 号	6.1	8.12	14.1	黄中-後	1879	1377	97	30.7	67.0	2005~2007
	3 5 G 8 6	4.8	8.13	32.9	黄中-後	1964	1415	100	30.4	63.8	
	3 6 B 0 8	4.9	8.10	11.6	黄中-後	1890	1373	97	29.5	64.8	
道南農試 (八雲町)	北 交 65 号	9.0	8.10	0.0	黄中-後	1976	1427	97	28.3	66.1	2005~2007
	3 5 G 8 6	7.7	8.12	42.5	黄初-中	2049	1465	100	29.9	63.5	
	3 6 B 0 8	8.2	8.10	13.0	黄 中	2060	1477	101	30.9	64.0	

参照 1) 北海道農政部編, 平成20年普及奨励ならびに指導参考事項, 23-25 (2008)

(14) LG3215 (系統名 HE0319) 2008年

登録番号: (北海道)とうもろこし(飼)輪交第44号

セールスポイント

初期生育が優れ, すず紋病およびごま葉枯病抵抗性が強く, 多収な早生品種である。

来歴 フランスのリマグレイン・ベルノイル・ホールディング社が育成した(フリント種×フリント種)×フリント種の三系交配一代雑種である。雪印種苗株式会社が導入し(導入年不詳), 2005年より「HE0319」の系統名で各種の試験を行い, 2008年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「エマ」より2日遅く, 収穫時熟度は「エマ」よりやや進む。雌穂乾物率および総体乾物率は「エマ」よりやや高い。熟期は“早生の早”に属する。

2. 耐倒伏性は, 根釧地域では「エマ」より劣り, 他地域では「エマ」並である。
3. 発芽期は「エマ」より2日早く, 初期生育は「エマ」より優れる。
4. 乾物総重, 推定TDN収量は「エマ」より多い。乾雌穂重割合は「エマ」より高く, 乾物中推定TDN割合は「エマ」並である。
5. 稈長は「エマ」より高く, 着雌穂高は「エマ」よりやや高い。
6. すず紋病抵抗性は「ダイヘイゲン」および「エマ」より強い。ごま葉枯病抵抗性は「ダイヘイゲン」および「エマ」より強い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道北地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 生 育 (1極不良-9極良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 折 損 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾 物 率 (%)	乾 物 中 T D N (%)	試 験 年 次
						乾 総 重 (kg)	T D N (kg)	同 左 比 (%)			
北 見 農 試	L G 3 2 1 5	6.3	8. 4	—	黄 後	1687	1225	114	31.9	72.7	2005~2007
	エ マ	5.9	8. 1	—	黄 中	1486	1079	100	30.6	72.7	
十 勝 農 試	L G 3 2 1 5	6.5	8. 4	3.0	黄中~後	1665	1211	125	31.7	72.7	2005~2007
	エ マ	4.1	8. 1	3.0	黄中~後	1330	970	100	29.7	73.0	
根 釧 農 試	L G 3 2 1 5	6.8	8.14	52.3	黄 後	1356	993	119	30.7	73.7	2005~2007
	エ マ	4.5	8.12	30.4	黄 中	1152	836	100	28.1	72.8	
上 川 農 試 天北支場	L G 3 2 1 5	7.7	8.11	1.8	黄中~後	1348	1001	113	32.7	74.3	2005~2007
	エ マ	6.0	8. 9	3.0	黄 中	1206	886	100	31.9	73.5	

参照 1) 北海道農政部編, 平成20年普及奨励ならびに指導参考事項, 26-27 (2008)

(15) クウイス (系統名 HK4803) 2008年

登録番号：(北海道)とうもろこし(飼)輪交第42号

セールスポイント

多収で雌穂の乾物率が高く、すす紋病抵抗性に優れる。

来歴 本品種はドイツのクラインワンツレーベン社が育成したフリント種×デント種の単交配一代雑種である。2004年にホクレン農業協同組合連合会が導入し、2005年より「HK4803」の系統名で各種の試験が行われ、2008年に北海道優良品種となった。2005年にOECD登録されている。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「エマ」と同日であるが、収穫時熟度は「エマ」よりやや進む。総体乾物率は「エマ」より高い。熟期は“早生の早”に属する。
2. 耐倒伏性は「エマ」並である。
3. 初期生育は「エマ」より優れる。
4. 乾物総重および推定TDN収量は「エマ」より多い。乾物中推定TDN割合は「エマ」並である。
5. 稈長及び着雌穂高は「エマ」より高い。
6. すず紋病抵抗性およびごま葉枯病抵抗性は「ダイヘイゲン」および「エマ」より優れる。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は根釧および道北地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 生育 (1極不良-9極良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 折 損 (%)	収穫時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
根 釧 農 試	ク ウ イ ス	6.7	8.12	28.5	黄熟中期	1302	961	115	31.5	74.0	2005~2007
	エ マ	4.5	8.13	30.4	黄熟中期	1152	836	100	28.1	72.8	
上 川 農 試 天 北 支 場	ク ウ イ ス	7.9	8.9	1.5	黄中~後	1344	987	111	36.3	73.8	2005~2007
	エ マ	6.0	8.9	3.0	黄熟中期	1206	886	100	31.9	73.5	

参照 1) 北海道農政部編, 平成20年普及奨励ならびに指導参考事項, 28-29 (2008)

(16) 34N84 (系統名 X1091M) 2008年

登録番号：(北海道)とうもろこし(飼)輪交第43号

セールスポイント

耐倒伏性、乾雌穂重割合、初期生育にやや優れる晩生品種である。

来歴 本品種は本品種は米国のパイオニア社が育成したデント種×デント種の単交配一代雑種である。2003年にOECD登録されており、同年、ホクレン農業協同組合連合会が導入し、2005年より「X1091M」の系統名で各種の試験を行い、2008年に優良品種となった。

及び総体乾物率は「35G86」並である。熟期は“晩生の早”に属する。

2. 耐倒伏性は「35G86」よりやや強い。
3. 発芽期は「35G86」並で、初期生育は「35G86」よりやや優れる。
4. 乾物総重及び推定TDN収量は「35G86」並である。乾雌穂重割合は「35G86」よりやや高い。乾物中推定TDN割合は「35G86」よりやや高い。
5. 稈長及び着雌穂高は「35G86」よりやや低い。
6. すず紋病抵抗性及びごま葉枯病抵抗性は「3540」より強く、「35G86」よりやや弱い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央中部(上川を除く)、道央南部および道南地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「35G86」より1日早い。収穫時熟度

試験場名	品 種 名	初 期 生育 (1極不良-9極良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 折 損 (%)	収穫時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
畜 試 滝 川 試 験 地	3 4 N 8 4	5.8	8.13	0.0	黄 中	1953	1428	105	30.0	73.1	2005~2007
	3 5 G 8 6	5.4	8.14	0.0	黄 中	1871	1359	100	30.7	72.6	
北 海 道 農 研	3 4 N 8 4	6.8	8.3	0.5	黄 中	2167	1570	102	31.4	72.5	2005~2007
	3 5 G 8 6	6.2	8.4	0.0	黄 中	2151	1544	100	31.7	71.8	

参照 1) 北海道農政部編, 平成20年普及奨励ならびに指導参考事項, 30-31 (2008)

(17) LG3520 (系統名 HE0374) 2008年

登録番号: (北海道) とうもろこし(飼)輪交第45号

セールスポイント

多収で, 初期生育に優れる晩生品種である。

来歴 本品種はフランスのリマグレイン社が育成したデント種×デント種の単交配一代雑種である。2003年に雪印種苗株式会社が導入し, 2005年より「HE0374」の系統名で各種の試験を行い, 2008年に優良品種となった。2005年にOECD登録されている。

ある。熟期は“晩生の中”に属する。

2. 耐倒伏性は「3540」よりやや弱い。
3. 発芽期は「3540」並で初期生育は「3540」よりやや優れる。
4. 乾物総重は「3540」よりやや高く, 推定TDN収量は「3540」より高い。乾雌穂重割合は「3540」よりやや高い。乾物中推定TDN割合は「3540」並である。
5. 稈長は「3540」より高い。着雌穂高は「3540」並である。
6. すず紋病抵抗性は「3540」より強い。ごま葉枯病抵抗性は「3540」よりやや強い。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「3540」より1日早く, 収穫時熟度は「3540」よりやや進むが, 総体乾物率は「3540」並で

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央中部(上川を除く), 道央南部および道南地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 生 育 (1極不良-9極良)	絹 糸 抽 出 期 (月日)	倒 伏 折 損 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当 り			総 体 乾 物 率 (%)	乾 物 中 T D N (%)	試 験 年 次
						乾 総 重 (kg)	T D N (kg)	同 左 比 (%)			
畜 試 滝 川 試 験 地	L G 3 5 2 0	4.9	8.15	0.0	黄中-後	1946	1407	108	28.9	72.2	2005~2007
	3 5 4 0	4.5	8.16	0.0	黄 中	1810	1305	100	27.7	72.1	
北 海 道 農 研	L G 3 5 2 0	7.2	8.4	0.0	黄 中	2170	1559	106	29.0	71.9	2005~2007
	3 5 4 0	5.9	8.6	0.0	黄 中	2062	1475	100	29.9	71.6	

参照 1) 北海道農政部編, 平成20年普及奨励ならびに指導参考事項, 32-33 (2008)

(18) たちびりか (系統名 北交66号) 2009年

登録番号: (北海道) とうもろこし(飼)北海道交第46号
(農水省) とうもろこし農林交67号
(種苗法) 第23843号

セールスポイント

雌穂収量および乾雌穂重割合が高く, さらに耐倒伏性およびすず紋病抵抗性に優れる。

来歴 2001年に「Ho87」を種子親とし, 「Ho90」を花粉親として両親系統間の交配を行い, 2002年に生産力検定予備試験, 2004年に「月交606」の系統番号を付して生産力検定試験を行った。また, 2004年以降, 系統適応性検定試験, 病害抵抗性と耐冷性の特性検定試験, 奨励品種決定試験および地域適応性検定試験を行って有望と認められたので, 2006年に「北交66号」の系統名を付し, 2008年までこれらの試験を継続してその優秀性を確認した。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「エマ」並で, 収穫時熟度も「エマ」並, 総体乾物率は「エマ」より高い。熟期は“早生の早”に属する。
2. 耐倒伏性は「エマ」より優れる。
3. 初期生育は「エマ」より優れる。
4. 乾物総重および推定TDN収量は「エマ」並である。乾雌穂重が多く, 乾雌穂重割合は「エマ」より高い。
5. すず紋病抵抗性は“極強”で, 「ダイヘイゲン」および「エマ」より優れる。ごま葉枯病抵抗性は“強”で, 「ダイヘイゲン」および「エマ」より優れる。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は根釧および道北地域である。栽植密度は, 10アールあたり8500~9200本程度とする。

試験場名	品 種 名	初 期 育 (1極不良 -9極良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 損 (%)	収穫時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
根 釧 農 試	た ち び り か	7.1	8.13	15.8	黄熟中期	1181	791	98	31.3	67.0	2005～2008
	エ マ	4.5	8.13	30.5	黄熟中期	1200	805	100	27.2	67.1	
上 川 農 試 天 北 支 場	た ち び り か	7.3	8.10	0.4	黄熟中期	1136	772	98	33.8	68.0	2005～2008
	エ マ	5.7	8.10	3.0	黄熟中期	1165	790	100	30.2	67.8	

参照 1) 北海道農政部編, 平成21年普及奨励ならびに指導参考事項, 18-20 (2009)

(19) 39T45 (系統名 X0842K) 2009年

登録番号: (北海道)とうもろこし(飼)輸交第47号

セールスポイント

初期生育, 耐倒伏性に優れ, すず紋病抵抗性がやや強く, 多収な早生品種である。

来歴 本品種は, アメリカのパイオニア社が育成したデント種×フリント種の単交配一代雑種である。ホクレン農業協同組合連合会が導入し(導入年不詳), 2005年より「X0842K」の系統名で各種の試験を行い, 2009年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は農試平均で「ネオ85」より1日早く, 現地平均で「ネオ85」より2日早く, 収穫時熟度は「ネオ85」並で, 雌穂乾物率が「ネオ85」より高く,

総体乾物率は「ネオ85」並である。熟期は“早生の晩”に属する。

2. 耐倒伏性は「ネオ85」よりやや優れる。
3. 発芽期は農試平均で「ネオ85」より4日早く, 現地平均で「ネオ85」より2日早い。初期生育は「ネオ85」より優れる。
4. 乾物総重および推定TDN収量は「ネオ85」より多い。乾雌穂重割合および乾物中推定TDN割合は「ネオ85」並である。
5. 稈長および着雌穂高は「ネオ85」より高い。
6. すず紋病抵抗性は「ダイヘイゲン」より強く, 「ネオ85」よりやや強い。ごま葉枯病抵抗性は「ダイヘイゲン」より強く, 「ネオ85」よりやや弱い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央北部, 十勝中部および網走内陸地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 育 (1極不良 -9極良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 損 (%)	収穫時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
北 見 農 試	3 9 T 4 5	5.8	8. 8	—	黄 初	1839	1315	109	26.8	71.9	2005～
	ネ オ 85	4.2	8. 9	—	黄 初	1683	1205	100	26.5	71.7	2006, 2008
十 勝 農 試	3 9 T 4 5	5.5	8. 8	0.3	黄 初	1836	1331	107	28.8	72.5	2005～2006
	ネ オ 85	4.0	8. 8	0.7	黄 中	1712	1246	100	29.9	72.8	

参照 1) 北海道農政部編, 平成21年普及奨励ならびに指導参考事項, 21-22 (2009)

(20) ビエナ (系統名 TH338) 2009年

登録番号: (北海道)とうもろこし(飼)輸交第48号

セールスポイント

初期生育に優れ, 多収な早生品種である。

来歴 ドイツのクラインワンツレーベン育種株式会社が育成したデント種×フリント種の単交配一代雑種である。タキイ種苗株式会社が導入し(導入年不詳), 2004年から「TH338」の系統名で各種の試験を行い, 2009年に

優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「ネオ85」より2日早く, 収穫時熟度, 雌穂乾物率および総体乾物率は「ネオ85」並である。熟期は“早生の晩”に属する。
2. 耐倒伏性は「ネオ85」並である。
3. 発芽期は農試平均で「ネオ85」より3日早く, 現地平均で「ネオ85」より2日早い。初期生育は「ネオ85」より優れる。

4. 乾物総重, 推定TDN収量は「ネオ85」よりやや多い。乾雌穂重割合は「ネオ85」よりやや高く, 乾物中推定TDN割合は「ネオ85」並である。
5. 稈長は「ネオ85」よりやや高く, 着雌穂高は「ネオ85」より高い。
6. すず紋病抵抗性は「ダイヘイゲン」より強く, 「ネ

オ85」並である。ごま葉枯病抵抗性は「ダイヘイゲン」より強く, 「ネオ85」よりやや弱い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央北部, 十勝中部および網走内陸地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 生育 (1極不良 -9極良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 折 損 (%)	収穫時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
北 見 農 試	ビ エ ナ	5.8	8. 7	—	黄 初	1857	1328	108	26.2	71.5	2005, 2007 ~2008
	ネ オ 85	3.8	8. 9	—	黄 初	1724	1225	100	26.5	71.1	
十 勝 農 試	ビ エ ナ	6.0	8. 5	1.0	黄初~中	1859	1361	106	30.9	73.2	2005, 2007
	ネ オ 85	3.7	8. 7	0.7	黄 中	1751	1284	100	31.0	73.3	

参照 1) 北海道農政部編, 平成21年普及奨励ならびに指導参考事項, 23-24 (2009)

① KD418 (系統名KE5401) 2009年

登録番号: (北海道)とうもろこし(飼)輸交第49号

セールスポイント

多収で, 初期生育に優れる早生品種である。

来歴 本品種はドイツのクラインワンツレーベル社が育成したデント種×フリント種の単交配一代雑種である。2005年にカネコ種苗株式会社が導入し, 2005年より「KE5401」の系統名で各種の試験を行い, 2009年に優良品種となった。2006年にOECD登録されている。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「ネオ85」より1~3日早く, 収穫時熟度は「ネオ85」並である。雌穂乾物率は「ネオ85」並かやや低く, 総体乾物率は「ネオ85」並である。熟

期は早生の晩に属する。

2. 耐倒伏性は「ネオ85」並である。
3. 発芽期は「ネオ85」より1~2日早く, 初期生育は「ネオ85」より優る。
4. 乾物総重及び推定TDN収量は「ネオ85」より多い。乾雌穂重割合及び乾物中推定TDN割合は「ネオ85」並である。
5. 稈長及び着雌穂高は「ネオ85」より高い。
6. すず紋病抵抗性は「ダイヘイゲン」よりやや強く, 「ネオ85」よりやや弱い。ごま葉枯病抵抗性は「ダイヘイゲン」より強く, 「ネオ85」より弱い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央北部, 十勝中部及び網走内陸地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 生育 (1極不良 -9極良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 折 損 (%)	収穫時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
北 見 農 試	K D 4 1 8	4.7	8. 7	—	黄初	1915	1398	113	29.1	73.0	2006~2007
	ネ オ 85	3.4	8. 8	—	黄中	1688	1239	100	29.9	73.4	
十 勝 農 試	K D 4 1 8	6.4	8. 9	—	黄初	1981	1406	111	27.3	71.1	2006~2008
	ネ オ 85	4.3	8.10	—	黄初	1774	1268	100	28.2	71.5	

参照 1) 北海道農政部編, 平成21年普及奨励ならびに指導参考事項, 25-26 (2009)

② 33N29 (系統名 33N29) 2009年

登録番号: (北海道)とうもろこし(飼)輸交第50号

セールスポイント

多収で, すず紋病にやや強い晩生品種である。

来歴 本品種は米国のパイオニア社が育成したデント種×フリント種の単交配一代雑種で, 2004年にOECD登録された。2004年にホクレン農業協同組合連合会が導入し, 2006年より各種の試験を行い, 2009年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「3540」並であるが、雄穂開花期は「3540」より2日遅い。収穫時熟度は「3540」よりやや遅れ、総体乾物率は「3540」よりやや低い。熟期は“晩生の中”に属する。
2. 耐倒伏性は「3540」並である。
3. 発芽期及び初期生育は「3540」並である。
4. 乾物総重及び推定TDN収量は「3540」よりやや高い。乾雌穂重割合は「3540」より並である。乾物中推

定TDN割合は「3540」並である。

5. 稈長は「3540」より高い。着雌穂高は「3540」並である。
6. すず紋病抵抗性は「3540」より強い。ごま葉枯病抵抗性は「3540」並である。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央中部（上川を除く）、道央南部および道南地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 生育 (1極不良-9極良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 折 損 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 TDN (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	TDN (kg)	同左比 (%)			
畜 試 滝川試験地	3 3 N 2 9	5.3	8.15	0.0	黄中-後	2103	1508	107	28.1	71.8	2006~2008
	3 5 4 0	5.0	8.15	0.0	黄中-後	1966	1409	100	28.2	71.7	
北 農 研 セ ン タ ー	3 3 N 2 9	5.4	8. 6	0.0	黄初-中	2263	1616	110	28.1	71.4	2006~2008
	3 5 4 0	5.6	8. 6	0.0	黄 中	2071	1474	100	29.5	71.3	

参照 1) 北海道農政部編, 平成21年普及奨励ならびに指導参考事項, 27-28 (2009)

23) 39T13 (系統名 X0823F) 2010年

登録番号: (北海道) とうもろこし(飼)輸交第51号

セールスポイント

すず紋病耐病性が強く、乾物総重および推定TDN収量が多く、初期生育に優れる早生品種である。

来歴 本品種は米国のパイオニア社が育成したデント種×フリント種の単交配一代雑種である。2003年にホクレン農業協同組合連合会が導入し、2006年にOECD登録された。2007年より「X0823F」の系統名で各種の試験を行い、2010年に優良品種となった。

オ85」より高く、総体乾物率は「ネオ85」並である。熟期は“早生の晩”に属する。

2. 耐倒伏性は「ネオ85」並である。
3. 発芽期及び初期生育は発芽期は「ネオ85」より1~2日早く、初期生育は「ネオ85」より優る。
4. 乾物総重および推定TDN収量は「ネオ85」より多い。乾雌穂重割合は「ネオ85」並かやや高く、乾物中推定TDN割合は「ネオ85」並である。
5. 稈長および着雌穂高は「ネオ85」より高い。
6. すず紋病抵抗性は「ダイヘイゲン」, 「ネオ85」より強い。ごま葉枯病抵抗性は「ダイヘイゲン」より強く、「ネオ85」より弱い。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「ネオ85」より1~3日早く、収穫時熟度は「ネオ85」並かやや遅れる。雌穂乾物率は「ネ

栽培適地と奨励態度

栽培適地は十勝中部、網走内陸及び道央北部である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 生育 (1極不良-9極良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 折 損 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 TDN (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	TDN (kg)	同左比 (%)			
十 勝 農 試	3 9 T 1 3	6.3	8. 8	—	黄 初	1775	1290	107	28.8	72.6	2007
	ネ オ 85	3.7	8. 9	—	黄初-中	1649	1201	100	28.7	72.8	
十 勝 牧 場	3 9 T 1 3	8.9	8. 8	—	乳後-糊初	1853	1291	114	21.9	69.7	2009
	ネ オ 85	8.9	8. 8	—	糊中-後	1604	1132	100	22.7	70.5	
北 見 農 試	3 9 T 1 3	6.4	8. 9	—	黄 初	1852	1310	105	26.3	70.8	2007~2009
	ネ オ 85	5.0	8.10	—	黄 初	1775	1250	100	27.0	70.5	

参照 1) 北海道農政部編, 平成22年普及奨励ならびに指導参考事項, 32-33 (2010)

24) KD301 (系統名 KD301) 2011年

登録番号：(北海道)とうもろこし(飼)輸交第53号

セールスポイント

乾雌穂重割合がやや高い早生品種である。

来歴 本品種はドイツのクラインワンツレーベル社が育成したデント種×フリント種の単交配一代雑種で、2005年にOECD登録されている。2006年にカネコ種苗株式会社が導入し、2008年より各種の試験を行い、2011年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「チベリウス」並～1日早い。総体乾物率及び雌穂乾物率は「チベリウス」よりやや高い。収穫時熟度は「チベリウス」並～やや進む。熟期は

“早生の中”に属する。

2. 耐倒伏性は「チベリウス」並である。
3. 発芽期は「チベリウス」並～1日早く、初期生育は「チベリウス」並である。
4. 乾物総重及び推定TDN収量は「チベリウス」並であり、乾雌穂重割合及び乾物中推定TDN割合は「チベリウス」よりやや高い。
5. 稈長は「チベリウス」よりやや低いが、着雌穂高は「チベリウス」並。
6. すず紋病抵抗性は「ダイヘイゲン」及び「チベリウス」よりやや強い。ごま葉枯病抵抗性は「ダイヘイゲン」より強く、「チベリウス」より弱い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央北部、十勝および網走地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 生 育 (1極不良-9極良)	絹 糸 抽 出 期 (月日)	倒 伏 折 損 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾 物 率 (%)	乾 物 中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
十 勝 農 試	K D 3 0 1	7.0	8. 1	0.3	黄 中	2073	1494	105	34.8	72.1	2008
	チ ベ リ ウ ス	6.0	8. 3	0.0	黄 初	1959	1424	100	29.8	72.7	
畜 試	K D 3 0 1	7.5	8. 3	—	糊 後	1474	1069	98	30.0	72.2	2009～2010
	チ ベ リ ウ ス	7.5	8. 3	—	糊後-黄初	1518	1087	100	30.2	71.3	
北 見 農 試	K D 3 0 1	5.9	8. 4	—	黄初-中	1912	1372	99	29.1	71.7	2008～2010
	チ ベ リ ウ ス	5.9	8. 4	—	黄初-中	1950	1387	100	29.2	71.1	

参照 1) 北海道農政部編, 平成23年普及奨励ならびに指導参考事項, 21-22 (2011)

25) きよら (系統名 北交70号) 2011年

登録番号：(北海道)とうもろこし(飼)北海道交第52号
(農水省)とうもろこし農林交70号
(種苗法)第26312号

セールスポイント

すず紋病耐病性が強く、発芽初期生育が良好な中生品種である。

来歴 本品種は独立行政法人北海道農業研究センターが、すず紋病抵抗性と、初期生育に優れた中生品種の育成を目標に、「Ho112」を種子親、「Ho100」を花粉親として育成したデント種×フリント種の単交配一代雑種である。2005年より「北交70号」の系統名で各種の試験を行い、2011年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「ブリザック」とほぼ同日で、雌穂乾

物率は「ブリザック」とほぼ同じ、総体乾物率は「ブリザック」よりやや高い。収穫時熟度は「ブリザック」並かやや遅れる。熟期は中生の早に属する。

2. 耐倒伏性は「ブリザック」並である。
3. 発芽期は「ブリザック」より1日早く、初期生育は「ブリザック」より優れる。
4. 乾物総重及び推定TDN収量は「ブリザック」並かやや少ない。乾雌穂重割合及び乾物中推定TDN割合は「ブリザック」並である。
5. 稈長は「ブリザック」よりやや低く、着雌穂高は「ブリザック」並。
6. すず紋病抵抗性は「クタユタカ」より強く「ブリザック」よりやや強い。ごま葉枯病抵抗性は「クタユタカ」および「ブリザック」より強い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央北部、十勝中部および網走内陸の気象条件の良好な地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 育 (1極不良 -9極良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 損 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
十 勝 農 試	き よ ら	6.5	8.5	—	糊後—黄初	1762	1282	100	28.7	72.8	2007～2008
	ブ リ ザ ッ ク	5.0	8.6	—	糊後—黄初	1759	1278	100	25.9	72.7	
北 見 農 試	き よ ら	6.6	8.7	—	糊後—黄初	1807	1281	95	27.4	70.9	2008～2010
	ブ リ ザ ッ ク	5.9	8.6	—	糊後—黄初	1909	1350	100	26.1	70.6	
上 川 農 試	き よ ら	8.7	7.24	0.0	黄初—中	2045	1493	100	34.4	73.0	2007～2010
	ブ リ ザ ッ ク	7.7	7.25	2.9	黄 中	2046	1493	100	32.3	72.8	
十 勝 牧 場	き よ ら	8.2	8.5	—	糊初—中	1751	1270	102	25.4	72.4	2008～2010
	ブ リ ザ ッ ク	7.6	8.5	—	糊 中	1713	1247	100	24.4	72.8	

参照 1) 北海道農政部編, 平成23年普及奨励ならびに指導参考事項, 23-25 (2011)

②6) **メルクリオ** (系統名 HK7705) 2012年

登録番号: (北海道)とうもろこし(飼)輸交第54号

セールスポイント

多収な早生品種である。

来歴 ドイツのクラインワンツレーベン育種株式会社が育成した(フロント種×デント種)×デント種の三系交配一代雑種である。2007年にホクレン農業協同組合連合会が導入し, 2009年より「HK7705」の系統名で各種の試験を行い, 2012年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「チベリウス」より1日遅く, 収穫時熟度は「チベリウス」並である。雌穂乾物率は「チベリウス」よりやや低く, 総体乾物率は「チベリウス」並～やや高い。熟期は“早生の中”に属する。

2. 耐倒伏性は「チベリウス」並である。

3. 発芽期は「チベリウス」並～1日早く, 初期生育は「チベリウス」並である。

4. 乾物総重および推定TDN収量は, 農試で「チベリウス」よりやや多く, 現地で「チベリウス」よりやや少なく, 総じて「チベリウス」よりやや多い。乾雌穂重割合は「チベリウス」並～やや低く, 乾物中推定TDN割合は「チベリウス」並である。

5. 稈長, 着雌穂高は「チベリウス」並である。

6. すず紋病抵抗性は「ダイヘイゲン」, 「チベリウス」よりやや強い。ごま葉枯病抵抗性は「ダイヘイゲン」より強く, 「チベリウス」並である。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央北部, 十勝および網走地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 育 (1極不良 -9極良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 損 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
北 見 農 試	メ ル ク リ オ	5.8	8.3	—	黄 初	2123	1518	104	30.9	71.4	2009～2011
	チ ベ リ ウ ス	5.9	8.2	—	黄初～中	2023	1453	100	30.2	71.8	
十 勝 農 試	メ ル ク リ オ	7.9	8.2	0.2	黄 初	1540	1117	103	30.7	72.1	2009～2011
	チ ベ リ ウ ス	7.6	8.2	0.2	糊後～黄初	1502	1087	100	30.7	71.9	

参照 1) 北海道農政部編, 平成24年普及奨励ならびに指導参考事項, 29-30 (2012)

②7) **KD320** (系統名 KE8340) 2012年

登録番号: (北海道)とうもろこし(飼)輸交第55号

セールスポイント

やや多収で, すず紋病に強い早生品種である。

来歴 本品種はドイツのクラインワンツレーベル社が育成したデント種×フロント種の単交配一代雑種である。2007年にOECD登録されており, 同年, カネコ種苗株式会社を導入し, 2008年より「KE8340」の系統名で各種の試験を行い, 2012年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「チベリウス」とほぼ同日である。総体乾物率は「チベリウス」とほぼ同程度、雌穂乾物率は「チベリウス」並かやや高い。収穫時熟度は「チベリウス」とほぼ同程度である。熟期は“早生の中”に属する。
2. 耐倒伏性は「チベリウス」並である。
3. 発芽期及び初期生育はともに「チベリウス」並である。
4. 乾物総重及び推定TDN収量は「チベリウス」よりやや多収である。乾雌穂重割合は「チベリウス」より

- やや低い。乾物中推定TDN割合は「チベリウス」並である。
5. 稈長は「チベリウス」よりやや低いが、着雌穂高は高い。
 6. すず紋病抵抗性は「ダイヘイゲン」や「チベリウス」より強い。ごま葉枯病抵抗性は「ダイヘイゲン」より強く、「チベリウス」とほぼ同程度である。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央北部，十勝および網走地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 生 育 (1極不良-9極良)	絹 糸 抽 出 期 (月日)	倒 伏 折 損 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾 物 率 (%)	乾 物 中 T D N (%)	試験年次
						乾 総 重 (kg)	T D N (kg)	同 左 比 (%)			
北 見 農 試	K D 3 2 0	5.4	8. 2	4.4	黄 初	2023	1444	99	29.5	71.3	2008～2010
	チベリウス	5.9	8. 2	0.0	黄初-中	2023	1453	100	30.2	71.8	
畜 試	K D 3 2 0	8.0	8. 1	0.0	黄 初	1589	1138	105	30.4	71.2	2008～2010
	チベリウス	7.6	8. 2	0.4	糊後-黄初	1502	1087	100	30.7	71.9	

参照 1) 北海道農政部編，平成24年普及奨励ならびに指導参考事項，31-32 (2012)

28) LG3235 (系統名 HE0721) 2012年

登録番号：(北海道)とうもろこし(飼)輸交第56号

セールスポイント

やや多収な中生品種である。

来歴 本品種は，フランスのリマグレイン社が育成したデント種×フリント種の単交配一代雑種である。2007年に雪印種苗株式会社が導入し，2008年より「HE0721」の系統名で各種の試験を行い，2012年に優良品種となった。

2. 耐倒伏性は「ブリザック」並である。
3. 発芽期は「ブリザック」より1～2日早く，初期生育は「ブリザック」よりやや優れる。
4. 乾物総重及び推定TDN収量はともに「ブリザック」よりやや多い。乾雌穂重割合及び乾物中推定TDN割合は「ブリザック」並である。
5. 稈長は「ブリザック」並，着雌穂高は「ブリザック」より高い。
6. すず紋病抵抗性は「キタユタカ」よりやや強く，「ブリザック」より弱い。ごま葉枯病抵抗性は「キタユタカ」よりやや弱く，「ブリザック」並。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「ブリザック」と同日である。収穫時熟度及び総体乾物率は「ブリザック」並であり，熟期は“中生の早”に属する。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央北部，十勝中部および網走内陸地域の気象条件の良好な地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 生 育 (1極不良-9極良)	絹 糸 抽 出 期 (月日)	倒 伏 折 損 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾 物 率 (%)	乾 物 中 T D N (%)	試験年次
						乾 総 重 (kg)	T D N (kg)	同 左 比 (%)			
北 見 農 試	L G 3 2 3 5	6.3	8. 5	—	黄 初	2100	1496	105	28.7	71.2	2008～2010
	ブリザック	5.7	8. 5	—	黄 初	2000	1428	100	27.6	71.3	
十 勝 牧 場	L G 3 2 3 5	4.7	8. 2	1.7	糊 後	2055	1510	108	30.7	73.5	2009～2010
	ブリザック	5.7	7.31	0.0	糊後-黄初	1888	1395	100	31.3	73.6	

参照 1) 北海道農政部編，平成24年普及奨励ならびに指導参考事項，33-34 (2012)

29) SH0702 (系統名 SHC0702) 2012年

登録番号：(北海道)とうもろこし(飼)北海道交第57号

セールスポイント

推定TDN収量が多く、乾雌穂重割合、乾物中推定TDN割合が高い、晩生品種である。

来歴 本品種は雪印種苗株式会社が育成したデント種×デント種の単交配一代雑種である。2009年より「SHC0702」の系統名で各種の試験を行い、2012年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「LG3520」並である。収穫時熟度は「LG3520」並で、総体乾物率は「LG3520」よりやや

高い。熟期は“晩生の中”に属する。

2. 耐倒伏性は「LG3520」よりやや強い。
3. 発芽期は「LG3520」よりやや遅く、初期生育は「LG3520」よりやや劣る。
4. 乾物総重は「LG3520」よりやや多く、推定TDN収量は「LG3520」より多い。乾雌穂重割合、乾物中推定TDN割合は「LG3520」より高い。
5. 稈長及び着雌穂高は「LG3520」よりやや低い。
6. すず紋病抵抗性は「3540」より強く、「LG3520」よりやや弱い。ごま葉枯病抵抗性は「3540」および「LG3520」より強い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央中部(上川を除く)、道央南部および道南地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 生 育 (1極不良-9極良)	絹 糸 抽 出 期 (月日)	倒 伏 折 損 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾 物 率 (%)	乾 物 中 T D N (%)	試験年次
						乾 総 重 (kg)	T D N (kg)	同 左 比 (%)			
北 農 研 セ ン タ ー	S C H 0 7 0 2	4.7	8.3	1.8	黄 中	2179	1586	105	28.8	72.8	2009~2011
	L G 3 5 2 0	6.0	8.3	10.0	黄 中	2160	1511	100	27.4	69.9	
畜 試 滝 川 試 験 地	S C H 0 7 0 2	5.3	8.9	1.4	黄 中	1999	1431	101	26.0	71.6	2009
	L G 3 5 2 0	5.0	8.10	0.7	黄 中	2033	1421	100	25.5	69.9	
道 南 農 試 (八雲町)	S C H 0 7 0 2	8.0	8.8	0.4	黄 中	2065	1504	110	28.5	72.9	2010~2011
	L G 3 5 2 0	9.0	8.8	2.3	黄 中	1928	1371	100	26.2	70.6	

参照 1) 北海道農政部編, 平成24年普及奨励ならびに指導参考事項, 35-36 (2012)

30) ソリードAnjou227 (系統名 HE91003) 2013年

登録番号：(北海道)とうもろこし(飼)輸交第58号

セールスポイント

収量が多く、すず紋病に強い。絹糸抽出期は遅いが登熟は速い特性を持つ早生品種である。

来歴 本品種は、フランスのリマグレイン社が育成したデント種×フリント種の単交配一代雑種である。2009年に雪印種苗株式会社が導入し、2011年より「HE91003」の系統名で各種の試験を行い、2013年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「デュカス」より3日遅い。収穫時熟度はやや遅れる。しかし、乾物率は茎葉、雌穂ならび

に総体のいずれも「デュカス」に近い。熟期は“早生の早”に属する。

2. 耐倒伏性は「デュカス」並である。
3. 発芽期は「デュカス」より1日早く、初期生育は「デュカス」並である。
4. 乾物総重及び推定TDN収量はともに「デュカス」より多い。乾雌穂重割合及び乾物中推定TDN割合は「デュカス」よりやや低い。
5. 稈長、着雌穂高とも「デュカス」より高い。
6. すず紋病抵抗性及びごま葉枯病抵抗性は「ダイヘイゲン」及び「デュカス」より強い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は根釧および道北地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 生 育 (1極不良 -9極良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 折 損 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾 物 率 (%)	乾 物 中 T D N (%)	試験年次
						乾 総 重 (kg)	T D N (kg)	同 左 比 (%)			
根 釧 農 試	ソリード Anjou227	6.0	8.12	27.5	黄初一中	1551	1113	117	28.3	71.8	2009～2011
	デュカス	5.6	8.10	35.8	黄 中	1305	952	100	29.2	73.0	
上 川 農 試 天 北 支 場	ソリード Anjou227	6.3	8.17	5.0	黄初一中	1492	1067	106	27.5	71.5	2010～2011
	デュカス	6.7	8.13	0.0	黄 中	1381	1005	100	28.4	72.8	

参照 1) 北海道農政部編, 平成25年普及奨励ならびに指導参考事項, 14-15 (2013)

③) KD254 (系統名KE8301) 2013年

登録番号: (北海道)とうもろこし(飼)輸交第59号

セールスポイント

すす紋病, 耐倒伏性にやや優れ, 多収で乾雌穂重割合がやや高い。

来歴 本品種はドイツのクラインワンツレーベン社が育成したデント種×フリント種の単交配一代雑種である。2008年にカネコ種苗株式会社が導入し, 同年より「KE8301」の系統名で各種の試験を行い, 2013年に北海道優良品種となった。2009年にOECD登録されている。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「デュカス」より1～2日遅いが, 収穫時熟度および総体乾物率は「デュカス」並である。熟期は“早生の早”に属する。
2. 耐倒伏性は「デュカス」よりやや優れる。

3. 初期生育は「デュカス」と同程度かやや劣る。

4. 乾物総重および推定TDN収量は「デュカス」より多い。乾雌穂重割合は「デュカス」よりやや高く, 乾物中推定TDN割合は「デュカス」並かやや高い。

5. 稈長および着雌穂高は「デュカス」よりやや高い。

6. すず紋病抵抗性は「ダイヘイゲン」および「デュカス」よりやや優れる。ごま葉枯病抵抗性は「ダイヘイゲン」よりやや優れ, 「デュカス」よりやや劣る。収穫時の節間空洞および収穫後刈り残し個体の萎凋症状の発現個体率は, 「デュカス」よりやや大きい。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は根釧および道北地域である。一般栽培に準じて栽培できるが, 根腐病の病徴である節間空洞, 萎凋症状が対照品種に比べてやや多いため, 登熟期には圃場内部を観察し, そうした症状の発生がみられた場合には, できるだけ早く収穫する。

試験場名	品 種 名	初 期 生 育 (1極不良 -9極良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 折 損 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾 物 率 (%)	乾 物 中 T D N (%)	試験年次
						乾 総 重 (kg)	T D N (kg)	同 左 比 (%)			
根 釧 農 試	K D 2 5 4	4.9	8.11	5.9	黄熟初期	1409	1036	109	29.4	73.6	2010～2012
	デュカス	5.6	8.10	18.0	黄熟中期	1305	952	100	29.2	73.0	
上 川 農 試 天 北 支 場	K D 2 5 4	6.7	8.14	—	黄熟初期	1428	1054	105	28.1	73.8	2011～2012
	デュカス	6.7	8.13	—	黄熟中期	1381	1005	100	28.4	72.8	

参照 1) 北海道農政部編, 平成25年普及奨励ならびに指導参考事項, 16-17 (2013)

③) P8284 (系統名 X8T126) 2013年

登録番号: (北海道)とうもろこし(飼)輸交第60号

セールスポイント

耐倒伏性に優れ, すず紋病抵抗性にやや優れる早生品種である。

来歴 アメリカのパイオニア社が育成したデント種×フリント種の単交配一代雑種である。2009年にホクレン農

業協同組合連合会が導入し, 2010年より「X8T126」の系統名で各種の試験を行い, 2013年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「KD418」並～2日遅い。収穫時熟度は北見農試で「KD418」よりやや進み, 遠軽町で「KD418」よりやや遅れたが, 総じて「KD418」並である。雌穂乾物率は「KD418」より高く, 総体乾物率は「KD418」並である。熟期は“早生の晩”に属す

- る。
2. 耐倒伏性は「KD418」より優れる。
 3. 発芽期は「KD418」並で、初期生育は「KD418」並である。
 4. 乾物総重および推定TDN収量は「KD418」並である。乾雌穂重割合は「KD418」よりやや低く、乾物中推定TDN割合は「KD418」並である。
 5. 稈長は「KD418」並かやや高く、着雌穂高は「KD418」並である。

6. すず紋病抵抗性は「ダイヘイゲン」より強く、「KD418」よりやや強い。ごま葉枯病抵抗性は「ダイヘイゲン」より強く、「KD418」並である。根腐病の病徴発現個体率は並である。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央北部、十勝中部および網走内陸地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 生 育 (1極不良 -9極良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 折 損 (%)	収穫時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
北 見 農 試	P 8 2 8 4	6.0	8. 5	0.0	黄 初	2259	1607	102	28.7	71.1	2010～2012
	K D 4 1 8	5.6	8. 5	3.2	糊後～黄初	2196	1571	100	28.4	71.6	

参照 1) 北海道農政部編, 平成25年普及奨励ならびに指導参考事項, 18-19 (2013)

③ SL0746 (系統名 SL0746) 2013年

登録番号: (北海道) とうもろこし(飼)北海道交第61号

セールスポイント

乾雌穂重割合が高く、乾物総重および推定TDN収量がやや多い中生品種である。

来歴 本品種は、雪印種苗株式会社が2007年に育成した単交配(デント×フリント、構成系統は不明)の一代雑種である。2010年より各種の試験を行い、2013年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「おおぞら」より3日早く、雄穂開花期は1日早い。雌穂の熟度は「おおぞら」よりやや遅れ、総体乾物率は「おおぞら」よりやや低い。熟期は

“中生の中”に属する。

2. 耐倒伏性は「おおぞら」並である。
3. 発芽期および初期生育は「おおぞら」並である。
4. 乾物総重および推定TDN収量は「おおぞら」よりやや多い。乾雌穂重割合は「おおぞら」より高い。
5. 稈長および着雌穂高は「おおぞら」より低い。
6. すず紋病抵抗性は「キタユタカ」より強く「おおぞら」並である。ごま葉枯病抵抗性は「キタユタカ」並かやや強く「おおぞら」並である。収穫時の節間空洞や刈り残し個体の萎凋個体率は「おおぞら」よりやや少ない。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は北部を除く道央地域および道南地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 生 育 (1極不良 -9極良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 折 損 (%)	収穫時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
上 川 農 試	S L 0 7 4 6	8.0	7.25	0.5	黄中～後	2209	1593	107	34.7	72.2	2010～2012
	お お ぞ ら	7.3	7.29	2.2	黄 後	2094	1482	100	35.2	70.8	
北 農 研 セ ン タ ー	S L 0 7 4 6	5.6	7.25	4.4	黄 中	1983	1437	101	29.6	72.5	2010～2012
	お お ぞ ら	5.9	7.28	1.3	黄 後	1969	1420	100	33.4	72.1	

参照 1) 北海道農政部編, 平成25年普及奨励ならびに指導参考事項, 20-21 (2013)

34) P9400 (系統名 X6P942) 2013年
登録番号：(北海道)とうもろこし(飼)輸交第62号

セールスポイント

乾雌穂重割合が高く、推定TDN収量が多い中生品種である。

来歴 本品種は、米国パイオニア社が育成した単交配(デント×デント、構成系統は不明)の一代雑種である。2008年にホクレン農業協同組合連合会が導入し、同年に予備検定試験を行った。2010年より各種の試験を行い、2013年に優良品種となった。2008年OECD登録されている。

特性概要

1. 絹糸抽出期および雄穂開花期は「36B08」と同日で、

試験場名	品 種 名	初 期 生 育 (1極不良 -9極良)	絹 糸 抽出期 (月日)	倒 伏 折 損 (%)	収穫時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾物率 (%)	乾物中 T D N (%)	試験年次
						乾総重 (kg)	T D N (kg)	同左比 (%)			
上 川 農 試	P 9 4 0 0	7.6	7.29	8.3	黄初～中	2359	1689	104	33.6	71.8	2010～2012
	3 6 B 0 8	7.4	7.29	30.2	黄初～中	2297	1620	100	31.3	70.6	
北 農 研 セ ン タ ー	P 9 4 0 0	5.7	7.28	10.6	黄 中	2139	1564	108	30.6	73.1	2010～2012
	3 6 B 0 8	5.8	7.29	16.9	黄初～中	2007	1442	100	28.7	71.9	

参照 1) 北海道農政部編, 平成25年普及奨励ならびに指導参考事項, 22-23 (2013)

35) P1543 (系統名X7H287) 2013年
登録番号：とうもろこし(飼)輸交第63号

セールスポイント

やや多収で乾雌穂重割合が高く、ごま葉枯病抵抗性が強い晩生品種である。

来歴 本品種は米国のパイオニア社が育成したデント種×デント種の単交配一代雑種である。2009年にOECD登録されており、同年、ホクレン農業協同組合連合会が導入し、2010年より「X7H287」の系統名で各種の試験を行い、2013年に優良品種となった。

特性概要

1. 絹糸抽出期は「LG3520」並である。収穫時熟度および総体乾物率は「LG3520」並で、熟期は“晩生の

総体乾物率は「36B08」よりやや高い。熟期は“中生の晩”に属する。

2. 耐倒伏性は「36B08」より倒伏個体率がやや低い。
3. 発芽期および初期生育は「36B08」並である。
4. 乾物総重および推定TDN収量は「36B08」より多く、乾雌穂重割合は「36B08」より高い。
5. 稈長および着雌穂高は「36B08」より高い。
6. すず紋病抵抗性は「キタユタカ」より強く「36B08」よりやや弱い。ごま葉枯病抵抗性は「キタユタカ」より強く「36B08」並である。収穫時の節間空洞や刈り残し個体の萎凋個体率は「36B08」並である。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は北部を除く道央地域および道南地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

中”に属する。

2. 耐倒伏性は「LG3520」よりやや強い。
3. 発芽期は「LG3520」並、初期生育は「LG3520」よりやや劣る。
4. 乾物総重および推定TDN収量は「LG3520」よりやや多い。乾雌穂重割合は「LG3520」より高く、乾物中推定TDN割合は「LG3520」よりやや高い。
5. 稈長は「LG3520」よりやや低く、着雌穂高は「LG3520」より低い。
6. すず紋病抵抗性は「3540」より強く、「LG3520」よりやや弱い。ごま葉枯病抵抗性は「3540」および「LG3520」より強い。

栽培適地と奨励態度

栽培適地は道央中部(上川を除く)、道央南部および道南地域である。一般栽培に準じて栽培できる。

試験場名	品 種 名	初 期 育 (1極不良 -9極良)	絹 糸 抽 出 期 (月日)	倒 伏 損 (%)	収 穫 時 熟 度	10 a 当り			総 体 乾 物 率 (%)	乾 物 中 T D N (%)	試 験 年 次
						乾 総 重 (kg)	T D N (kg)	同 左 比 (%)			
北 海 道 農 研	P 1 5 4 3	5.3	8. 1	4.0	黄 中	2257	1626	103	29.4	72.0	2010～2012
	L G - 3 5 2 0	6.2	8. 1	14.8	黄 中	2226	1573	100	27.9	70.6	
道 南 農 試 (八雲町)	P 1 5 4 3	9.0	8. 9	—	黄初-中	2076	1494	108	27.6	72.0	2011
	L G - 3 5 2 0	9.0	8. 9	—	黄 中	1932	1385	100	24.5	71.7	
ホ ク レ ン (千歳市)	P 1 5 4 3	7.5	8. 7	—	黄 初	1704	1264	92	28.5	74.2	2012
	L G - 3 5 2 0	8.7	8. 6	—	黄 中	1866	1375	100	28.9	73.7	

参照 1) 北海道農政部編, 平成25年普及奨励ならびに指導参考事項, 24-25 (2013)

北海道登録品種一覽

I 普通作物

1 水 稻

注 1. 農林水産省登録品種には、*印をつけた。
2. 系統名の欄には、系統名、種苗台帳番号、原名をあてた。
3. 登録年の()は、優良品種決定年である。

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主 要 特 性
農 林 20 号 *	北海86号	水稲北海道うち第1号	1971 (1941)	1975	上 川 支 場	「農林1号」×「胆振早稲」	早生、多収
栄 光	上育B18号	水稲北海道うち第2号	1971 (1942)	1974	上 川 支 場	「鶴亀」×「早生富国」	多収、良質、良味
巴 ま さ り	渡育120号	水稲北海道うち第3号	1971 (1951)	1997	渡 島 支 場	「東北14号」×「北海87号」	晩生、分けつ多く、多収、食味良
南 栄	渡育129号	水稲北海道うち第4号	1971 (1951)	1972	渡 島 支 場	「巴錦」×「農林20号」	晩生、長稈、食味良、冷水抵抗性强
ユ ー カ ラ *	北海182号	水稲北海道うち第5号 水稲農林138号	1971 (1962)	1991	北 海 道 農 試	「関東53号」×「栄光」	初期生育旺盛、強稈、良質多収、多肥栽培で増収、いもち病N菌に強
し お か り	上育234号	水稲北海道うち第6号	1971 (1963)	1985	上 川 支 場	(「目黒栄糯」×「共和」) F ₁ ×「共和」	早生、登熟良、いもち耐病性中、耐倒伏中、障害型耐冷性やや弱
ほ う り ゅ う	空育24号	水稲北海道うち第7号	1971 (1964)	1981	空 知 支 場	「新栄」×「照錦」	中生、中肥で多収、食味・品質良好
う り ゅ う	空育22号	水稲北海道うち第8号	1971 (1965)	1983	中 央 農 試	「石狩白毛」×「暁」	短稈、耐冷性・耐病性强、良質、中生の早、初期生育不良
き よ か ぜ	上育254号	水稲北海道うち第9号	1971 (1965)	1986	上 川 農 試	「新栄」×「水稲農林15号」	極早生、良質、いもち耐病性弱、耐倒伏性やや弱、障害型耐冷性やや強
ひ め ほ な み	空育39号	水稲北海道うち第10号	1971 (1966)	1974	中 央 農 試	「空系26号」×「ヤチミノリ」	中生の晩、穂数型、いもち耐病性やや強、良質、多収、初期生育旺盛
ほ く せ つ	上育265号	水稲北海道うち第11号	1971 (1966)	1972	上 川 農 試	「新栄」×「上育161号」(大国早生×福糯)	中生、登熟良、いもち耐病性中、耐倒伏性やや強、障害型耐冷性極強
そ ら ち	空育51号	水稲北海道うち第12号	1971 (1967)	1982	中 央 農 試	「空育12号」×「みまさり」	中生の中、安定多収
は や ゆ き	北育33号	水稲北海道うち第13号	1971 (1968)	1975	北 見 農 試	「新栄」×「水稲農林19号」	耐冷性極強、いもち耐病性弱
か ち ほ な み	十育12号	水稲北海道うち第14号	1971 (1968)	1982	十 勝 農 試	(「豊光」×「大雪」) ×「上育161号」	中生、安定多収、倒伏し難い
な る か ぜ	上育314号	水稲北海道うち第15号	1971 (1970)	1979	上 川 農 試	「北海182号」×「ささほなみ」	早生、良質、いもち耐病性中、耐倒伏性中、障害型耐冷性やや強
マ ツ マ エ *	北海222号	水稲北海道うち第16号 水稲農林209号	1971 (1970)	1991	北 海 道 農 試	「ふ系51号」×「北海183号」	晩生、偏穂数型、強稈、いもち耐病性强、良質多収、食味やや良好
ゆ う な み	空育87号	水稲北海道うち第17号	1971	1980	中 央 農 試	「ユウカラ×ささほなみ」 F ₁ ×「ささほなみ」	中生の早、短稈穂数型、いもち耐病性やや強、障害型耐冷性中、耐倒伏性やや強
イ シ カ リ *	道北1号	水稲北海道うち第18号 水稲農林217号	1971	1987	上 川 農 試	「北海182号」×「空育4号」	多収、良質、草姿良、いもち耐病性强、耐倒伏性强、耐冷性やや強
ユ キ モ チ *	北海125号	水稲北海道もち第19号 水稲農林59号	1971 (1951)	1988	上 川 支 場	「大国早生」×「福糯」	中生、中稈、穂数型、稀短芒、良質、多収
か む い も ち	上育266号	水稲北海道もち第20号	1971 (1965)	1985	上 川 農 試	「新栄」×「上育161号」	糯、早生、良質、いもち耐病性中、耐倒伏性やや強、障害型耐冷性やや強
工 藤 糯		水稲北海道もち第21号	1971 (1965)	1997	道 南 農 試	「南糯」×「多福糯」	中生の晩、中稈、穂重型、いもち耐病性强
お ん ね も ち	北育糯47号	水稲北海道もち第22号	1971 (1970)	1994	北 見 農 試	「北海182号」×「上育230号」	良質、「もち」良質、多収、耐冷性やや強、いもち耐病性やや弱～弱
き た こ が ね	北育51号	水稲北海道うち第23号	1973	1982	北 見 農 試	「北海182号」×「上育230号」	やや良質、耐冷性やや強、多収、いもち耐病性弱
さ ち ほ	空育97号	水稲北海道うち第24号	1974	1982	中 央 農 試	「ささほなみ×空系1号」 F ₁ ×「北海190号」	良質、登熟早い、いもち病場抵抗性强、強稈性
キ タ ヒ カ リ *	北海230号	水稲北海道うち第25号 水稲農林236号	1975	1991	北 海 道 農 試	「しおかり」×「ユウカラ」	中生、偏穂数型、良質、食味良好、少肥瘦地栽培で少収、機械化栽培に適する

草 型	茎		穂						玄 米			品 質	食 味	搗 歩 精 合	栽 培 適 地
	長短	強弱	長短	粒着 密度	稔色	稔先色	芒の 有無	芒の 長短	形状	大小	色 沢				
中間型	長	や強	中	密	淡黄白	赤褐	無	—	中	中	給良	上の下	上	—	道北、道東北地方、これに準ずる山間地の中生種。道央の早生種
穂数型	や短	や強	中	や密	黄白	黄白	有	短少	中	中	給白	上の中	上の下	—	道中央部
穂数型	や長	中	中	や密	黄白	赤	無	—	中	中	淡給良	中の中	上	—	道南の温暖地帯、特に日本海沿岸
穂数型	や長	強	中	や密	黄白	赤褐	無	—	中	中	濃給良	中の下	上	—	道南温暖地帯
穂数型	短	強	中	や疎	黄白	黄白	無	—	や長	や大	淡給	極良	良	—	道央部、これに準ずる肥沃地
偏穂数型	中	中	や短	や密	黄白	黄白	有	中の中	や円	や小	や銀白	中の上	良	—	上川、留萌および網走
穂数型	中	中	や長	や密	黄白	暗褐色	無	—	中	中	純白	良	良	89.0	石狩、空知、胆振、日高の「栄光」の栽培されている地帯
中間型	短	中	中～ や長	や密	黄白	黄白	無	—	中	中	鈍銀白	良	良	88.8	空知中央部、上川北部およびこれに準ずる地帯
中間型	中	や弱	中	や密	黄白	黄白	極稀	極短	中	中	や給	上の下	良	—	上川、留萌の北部および中央部の山間地帯、ならびにこれに類似の地帯
穂数型	短	中	短	密	黄白	黄白	無	—	や円	や小	鈍銀白	良	良	86.5	空知、石狩、上川の道央部および類似の地帯のとくにいもち病発生地帯
穂数型	中	や強	短	中	黄白	黄白	有稀	稀短	中	中	や給	上の下	良	—	上川中南部、留萌南部、空知全域およびこれと類似の地帯
穂数型	や短	中	や長	中	黄白	黄白	無	—	中	中	鈍銀白	や良	—	—	中生種の作付けされている道内各地帯、ならびに中晩生種地帯の冷水田
中間型	長	や弱	中	中	黄白	黄白	少	短	中	中	や純白	中の中	—	—	網走の「農林20号」栽培地帯および十勝、上川北部、留萌北部の類似地帯
穂数型	や短	中～ や弱	短	や密	黄白	黄白	無	—	や円	や小	や良	中の上	—	93.0	十勝、網走の全域、上川北部ならびにこれに準ずる地帯
穂数型	や短	や強	中	中	黄白	黄白	無	—	中	中	や良	上の下	良	89.4	網走、十勝の良地帯、上川、留萌の山間部、道央部の早生地帯
偏穂数型	中	剛	長	中	黄白	淡褐色	有極稀	極短	中	や大	淡給	良	や良	91.0	渡島半島南部良地帯
穂数型	短	や剛	や長	や密	黄白	黄白	無	—	中	中	鈍銀白	上の下	や良	91.0	空知、石狩の「ほうりゅう」の安全栽培良地帯、ならびに類似地帯
偏穂数型	短	剛	長	中	黄白	黄白	無	—	や長	や大	や給	上の下	良	90.5	上川、留萌のやや良～良地帯、空知、石狩、後志、檜山のやや良地帯
穂数型	中	や強	中	や密	黄白	黄白	有	稀短	中	中	白	上の下	良	—	道央部
偏穂数型	や短	や強	や短	中	黄白	黄白	や少	や短	中	中	白	上の下	良	—	上川中央部、留萌全域、空知北部
穂重型	中	剛	長	や密	黄白	黄白	無	—	中	小	白	や良	良	—	渡島、檜山南部、胆振沿岸地帯
穂数型	や短	や強	中	中	黄白	黄白	や少	短	中	中	白	中の上 ～上	良	—	網走、十勝および上川、留萌の北部で「はやもち」、「双豊糯」の作付け地帯
偏穂数型	や短	や強	中	中	黄白	黄白	中	中	中	や大	給	上の下	中～ や良	—	網走、十勝の中生種が作付けされている地帯
偏穂数型	や短	強	中	や密	黄白	黄白	極稀	極短	良	や大	良	上の中	や良	89.0	空知、石狩、後志、胆振、日高、道南北部、上川南部の中生種地帯
偏穂数型	や短	や強	や長	中	黄白	黄白	無	—	中	中	淡給	良	良	90.0	留萌南部、上川中南部、道央部、道南北部の移植栽培、中央部良地帯の機械移植栽培

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主 要 特 性
ともゆたか	空育103号	水稲北海道うち第26号	1977	1988	中央農試	「北海222号」×「道北1号」	中生の早、短稈穂数型、初期生育良好、多収、粒揃良好、割れ粉多
はやこがね	北育64号	水稲北海道うち第27号	1977	1991	北見農試	「北斗」×「上育272号」	良質、耐冷性強、いもち耐病性中～やや弱
しまひかり	渡育214号	水稲北海道うち第28号第324号	1981	1994	道南農試	「コシホマレ」×「そらち」	晩生の早、良質・良食味、いもち耐病性強～やや強、障害型耐冷性やや弱
みちこがね	空育110号	水稲北海道うち第29号第331号	1982	1991	中央農試	「空育99号」×「北海230号」	中生、良質、耐倒伏性強、障害型耐冷性やや強～強
ともひかり	空育111号	水稲北海道うち第30号第591号	1983	1994	中央農試	(「北海230号」×「巴まさり」) F ₁ ×「空育99号」	良質、良食味、早熟性
キタアケ*	道北36号	水稲北海道うち第31号水稲農林268号第594号	1983	1994	上川農試	「永系7361」×「道北5号」	早生の晩、耐冷性強、多収、大粒、良質、良食味
たんねもち	上育糯381号	水稲北海道もち第32号第593号	1983	1997	上川農試	「道北22号」×「道北糯18号」	早生の晩、良質、強稈、多収
ゆきひかり	空育114号	水稲北海道うち第33号第936号	1984		中央農試	(「北海230号」×「巴まさり」) F ₁ ×「空育99号」	良質、良食味、障害型耐冷性強、耐倒伏性中、登熟性やや劣る
空 育 125 号	空育125号	水稲北海道うち第34号第1796号	1987	1999	中央農試	「空育109号」×「キタヒカリ」	早生の晩、良質・良食味、いもち耐病性強、障害型耐冷性強、登熟性良、耐倒伏性がやや劣る
上 育 393 号	上育393号	水稲北海道うち第35号第1797号	1987	1999	上川農試	「キタヒカリ」×「永系7659」	早の中、良質、良食味、障害型耐冷性強、耐倒伏性がやや劣る、登熟性やや劣る
上 育 394 号	上育394号	水稲北海道うち第36号第1798号	1987	1997	上川農試	「渡育214号」×「道北36号」	晩の中、良食味、腹白が出やすい
はやまさり	上育395号	水稲北海道うち第37号第2150号	1988	1997	上川農試	「永系75169」×「永系76251」	早の早、苗立性やや良、直播栽培向、割粉やや多
きらら 397	上育397号	水稲北海道うち第38号第2151号	1988		上川農試	「渡育214号」(しまひかり)×「道北36号」	中の早、良食味、初期生育良、穂数確保が容易、耐倒伏性やや弱、登熟性やや劣る
はくちょうもち	北見糯80号	水稲北海道もち第39号第2449号	1989		北見農試	「上育糯381号」(たんねもち)×「おんねもち」	早の中、障害型耐冷性強、登熟性良、割粉や紅変米の発生少、収量やや劣る、いもち耐病性やや劣る
ハヤカゼ*	道北47号	水稲北海道うち第40号水稲農林303号第2868号	1990	1997	上川農試	「北育74号」×「道北36号」	早の早、良食味、登熟性良、乳白粒の発生がやや多い
ほ の か 224	渡育224号	水稲北海道うち第41号第3046号	1990	2003	道南農試	(「渡育214号」×「空育110号」)×「空育114号」	晩生の早、良質、良食味、登熟性良、初期の分けつ性がやや劣る
彩 *	道北52号	水稲北海道うち第42号水稲農林309号第3283号	1991	2009	上川農試	「永系84271」×「キタアケ」	中の晩、粘りが強く良食味、アミロース含有量が低く加工適性が優れる、いもち耐病性弱、やや少収、玄米品質やや劣る
ゆきまる	空育139号	水稲北海道うち第43号第4530号	1993	2006	中央農試	「上育397号」×「空育125号」	早の中、良食味、出穂の変動が大きい、やや低収
きたいぶき*	上育413号	水稲北海道うち第44号水稲農林318号第5365号	1993	2002	上川農試	「上育395号」×「上育397号」	早の早、苗立性良、直播栽培向、登熟がやや遅い、耐倒伏性がやや劣る
風の子もち*	上育417号	水稲北海道もち第45号水稲農林333号第6023号	1995		上川農試	「上系85201」×「北育糯80号」	中の早、良質、多収、耐冷性強、登熟日数が長い、いもち耐病性が不十分、初期分けつが劣る
あきほ	空育150号	水稲北海道うち第46号第7646号	1996	2007	中央農試	「上育394号」×「空育133号」	中生の早、良質、良食味、耐冷性強、いもち耐病性が不十分、割粉の発生が少ない
ほしのゆめ*	上育418号	水稲北海道うち第47号水稲農林340号第7645号	1996		上川農試	(「あきたこまち」×「道北48号」)×「上育397号」	中生の早、良食味、障害型耐冷性が強い、初期分けつが旺盛、耐倒伏性、いもち耐病性が不十分で割粉の発生が多い
初 雫 *	北海278号	水稲北海道うち第48号水稲農林354号第7815号	1998	2006	北農試	(「マツマエ」×「上116」)×「北海258号」	中生の早、酒造好適米、多収、千粒重が高い、耐冷性が強、品質はやや劣、製成酒の官能評価は端麗で辛口
はなぶさ*	北海280号	水稲北海道うち第49号水稲農林355号第9785号	1998	2005	北農試	「道北53号」×「キタアケ」	中生の早、粘りが強く良食味、低アミロースで米菓等での加工適性が優れる
吟 風	空育158号	水稲北海道うち第50号第9789号	2000		中央農試	(「八反錦2号」×「上育404号」)×「きらら397」	中生の早、酒造好適米、心白の発現が高い、千粒重が高い、いもち耐病性が強い、耐冷性がやや劣る、もちの溶解性が良く、作業性良好
ほしたろう*	上育427号	水稲北海道うち第51号水稲農林368号第11231号	2000	2007	上川農試	「上育418号」×「空育150号」	中生の早、良食味、「ほしのゆめ」より多収、穂数確保が容易、割れ粉の発生が多く、いもち耐病性および耐倒伏性が不十分
ななつぼし	空育163号	水稲北海道うち第52号第12272号	2001		中央農試	(「ひとめぼれ」×「空系90242 A」)×「空育150号」	中生の早、良食味、耐冷性が強い、収量性やや高い、いもち耐病性が不十分
あやひめ*	上育433号	水稲北海道うち第53号水稲農林376号第12825号	2001		上川農試	「AC90300」×「キタアケ」	中生の早、低アミロースで粘りが強く良食味である。玄米白度、白米白度が高く、「はなぶさ」より多収である。割粉の発生がやや多く、やや小粒である。
大地の星*	上育438号	水稲北海道うち第54号水稲農林391号第13876号	2003		上川農試	「空育151号」×「上育418号」	早生の中、冷凍ピラフに適し、多収である。耐冷性が強く、いもち耐病性がある。玄米等級がやや劣り、登熟日数が長く、炊飯米として食味が劣る。

草 型	茎		穂						玄 米			品 質	食 味	搗 精 歩 合	栽 培 適 地
	長短	強弱	長短	粒着 密度	稈色	稈先色	芒の 有無	芒の 長短	形状	大小	色 沢				
穂数型	短	や剛	や長	や密	黄白	黄白	極稀	極短	や長	や大	や濃紺	上の中	や良	91.0	道央部、道南北部、上川・留萌の中南部の平坦地
穂数型	短	中	短	中	黄白	黄白	極稀	極短	や円	中	淡紺	上の下	中～や良	—	網走、十勝、上川北部、留萌中北部および類似の早生種の作付地帯
穂数型	中	や強	中	や密	黄白	黄白	無	—	中	や小	や淡紺	上下	中上	90.3	渡島中南部、檜山南部
偏穂数型	や短	剛	中	や密	黄白	黄白	無	—	中	中	や淡紺	上中	中下	90.5	空知、石狩、後志、胆振、日高および上川中央部の良地帯ならびに渡島、檜山北部
偏穂数型	や短	や剛	中	や密	黄白	黄白	無	—	中	中	や淡紺	上中	中下	90.7	空知、石狩、後志、胆振、日高、上川、留萌および渡島、檜山北部
穂数型	短	や剛	短	中	黄白	黄白	稀	極短	中	や大	や淡紺	上下	中下	90.7	上川、留萌、網走、十勝、空知、石狩、後志、胆振、日高および渡島、檜山の北部
偏穂数型	や短	剛	や長	や密	黄白	黄白	少	極短	中	中	白	上下上	上下	90.6	上川、留萌、網走、十勝、空知、石狩、後志、胆振、日高および檜山、渡島北部
偏穂数型	や短	や柔	中	や疎	黄白	黄白	中	短	中	中	や淡紺	上中	中中	90.9	空知、石狩、後志、胆振、日高、渡島、檜山および上川と留萌の中南部
偏穂数型	中	や剛	や長	や密	黄褐	黄褐	極短	短	中	中	や淡	上下上	中中	90.9	空知、石狩、胆振、日高、後志、上川（土別以南）、留萌中南部と渡島及び檜山北部
偏穂数型	や短	や剛	短	や密	黄白	黄白	無	—	や長	中	中	上中上	中下	90.8	上川、網走、十勝、留萌、空知、石狩、後志、胆振、日高支庁管内及び渡島、檜山北部
偏穂数型	や短	中	や短	密	黄白	黄白	無	—	や円	中	淡	中上上	中上	90.4	渡島南部、檜山南部及び西胆振
穂数型	短	や剛	や長	中	黄白	黄白	無	—	や長	中	中	上下上	中下	90.9	上川、空知支庁管内の良地帯
穂数型	や短	中	や長	中	黄白	黄白	稀	短	や長	や大	や淡	上中下	中上	90.8	石狩、空知、後志、日高、上川中南部、留萌中南部、檜山北部、渡島北部及びこれらに準ずる地帯
偏穂数型	中	や剛	中	中	黄白	黄白	少	極短	中	や少	白	上下	上下	90.8	網走、十勝、留萌北部、上川北部の全域、留萌中南部、上川中南部、空知、石狩、後志、檜山北部、渡島北部、の山間地帯及びこれらに準ずる地帯
穂数型	短	や剛	短	中	黄白	黄白	無	—	中	中	や淡	上下	中下	90.4	網走、上川北部及びこれらに準ずる地帯
偏穂数型	中	剛	や長	や疎	黄白	黄白	稀	短	や長	中	や淡	上中下	中上	90.7	渡島南部、檜山南部及びこれらに準ずる良地帯
穂数型	短	や柔	短	や疎	黄白	黄白	中	短	中	や大	や淡	上下	上下	90.6	空知北部の良地帯でももち病発生が少なく「ユーカー」の栽培実績のある地帯
穂数型	短	や剛	短	や疎	黄白	黄白	中	短	や長	中	や淡	上下上	中上	91.2	網走、上川、留萌、空知、石狩、後志、胆振、日高、渡島及び檜山の北部地帯
穂数型	短	中	短	中	黄白	黄白	稀	極短	や長	中	や淡	上下上	中中	90.7	上川（中南部）、留萌（中南部）、石狩、空知、後志、胆振、日高、渡島、檜山の各支庁管内の良地帯
偏穂数型	短	や剛	や長	中	黄白	黄白	少	短	中	中	白	上下上	上下	90.8	上川（土別以南）、空知、石狩、渡島各支庁管内及びこれらに準ずる良地帯
穂数型	中	中	中	中	黄白	黄白～黄	稀	短	や細長	中	や淡	上下	中上	90.0	上川（土別以南）、留萌（中南部）、空知、石狩、後志、日高、胆振、渡島および檜山各支庁管内およびこれに準ずる地帯
穂数型	や短	や柔	や短	中	黄白	黄白～黄	少	短	や細長	中	や淡	上下	上下	—	上川（土別以南）、留萌（中南部）、空知、石狩、後志、日高、胆振、渡島および檜山各支庁管内
中間型	中	中	や短	や密	黄白	黄白～黄	稀	極短	や細長	や大	や濃	中上	中中	90.1	上川（土別以南）、留萌（中南部）、空知、石狩、後志、日高、胆振、渡島および檜山各支庁管内の低タンパク米生産が可能な良地帯
偏穂数型	や短	中	中	中	黄白	黄白～黄	稀	短	中	中	や濃	中上	上下	—	上川（土別以南）、留萌（中南部）、空知、石狩、後志、日高、胆振、渡島および檜山各支庁管内およびこれに準ずる良地帯
中間型	や短	剛	中	中	黄白	黄白～黄	稀	短	中	や大	中	上下	中下	91.1	留萌南部、上川中央部、空知中北部の低タンパク米安定生産が可能な良地帯およびこれに準ずる良地帯
穂数型	や短	中	や短	中	黄白	黄白～黄	稀	短	や細長	や大	や淡	上下	上下	—	上川（土別以南）、留萌（中南部）、空知、石狩、後志、日高、胆振、渡島および檜山各支庁管内
偏穂数型	や短	や剛	や短	中	黄白	黄白～黄	少	短	や細長	中	や淡	上下	上下	90.8	上川（中南部）、留萌（中南部）、空知、石狩、後志、日高、胆振、渡島および檜山各支庁管内
偏穂数型	や短	中	中	や密	黄白	黄白～黄	稀	短	中	や小	中	上下	上下	—	上川（土別以南）、留萌（中南部）、空知、石狩、後志、日高、胆振、渡島および檜山各支庁管内
偏穂数型	中	中	や短	中	黄白	黄白～黄	稀	短	や細長	や大	や淡	中上	中中	—	上川（土別以南）、留萌（中南部）、空知、石狩、後志、日高、胆振、渡島および檜山各支庁管内

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主 要 特 性
ふっくりんこ	渡育240号	水稲北海道うるち第55号 第13868号	2003		道 南 農 試	「空系90242B」× 「上育418号」(ほしのゆめ)	晩生の早、良質・良食味、いもち耐病性やや弱、障害型耐冷性強
おぼろづき*	北海292号	水稲北海道うるち第56号 水稲農林389号 第14033号	2005		北農研センター	空育150号(あきほ) ×95晩37(北海287号)	中生の早、炊飯米粘り強く良食味、収量性低い
ほしまる*	上育445号	水稲北海道うるち第57号 水稲農林420号 第18350号	2006		上 川 農 試 グリーンバイオ 研 究 所	「上育428号」×「空 育159号」	早生の早、良食味、直播栽培可能な熟期、障害型耐冷性が強く、多収
彗 星	空育酒170号	水稲北海道うるち第58号 第14300号	2006		中 央 農 試	「北海278号」(初雫) ×「空育158号」(吟風)	中生の早、千粒重が重く多収、穂ばらみ期耐冷性強、蛋白質含有率が低い
しろくまもち*	上育糯451号	水稲北海道うるち第59号 水稲農林糯427号 第19268号	2007	2013	上 川 農 試	「北海糯290号」× 「上育438号」(大地の星)	早生の中、高硬化性、良食味、いもち病圃場抵抗性やや弱～中、穂ばらみ期耐冷性極強
ゆめぴりか*	上育453号	水稲北海道うるち第60号 水稲農林 号 第20613号	2008		上 川 農 試	「札系96118」(北海 287号)×「上育427号」 (ほしたろう)	中生の早、アミロース含有率が適度に低く極良食味、割れ粉の発生がやや少ない、いもち病圃場抵抗性やや弱～中、穂ばらみ期耐冷性やや強～強
きたゆきもち*	上育糯450号	水稲北海道うるち第61号 水稲農林糯434号 第20874号	2009		上 川 農 試	(「北海糯286号」× 「上育糯425号」)× 「風の子もち」	早生の晩、良質、白度が高い、穂ばらみ期耐冷性極強
きたくりん	空育172号	水稲北海道うるち第62号 第 号	2012		中 央 農 試	(「ふ系187号」×「空 育162号」)×「渡育240 号」(ふっくりんこ)	中生の中、いもち病抵抗性「やや強～強」、割れ少ない、良食味
きたふくもち*	上育糯464号	水稲北海道うるち第63号 水稲農林糯 号 第 号	2013		上 川 農 試	上系糯04240×上育 糯451号(しろくま もち)	早生の中、硬化性高くもち質優れる、収量やや多い、障害型耐冷性極強

2 大 麦

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主 要 特 性
春 星	6号	大麦北海道春第1号	1971 (1953)	1975	北 見 農 試	「ハルピン2条」× 「ボヘミヤ8号」	2角直立種、子実は殻皮やや厚し、醸造用に適する
ほしまさり	訓系16号	大麦北海道春第2号	1972	1993	北 見 農 試	「春星」×「女系8号」	大粒、良質で極めて多収、醸造用に適する
りょうふう	北育19号	大麦北海道春第4号 第2154号	1989		北 見 農 試	「新田二条1号」× 「北育15号」	短稈、耐倒伏性強、原麦疎蛋白質含量が低い、醸造品質が優れる、大麦網斑病にやや弱い

3 裸 麦

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主 要 特 性
マリモハダカ	北海春裸13号	裸麦北海道春第1号	1971 (1966)	1999	北 見 農 試	「サナダ麦」×「北統 3号」	強稈、良質、耐病性強、多収、多条播適応性大

4 ラ イ 麦

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主 要 特 性
ベトクーザ		ライ麦北海道輸第1号	1971 (1939)	2007	ド イ ツ	導入品種	長稈、多けつ、耐倒伏、良質、多収、耐寒性、赤さび病や赤かび病にやや弱い

5 小 麦

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主 要 特 性
ハルヒカリ*	北見春2号	小麦北海道春第1号 小麦農林104号	1971 (1965)	1996	北 見 農 試	(「Mida」×「Pilot」) ×「春播小麦農林75 号」	各種さび病に強く、品質はすこぶる良い
ハルミノリ*	北見春17号	小麦北海道春第2号 小麦農林111号	1971 (1969)	1981	北 見 農 試	「硬質小麦農林42号」 ×「北育1号」	さび病以外の病害には比較的強く、安定多収である

草 型	茎		穂						玄 米			品 質	食 味	搗 精 歩 合	栽 培 適 地
	長短	強弱	長短	粒着 密度	稈色	稈先色	芒の 有無	芒の 長短	形状	大小	色 沢				
穂数型	中	中	や長	や疎	黄白	黄白	少	短	や長	や大	や淡	中上	上下	91.0	檜山南部、渡島中・南部及びこれに準ずる地帯
穂数	や短	中	中	や疎	黄白	黄白	稀	短	や長	や大	中	中上	上下	91.0	上川（土別以南）、留萌（中南部）、空知、石狩、後志、日高、胆振、渡島および檜山各支庁管内
穂数型	や短	や剛	中	や疎	黄白	黄白 黄	稀	極短	や細長	や大	や淡	上下	上下		網走、上川、留萌、空知、石狩、後志、日高、胆振、渡島および檜山各支庁管内
中間型	や短	剛	や短	中	黄白	黄白 黄	少	短	中	や大	や淡	上下	中下	90.3	上川（土別市以南）、留萌（中南部）、空知、石狩、後志、日高、胆振、渡島および檜山各支庁管内の低蛋白質米安定生産が可能な良地帯
穂数型	短	中～ やや強	短	中	黄白	黄白	稀	極短	中	やや小	淡	中上	上下	90.2	網走、上川、留萌、空知、後志、渡島各支庁管内およびこれに準ずる地帯
穂数型	やや短	やや弱	やや短	中	黄白	黄白	稀	短	やや 長細	やや大	中	中上	上中	90.1	上川（名寄市風連町以南）、留萌（中南部）、空知、石狩、後志、胆振、日高、渡島および檜山各支庁管内
偏穂数型	短	やや強	中	や疎	黄白	黄白	稀	極短	や長	や大	や淡	中上	上下	91.1	網走、上川、留萌、空知、後志、渡島、十勝各支庁管内およびこれに準ずる地帯
穂数	や短	中	やや短	中	黄白	黄白	稀	短	やや 長細	やや大	や淡	中上	上下	90.6	北空知(雨竜町、北竜町、沼田町を除く)、中空知(上砂川町、歌志内市を除く)、南空知(岩見沢市、三笠市、美瑛市、月形町)、後志(共和町、岩内町)、胆振(豊浦町、洞爺湖町、壮瞥町、伊達市)、渡島(森町、八雲町八雲を除く)、檜山およびこれに準ずる良地帯
穂数	短	や剛	短	中	黄白	褐	極短	稀	中	中	白	中上	上下	90.5	オホーツク、上川、留萌、空知、後志、渡島、十勝各振興局管内およびこれに準ずる地帯

幼苗の色	穂の			芒の			子実の		耐 倒 伏 性	栽 培 適 地
	型	粒着密度	下垂度	有無	長短	色	大小	色		
濃緑	二条矢羽根型	や密	や垂	多	長	黄	大	黄白	や弱	全道の二条大麦を栽培している地域
濃緑	二条矢羽根型	や密	中	多	長	黄	大	黄白	や弱	全道の二条大麦を栽培している地域
やや濃	二条矢羽根型	や密	中	多	長	淡黄	やや大	黄白	や強	北海道の二条大麦(子実用)の作付け地帯

穂の		芒の			子実の		耐倒伏性	栽 培 適 地
型	粒着密度	有無	長短	色	大小	色		
6条 (4角)	疎	多	長	黄	中	飴	強	網走、上川

稈の強弱	穂型	芒の		粒の		製粉歩合 (%)	越冬歩合 (%)	栽 培 適 地
		長短	多少	大小	色			
強	短大	長	多	大	灰青緑	91.4	92.0	全道一円に適する

叢性	株の開閉	穂の		芒の有無 多 少	葯色	稈色	粒の			粒質	製粉性	耐病性		耐 倒 伏 性	栽 培 適 地
		型	粒着 密度				形	大小	色			赤さび 病	うどん こ病		
	閉	錐状	粗	長多	—	(白)	中	大	赤	硝子	(や良)	や強	中	中	全道栽培可能、硬質小麦としての特性上主に網走、上川
	中	錐状	粗	長多	—	(白)	中	大	赤	硝子	(や良)	中	中～ や強	中	網走、上川およびこれに準ずる地域

品種名	系統名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来歴	主要特性
ホクエイ	本系331	小麦北海道秋第3号	1971 (1954)	1978	北見農試	「赤錆不知1号」×「東北67号」	耐寒、耐病性強く安定、粉質劣る、多収
改良伊達早生		小麦北海道秋第4号	1971 (1957)	1975	渡島支場	伊達町広瀬弘夫氏栽培の「伊達早生小麦」から選抜	極早生、短稈、耐倒伏耐病性強、間作に適する。耐冬性劣る
ムカコムギ*	北見11号	小麦北海道秋第5号 小麦農林108号	1971 (1968)	1984	北見農試	「Kanred」×「ナンブコムギ」×「北成9号」	黒目粒発生少、原粒性状・小麦粉性状ともにすぐれ、やや多収
イービス	(IBIS)	小麦北海道秋第6号	1971 (1970)	1987	北見農試	オランダより導入	晩生、耐倒伏性極強、耐冬性弱、アミロ粘度高い
ホロシリコムギ*	北見23号	小麦北海道秋第7号 小麦農林114号	1974	2013	北見農試	「北系8」×「北240号」	短強稈、耐倒伏性強、穂重型、多収、多肥密植で増収
タクネコムギ*	北見30号	小麦北海道秋第8号 小麦農林115号	1974	2013	北見農試	「東北118号」×「北系221」	早生、短稈、耐倒伏性強、粒の外見品質良、アミロ粘度高い
チホクコムギ*	北見42号	小麦北海道秋第9号 小麦農林126号 第337号	1981	2006	北見農試	「北見18号」×「北見19号」×「北系320」	良質、多収
ハルユタカ*	北見春47号	小麦北海道春第10号 小麦農林130号 第1385号	1985		北見農試	「(Siete Cerros×Pal.1)×(Tob8156(R)×ハルヒカリ)」	短強稈、多収
タイセツコムギ*	北見61号	小麦北海道秋第11号 小麦農林136号 第3107号	1990	2007	北見農試	「北系920」×「北見42号」	めんの色相が良、製麺適性優れる、耐雪性やや優れる、多収、耐倒伏性やや劣る、赤かび病抵抗性やや弱
春のあけぼの*	北見春53号	小麦北海道秋第12号 小麦農林139号 第4417号	1993	2001	北見農試	「北見春31号」×「北見春30号」×「北見春34号」	耐穂発芽性、製パン適性、外観品質が優れる、収量やや劣る、うどんこ病抵抗性やや劣る
ホクシン*	北見66号	小麦北海道秋第13号 小麦農林142号 第4949号	1994	2013	北見農試	「北見35号」×「北見42号」	やや早生、耐雪性、うどんこ病抵抗性やや強、耐穂発芽性やや優れる、製粉性、製めん適性優れる
きたもえ*	北見72号	小麦北海道秋第14号 小麦農林149号 第11237号	2000		北見農試	「59045」×「北系1354」	コムギ縮萎縮病抵抗性、耐雪性やや強。穂発芽性が優れる。粉色、めん色優れる。粘弾性やや劣る。
はるひので*	北見春59号	小麦北海道秋第15号 小麦農林150号 第11238号	2000	2005	北見農試	「北系春575」×「北系春533」	赤かび病抵抗性、耐倒伏性が優れる。多収で製パン性がやや優れる。うどんこ病抵抗性が劣り、製粉性がやや劣る。
春よ恋	HW1号	小麦北海道春第16号 第8834号	2000		ホクレン農業協同組合連合会	「ハルユタカ」/「Stoa」薬培養を利用した半数体育種法	多収でうどんこ病、赤かび病抵抗性、製パン性が優れる。耐倒伏性、製粉性がやや劣る。
キタノカオリ*	北海257号	小麦北海道秋第17号 小麦農林158号 第11095号	2003		北農研	「ホロシリコムギ」/「Gk-Szemes」	赤さび病、うどんこ病抵抗性、耐倒伏性、製パン性が優れる。コムギ縮萎縮病抵抗性が劣る。収量性がやや劣る。
きたほなみ*	北見81号	小麦北海道秋第18号 小麦農林168号 第18438号	2006		北見農試	「北見72号」/「北系1660」	灰分が低く、製粉性に優れる。粉色およびゆでうどんの色が優れ、製めん適性に優れる。多収である。
はるきらり*	北見春67号	小麦北海道春第19号 小麦農林169号 第19304号	2007		北見農試	「C9304」/「Katepwa」/「春のあけぼの」	穂発芽性が“難”である。かび毒デオキシニパレンール汚染が少ない。多収で、千粒重が大きい。製パン性が優れる。粗蛋白質含量がやや少ない。成熟期がやや遅い。
ゆめちから*	北海261号	小麦北海道秋第20号 小麦農林172号 第20751号	2009		北農研センター	「札系159」/「KS831957」/「月系9509」	コムギ縮萎縮病抵抗性が優れる。超強力小麦で、ブレンド適性が優れる。耐雪性が“中”である。
きたさちほ*	北見83号	小麦北海道秋第21号 小麦農林174号 第 号	2011		北見農試	「北系1731」/「北見72号」	コムギ縮萎縮病抵抗性が「きたもえ」並に優れる。ゆでうどんの粘弾性が優れ、製めん適性に優れる。容積重が大きい。
つるさち*	北見85号	小麦北海道秋第22号 小麦農林175号 第 号	2012		北見農試	「北海257号」/「97067」	低アミロ耐性が「キタノカオリ」より優れる。中華めん適性が「キタノカオリ」並に優れる。コムギ縮萎縮病抵抗性に優れる。

6 えん麦

品種名	系統名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来歴	主要特性
前進	(原名) オンワード	えん麦北海道輪第1号	1971 (1942)	2007	北海道農試	—	早熟、草丈やや低く、強稈、穂は長く中間型過熟になると穂首から折れ易い、稈率は高く、多収
ホナミ*	本系68号	えん麦北海道第2号 えん麦農林2号	1971 (1959)	1987	北海道農試	「黒実」×「ビクトリー1号」	草丈低く強稈、稈率は「前進」より少ない
オホーツク*	北海1号	えん麦北海道第3号 えん麦農林3号	1971 (1966)	1998	北海道農試	「ホナミ」×「前進」	やや晩生、散穂、強稈、耐倒伏性強
モイワ*	北海7号	えん麦北海道第4号 えん麦農林4号	1973	1987	北海道農試	「S84×Milford」×「前進」	散穂、やや早生、やや短稈、多収良質
アキユタカ*	北海21号	えん麦北海道第5号 えん麦農林5号 第135号	1980	2007	北海道農試	「カータースラスタ」×「ニュートン」	初期伸長性がすぐれ、秋播緑肥用として生草及び乾物収量多い
アキワセ*	北海44号	えん麦北海道第7号 えん麦農林6号 第2334号	1990	2011	北海道農試	「本系989号」×「Paramo」	極早生、多収、耐倒伏性強、冠さび病弱、牧草との同伴適性が優れる

叢性	株の開閉	穂の		芒の有無 多	薬色	稔色	粒の			粒質	製粉性	耐病性		耐倒伏性	栽培適地
		型	粒着密度				形	大小	色			赤さび病	うどんこ病		
中間	閉	錐状	粗	無	—	褐	短	大	赤	中間	—	強	中	中	十勝、網走支庁管内の肥沃地
直立	閉	紡錐状	中	無	—	黄白	中	大	赤	中間	—	や強	—	強	道南地方の限定
中間	閉	錐状	粗	短頂芒	—	褐	中	大	赤	中間	(や良)	や強	中	中	道南の極早生地帯を除く全道、とくに網走・十勝
匍匐	閉	棒状	密	無		白	短	大	赤	粉状~中間	(や良)	中	や強	極強	斜里郡、網走郡(美幌、津別を除く)網走市南網走、その他冬枯少地帯
直立	閉	棒状	密	無	黄	黄	中		黄褐	中間	中	中	や強	強	道南の極早生地帯を除く全道、とくに肥沃地
中間	や開	棒状	中	無	黄	褐	短	大	赤	硝子	中	中	中	や強	早生品種として全道、とくに道央以南
直立	閉	棍棒状	密	無	黄	淡黄	や円	や大	黄褐	粉状	中	(極強)	(中)	強	十勝、網走管内
	閉	棒状	や密	多	黄	黄	中	や大	赤褐	硝子	良	強	強	強	全道の春播小麦栽培地帯
直立	閉	棒状	密	無	黄	淡黄	中	や大	黄褐	粉状	や高	(極強)	や強	や強	道央・道北の上川支庁管内の雪腐病の危険が比較的少ない地帯
	閉	紡錐状	や密	多長	紫	黄	中	大	赤褐	硝子	中	強	や強	強	道央中部・北部及び道北地域
直立	閉	棒状	密	無	黄	淡黄	中	や大	黄褐	粉状	中	(強)	や強	強	全道
直立	閉	棒状	密	無	黄	淡黄	中	や大	黄褐	粉状	やや高	や弱	や強	強	全道のコムギ縞萎縮病発生地帯
	閉	紡錐状	や密	多長	紫	黄	中	かなり大	赤褐	硝子	やや高	中	や弱	強	全道
	閉	紡錐状	や密	多長	黄	黄	長	大	赤褐	硝子	中	や強	強	中	全道
直立	かなり閉	棒状	密	無	黄	淡黄	中	大	褐	硝子	中	かなり強	強	強	全道
直立	閉	棒状	密	無	黄	淡黄	中	や大	黄褐	粉状	高	や強	や強	強	全道
	閉	紡錐状	や密	多	紫	黄	中	かなり大	赤褐	硝子	やや高	強	中	や強	全道
中	や閉	棒状	密	多	黄	赤褐	中	大	褐	硝子	やや高	強	や強	強	全道
直立	や閉	棒状	密	無	黄	淡黄	中	や大	黄褐	粉状	やや高	や弱	や強	強	全道のコムギ縞萎縮病発生地帯
直立	かなり閉	棒状	密	無	黄	淡黄	中	大	褐	硝子	中	や強	強	かなり強	全道

幼苗の			稈		芒の有 無長短	穂の		粒の		耐倒伏性	栽培適地
姿勢	葉色	葉幅	細太	剛柔		型	粒着密度	大小	色		
直立	や濃緑	中	や太	強	多長	中間	密	中	淡灰	強	全道一円
直立	濃緑	中	中	強	少中	散穂	密	中	淡黄白	強	さび病多発地帯を除く、全道一円
直立	濃緑	中	中	剛	中長	散穂	密	中	淡黄	強	宗谷、留萌、根釧のほか道内の倒伏頻発地帯
直立	緑	中	中	中	無	散穂	や密	中	淡黄	中	全道一円
直立	緑	中	中	中	少中	散	中	中	淡黄白	中	秋季の緑肥用、全道一円
直立	濃緑	中	細	中	極少中	散穂	中	中	淡黄	強	全道一円

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来歴	主要特性
ヒダカ*	北海47号	えん麦北海道第6号 えん麦農林7号 第3106号	1990	1998	北海道農試	「本系776号×Flam ande」(F ₁)×「本系4 34号×Sang」(F ₁)	中生, 多収, 耐倒伏性強, 冠さび病 抵抗性弱

7 大 豆

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来歴	主要特性
吉岡大粒	本第2065号	大豆北海道第1号	1971 (1914)	1981	北海道農事試	在来種, 別名「大袖 振」	枝豆用, 食味佳良, 扁球, 大粒, 黄 緑色粒, 臍黒色
中生光黒	十支第963号	大豆北海道第2号	1971 (1933)	2010	十勝支場	在来種(本別町産) 1993年「中粒光黒」 と命名, 1935年「中 生光黒」と改名	中生の晩, 煮豆用, 食味佳良, 淡褐 毛, 白花, 大粒, 黒色粒, 多収
白鶴の子	渡支第1939号	大豆北海道第3号	1971 (1934)	1996	渡島支場	「鶴の子」在来種か ら純系分離	長稈, 極晩生, 白日極大粒の良質品 種
奥原1号	十育51号	大豆北海道第4号	1971 (1940)	1984	十勝支場	「奥原大豆」より純 系分離	早生種, 耐冷性強, マメシンクイガ 被害多, 褐毛, 赤紫花, 黄白色中粒
早生緑	北支第4014号	大豆北海道第5号	1971 (1954)	1999	北見支場	在来種(天塩産)か ら系統選抜	早生種の晩, 枝豆用, 食味佳良, 白 花, 着莢密, 淡黄緑色, 大粒, 臍黒 色
坂本早生	大野在来-B	大豆北海道第6号	1971 (1954)	1981	渡島支場	在来種(大野村, 坂 本重太郎氏栽培)	極早生, 極短稈の鞍掛け(淡黄色地 に黒色斑)種で, 食味良好な枝豆用 品種
北見白	系50-A	大豆北海道第7号	1971 (1956)	2002	北見支場	「十勝長葉」×「大谷 地2号」	中生種, 耐冷性強, 強莖, 多収, 褐 毛, 赤紫花, 黄白色中粒, 臍暗褐色
イスズ	系83-B	大豆北海道第8号	1971 (1957)	1981	北見支場	「十勝長葉」×「大谷 地2号」	中生種の早, 耐冷性強, 強莖, 長莖, 褐毛, 赤紫花, やや黄白粒
ホッカイハダカ*	十育77号	大豆北海道第9号	1971 (1958)	1975	十勝支場	「十勝長葉」×「中生 裸」	中生種, 黄色, 小粒, マメシンクイ ガ被害小, 良質
カリカチ*	十育87号	大豆北海道第10号	1971 (1959)	1975	十勝支場	「十勝長葉」×「上春 別在来」	中生種, 黄色, 中粒, 耐冷性強
コガネジロ*	十育95号	大豆北海道第11号 大豆農林23号	1971 (1961)	1984	十勝支場	「紫花4号」×「十勝 長葉」	晩生種の早, 強莖, 多収, 半無限型, 長莖, 白毛, 黄色小粒, 臍黄色
アサミドリ	大袖振-1	大豆北海道第12号	1971 (1962)	1981	十勝支場	在来種(帯広市産)	中生種, 枝豆用, 多収, 長莖, 赤紫 花, 褐毛, 淡黄緑大粒, 臍黒色
ワセコガネ*	十育97号	大豆北海道第13号 大豆農林33号	1971 (1964)	1984	十勝農試	「紫花4号」×「十勝 長葉」	早生種の晩, 機械化栽培向, 強莖, 半無限型, 主莖型, 密植適応性大
オシロママ*	札育12号	大豆北海道第14号 大豆農林34号	1971 (1964)	1975	北海道農試	「十勝長葉」×「黄宝 珠」	長莖(無限伸育型)で円葉の極晩生 種, 白日中粒の良質多収品種
ホウライ*	十育109号	大豆北海道第15号 大豆農林37号	1971 (1965)	1978	十勝農試	「下田不知1号」× 「十育71号」	晩生種, ダイズシストセンチュウ抵 抗性, 長莖, 分枝数多, 白日中粒
トヨスズ*	十育118号	大豆北海道第16号 大豆農林43号	1971 (1966)	1993	十勝農試	「下田不知1号」× 「十支第7910号」	中生種の晩, ダイズシストセンチュ ウ抵抗性強, 短強莖, 白日大粒, 良 質
キタムスメ*	十育112号	大豆北海道第17号 大豆農林49号	1971 (1968)		十勝農試	「カリカチ」×「北見 白」	中生種, 耐冷性強, 多収, 中莖, 褐 毛, 赤紫花, 黄白色中粒, 臍暗褐色
ユウヅル*	中育3号	大豆北海道第18号 大豆農林55号	1971		中央農試	「鶴の子」在来種か ら系統分離	やや長莖で円葉の晩生種, 白日極大 粒(鶴の子種)の良質多収品種
白千石	十育63号	大豆北海道第19号	1971 (1954)	1975	十勝支場	「裸大豆」×「早生黒 千石」	晩生種, 黄色, 小粒, 青刈用
茶小粒	本第2429号	大豆北海道第20号	1971 (1926)	1984	北海道農事試	在来種	極晩生種, 緑肥および青刈飼料用, 莖葉の繁茂旺盛で生草収量多い
ヒメユタカ*	十育161号	大豆北海道第21号 大豆農林61号	1976	1987	十勝農試	「十育129号」×「カ リカチ」	中生種, 中莖, 枯上良, 赤紫花, 白 毛, 白色大粒, 白日, 多収
キタコマチ*	十育167号	大豆北海道第22号 大豆農林64号	1978	1993	十勝農試	「十育129号」×「ト ヨスズ」	早生種, 短強莖, 分枝数小, 草姿は 「トヨスズ」に類似し, 白日中粒
ユウヒメ*	中育8号	大豆北海道第23号 大豆農林68号	1979	1996	中央農試	「奥原1号」×「木造 在来」	中生種, 白日, 極大粒の良質, 多収 品種
キタホマレ*	十育171号	大豆北海道第24号 大豆農林70号 第200号	1980	2002	十勝農試	「十育114号」×「カ リカチ」	中生種の晩, 耐冷性強, 多収, 中粒 種(秋田銘柄), 臍暗褐色
スズヒメ*	十育182号	大豆北海道第25号 大豆農林71号 第199号	1980	2002	十勝農試	「P184751」×「コガ ネジロ」	中生の早, 白日中粒, 強莖, 圃場 では裂莢難, ダイズシストセンチュ ウ抵抗性極強, 納豆加工適性

幼苗の			稈		芒の有	穂の		粒の		耐倒伏性	栽培適地
姿勢	葉色	葉幅	細太	剛柔	無長短	型	粒着密度	大小	色		
直立	濃緑	中	太	中	極少短	散穂	密	中	淡黄	強	全道一円

子葉の色	胚軸色	草姿	葉形	毛茸		花色	熟莖色	粒の				栽培適地
				有無	色			形	大小	色	臍部の色	
黄	緑	や開張	円葉	有	淡褐	白	褐	扁球	大	黒光沢強	黒	子実用としては気象冷涼な地方に適し、枝豆用としては全道各地の栽培に適する
黄	緑	有限	円葉	有	白	白	淡褐	扁球	極大	黄白	濃黄	道央以北
黄	緑	有限	円葉	有	白	白	淡褐	扁球	極大	黄白	濃黄	道南（渡島、檜山）に適する限定優良品種
黄	紫	や開張	円葉	有	褐	赤紫	暗褐	球	中	黄白	暗褐	道東部および北部の初霜が早く、生育期間の短い地帯の栽培に適する
黄	緑	開張	円葉	有	褐	白	褐	扁球	大	淡黄緑	黒	道北、道東における子実用として「吉岡大粒」に比べて安全に収穫できる。枝豆用としては全道各地に適する
黄	緑	有限	円	有	褐	赤紫	淡褐	扁楕円球	中	淡緑地に黒のクラカケ斑	黒	早生であるため適地の範囲は広いが、都市近郊あるいは道南地方の蔬菜地帯に栽培する
黄	紫	開張	円葉	有	褐	赤紫	褐	球	中	黄白	暗黒	上川の北部、十勝、網走支庁管内等の道東、道北地帯および道央の山麓地帯
黄	紫	直立	長葉	無	褐	赤紫	褐	球	小	や黄	褐	道東、道北地帯の冷害に遭遇しやすい地方、および降霜の早い地方、道央の山麓地帯で前者に類似の地帯
黄	紫	直	長楕円	有	—	紫	褐	球	小	黄	黒褐	十勝内陸地帯
黄	紫	直	楕円	有	褐	紫	褐	球	中	黄	黒褐	道南および極端な冷涼地を除いた全道一円
黄	紫	直立	長葉	有	白	赤紫	淡褐	球	小	黄光沢強	黄	「北見白」の栽培されている十勝、上川南部の中晩生種地帯
黄	紫	や開張	円葉	有	褐	赤紫	褐	扁球	大	淡黄緑	黒	子実用は道東地帯、枝豆用は全道各地
黄	紫	直立	円葉	有	白	赤紫	淡褐	球	小	黄光沢強	黄	十勝の山麓、沿海、網走のオホーツク沿海とそれに類似の早生種地帯
黄	緑	無限伸育型	円	有	白	白	淡褐	球	中	黄	黄	道央部以南（石狩南部、後志、渡島、檜山）
黄	紫	開張	円葉	有	白	赤紫	淡褐	や扁球	中	黄白	黄	全道のシストセンチウの被害が認められる中晩生種地帯
黄	紫	直立	円葉	有	白	赤紫	淡褐	や扁球	大	黄白	黄	十勝、網走のダイズシストセンチウの被害地帯、とくに中央部で倒伏する地帯
黄	紫	や開張	円葉	有	褐	赤紫	褐	球	中	黄白	暗褐	十勝・上川および網走中央部
黄	緑	有限伸育型	円	有	白	白	褐	や扁球	極大	黄白	濃黄	石狩、空知の中南部、後志南西部、胆振、日高、渡島、檜山の各地
黄	紫	直	小楕円	有	褐	紫	褐	球	小	黄	褐	十勝地方および類似の地帯の青刈用
黄	紫	開張	円葉	有	褐	赤紫	黒褐	扁球	極小	褐	褐	緑肥および青刈用飼料用としては全道各地の栽培に適する。採種栽培は道南地方に限定される
黄	紫	や開張	円葉	有	白	赤紫	淡褐	球	大	黄白	黄	十勝、網走、上川中南部とこれに類似の地帯、十勝中央部は除く
黄	紫	直立	円葉	有	白	赤紫	淡褐	や扁球	中	黄白	黄	上川および収穫、乾燥時の天候がこれに類似する地帯
黄	紫	や開張	円	有	白	紫	淡褐	球	極大	黄白	黄	空知支庁以南、石狩、胆振、日高支庁
黄	緑	直立	円葉	有	褐	白	褐	や扁球	大の小	黄白	暗褐	道央中部（空知中部以南、石狩、後志、ただし羊蹄山麓は除く）ならびに道央南部（胆振、日高）地域
黄	紫	直立	長葉	有	白	赤紫	淡褐	や扁球	小の中	黄	黄～極淡褐	十勝中部およびこれに類似の地域に適する

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登 録 年	廃 止 年	育 成 場 所	来 歴	主 要 特 性
コ マ ム ス メ *	中育9号	大豆北海道第26号 大豆農林78号 第343号	1982	1993	中 央 農 試	「オシマシロメ」× 「十交3612」	晩生種、白目、大粒の多収品種
ツ ル コ ガ ネ *	中育14号	大豆北海道第27号 大豆農林79号 第895号	1984	1999	中 央 農 試	「中育1号」×「黄宝 珠」	中生の晩、大粒、極淡褐目、ダイズ わい化病抵抗性
ト カ チ ク ロ *	十育184号	大豆北海道第28号 大豆農林80号 第896号	1984	2012	十 勝 農 試	「十育122号(キタム スメ)」×「中生光黒」	中生種、安定多収、黒大豆(光黒銘 柄)
ト ヨ ム ス メ *	十育191号	大豆北海道第29号 大豆農林81号 第1216号	1985		十 勝 農 試	「十系463号」×「ト ヨスズ」	中生、ダイズシストセンチウおよび 黒根病抵抗性、短強茎、白目中～ 大粒
ス ズ マ ル *	中育19号	大豆北海道第30号 だいち農林89号 第2043号	1988		中 央 農 試	「十育153号」×「納 豆小粒」	中生、白目小粒、耐倒伏性、納豆加 工適性良、ダイズシストセンチウ 抵抗性弱、ダイズわい化病抵抗性弱
ト ヨ コ マ チ *	十育205号	大豆北海道第31号 だいち農林90号 第2042号	1988		十 勝 農 試	「樺太1号」×「トヨ スズ」	中生の早、白目中～大粒、良質、ダイ ズシストセンチウ抵抗性強、低温 抵抗性強、着色粒発生少、黒根病 抵抗性弱、ダイズわい化病抵抗性弱
ツ ル ム ス メ *	中育24号	大豆北海道第32号 だいち農林94号 第2876号	1990		中 央 農 試	「中系67号」×「中育 12号」	中生、白目極大粒、良質、ダイズわ い化病抵抗性やや強、耐倒伏性強、 ダイズシストセンチウ抵抗性弱、 萎疫病弱
カ リ ユ タ カ *	十育214号	大豆北海道第33号 だいち農林95号 第3293号	1991	2005	十 勝 農 試	「ヒメユタカ」× 「Clark Dt2」	中生、難裂莢性、白目中粒、良質、 ダイズ黒根病抵抗性強、ダイズシ ストセンチウ・わい化病・萎疫病抵 抗性弱
音 更 大 袖	音更大袖	大豆準北海道第1号	1991		(十勝農試)	「大袖振」在来種か らの系統選抜	中生、あお豆、多収良質、ダイズシ ストセンチウ・わい化病抵抗性弱
大 袖 の 舞 *	十育216号	大豆北海道第34号 だいち農林98号 第4116号	1992		十 勝 農 試	「十育186号」×「ト ヨスズ」	中生、あお豆、白目大粒、多収良質、 耐倒伏性強、黒根病抵抗性強、ダイ ズシストセンチウ抵抗性強、ダイ ズわい化病抵抗性弱
ト ヨ ホ マ レ *	十育220号	大豆北海道第35号 だいち農林99号 第5131号	1994		十 勝 農 試	「キタホマレ」×「十 育206号」	中生、白目良質、安定多収、着色・ 裂皮少、耐倒伏性強、ダイズシ ストセンチウ抵抗性弱、ダイズわい 化病抵抗性弱
い わ い く ろ *	中育39号	大豆北海道第36号 だいち農林107号 第9796号	1998		中 央 農 試	「晩生光黒」×「中育 21号」	中生、極大粒黒大豆、裂皮中、耐倒伏 性中、ダイズシストセンチウ抵抗性 弱、ダイズわい化病抵抗性やや強
ハ ヤ ヒ カ リ *	十育227号	大豆北海道第37号 だいち農林108号 第9797号	1998		十 勝 農 試	「十系679号」×「キ タホマレ」	中生の早、褐目中粒良質、耐冷性強、 耐倒伏性強、難裂莢、難裂皮、密植 多収、ダイズシストセンチウ抵抗 性弱、ダイズわい化病抵抗性弱
ユ キ ホ マ レ *	十育233号	大豆北海道第38号 だいち農林118号 第12279号	2001		十 勝 農 試	「十系783号」×「十 系780号」	中生の早、白目中粒良質、耐冷性強、 耐倒伏性強、難裂莢、臍周辺着色抵 抗性強、ダイズシストセンチウ抵 抗性強、ダイズわい化病抵抗性弱
ユ キ シ ズ カ *	十育234号	大豆北海道第39号 だいち農林124号 第13193号	2002		十 勝 農 試	「吉林15号」×「スズ ヒメ」	中生の早、白目小粒、納豆加工適性 良、耐倒伏性強、耐冷性強、ダイ ズシストセンチウ抵抗性強、ダイ ズわい化病抵抗性中
ト ヨ ハ ル カ *	十育237号	大豆北海道第40号 だいち農林131号 第16458号	2005		十 勝 農 試	「十系793号」×「十 交6225F8」	中生、白目大粒、臍および臍周辺着 色抵抗性、耐冷性強、ダイズシ ストセンチウ抵抗性強、密植および コンバイン収穫適性が高い
ゆ き び り か *	十育241号	大豆北海道第41号 だいち農林133号 第19475号	2006		十 勝 農 試	「十系793号」×「十 系817号」	中生の早、白目中粒、臍および臍周 辺着色抵抗性、耐冷性強、ダイ ズシストセンチウ抵抗性強、インフ ラボン含量が高い
タ マ フ ク ラ *	中育52号	大豆北海道第42号 だいち農林136号 第19350号	2007		中 央 農 試	「新丹波黒」×「ツル ムスメ」	晩生、白目極大粒(百粒重60g以上)
ユ キ ホ マ レ R*	十育247号	大豆北海道第43号 だいち農林140号 第21207号	2010		十 勝 農 試	「十育233号」/「十 系871号」/「十育233 号」/「ユキホマレ」 ///「ユキホマレ」	ダイズシストセンチウ抵抗性極強
ゆ め の つ る *	中育60号	大豆北海道第44号 だいち農林142号 第22047号	2011		中 央 農 試	中交0708-2(F ₆)×十 系885号	白目極大粒の晩生種。多収、裂皮少、 煮豆適性良、ダイズシストセンチウ 抵抗性強、ダイズわい化病抵抗性中
と よ み づ き *	十育249号	大豆北海道第45号 だいち農林144号 第 号	2012		十 勝 農 試	「十系930号」×「十 育233号」	中生の早、白目中粒、耐冷性強、臍 周辺着色抵抗性強、ダイズシスト センチウ抵抗性強、裂開粒の発生が 少ない、豆腐加工適性に優れる
つ ぶ ら く ろ *	中育63号	大豆北海道第46号 だいち農林143号 第 号	2012		中 央 農 試	「中系371号」×「十 系885号」	晩生、極大粒黒豆、ダイズシストセ ンチウ抵抗性強

8 小 豆

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登 録 年	廃 止 年	育 成 場 所	来 歴	主 要 特 性
早 生 大 納 言	本第98号	小豆北海道第1号	1971 (1914)	1975	北 農 試 本 場	在来種	晩生種、熟莢は淡褐色、子実は暗赤 色、粒形はやや不整であるが大粒
茶 殻 早 生	本第2336号	小豆北海道第2号	1971 (1914)	1990	北 農 試 本 場	在来種(十勝産)	極早生種、草丈低く、葉は円形、熟 莢は褐色、子実は赤色で小粒である
早 生 大 粒 1 号	十育5号	小豆北海道第3号	1971 (1930)	1981	十 勝 支 場	純系淘汰(「早生大 粒」より)	中生種、草丈中位で葉は円形、熟莢 は灰白色、子実は大粒で濃赤色
円 葉 1 号	十育42号	小豆北海道第4号	1971 (1937)	1975	十 勝 支 場	「円葉」の純系淘汰	中生種、熟莢は黒褐色、子実は赤色、 中粒、品質良好

子葉の色	胚軸色	草姿	葉形	毛茸		花色	熟莢色	粒の				栽培適地
				有無	色			形	大小	色	臍部の色	
黄	紫	や開張	円	有	白	紫	淡褐	扁球	大の中	黄白	黄	渡島, 檜山支庁
黄	緑	や開張	円	有	白	白	淡褐	球	大	黄白	極淡褐	日高, 胆振, 檜山北部, 渡島北部
黄	紫	直立	円葉	有	褐	紫	褐	扁球	大	黒	黒	十勝地方, ただし中部の沖積地帯と山麓沿海部のうち特に気象条件の不良の地帯を除く
黄	紫	直立	円葉	有	白	紫	淡褐	扁球	大の小	黄白	黄	十勝およびこれに類似の地帯
黄	紫	直立	長葉	有	白	紫	淡褐	球	小	黄	黄	道央中・南部, 羊蹄山麓
黄	紫	直立	円葉	有	白	紫	淡褐	扁球	中の大	黄白	黄	道央中・北部, 十勝, 網走内陸, 沿海
黄	緑	直立	円葉	有	白	白	淡褐	球	極大	黄白	黄	道央中・南部, 羊蹄山麓, 道南
黄	紫	直立	円葉	有	白	紫	淡褐	球	中の大	黄白	黄	十勝, 道央, 網走内陸
黄	紫	や開張	円葉	有	褐	紫	褐	扁球	大の小	緑	暗褐	十勝, 道央, 網走内陸
黄	緑	や開張	円葉	有	白	白	淡褐	球	大の小	緑	黄	十勝, 網走
黄	緑	直立	円葉	有	白	白	淡褐	球	中の大	黄白	黄	網走, 十勝 (山麓, 沿海), 道央 (北部・中部の一部)
黄	緑	直立	円葉	有	褐	白	褐	扁球	極大の小	黒	黒	道央, 道南, 十勝
黄	緑	直立	円葉	有	褐	白	褐	球	中	黄白	褐	十勝 (中央部を除く), 網走, 上川, 留萌
黄	紫	直立	円葉	有	白	紫	淡褐	球	中の大	黄白	黄	道央, 上川, 網走, 十勝
黄	紫	直立	長葉	有	白	紫	淡褐	球	小	黄	黄	道央, 上川, 網走, 十勝
黄	紫	直立	円葉	有	白	紫	淡褐	球	大の小	黄白	黄	道央, 上川南部, 十勝中部
黄	紫	直立	円葉	有	白	紫	淡褐	球	中の大	黄白	黄	道央, 上川, 網走, 十勝
黄	緑	直立	円葉	有	褐	白	淡褐	球	極大の大	黄白	黄	渡島南部, 檜山北部, 檜山南部
黄	紫	直立	円葉	有	白	紫	淡褐	球	中の大	黄白	黄	道央, 上川, 網走, 十勝のうち「ユキホマレ」等のダイズシストセンチュウレース3抵抗性品種に線虫被害が発生している地域
黄	緑	直立	円葉	有	白	白	淡褐	球	極大の小	黄白	黄	道南
黄	紫	直立	円葉	有	白	紫	淡褐	球	中の大	黄白	黄	道央, 上川, 網走, 十勝
黄	緑	直立	円葉	有	褐	白	褐	扁球	極大の小	黒	黒	渡島南部, 檜山北部, 檜山南部

初葉の色	莖色	葉形	毛茸の形	花色	熟莢の		粒の			栽培適地
					形	色	形	大小	色	
緑	緑	円葉	鋭	黄	太く長い	淡褐	短円筒	大	暗赤	南部温暖地帯
緑	緑	円葉	鈍	黄	長, 中太 や湾曲	褐	円筒	や小	赤	道東, 道北などにおいて極早生種を必要とする地帯に適する
緑	緑	円葉	鈍	黄	短, 太 や湾曲	極淡褐	烏帽子	大	濃赤	本道中央部以北および以東に適する
緑	緑	円葉	鋭	黄	長太	黒褐	円筒	中	赤	道中央部

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
宝 小 豆	小豆W45	小豆北海道第 5 号	1971 (1959)	1993	十 勝 支 場	保存品種の比較試験により選出	中生種、草丈中位で葉は円形、熟莢は褐色、子実は赤色で小粒
光 小 豆	十育7号	小豆北海道第 6 号	1971 (1964)	1975	十 勝 農 試	「茶殻早生」×「早生大粒1号」	中生種、草丈はやや高く葉は円形、熟莢は淡褐色、子実小粒でやや淡赤色
暁 大 納 言	十育62号	小豆北海道第 7 号	1971 (1970)	1984	十 勝 農 試	「能登小豆」×「早生大粒1号」	熟期は中生の晩、草丈はやや高く葉は円形、熟莢は灰白色で子実は大粒
寿 小 豆	中育1号	小豆北海道第 8 号	1971	2001	中 央 農 試	「能登小豆」×「早生大粒1号」	中生種、草丈はやや高く分枝は少ない、葉はやや剣、子実は中粒で赤色
栄 小 豆	十育70号	小豆北海道第 9 号	1973	1987	十 勝 農 試	「3407」×「早生大粒1号」	中生種、草丈高く草勢は強、葉は円形、熟莢は褐色、子実は小粒で赤色
アカネダイナゴン*	十育69号	小豆北海道第10号 あずき農林1号	1974		十 勝 農 試	「能登小豆」×「早生大粒1号」	中生種、草丈は中位、葉は円形、熟莢は灰白、子実大粒で濃赤色
ハヤテショウズ*	十育85号	小豆北海道第11号 あずき農林2号	1976	1996	十 勝 農 試	「宝小豆」×「斑小粒系-1」	早生種、草丈やや低く葉は円形で、熟莢は褐色、子実はやや濃赤で小粒
ホ ッ カ イ シロショウズ*	十育73号	小豆北海道第12号 あずき農林3号	1979	2009	十 勝 農 試	「川西(白小豆)」×「茶殻早生」	中生の晩、莖長やや低く、莢数はやや多、熟莢は白色でやや太い、子実は短円、黄白色で大きさは中
エリモショウズ*	十育97号	小豆北海道第13号 あずき農林4号 第340号	1981		十 勝 農 試	「寿小豆」×「十育77号」	中生の早、莖長やや低く、莢数はやや多、子実は大きき中、やや長円筒形で淡赤色、粒揃いよく良質、多収
ハツネショウズ*	十育116号	小豆北海道第14号 あずき農林6号 第1212号	1985	1999	十 勝 農 試	「ハヤテショウズ」×「赤豆」	中生の早、アズキ落葉病抵抗性、子実は短円筒、やや濃赤で大きき中の小
サハロショウズ*	十育120号	小豆北海道第15号 あずき農林7号 第2339号	1989		十 勝 農 試	「アカネダイナゴン」×「中国在来1」	早生、耐冷性強、多収、良質
カムダイナゴン*	十育122号	小豆北海道第16号 あずき農林8号 第2340号	1989	1999	十 勝 農 試	「十育106号」×「十系207号」	中生の晩、極大粒多収、ウイルス抵抗性強、耐倒伏性弱
アケノワセ*	十育124号	小豆北海道第17号 あずき農林9号 第4112号	1992	2001	十 勝 農 試	「十系276号」×「能登小豆」	早生、落葉病・茎疫病抵抗性、やや低収
きたのおとめ*	十育127号	小豆北海道第18号 あずき農林10号 第4950号	1994		十 勝 農 試	「エリモショウズ」×「2025(F ₃)」	中生の早、落葉病・萎凋病抵抗性、耐倒伏性弱
ほくと大納言*	十育133号	小豆北海道第19号 あずき農林11号 第7694号	1996	2012	十 勝 農 試	「十育113号」×「十育80号」	中生の晩、極大粒、良質、加工適性良
しゅまり*	十育140号	小豆北海道第20号 あずき農林12号 第11098号	2000		十 勝 農 試	「十系494号」×「十系486号」	中生の早、落葉病・茎疫病・萎凋病抵抗性、加工適性良、開花期頃の耐冷性弱
とよみ大納言*	十育143号	小豆北海道第21号 あずき農林13号 第12192号	2001		十 勝 農 試	「92089(F ₃)」×「十系564号」	中生の晩、極大粒、良質、落葉病・萎凋病抵抗性、耐冷性弱
きたはたる*	十育146号	小豆北海道第22号 あずき農林15号 第14408号	2004		十 勝 農 試	「93142(F ₃)」×「十系590号」	中生の晩、白、良質、加工適性良、落葉病・茎疫病・萎凋病抵抗性、耐冷性弱、出芽劣。
きたろまん*	十育147号	小豆北海道第23号 あずき農林16号 第16296号	2005		十 勝 農 試	「十育137号」×「十育138号」	早の晩、落葉病、茎疫病(レース1)、萎凋病抵抗性、耐冷性やや強、多収
ほまれ大納言*	十育154号	小豆北海道第24号 あずき農林17号 第19421号	2008		十 勝 農 試	「十系701号」×「十系697号」	中の晩、落葉病、茎疫病(レース1、3)、萎凋病抵抗性、耐冷性中、大納言規格内収量多。
きたあすか*	十育155号	小豆北海道第25号 あずき農林18号 第21548号	2010		十 勝 農 試	「十育137号」×「十育140号」	中生、落葉病、茎疫病(レース1、3)、萎凋病抵抗性、多収、大粒、明るい粒色

9 菜 豆

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
金 時	本第2850号	菜豆北海道第 1 号	1971 (1905)	1984	北海道農事試	品種比較(明治年間「朝鮮紅豆」という名前前で栽培されていた。)	中生の早、矮性、軟莢種、良質
大 福	本第6599号	菜豆北海道第 2 号	1971 (1905)	1993	北海道農事試	在来種	晩生のつる性硬莢種、高級菜豆として食味が良く多収、子実の色は白
大 手 亡	十支第455号	菜豆北海道第 3 号	1971 (1927)	1984	十 勝 支 場	在来種	中生、半蔓性、硬莢種、子実は白色小粒、播種期、早晩による収量影響少な
丸 長 鶉	本第11840号	菜豆北海道第 4 号	1971 (1939)	1981	北海道農事試	在来種(北見産)	開花期は7月中旬、成熟期は9月上旬で長鶉類中最も早い極早生種
虎 豆	本第11304号	菜豆北海道第 5 号	1971 (1939)	1987	北海道農事試	米国産、在来種(道南)	晩生のつる性半硬莢種、良質で菜豆品種中最も食味が良い

初葉の色	莖色	葉形	毛茸の形	花色	熟莢の		粒の			栽培適地
					形	色	形	大小	色	
緑	緑	円葉	鈍	黄	長, 中太 や湾曲	褐	円筒	小	赤	道東, 道北および道央南部に適する
緑	緑	円葉	鈍	黄	長, 中太 や湾曲	淡褐	や烏帽子	や小	や淡赤	全道一円, 特に冷涼な地帯は除く
緑	緑	円葉	鈍	黄	短, 太 や湾曲	極淡褐	烏帽子	大	濃赤	道央, 道南部
緑	緑	円葉・葉縁 くびれ	鈍	黄	長, や太 や湾曲	褐	円筒	中	赤	道央, 道東北
緑	緑	円葉	鈍	黄	長, 中太 や湾曲	褐	円筒	小	赤	十勝, 上川の中南部, 冷涼な地帯は さける
緑	緑	円葉	鈍	黄	短, 太 や湾曲	極淡褐	烏帽子	大	濃赤	十勝中央部, 上川中南部, 道央, 道 南
緑	緑	円葉	鈍	黄	や細, 長先端 や湾曲	褐	短円筒	や小	や濃赤	十勝, 網走, 上川
緑	緑	円葉	鈍	黄	や太や短	極淡褐	短円筒	中	黄白	道央, 道南の気象条件のよい地帯
緑	緑	円葉	鈍	黄	長, 中太 や湾曲	褐	や長円筒	中	淡赤	十勝中央, 道央, 道南
緑	緑	円葉	鈍	黄	や短	褐	短円筒	中の小	や濃赤	十勝中央部およびこれに類似の地帯 で落葉病の常発地
緑	緑	円葉	鈍	黄	中, 太 や湾曲	褐	円筒	中の大	赤	十勝山麓・沿海, 網走, 道北, 道央 北部, 道央羊蹄山麓
緑	緑	円葉	鈍	黄	中, 太 や湾曲	極淡褐	円筒	極大	濃赤	道南, 道央南部
緑	緑	円葉	鈍	黄	中, 中太 や湾曲	極淡褐	円筒	中の小	赤	十勝山麓・沿海, 網走, 道央北部, 道央羊蹄山麓, 道北の一部
緑	緑	円葉	鈍	黄	中, 中太 や湾曲	褐	円筒	中の小	淡赤	十勝中部, 道央中・南部, 道南
緑	緑	円葉	鈍	黄	中, 太	極淡褐	円筒	極大	淡赤	道央, 道南の大納言品種栽培地帯
緑	緑	やや円葉 剣先	鈍	黄	中, 中太	褐	円筒	中	淡赤	道央, 道北, 道南の中生種栽培地帯 で落葉病, 茎疫病, 萎凋病発生地帯 及びこれに準ずる地帯
緑	緑	円葉	鈍	黄	中, 太	極淡褐	短円筒	極大	淡赤	道央, 道北, 道南及び十勝の大納言 品種栽培地帯
緑	緑	円葉	鈍	黄	中, 中太	極淡褐	短円筒	中の小	黄白	道東の早生種栽培地帯を除く小豆栽 培地帯
緑	緑	円葉	鈍	黄	中,	褐	短円筒	中の大	淡赤	道東の早生～中生種栽培地帯及びこ れに準ずる地帯
緑	緑	円葉	鈍	黄	大,	褐	短円筒	大	赤	道北, 道央, 道南の大納言小豆栽培 地帯
緑	緑	円葉	鈍	黄	中の大	褐	短円筒	中の大	淡赤	道央以南の早生種地帯を除くあず き栽培地帯及びこれに準ずる地帯

草性	幼莖の色	花色	莢色		莢の硬軟	粒の			栽培適地
			若莢	熟莢		形	大小	色	
矮性	淡赤紫	淡紅	淡緑	淡黄	軟	楕円	中	赤紫	根室, 釧路, 宗谷等の寒冷地帯を除 く全道, 莢煮食用としては全道
つる性	緑	白	淡緑, まれに 淡紅飛沫斑	淡褐		扁平じん臓 形	大	白	本道中部の温暖地帯および南部の地 帯
半蔓	緑	白	暗緑, 成熟前 に暗紫色	淡黄褐	硬	短楕円臍部 がやや突起 する	小	白	寒冷地を除く全道一円
矮性	淡緑	淡紅	淡緑地に鮮紅 色の条斑	淡黄褐地に斑紋 の痕跡	硬	や扁平な長 楕円	中	淡肉色地に 赤紫色の斑	全道に適するが, 特に北部の極冷涼 な地帯
つる性	淡緑	微紅色 を帯び た白色	淡緑	淡黄白	半硬	や長い球	大	白色地に臍 部周囲のみ 黄褐色の紫 赤斑	本道中部の温暖な地帯および南部地 帯

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来歴	主要特性
大 正 金 時	十支第8390号	菜豆北海道第6号	1971 (1957)		十 勝 支 場	純系分離（幕別村の中村豊語，1935年「金時」より選出）	開花期は7月中旬，成熟期は9月上旬～中旬で早生の矮性硬莢種
大 正 白 金 時	十支第9007号	菜豆北海道第7号	1971 (1960)	1981	十 勝 支 場	純系分離（帯広市大正町の道端貞雄，1951年「大正金時」より選出）	開花期は7月中旬，成熟期は9月上旬の早生矮性硬莢種で炭そ病に強い
改 良 大 手 亡	十支第3848号 大手亡（清水）	菜豆北海道第8号	1971 (1961)	1975	十 勝 支 場	在来種（清水町産）より選抜	開花期は7月下旬，成熟期は9月上旬の半蔓性硬莢の晩生種
改 良 中 長	十支第9010号 中長鶉	菜豆北海道第9号	1971 (1961)	1975	十 勝 支 場	純系分離（音更町の国分某，1947年「中長鶉」より選出）	開花期は7月下旬，成熟期は9月上旬の中生の早に属する半蔓性硬莢種
新 金 時	十育B-1号	菜豆北海道第10号	1971 (1964)	1975	十 勝 農 試	「紅金時」×「大正金時」	開花期は7月上旬，成熟期は9月上旬の早生矮性良質多収品種
昭 和 金 時	十育B-11号	菜豆北海道第11号	1971 (1966)	1978	十 勝 農 試	「紅金時」×「大正金時」	開花期は7月中旬，成熟期は9月中旬で矮性硬莢の中生種
北 原 紅 長	十支第9839号 紅長2号	菜豆北海道第12号	1971 (1966)	1975	十 勝 農 試	幕別村の北原政雄育成「常富長鶉」×「大正金時」の自然交雑	開花期は7月中旬，成熟期は9月上旬の早生，矮性硬莢種
大 正 大 手 亡	十支第514号 大正大手亡	菜豆北海道第13号	1971 (1969)	1975	十 勝 農 試	帯広市幸福町（大正村）の桑原俊一，1955年選抜	開花期は7月中旬，成熟期は9月中旬半蔓性硬莢種の中生種
十 勝 白 金 時	十育E-6号	菜豆北海道第14号	1971 (1970)	1978	十 勝 農 試	「大正白金時」×「白丸鶉」	開花期は7月中旬，成熟期は9月中旬の半蔓性硬莢の中生種
銀 手 亡	十育A-22号	菜豆北海道第15号	1971	1987	十 勝 農 試	「大手亡（網走）」×「大手亡（清水）」	開花期は7月下旬，成熟期は9月中旬の半蔓性硬莢の中生種
福 粒 中 長	十育D-7号	菜豆北海道第16号	1972		十 勝 農 試	「大正金時」×「改良中長」	開花期は7月中旬，成熟期9月上旬の半蔓性の中生種
福 白 金 時	十育E-10号	菜豆北海道第17号	1973		十 勝 農 試	「十育B-11号」×「5823-C-B-4」	開花期7月下旬，成熟期9月上旬の早生矮性硬莢種
姫 手 亡	十育A-29号	菜豆北海道第18号	1976		十 勝 農 試	「十育A-19号」×「Improved White Navy」	開花期は7月下旬，成熟期9月上旬の叢性硬莢の中生種
改 良 虎 豆	中育A-29号	菜豆北海道第19号	1977	1999	中 央 農 試	虎豆在来種（洞爺村産）より純系分離	晩生，つる性，半硬莢種「虎豆」より着莢数多く多収，食味良好
北 海 金 時	十育B-32号	菜豆北海道第20号 第198号	1979		十 勝 農 試	「昭和金時」×「a-37（F）」	開花期は7月中旬，成熟期は9月上旬～中旬の早生，矮性，硬莢種，大粒，多収
改 良 早 生 大 福	中育F1号	菜豆北海道第21号	1980	1999	中 央 農 試	大福在来種（北見市豊地産）より純系分離	中生の晩，つる性，硬莢種，甘納豆，煮豆に適する
丹 頂 金 時	十育B-50号	菜豆北海道第22号 第1508号	1986	1996	十 勝 農 試	「十育B-30号」×「大正金時（多節）」	開花期は7月中旬，成熟期は9月上旬～中旬の早生，矮性硬莢種，大粒，多収
福 虎 豆	中育T26号	菜豆北海道第23号 第2573号	1989		中 央 農 試	「虎豆（端野系）」×「虎豆」	晩生の早，つる性の半硬莢種，加工適性良，食味良
雪 手 亡	十育A52号	菜豆北海道第25号 第4713号	1992		十 勝 農 試	「十育A40号」×「82 HW・B1F1」	中生，半蔓性，多収良質，インゲン炭そ病抵抗性強
洞 爺 大 福	中育F12号	菜豆北海道第24号 第4175号	1992		中 央 農 試	「中交5407F2」×「大福」	早生の晩，つる性，硬莢種，甘納豆，煮豆に適する
福 勝	十育B62号	菜豆北海道第26号 第5070号	1994		十 勝 農 試	「大正金時」×「福白金時」	早生，矮性，多収良質，硬莢種
福 う ず ら	十育D10号	菜豆北海道第27号 第10367号	1999		十 勝 農 試	「十系D5号」×「十系B158号」	早生の晩，矮性硬莢種，多収，大粒
福 良 金 時	十育B67号	菜豆北海道第28号 第12833号	2002		十 勝 農 試	「十育B62号（福勝）」×「十系B203号」	かなり早生，矮性硬莢種，多収，大粒
絹 て ぼ う	十育A56号	菜豆北海道第29号 第15127号	2004		十 勝 農 試	「十系A216号」×「十系A212号」	中生，叢性硬莢種，大粒良質，インゲン炭そ病抵抗性強
福 寿 金 時	十育B78号	菜豆北海道第30号 第21798号	2010		十 勝 農 試	「福勝」*7×「大福」	早生，多収，大粒，インゲン黄化病抵抗性極強

10 花 豆

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来歴	主要特性
大 白 花	中育M5号	花豆北海道第1号	1976		中 央 農 試	白花豆（杜鰈町産）より系統分離	晩生のつる性花豆，子実は白色で極めて大きく，多収で良質

草性	幼茎の色	花色	莢色		莢の硬軟	粒の			栽培適地
			若莢	熟莢		形	大小	色	
矮性	淡赤紫	淡緑、成熟前に淡紅色の斑紋	淡緑、成熟前に淡紅色の斑紋	淡黄白	硬	楕円	や大	淡赤紫	特に冷涼な地帯を除く全道
矮性	緑	白	淡緑	淡黄白	硬	や長楕円	や大	白に極く淡い鉛色網斑	特に冷涼な地帯を除く全道
半蔓性	緑	白	淡緑、成熟前に暗紫色となる	淡黄褐	硬	短楕円	小	白	上川、空知の菜豆栽培地帯および十勝、網走の山麓を除く畑作地帯
半蔓性	淡緑	紅	淡緑地に紫赤色の斑紋	淡褐地に斑紋の痕跡	硬	短円筒	中	淡褐地に紫赤色の斑紋	特に冷涼な地帯を除く全道
矮性	極淡赤紫	淡紅	緑	黄白	硬	や長楕円	や大	紅	特に冷涼な地帯を除く全道
矮性	淡赤紫	淡紅	緑	黄白	硬	長楕円	や大	や暗紅	十勝、網走の中央部および上川の無霜期間のやや長い地帯
矮性	淡赤紫	淡紅	や濃緑	黄白	硬	腎臓	や大	淡赤紫	特に冷涼な地帯を除く全道
半蔓性	緑	白	淡緑、成熟前に暗紫色となる	淡黄褐	硬	短楕円	小	白	十勝、網走などの道東畑作地帯
半蔓性	緑	白	淡緑	淡黄白	硬	や長楕円	や大	白に極く淡い鉛色網斑	十勝、網走、上川の無霜期間のやや長い地帯
半蔓性	緑	白	淡緑	淡黄褐	硬	楕円	小	白	十勝、網走、上川などの畑作地帯
半蔓性	淡緑	紅	淡緑地に紫赤色斑紋	淡黄褐地に斑紋の痕跡	硬	や長楕円	や大	淡褐地に紫赤色斑紋	特に冷涼な地帯を除く全道
矮性	緑	白	淡緑	淡黄白	硬	や長楕円	や小	白に極く淡い鉛色斑紋	十勝、網走、上川などの菜豆栽培地帯
叢性	緑	白	淡緑、成熟前に暗紫色となる	淡黄褐	硬	楕円	小	白	十勝、上川、網走などの畑作地帯
つる性	淡緑	帯微紅の白	淡緑	淡黄白	半硬	や長球形	大	白地に臍部の周りに淡肉色地に赤褐色の斑紋	胆振地方を中心とした道央部
矮性	淡赤紫	淡赤紫	緑	黄白	硬	や長楕円	大	赤紫	十勝、網走、上川地方の畑作地帯
つる性	緑	白	淡緑地に微細な紫紐斑	淡褐	硬	扁平じん臓形	中	白	根釧、道北地域を除く全道一円
矮性	淡赤紫	淡赤紫	緑	黄白	硬	長楕円体	や大	赤紫	十勝、網走、上川支庁管内
つる性	緑	微紅色を帯びた白色	淡緑	淡黄白	半硬	短楕円	中の大	白地に臍部の周りに淡肉色地に赤褐色斑紋	道内の虎豆栽培地帯
叢性	緑	白	淡緑地に赤紫斑紋	淡黄白	硬	楕円	小	白	北海道一円
つる性	緑	白	淡緑	淡褐	硬	腎臓形	中の大	白	北海道一円
矮性	淡赤紫	淡赤紫	緑	黄白	硬	楕円体	大	赤紫	北海道一円
矮性	赤紫	赤紫	緑色地に赤紫斑紋	淡黄褐地に斑紋の痕跡	硬	楕円体	中の大	褐色地に濃赤色紫斑紋	北海道一円
矮性	淡赤紫	淡赤紫	緑	黄白	硬	楕円体	大	赤紫	北海道一円
叢性	緑	白	淡緑、成熟前に赤紫色となる	淡黄褐	硬	楕円体	やや小	白	道東の特に冷涼な地帯を除く全道
矮性	淡赤紫	淡赤紫	緑	黄白	硬	楕円体	大	赤紫	北海道一円

草性	幼茎の色	花色	莢色		莢の硬軟	粒の			栽培適地
			若莢	熟莢		形	大小	色	
つる性	緑	白	緑	褐	硬	腎臓形	中	白	胆振地方を中心とした道央部および北見周辺の畑作地帯

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
白 花 っ 娘	中育M52号	花豆北海道第2号 第14409号	2004		中 央 農 試	大白花のγ線照射突然変異より選抜	晩生のつる性花豆、子実は白色で「大白花」より粒大が大きく、5分上収量が高く良質

11 えん豆

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
改 良 青 手 無	札幌青手無 1号-40	えん豆北海道第1号	1971 (1958)	1993	十 勝 支 場	「札幌青手無1号」からの純系分離	緑色大粒、良質、多収、半蔓性、晩生
小 緑	十育14号	えん豆北海道第2号	1971 (1965)	1984	十 勝 農 試	「アラスカ」×「グリーンピース」	緑色小粒、良質、多収、矮性、晩生、缶詰用
大 緑	北育37号	えん豆北海道第3号	1975		北 見 農 試	「十育11号」×「6202(F ₁)」	緑色大粒、良質、多収、半蔓性、晩生
北 海 赤 花	北育B-2号	えん豆北海道第4号	1978		北 見 農 試	「十育16号」×「在来種赤えんどう(中札内)」	褐色中粒、多収、矮性、晩生
豊 緑	北育43号	えん豆北海道第5号 第1022号	1986 (1985)	1999	北 見 農 試	「北育36号」×「改良青手無」	緑色大粒、多収、良質、矮性、晩生

12 ばれいしょ

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
男 爵 薯		ばれいしょ北海道輸第1号	1971 (1928)		ア メ リ カ	「Early Rose」の芽条変異?	早生種、粒ぞろいよく、いも着は密、食味良、各種調理に使用可能
メ ー ク イ ン		ばれいしょ北海道輸第2号	1971 (1928)		イ ギ リ ス	不明	中生種、いもは長卵形で肉色は黄、越冬後甘味を増す、生食用
紅 丸	本育309号	ばれいしょ北海道第3号	1971 (1938)		北海道農事試	「Lembke Fruhe Rosen」×「ペポー」	晩生種、極多収、いも着密、皮色紅、いも扁卵形、でんぷん原料用
ばれいしょ農林1号*	島系12号	ばれいしょ北海道第4号 ばれいしょ農林1号	1971 (1943)		北海道農事試	「男爵薯」×「Deodara」	中晩生種、多収、食味やや良、食用及びでんぷん原料用
ニ セ コ *	北海15号	ばれいしょ北海道第5号 ばれいしょ農林9号	1971 (1959)	1975	北海道農試	「農林1号」×「ミラピリス」	晩生種、いもは鮮紅色、でん粉価は高いが過湿に弱い
ユ キ ジ ロ *	北海30号	ばれいしょ北海道第6号 ばれいしょ農林13号	1971 (1961)	1996	北海道農試	「ケネベック」×「農林2号」	中晩生種、疫病に強く多収、調理後黒変少ない
エ ニ ワ *	北海22号	ばれいしょ北海道第7号 ばれいしょ農林12号	1971 (1961)		北海道農試	「島系267号」×「島系232号」	中晩生種で疫病に強い、多収ででん粉価が高い
ホ ッ カ イ ア カ *	北海41号	ばれいしょ北海道第8号 ばれいしょ農林15号	1971 (1965)	1984	北海道農試	「2070ab(31)」×「島系291号」	晩生種で、疫病にも強く、でん粉価が高い、いもは赤かっ色で紡錘形
シ レ ト コ *	根育3号	ばれいしょ北海道第9号 ばれいしょ農林16号	1971 (1967)	1981	根 釧 農 試	「北海24号」×「島系291号」	「ホッカイアカ」程度の極晩生種、疫病に強く極多収
ビ ホ ロ *	北海45号	ばれいしょ北海道第10号 ばれいしょ農林17号	1971 (1969)	1984	北海道農試	「北海29号」×「Hochpr-ozentige」	極晩生種で、でん粉価が高い、いもは小さい、疫病には強い
タ ル マ エ *	北海47号	ばれいしょ北海道第11号 ばれいしょ農林18号	1971 (1969)	1981	北海道農試	「オオジロ」×「Hochpr-ozentige」	中晩生種で、でん粉価はやや高い、いもは扁長卵、軟腐病に弱い
ワ セ シ ロ *	根育11号	ばれいしょ北海道第12号 ばれいしょ農林20号	1974		根 釧 農 試	「根系7号」×「北海39号」	早生種、熟期の割に多収、「男爵薯」より大粒で、皮色が白い
ト ヨ シ ロ *	北海48号	ばれいしょ北海道第13号 ばれいしょ農林21号	1976		北海道農試	「北海19号」×「エニワ」	中早生種、還元糖含有率低く、油加工に適する
ツ ニ カ	Tunika	ばれいしょ北海道(輸)第14号 ばれいしょ導入3号	1978	1987	ドイツ民主 共和国	「Lu56・186/21N」×「Lu51・183/2」	中晩生種、ジャガイモシストセンチュウ寄生型Ro1に対し抵抗性がある
ハ ッ フ ブ キ *	北海57号	ばれいしょ北海道第15号 ばれいしょ農林24号	1979	1993	北海道農試	「男爵薯」×「WB61037-4」	早生、でん粉工場の早期操業、原料用として紅丸より品質、収量ともすぐれる
ホ ッ カ イ コ ガ ネ *	北海60号	ばれいしょ北海道第16号 ばれいしょ農林25号 第197号	1981		北海道農試	「北海48号」×「北海51号」	中晩生、加工食品原料用、塊茎は目浅く長楕円形黄肉種でフレンチフライにしたときの品質にすぐれる
コ ナ フ ブ キ *	根育19号	ばれいしょ北海道第17号 ばれいしょ農林26号 第338号	1981		根 釧 農 試	「北海48号」×「WB66201-10」	でん粉原料用晩生種で、でん粉価が22%前後と高く多収、シストセンチュウ抵抗性はない

草性	幼茎の色	花色	莢色		莢の硬軟	粒の			栽培適地
			若莢	熟莢		形	大小	色	
つる性	緑	白	緑	褐	硬	腎臓形	やや大	白	網走地方のべにばないんげん作付け地帯

草性	子葉の色	葉色	花色	莢色		莢の硬軟	粒の			栽培適地
				若莢	熟莢		形	大小	色	
半蔓性	淡緑	や淡緑	白	淡緑	微褐	硬	扁平球形で 大皺あり	大	淡緑	全道一円
矮性	淡緑	濃緑	白	緑	微褐	硬	球	小	緑	全道の青えん豆栽培地帯
半蔓性	緑	緑	白	淡緑	微褐	硬	扁平球形で 大皺あり	大	緑	網走, 上川の青えん豆栽培地帯
矮性	淡緑	淡緑	紫赤	緑	淡褐	硬	扁球で大 皺あり	中	帯緑褐地に 赤褐斑	全道の畑作地帯
矮性	緑	濃緑	白	濃緑	微褐	硬	楕円球	大	白緑	全道のえん豆栽培地帯

草姿	茎色	葉色	花色	いもの						疫 病 抵抗性	栽培適地
				形	色	表皮の 粗 滑	目の多少	目の深淺	肉色		
直	緑地に淡 赤色が分 布	濃	淡赤紫 先白	球	黄白	滑	中	深	白	弱 r	全道一円
中	濃緑地に 淡紫色が 分布	や濃	紫(白の しぼりで 先白い)	長卵円形	黄白～ 淡黄褐	滑	少	浅	黄	弱 r	全道一円
中	緑地に赤 色が分布	中	白	だ円～ 扁円	紅	滑～中	中	や浅	白(紅色を分 布することが ある)	弱 r	全道一円
直	緑地に淡 赤色が分 布	濃～ や濃	白	扁円～ 扁球	黄白	滑	中	中	白	弱 r	全道一円
	緑地に淡 赤	や濃	極淡赤 先白	扁卵	濃紅	滑	少	浅	白	弱	後志, 宗谷管内および類似地帯ので ん粉原料用
や開	緑地に淡 赤	緑	淡紫	卵	黄	滑	少	浅	白	や強 R ₁	全道, 排水のよい肥沃地
や直	緑	や濃	白	扁円	淡褐	粗・全面 ネット状	中	や浅	白	や強 R ₁	全道, 排水のよい肥沃地
開	淡赤紫	濃	淡赤紫	長紡錘	赤褐	や滑	多	浅	淡黄	強 R ₁ R ₄	全道, でん粉原料用
直	緑地に赤 紫	や淡	白	卵	淡黄白	滑	中	や浅	白	強 R ₁ R ₂	全道, とくに道東, 道北および後志
中	緑地に一 部赤紫	や濃	淡青	扁球	淡褐	粗	中	中	白	強 r	天北, 上川北部, 網走, 十勝などの でん粉原料地帯
中	緑	緑	淡紫	扁長卵	淡褐	中	中	中	白	や弱～中 r	全道, でん粉原料地帯
や開	緑, 一部 淡紫	淡	紫	扁卵～ 扁球	淡黄白	滑	中	中	白	や強 R ₁	全道, 食用
や開	緑	中	白	扁球～ 扁卵	淡黄褐	中	中	浅	白	R ₁	全道
や開	緑	や淡	白	球～ 扁球	黄褐	粗	中	や深	黄		道央のジャガイモシストセンチュウ 発生地帯
や直	緑 (紫)	緑	淡紫	扁卵	淡黄白	や滑	中	中	白	R ₁	道内のでん粉原料用馬鈴しょ栽培地 帯
や直	緑	緑	淡紫・ 先白	長楕円	淡褐	中	中	浅	淡黄	R ₁	道内の食品加工原料用の馬鈴しょ裁 培地帯
中	緑	濃緑	淡赤紫	扁球	淡黄褐 (目に淡 紅色)	や粗	多	や浅	白	R ₁ R ₂	道内のでん粉原料用ばれいしょ栽培 地帯

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登 録 年	廃 止 年	育 成 場 所	来 歴	主 要 特 性
トヨアカリ*	北海67号	ばれいしょ北海道第18号 ばれいしょ農林27号 第1505号	1986	2001	北海道農試	「Tunika」× 「WB61037-4」	晩生種、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性强。疫病に強く、高でん粉価、多収
キタアカリ*	北海63号	ばれいしょ北海道第19号 ばれいしょ農林29号 第1812号	1987		北海道農試	「男爵薯」×「ツニカ」	早生、多収、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性强、黄肉水煮黒変無、食用
エゾアカリ*	北海66号	ばれいしょ北海道第20号 ばれいしょ農林30号 第1813号	1987	2006	北海道農試	「ツニカ」× 「Priekulskii Ranny」	早生、多収、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性强、黄肉煮くずれ極少、食用
とうや*	北海70号	ばれいしょ北海道第21号 ばれいしょ農林31号 第4232号	1992		北海道農試	「R329-50」× 「WB77025-2」	早生、大粒、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性强、?皮褐変・水煮黒変少、食用
ムサマル*	根育22号	ばれいしょ北海道第22号 ばれいしょ農林32号 第4110号	1992		根 釧 農 試	「ツニカ」×「根育20号」	中晩生、多収、フレンチフライ加工適性高、塊茎腐敗抵抗性强、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性强
アトランチック	P892	ばれいしょ北海道(輸)第23号	1992		ア メ リ カ	「Wauseon」× 「Lenape」	中生、多収、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性强、ポテトチップ用
マチルダ	F891	ばれいしょ北海道(輸)第24号	1993		スウェーデン	「P134」×「P117」	中晩生、多収、食用、疫病抵抗性强
アスタルテ	S892	ばれいしょ北海道(輸)第25号	1993		オ ラ ン ダ	「RR62-5-43」× 「VT562-69-5」	晩生、高でん粉価、でん粉重多、でん粉特性良、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性强
ベニアカリ*	北海73号	ばれいしょ北海道第26号 ばれいしょ農林33号 第5367号	1994		北海道農試	「北海61号」× 「R392-50」	中生、高でん粉価、食用、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性强
サクラフブキ*	根育26号	ばれいしょ北海道第27号 ばれいしょ農林34号 第5128号	1994		根 釧 農 試	「コナフブキ」×「トヨアカリ」	晩生、高でん粉価、でん粉重多、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性强
さやか*	北海74号	ばれいしょ北海道第28号 ばれいしょ農林36号 第6027号	1995		北海道農試	「Pentland Dell」 ×「R392-50」	中生、大いも、多収、食用、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性强
ヤンキーチップ	P921	ばれいしょ北海道(輸)第29号	1995	2001	ア メ リ カ	「B9687-148」× 「BR6864-8」	中早生、加工食品用、ポテトチップ品質良、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性强
アーリースターチ*	北海72号	ばれいしょ北海道第30号 ばれいしょ農林37号 第7892号	1996		北海道農試	「島系523号」× 「R392-50」	中晩生、早期肥大性、大粒、早掘りでん原用、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性强
花標津*	根育29号	ばれいしょ北海道第31号 ばれいしょ農林38号 第8638号	1997		根 釧 農 試	「W553-4」× 「R392-50」	中晩生、疫病圃場抵抗性强、多収、生食用、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性强
スタークイン*	根育31号	ばれいしょ北海道第32号 ばれいしょ農林40号 第10617号	1999	2007	北 見 農 試	「Atlantic」× 「Cherokee」	中生、そうか病抵抗性やや強、多収、生食用、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性强
ノースチップ	P961	ばれいしょ北海道(輸)第33号 第10618号	1999	2008	ホ ク レ ン	「ホッカイコガネ」 ×「ND860-2」	中早生、加工食品用、低温長期貯蔵チップ品質良、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性は無い
十勝こがね*	北海79号	ばれいしょ北海道第35号 ばれいしょ農林41号 第8549号	2000		北海道農試	「R392-3」× 「69095-17」	早生、大粒、揃い良、調理適性良、生食用、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性强
ユキラシャ*	北海83号	ばれいしょ北海道第36号 ばれいしょ農林42号 第11097号	2000		北海道農試	「Early Gem」× 「86002-100」	中早生、そうか病抵抗性强、調理適性良、貯蔵性良、生食用、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性は無い
スノーデン	P971	ばれいしょ北海道(輸)第34号	2000		ア メ リ カ	「B5141-6」× 「Wischip」	中晩生、加工食品用、9℃長期貯蔵チップ品質良、そうか病抵抗性中、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性は無い
きたひめ	P982	ばれいしょ北海道(輸)第37号	2001		ホ ク レ ン	「ホワイトフライヤー」 ×「さやか」	中生、加工食品用、6℃長期貯蔵チップ品質良、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性强
ナツフブキ*	北育5号	ばれいしょ北海道第38号 ばれいしょ農林47号 第13878号	2003		北 見 農 試	「ムサマル」×「島系544号」	中生、早掘り適性あり、でん原用、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性强
ひかる	F001	ばれいしょ北海道(輸)第39号 第14890号	2003		ホ ク レ ン	「87062-217」× 「Maris Bard」	中晩生、大粒、多収、ポテトサラダ適性あり、生食用、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性强
オホークチップ*	北育2号	ばれいしょ北海道第40号 ばれいしょ農林52号 第14895号	2004		北 見 農 試	「アトランチック」 ×「ND860-2」	早生、加工食品用、収穫直後から1月までのチップ品質良、そうか病抵抗性中、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性强
スノーマーチ*	北育7号	ばれいしょ北海道第41号 ばれいしょ農林51号 第14896号	2004		北 見 農 試	「アトランチック」 ×「Cherokee」	中生、そうか病抵抗性强、大粒、多収、調理適性良、生食用、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性强
キタムラサキ*	北海88号	ばれいしょ北海道第42号 ばれいしょ農林50号 第14041号	2004		北農研センター	「島系571号」×「島系561号」	中晩生、肉色紫、アントシアニン色素含有、大粒、生食用、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性强
ゆきつぶら*	北育1号	ばれいしょ北海道第43号 ばれいしょ農林54号 第16449号	2005		北 見 農 試	「Pentland Dell」 ×「とうや」	早生、白肉、生食用、多収、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性强、調理適性良、塊茎腐敗抵抗性强
らんらんチップ*	北海89号	ばれいしょ北海道第44号 ばれいしょ農林53号 第16450号	2005		北農研センター	「とうや」× 「83068C-51」	中早生、加工食品用、ポテトチップ品質良(翌年2月まで)、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性强
さやあかね*	北育8号	ばれいしょ北海道第45号 ばれいしょ農林59号 第17446号	2006		北 見 農 試	「I-853」×「花標津」	中生、生食用、疫病圃場抵抗性强、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性强、多収、コロッケ適性
こがね丸*	北海90号	ばれいしょ北海道第46号 ばれいしょ農林55号 第17448号	2006		北農研センター	「ムサマル」×「十勝こがね」	中晩生、加工食品用、フレンチフライ適性良、多収、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性强

草姿	莖色	葉色	花色	いもの						疫 病 抵抗性	栽培適地
				形	色	表皮の粗滑	目の多少	目の深淺	肉色		
や直	緑地に赤紫色の斑点	淡緑	赤紫	扁球	黄褐	や粗	中	中	淡黄	強R _i	全道、とくにジャガイモシストセンチュウ発生地帯に普及を優先する
や直立	緑	緑	赤紫	球	白黄	や粗	中	中	黄	弱r	道央のジャガイモシストセンチュウ発生地帯
や開帳	緑	緑	白	球	白黄	や粗	中	中	淡黄	弱r	道内食用ばれいしょ栽培地帯
や直立	緑	緑	白	球	黄	や粗	少	浅	黄	や強R _i	北海道一円
や開帳	緑	や淡緑	赤紫	卵	黄褐	や粗	中	やや浅	淡黄	弱r	北海道一円
直立	緑地に一部赤紫	緑	極淡青紫	球	黄褐	や粗	少	浅	白	R _i	道東、道北、道央
中間	緑地に一部赤紫	淡緑	白	卵	黄	や粗	中	浅	黄白	強R _s	北海道一円
中間	緑地に一部赤紫	濃緑	赤紫	卵	白黄	や粗	中	やや浅	黄白	R _s	十勝、網走、根釧
や開帳	紫	濃緑	赤紫	楕円	淡赤	や滑	中	やや浅	白	R _i R _s	北海道一円
中間	緑	濃緑	赤紫	扁球	黄褐	や粗	中	中	白	や強R _i	北海道一円
や開帳	緑	緑	白	卵	白	滑	少	浅	白	R _i R _s	北海道一円
や開帳	緑	淡緑	青紫	楕円	白黄	滑	少	浅～極浅	白	r	道央、道北、網走
中間	緑	緑	赤紫先白	扁球	白黄	中	少	中	白	弱R _i	道内のでん粉原料用ばれいしょ栽培地帯
や開帳	緑地に赤紫色の斑紋	淡緑	赤紫	扁球	淡赤	中	やや少	深	淡黄	ごく強R _i	北海道一円
中間	緑地に赤紫色の斑紋	緑	赤紫先白	扁球	白黄	や粗	中	やや浅	黄白	弱R _i	北海道一円（そうか病発生地帯）
中間	緑地に赤紫色の斑紋	緑	赤紫先白	球	黄褐	や粗	中	浅	白	弱R _i	北海道一円（ジャガイモシストセンチュウ汚染地域を除く）
や直	緑	淡緑	白	楕円	白黄	中	少	ごく浅	淡黄	弱R _i	北海道一円
中間	緑	淡緑	白	楕円	褐	粗	少	やごく浅	白	や弱	北海道一円（そうか病発生地帯）
中間	緑地に赤紫色の斑紋	淡緑	白	球	褐	粗	中	浅	白	中	北海道一円（ジャガイモシストセンチュウ汚染地域を除く）
や開帳	緑	緑	白裏面紫	球	黄白	や滑	や多	やや浅	白	弱	北海道一円
や開張	緑地に赤紫色の斑紋	緑	赤紫先白	球	黄褐	や粗	やや少	中	白	弱R _i	道内のでん粉原料用ばれいしょ栽培地帯（主としてジャガイモシストセンチュウ発生地帯）
直立	緑地に赤紫色の斑紋	緑	紫	扁球	黄褐	や粗	中	浅	淡黄	弱	道内生食用ばれいしょ栽培地帯
や開張	緑	淡緑	白	球	褐	や粗	中	浅	白	弱r	道内加工用ばれいしょ栽培地帯
中間	緑	緑	白	倒卵	白黄	中	中	浅	白	弱R _i	道内生食用ばれいしょ栽培地帯（主としてそうか病発生地帯）
や直	紫地に緑の斑紋	濃緑	白	倒卵	紫	中	少	浅	紫に白の斑紋	中	北海道一円
中間	緑	緑	白	短卵	白	中	中	やや浅	白	強R _s 以上	北海道の生食用ばれいしょ栽培地帯
や直	緑	淡緑	白	倒卵	黄褐	や粗	少	浅	黄白	弱	北海道の加工用ばれいしょ栽培地帯
中間	緑地に赤紫色の斑紋	緑	赤紫	球	淡赤	中	中	中	黄白	強	北海道の生食用ばれいしょ栽培地帯
や直	緑地に赤紫色の斑紋	やや淡緑	赤紫	楕円	黄褐	や粗	やや少	浅	淡黄	弱	北海道の加工用ばれいしょ栽培地帯

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来歴	主要特性
は る か *	北海94号	ばれいしょ北海道第47号 ばれいしょ農林60号 第17576号	2007		北農研センター	「T9080-8」×「さやか」	中生、生食用、白肉、目の周りが赤く着色、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性、食味良
きたかむい	HP01	ばれいしょ北海道第48号 第19543号	2007		ホクレン	「イエロージャーク」 ×「とうや」	早生、生食用、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性、多収、大粒、食味良
アンドーバー	CP04	ばれいしょ北海道第49号	2008		アメリカ「コーネル大学」	「Allegany」× 「Atlantic」	中早生、油加工用、ポテトチップ品質良、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性強、そうか病抵抗性中
ピルカ *	北海97号	ばれいしょ北海道第50号 ばれいしょ農林61号 第20750号	2009		北農研センター	「メイホウ」×「十勝こがね」	中早生、生食用、長卵形、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性強、多収、調理適性良
コナユキ *	北育13号	ばれいしょ北海道第51号 ばれいしょ農林62号 第21865号	2010		北見農試	「紅丸」×「根育39号」	中晩生、でん粉原料用、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性強、でん粉品質良
リラチップ *	北育15号	ばれいしょ北海道第52号 ばれいしょ農林 号 第 号	2013		北見農試	「Andover」 ×「スノーマーチ」	中生、加工食品用、長期貯蔵チップ品質良、多収、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性強、そうか病抵抗性中

13 そば

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来歴	主要特性
牡丹そば		そば北海道第0号	1971 (1930)		十勝支場	品種比較	早生、良質
キタワセソバ*	北海1号	そば北海道第1号 そば農林1号 第2337号	1989		北海道農試	「牡丹そば(富良野)」 から系統選抜	やや極早生、多収
キタユキ *	北海2号	そば北海道第2号 そば農林2号 第3751号	1991		北海道農試	在来種「津別」から 系統選抜	やや早生、多収、べと病発生少
キタノマシユウ*	北海6号	そば北海道3号 そば農林4号 第13298号	2006		北農研	「キタワセソバ」集 団から系統選抜	有限伸育性、耐倒伏性、良食味
レラノカオリ*	北海11号	そば北海道第4号 そば農林7号 第19525号	2012		北農研	「端野・緋牛内」か ら系統選抜	大粒、製粉特性に優れる、やや多収、ウ抵抗性中

14 だたんそば

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来歴	主要特性
北海T8号 *	北海T8号	だたんそば北海道1号 だたんそば農林1号 第14403号	2007		北農研	そば遺伝資源 「Rotundatum」か ら純系選抜	耐倒伏、やや多収、大粒、普通そばより高ルチン含量

II 特 用 作 物

15 てんさい

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	組 合 せ ま た は 育 成 方 法	主要特性
つきさっぷ *	E6	てんさい北海道第1号	1971 (1964)	1975	てん菜研究所	*合成品種	晩生、極多収、褐斑病抵抗性強
○ポリラーベ	Polyrave	てんさい輪第2号	1971 (1964)	1987	オランダ	一代雑種育種法	多収、褐斑病抵抗性が極めて弱い
カーベエルタ	KW-E	てんさい輪第3号	1971 (1964)	1984	西ドイツ	集団育種法	多収、褐斑病抵抗性が弱い
エージュポリ-1	AJ Poly-1	てんさい輪第4号	1971 (1964)	1978	ポーランド	一代雑種育種法	適地では「導入2号」より多収、高糖性
○カーベポリ	KW-polybeta	てんさい輪第5号	1971 (1964)	1987	西ドイツ	一代雑種育種法	多収、やや高糖性、褐斑病抵抗性が弱い
台糖1号	台糖1号	てんさい北海道(輪)第6号	1971 (1965)	1975	台湾	集団育種法	褐斑病抵抗性が強く、高収性である
台糖2号	台糖2号	てんさい北海道(輪)第7号	1971 (1965)	1975	台湾	集団育種法	褐斑病抵抗性が強く、高収性である

草姿	茎色	葉色	花色	いもの						疫 病 抵抗性	栽培適地
				形	色	表皮の粗滑	目の多少	目の深淺	肉色		
や直	緑	緑	赤紫先白	倒卵	白(目に赤色)	滑	少	やや浅	白	弱	北海道のばれいしょ栽培地帯
中間	緑地に赤紫色の斑紋	緑	白	球	白黄	中	少	やや浅	白	弱	北海道の生食用ばれいしょ栽培地帯一円
や開張	緑	緑	白	球	黄褐	や粗	中	浅	白	弱	北海道のポテトチップ用ばれいしょ栽培地帯
や直	緑	濃緑	紫	長卵	黄	滑	少	浅	明黄	弱	北海道の生食用ばれいしょ栽培地帯
や直	緑	濃緑	白	球	紫	粗	中	深	白(紫斑)	弱	北海道のでん粉原料用ばれいしょ栽培地帯(主としてジャガイモシストセンチュウ発生地帯)
や直	緑	淡緑	白	卵	淡ベージュ	中	ごく少	浅	白	弱	北海道の加工用ばれいしょ栽培地帯

草型	草丈	葉の形	葉の大きさ	花色	脱粒の難易	粒の				製粉歩留	べと病耐病性	耐倒伏性	栽培適地
						粒形	粒色	千粒重	容積重				
直立短枝型	短	丸	小	白	中	3稜型	濃褐	中	重	中	弱	中	全道一円
直立短枝型	や極短	や丸	小	白	中	3稜型	黒	中	重	中	中	やや強	全道一円
直立短枝型	短	や丸	小	白	中	3稜型	黒褐	中	極重	中	強	中	全道一円
直立短枝型	かなり短	中	小	白	中	三角形	黒	中	かなり重	中	中	やや強	全道一円
直立短枝型	や短	中	中	白	中	三角形	黒	やや大	やや小	中	中	中	全道一円

注) 2003年に調査基準が変更となり、「キタノマシュウ」と「レラノカオリ」は新基準による。

草型	草丈	葉の形	葉の大きさ	花色	脱粒の難易	粒の				製粉歩留	べと病耐病性	耐倒伏性	栽培適地
						粒形	粒色	千粒重	容積重				
直立・短枝型	中	中	中	緑黄	中	平滑形	褐色	中	やや小	中	—	やや強	全道一円

倍数体	胚数性	葉姿	根形	露肩の多少	分岐根の多少	褐斑病耐病性	栽培適地
2倍体	多	直立	長円錐	や多	や多	強	道南部, 中央部およびその他の褐斑病多発地域
倍数体	多	中間	短円錐	少	少	弱	網走, 十勝地方の褐斑病発生の少ない地帯, これに準ずる地帯
2倍体	多	中間	短円錐	少	少	弱	根釧, 十勝, 網走の褐斑病発生の少ない地帯
倍数体	多	中間	短円錐	や多	少	やや弱	網走地方の紋別, 遠軽地区およびこれに準ずる地区
倍数体	多	開平	短円錐	や多	少	弱	根釧, 十勝, 網走の褐斑病発生の少ない地帯, これに準ずる地帯
2倍体	多	直立	長円錐	少	中	強	道南地域の褐斑病が多発する低台地帯
2倍体	多	直立	長円錐	少	中	強	道南地域の一般低台地帯

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登 録 年	廃 止 年	育 成 場 所	組 合 せ ば ま た 育 成 方 法	主 要 特 性
台 糖 3 号	台糖3号	てんさい北海道(輸)第8号	1971 (1965)	1975	台 湾	集団育種法	褐斑病抵抗性が強く、高収性である
〇てんけん1号*	T1002	てんさい北海道第9号	1971 (1968)	1978	てん菜研究所	*合成品種	初期生育良好、多収、褐斑病抵抗性強
き た ま さ り	支7号	てんさい北海道第10号	1971	1984	てん菜研究所	*合成品種	早生、極多収
〇ソロラーベ	Solorave	てんさい輸第11号	1971	1987	オ ラ ン ダ	一代雑種育種法	収量、糖分が多胚の「ポリラーベ」と同程度の単胚品種
〇カーベメガモノ	Kawe-megamono	てんさい輸第12号	1972	1990	西 ド イ ツ	一代雑種育種法	倍数体の単胚品種、根重はやや多収型
〇モノヒル	Monohill	てんさい輸第13号	1973	1990	スウェーデン	一代雑種育種法	単胚品種で褐斑病抵抗性は弱いが多収性である
〇モノホープ*	T1013	てんさい北海道交第14号	1973	1987	てん菜研究所	「TK-76-mm-CMS」 ×「T4n-38」	単胚、多収、良質、褐斑病抵抗性強
モノミドリ*	T1021	てんさい北海道交第15号 てんさい農林交9号	1979	1993	北海道農試	「TK-76-mm-CMS」 ×「TK-105-2mm-O」 ×「NK-176」	中間型(根重、根中糖分中位)
ハイラーベ	HKE-48	てんさい輸第16号	1980	1990	オ ラ ン ダ	交雑育種	中間型(根重やや多、根中糖分やや低位)
モノヒカリ*	北海41号	てんさい北海道交第17号 てんさい農林交10号 第399号	1982	1999	北海道農試	「TK-76-49/2mm-CMS」 ×「TK-76-49/2mm-O」 ×「NK-152」	中間型(根重多、やや高糖分)
モノホート	HKE-20	てんさい輸第18号	1982	1990	オ ラ ン ダ	交雑育種	糖分型、早期収穫に適する
ノバヒル	Novahill	てんさい輸第19号	1982	1993	スウェーデン	交雑育種	中間型(根重多、根中糖分中位)
ダイヒル	Dihill	てんさい輸第20号	1984	1990	スウェーデン	交雑育種	中間型(根重多、根中糖分中位)
モノエース	Kawe-J137	てんさい輸第21号	1985	1993	西 ド イ ツ	交雑育種	糖分型(根重中位、高糖分)
モノパール*	北海51号	てんさい北海道交第22号 てんさい農林交12号 第2046号	1988	1996	北海道農試	「NK-172mm-CMS」 ×「NK-183mm-O」 ×「NK-159」	単胚、高糖分、多収、耐湿性やや弱
モノホマレ*	北海55号	てんさい北海道交第23号 てんさい農林交13号 第2047号	1988		北海道農試	「MOMS33×MOTO431」 ×「NK-152」	単胚、高糖分、多収、高品質、抽苔耐性強、耐湿性やや弱
スターヒル	Hillmono1352	てんさい輸交第24号	1988	2002	スウェーデン	「MS-236D」 ×「2X/27」	単胚、中間型(根重多、根中糖分中位)、抽苔耐性強
サンヒル	Hillmono5559	てんさい輸交第25号	1988	1996	スウェーデン	「MS-283E」 ×「4X/7」	単胚、糖分型、抽苔耐性強
サンラーベ	H6664	てんさい輸交第26号	1988	1996	オ ラ ン ダ	「MOMS203・801」 ×「EKT13」	単胚、中間型(根重多、根中糖分中位)、抽苔耐性強
モノエースS	Kawe-J338	てんさい輸交第27号	1988	2001	西 ド イ ツ	「2A0079」 ×「9X0022」	単胚、糖分型、抽苔耐性強
メガエース	Kawe-J537	てんさい輸交第28号	1988	2002	西 ド イ ツ	「1A0069」 ×「PS54177」	単胚、中間型(根重多、根中糖分中位)、抽苔耐性強
モノホワイト*	北海54号	てんさい北海道交第29号 てんさい農林交14号 第2345号	1989	2007	北海道農試	「MOMS23×MOTO95」 ×「NK-152」	単胚、糖分型、良質
エ マ	HT 1	てんさい輸交第30号	1990	2001	スウェーデン	「MS-257D」 ×「2X/32」	単胚、糖分型、そう根圃場抵抗性
リゾール	SES IR 2	てんさい輸交第31号	1990	2002	ベ ル ギ ー	「MS-24-6」 ×「4-21775」	単胚、中間型(根重多、根中糖分やや中位)、そう根圃場抵抗性
リゾホート	H4612	てんさい輸交第32号	1991	2001	オ ラ ン ダ	「MOMSRM25・38」 ×「RT46・1」	単胚、中間型(根重多、根中糖分やや中位)、そう根圃場抵抗性
メロディー	H114	てんさい輸交第33号	1991	1999	オ ラ ン ダ	「MOMS105・859」 ×「T947/6」	単胚、高糖分、多収、高品質、抽苔耐性強
ハンナ	HT 3	てんさい輸交第34号	1991	2006	スウェーデン	「MS-289-0」 ×「2X/20」	単胚、糖分型、良質
アレグロ	H116	てんさい輸交第35号	1993	2001	オ ラ ン ダ	「MOMS52.89」 ×「T.6/14」	単胚、糖分型、良質

倍数体	胚数性	葉姿	根形	露肩の多少	分岐根の多少	褐斑病耐病性	栽培適地
2倍体	多	直立	長円錐	少	中	強	道南地域の高台地帯
2倍体	多	直立	長円錐	多	中	強	道南、道央およびその他褐斑病多発地帯
2倍体	多	や開平	短円錐	多	少	弱	根釧、天北地帯およびこれに準ずる地帯
3倍体	単	や開平	円錐	多	少	弱	道東、道北などの褐斑病少発地帯およびこれに準ずる地帯
倍数体	単	や直立	短円錐	中	少	弱	根釧を除く道東、道北の褐斑病少発地帯、これに準ずる地帯
3倍体	単	開平	円錐	中	少	弱	道東などの褐斑病少発地帯、これに準ずる地帯
3倍体	単	や開平	円錐	少	少	や強	全道一円に適應するが、特に道央および道南における適應性が大きい
3倍体	単	や開帳	円錐	少	少	や強	全道一円、特に道央および道南の適應性が大きい
3倍体	単	や開帳	円錐	中	少	弱	道東一円
2倍体	単	直立	円錐	中	少	や強	道央、道南の移植栽培、十勝中央地域とこれに類似する地域の直播栽培に適する
3倍体	単	開帳	円錐	や少	少	弱	全道
3倍体	単	開帳	円錐	や少	少	弱	道東を除く北海道全域
2倍体	単	や開帳	円錐	や少	少	弱	上川、留萌を除く道央、根釧地方を除く道東ならびに道南地域のうち湿害の恐れのない地帯
3倍体	単	開帳	短円錐	中	少	弱	全道一円
2倍体	単	直立	円錐	中	少	や強	十勝中部及びこれに準ずる地帯
2倍体	単	直立	円錐	中	少	中	網走内陸・沿海、十勝山麓及び準ずる地帯
2倍体	単	や開平	円錐	や少	少	弱	北海道一円
3倍体	単	や開平	円錐	少	少	弱	十勝、網走
3倍体	単	や開平	円錐	中	少	弱	十勝中部・山麓、網走内陸・沿海及びこれに準ずる地帯
3倍体	単	や開平	円錐	少	少	弱	道央南部、道南を除く全道一円
3倍体	単	や開平	円錐	や多	少	弱	道央中部・北部、十勝中部、網走内陸部及びこれに準ずる地帯
2倍体	単	直立	や短円錐	や少	少	弱	全道一円
2倍体	単	や直立	短円錐	少	少	弱	全道のそう根病発生地帯
2倍体	単	や直立	円錐	や少	少	中	全道のそう根病発生地帯
2倍体	単	や直立	円錐	中	少	や強	全道のそう根病発生地帯
3倍体	単	や開平	円錐	中	少	弱	十勝、網走及びこれに準ずる地帯
2倍体	単	や開平	短円錐	中	少	弱	道央、道南及びこれに準ずる地帯
3倍体	単	や開平	円錐	中	少	弱	北海道一円

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	組合せまたは 育 成 方 法	主要特性
ホッカイマイティ*	北海62号	てんさい北海道交第36号 てんさい農林交15号 第8728号	1994	2002	北海道農試	「NK-183BRmm- CMS×NK-219mm-0」 ×「NK-218BR」	単胚, 中間型 (根重多, やや高糖), 抽苔耐性强
サ ラ	HT 7	てんさい輸交第37号	1994	2005	スウェーデン	「MS-298-E」× 「4X/6」	単胚, 糖分型, 良質
ハ ミ ン グ	H119	てんさい輸交第38号	1995	2001	オランダ	「MOMS52.13.4」× 「T8/78」	単胚, 中間型 (根重, 根中糖分中位), 良質
ス ト ー ク	Kawe-J039	てんさい輸交第39号	1995	2003	ドイツ	「MS7H9882」× 「PS7X8041」	単胚, 糖分型, 抽苔耐性强
ユ ー デ ン	HT 9	てんさい輸交第40号	1996	2004	スウェーデン	「MS-303-E」× 「4X/7」	単胚, 多収 (根重, 糖量)
リ ー ラ ン ド	H123	てんさい輸交第41号	1997	2002	オランダ	「MOMS30,13,4」 ×「T5/56」	単胚, 多収 (根重, 糖量)
フ ル ー デ ン	HT12	てんさい輸交第42号	1998	2009	スウェーデン	「MS-350-O」× 「2X/43」	単胚, 多収 (根重, 糖量), 耐湿性 「中」
め ぐ み	Kawe-J538	てんさい輸交第43号	1998	2006	ドイツ	「MS9E0020」× 「PS0X8017」	単胚, 多収 (根重, 糖量)
シュベルト*	北海70号	てんさい輸交第44号 てんさい農林交17号 第10058号	1998	2004	北海道農試 (国 際共同研究)	「MOMS3901× MOOT4027」× 「NK-212BR」	単胚, そう根病抵抗性「強」, 既存 抵抗性品種よりも多収 (根重, 根中 糖分, 糖量)
カプトマル*	北海73号	てんさい輸交第45号 てんさい農林交19号 第10626号	1999	2004	北海道農試 (国 際共同研究)	「KMS-5 (MOMS- 2099×MOOT-1502)」 ×「NK-210BR」	単胚, 多収 (根重, 糖量)
ア ー ベ ン ト	H125	てんさい輸交第46号	1999	2009	オランダ	「MOMS14B8,13,4」 ×「T18/06」	単胚, 多収 (根重, 糖量)
モ リ ー ノ	HT15	てんさい輸交第47号	1999	2013	スウェーデン	「MS-367-O」× 「2X52」	単胚, そう根病抵抗性「強」, 多収 (根重, 糖量), 褐斑病抵抗性「やや 強」
ス コ ー ネ	HT14	てんさい輸交第48号	2000	2010	スウェーデン	「MS-382-E」× 「4X/9」	単胚, 耐湿性「中」 (黒根、根腐れ 症状少ない), 良質
の ぞ み	Kawe-J7123	てんさい輸交第49号	2000		ドイツ	「MS2A0019」× 「PS1R7597」	単胚, 多収 (根重, 糖量)
ス タ ウ ト	H126	てんさい輸交第50号	2001		オランダ	「10CR」×「T16/80」	単胚, 褐斑病抵抗性「強」, 根腐病 抵抗性「中」
き た さ や か	Kawe-J8131	てんさい輸交第51号	2001		ドイツ	「MS6J2204」× 「PS5R8801」	単胚, そう根病抵抗性「強」, 多収 (根重, 糖量), 根中糖分やや低い
え と び り か	KWS9226	てんさい輸交第52号	2002	2012	ドイツ	「MS5A3983」× 「PS6X8028」	単胚, 多収 (根中糖分, 糖量), 良 質
ユキヒノデ*	北海83号	てんさい輸交第53号 てんさい農林交21号 第13881号	2003	2008	北農研 (国際 共同研究)	「MOMS149」× 「NK-212BR」	単胚, そう根病抵抗性「強」, 褐斑 病抵抗性「強」, 黒根病発生少ない, 良質
ア セ ン ド	H129	てんさい輸交第54号	2004		オランダ	「MOMS14B8,13,4」 ×「T21/78」	単胚, 多収 (根重, 糖量)
あ ま い ぶ き	KWS0213	てんさい輸交第55号	2004		ドイツ	「MS5A3983」× 「PS6X8067」	単胚, 糖分型, (根重少ないが高糖 分), 良質
フ ル ー デ ン R	HT21	てんさい輸交第56号	2004		スウェーデン	「MS-388-0」× 「2X/55」	単胚, そう根病抵抗性「強」, 褐斑 病抵抗性「やや強」, 高糖分, 良質
リゾマックス	H133R	てんさい輸交第57号	2005	2012	オランダ	「HDKPP912208」 ×「HC561425B」	単胚, そう根病抵抗性「強」, 褐斑病抵 抗性「やや強」, 根腐病抵抗性「やや強」, 多収 (根重, 糖量), 良質
ク ロ ー ナ	HT22	てんさい輸交第58号	2006		スウェーデン	「MS402-E」× 「4X/12」	単胚, 多収 (根中糖分, 糖量)
ア ニ マ ー ト	H134	てんさい輸交第59号	2006	2012	ベルギー	「MOMS14B8,13,4」 ×「T53/35」	単胚, 高糖分, 良質
か ち ま る	KWS4S65	てんさい輸交第60号	2007		ドイツ	「MS8A3768」× 「PS0X8015」	単胚, 多収 (根重, 糖量), 黒根病 抵抗性「やや強」
レ ミ エ ル	H135	てんさい輸交第61号	2008		ベルギー	「MOMS14B,13,4」 ×「T103/98」	単胚, 多収 (糖量), 良質
リ ッ カ	HT28	てんさい輸交第62号	2008		スウェーデン	「MS-412-0」× 「2X/62」	単胚, そう根病抵抗性「強」, 褐斑 病抵抗性「やや強」, 多収 (根重, 糖量)
ゆ き ま る	KWS5R16	てんさい輸交第63号	2009		ドイツ	「MS0J1799」× 「PS0R7621」	単胚, そう根病抵抗性「強」, 多収 (糖量)

倍数体	胚数性	葉姿	根形	露肩の多少	分岐根の多少	褐斑病耐病性	栽培適地
2倍体	単	直立	円錐	中	少	や弱	北海道一円
3倍体	単	や開平	円錐	や少	少	中	道央, 道南, 道北, 十勝, 網走内陸部 (抽苔に対する懸念のない地帯)
3倍体	単	や開平	円錐	や少	少	弱	北海道一円
3倍体	単	や開平	や短円錐	や少	少	弱	北海道一円
3倍体	単	や開平	や短円錐	中	少	弱	北海道一円
3倍体	単	や開平	円錐	や少	少	弱	北海道一円
2倍体	単	や直立	や短円錐	中	少	弱	北海道一円
3倍体	単	や開平	円錐	中	少	弱	北海道一円
2倍体	単	や直立	円錐	中	少	中	全道のそう根病発生地帯
2倍体	単	や直立	や短円錐	や少	少	や弱	北海道一円
3倍体	単	や開平	円錐	や少	少	弱	北海道一円
2倍体	単	や直立	や短円錐	中	少	や強	全道のそう根病発生地帯
3倍体	単	や開平	や短円錐	中	少	弱	北海道一円
2倍体	単	直立	や短円錐	中	少	弱	北海道一円
3倍体	単	や開平	円錐	や少	少	強	北海道一円
2倍体	単	直立	短円錐	や少	少	や強	全道のそう根病発生地帯
3倍体	単	や開平	や短円錐	中	少	弱	北海道一円
2倍体	単	直立	や円錐	や少	や少	強	全道のそう根病発生地帯
3倍体	単	や開平	円錐	や少	少	弱	北海道一円
3倍体	単	や開平	円錐	中	少	弱	北海道一円
2倍体	単	直立	や短円錐	や少	少	や強	北海道一円
2倍体	単	中間	円錐	や少	少	や強	北海道一円
3倍体	単	や開平	や短円錐	中	少	弱	北海道一円
3倍体	単	や開平	や短円錐	や少	少	弱	北海道一円
3倍体	単	や開平	や短円錐	中	少	弱	北海道一円
3倍体	単	や開平	円錐	中	少	弱	北海道一円
2倍体	単	や直立	円錐	や多	少	や強	北海道一円
2倍体	単	直立	や短円錐	中	少	や弱	北海道一円

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登 録 年	廃 止 年	育 成 場 所	組 せ ま た は 育 成 方 法	主 要 特 性
アマホマレ*	北海98号	てんさい北海道交第64号	2010		北 農 研	「JMS-59」× 「PKS5335」	単胚, 高糖分, 良質
リボルタ	HT30	てんさい輸交第65号	2010		スウェーデン	「HI0130xHI0427」 ×「HI0380」	単胚, そう根病抵抗性「強」, 褐斑病抵抗性「強」, 根腐病抵抗性「強」, 黒根病抵抗性「やや強」, 良質
パピリカ	H137	てんさい輸交第66号	2010		ベルギー	「HDKPP912037」 ×「HC13028」	単胚, そう根病抵抗性「強」, 多収(根重, 糖量)
みつぼし*	北海101号	てんさい北海道交第67号	2012		北 農 研	「JMS64」× 「L40200」	単胚, そう根病抵抗性「強」, 褐斑病抵抗性「強」, 黒根病抵抗性「強」
ラテール	H139	てんさい輸交第68号	2012		ベルギー	「HC13017」× 「HS01A2226」	単胚, そう根病抵抗性「強」, 褐斑病抵抗性「強」, 黒根病抵抗性「やや強」, 多収(糖分, 糖量), 良質
クリスター	HT32	てんさい輸交第69号	2012		スウェーデン	「HI0378xHI0377」 ×「HI0341」	単胚, そう根病抵抗性「強」, 褐斑病抵抗性「強」, 黒根病抵抗性「やや強」, 高糖分多収(糖量), 良質
えぞまる	KWS9R38	てんさい輸交第70号	2012		ド イ ツ	「MS4J1812」× 「PS5RV6048」	単胚, そう根病抵抗性「強」, かなり多収(根重, 糖量)

注) ○印をつけた品種の特性は「昭和52年度種苗特性分類調査報告書〜てん菜, さとうきび」昭和53年3月, 甘味資源振興会, よりとった。

したがって, 品種決定時(農業試験会議成績書)の記載とやや異なる。その他の品種についても, 男沢(十勝農試)が前出「〜分類調査報告書」の分類基準によって訂正した形質がある。

16 は っ か

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登 録 年	廃 止 年	育 成 場 所	育 成 方 法	主 要 特 性
ほうよう*	北交8号	はっか北海道第1号	1971 (1965)	1978	北 海 道 農 試	種間交雑	中生種に属し, 草型は直立型で, 耐倒伏性が極めて強く, 機械化向, 高収率, 多収品種である
あやなみ*	北交12号	はっか北海道第2号	1971 (1968)	1984	北 海 道 農 試	種間交雑	銹病, 倒伏, 線虫などに強い安定多収型で, 機械化集団栽培に適す
わせなみ*	北系J15号	はっか北海道第3号	1973	1999	北 海 道 農 試	種間交雑	早生短率で耐倒伏, 耐病性で高収油率多収型で連作栽培にも適する
さやかぜ*	北系J16号	はっか北海道第4号	1975	1999	北 海 道 農 試	倍数体利用種間交雑	中生の晩で, 高脳分, 多収型品種であるが耐倒伏性は中程度
ほくと*	北海J20号	はっか北海道第5号 はっか農林11号 第347号	1982		北 海 道 農 試	倍数体利用種間交雑	中生種の晩に属し, 多収型, さび病, 線虫の抵抗性は強いが, 耐倒伏性は中, 連作適性が高い

17 防 虫 菊

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登 録 年	廃 止 年	育 成 場 所	育 成 方 法	主 要 特 性
わっさむ	26S-6-1	除虫菊北海道第1号	1971 (1961)	1999	北 海 道 農 試	ケニア導入種からの 栄養繁殖系統	中生, 分枝数が多いため若花数多く多収, ビレトリン含有率もやや高い

18 ラベンダー

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登 録 年	廃 止 年	育 成 場 所	育 成 方 法	主 要 特 性
おかむらさき	遅咲1-4	ラベンダー北海道第1号	1971 (1964)	1999	中 央 農 試	在来種より系統選抜	中生, 花茎極長, 花色やや濃紫, 花茎収量やや多, 収油率中, 油質良
ようてい	早咲1-3	ラベンダー北海道第2号	1971 (1964)	1999	中 央 農 試	在来種より系統選抜	早生, 花茎やや長, 花色やや淡紫, 花茎収量中, 収油率極高, 油質良
はなもいわ	中咲2-2	ラベンダー北海道第3号	1971 (1967)	1999	中 央 農 試	在来種より系統選抜	中生種, 花茎長中, 花色極淡紫, 花茎収量多, 収油率低値当初低い

倍数体	胚数性	葉姿	根形	露肩の多少	分岐根の多少	褐斑病耐病性	栽培適地
3倍体	単	中間	や短円錐	中	少	中	北海道一円
2倍体	単	や開平	円錐	や多	少	強	北海道一円
2倍体	単	や開平	や短円錐	や多	少	や弱	北海道一円
2倍体	単	直立	や短円錐	中	少	強	北海道一円
2倍体	単	や直立	や短円錐	中	少	強	北海道一円
2倍体	単	や開平	円錐	中	少	強	北海道一円
2倍体	単	や開平	や短円錐	中	少	弱	北海道一円

和洋種別	花色	茎の			葉の						さび病耐病性	耐倒伏性	栽培適地
		形	色	毛茸の多少	形	葉脈の色	葉緑	着生状態	葉柄の長短	葉色			
和種	中	四角柱状	赤紫	無	旋紡錘	明緑	鋸歯	中	短	緑	や強	強	全道の薄荷栽培地帯
和種	濃	四角柱状	赤紫	少	や旋紡錘	淡赤紫	鈍鋸歯	垂	短	濃緑	強	強	全道の和種薄荷栽培地帯
和種	濃	四角柱状	淡赤紫	少	皮針		鈍鋸歯	垂	中	淡緑	強	や強	全道の和種薄荷栽培地帯
和種	濃	四角柱状	赤紫	少	紡錘		鋸歯	垂	短	緑	強	中	全道の和種薄荷栽培地帯
和種	淡紫	四角柱状	淡赤紫	少	長卵形	淡緑	鋸歯	垂	中	緑	強	中	全道の和種薄荷栽培地帯

草姿	毛茸の多少	葉の		舌状花の				管状花の直径	栽培適地
		形	色	数	長さ	幅	着生密度		
叢生	や多	や広	白緑	や多24枚	並17.2mm	や狭6mm		並19mm	全道の除虫菊栽培地帯

注) 「北海1号」対比

花茎の			花色	花序の長短	栽培適地
姿	色	硬軟			
半平状先端曲	緑	や硬	や濃紫	中	現在栽培されている各地
や直立	淡緑	や硬	や淡紫	長	現在栽培されている各地
や直立	淡緑	や硬	極淡紫	中	現在栽培されている各地

19 な た ね

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
岩 内	本第11054号	なたね北海道第1号	1972 (1935)	1981	北海道農試	在来種(岩内郡地方、別名「丸葉」)	洋種の秋播晩生種、含油量多く良質、冬損に弱い
ハンブルグ1号*	本育357号	なたね北海道第2号	1971 (1937)	1975	北海道農試	「ハンブルグ」から純系淘汰	洋種の秋播晩生種、含油量多く、冬損に強い
タイセツナタネ*	北系87号	なたね北海道第3号	1971 (1961)	1999	北海道農試	「ハンブルグ1号」より選出	洋種の秋播晩生種、耐寒病性強、良質多収、含油率高
イワオナタネ*	MR1号	なたね北海道第4号	1971 (1961)	1999	北海道農試	「岩内」より選抜	洋種の秋播晩生種、強稈、耐寒耐病性強、多収、含油率多
キザキノナタネ*	キザキノナタネ	なたね移第5号 なたね農林47号 第3112号	1992		東北農試	「東北74号」×「Rapora」	中晩生種、多収、無エルシン酸、耐倒伏性強

20 ひまわり

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	組 合 せ	主要特性
ノースクイーン*	北交2号	ひまわり北海道交第1号 ひまわり農林1号 第5671号	1994	2003	北海道農試	「ADY-4」× 「ADK-4」	早生、多収、含油率がやや低い

Ⅲ 果 樹

21 り ん ご

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
祝	American Summer Pearmain	りんご北海道輸第1号	1972 (1924)	2002	米国原産	両親不明	早生種としては品質良く、樹体も強健、生理的落果が多い
旭	McIntosh Red	りんご北海道輸第2号	1972 (1924)		カナダ(オンタリオ州)	偶発実生	結果年齢到達早く豊産であるが、老化が早く、30年を過ぎると減収傾向
紅 玉	Jonathan	りんご北海道輸第3号	1972 (1924)		米国(ニューヨーク州)	エソバズスビエツェンブルグの自然交雑実生	結果年齢到達早く豊産、独特の風味で品質がよい
陽玉(デリシャス)	Delicious	りんご北海道輸第4号	1972		米国(アイオワ州)	偶発実生	食味は良いが、着色は良くない。結果年齢到達おそく生産力は高くない
黄冠(ゴールデンデリシャス)	Golden Delicious	りんご北海道輸第5号	1972	2007	米国(ウェストバージニア州)	偶発実生	結果年齢到達早く豊産性、無袋では果面の皺が多い
印 度		りんご北海道輸第6号	1972	1984	青 森 県	白龍の自然交雑実生と推定	果汁少ない、甘味強い独特な味、隔年結果性強い
タイズマンレッド	Tydemans Red	りんご北海道輸第7号	1972 (1967)	1987	英国(イーストモーリング研)	「旭」×「ウォーセスターベアメン」	早生種としては品質は良い、収穫前の落果がやや多い
早 生 旭	Early McIntosh	りんご準第1号	1973	2007	米国(ニューヨーク農試)	「黄魁」×「旭」	樹勢強健で、早生種としては品質優良、隔年結果性が強い
レッドゴールド	Redgold	りんご準第2号	1973		米国(ワシントン州)	「ゴールデンデリシャス」×「リチャードデリシャス」	結果年齢到達早く、豊産性で貯蔵性は劣るが、風味良好である
む つ		りんご準第3号	1973	2009	青 森 県 り ん ご 試	「ゴールデンデリシャス」×「印度」	3倍体であるため受粉樹に用いられない。隔年結果性やや強い
ふ じ	東北7号	りんご準第4号 りんご農林1号	1973		東 北 農 試	「国光」×「デリシャス」	「デリシャス」に比べ生理的落果少なく豊産性、食味良好で貯蔵品種として優
ス タ ー キ ン グ	Starking Delicious	りんご準第5号	1973		米国(ニュージャージー州)	「デリシャス」の枝変わり	果実の外観食味とも優れるが、結果年齢到達おそく、生産性高くない
リ ャ ー ド	Richared Delicious	りんご準第6号	1973		米国(ワシントン州)	「デリシャス」の枝変わり	果実の外観食味とも優れるが、結果年齢到達おそく、生産性高くない
ハ ッ ク ナ イ ン	HAC 9	りんご北海道第8号 第1237号	1985		中 央 農 試	「ふじ」×「つがる」	結果年齢到達早く、豊産で貯蔵性高い、3倍体品種であり、花粉の発芽率は低い
き た か み *	盛岡15号	りんご準第7号 りんご農林4号 第366号	1986		農水省果樹試 盛 岡 支 場	「東北2号」×「レッドゴールド」	結果樹齡が早く、豊産、食味良

和洋種の別	春秋の別	草姿	葉色	花色	粒の		冬損歩合	栽培適地
					大小	色		
洋種	秋	Ⅳ型	濃緑	黄	大	黒褐	21.5	北海道中部以南の気候温暖な地帯に適する
洋種	秋	Ⅳ型	淡緑色	黄	大	黒褐	24.8	北海道東部、北部の豪雪極寒冷地帯を除く各地に適す
洋種	秋	Ⅳ型	濃緑	黄	大	黒	17.8	冬枯多発地帯、菌核病多発地帯主として道南
洋種	秋	Ⅳ型	濃緑	黄	中	黒	21.8	倒伏し易い地帯、多肥栽培に適し道南の菌核病多発地帯
洋種	秋	Ⅲ型	濃緑	黄	や大	黒	7.7	北海道一円

茎長	茎の		葉の				葉緑の		筒状花の向き	種子の			耐倒伏性	栽培適地
	緑色程度	毛の多少	形	色	面の粗さ	毛の多少	鋸葉の多少	揃い		色	斑紋	形		
中	淡	多	心臓形	淡緑	少	中	中	不規則	横向	黒	黒	長卵形	や強	北海道一円

樹勢	樹姿	収量	熟期	貯蔵性	果形	果実の大きさ	果皮色	肉質	風味	栽培適地
強健	や直立	中	8月下～9月上・中	低	長円～楕円形	160～200g	黄緑地に紅褐の縞	ち密	果汁多く微酸，甘味に富み，味優	全道一円
頗る強健 発育旺盛	開張，枝下垂せず	多	9月下	中	円～楕円形	180～220g	緑黄地に濃紅色	頗るち密	最初酸味強いが漸次甘味増し，味優	全道一円
中	開張しやすい	多	10月中	稍高	円～やや長円	160～230g	満面鮮紅色	ち密	果汁やや多く，酸味強いが味優	全道一円
強健，発育旺盛	結実後開張	中	10月下	稍高	長円～卵円錐	200～300g	緑黄地に暗紅の縞	ち密	果汁多く甘味芳香有，味秀	全道一円
強健，発育旺盛	半開張	多	10月下	高	長卵～長円形	200～300g	鮮黄色	ち密極めて良	果汁稍多，甘酸適和，芳香有，味秀	全道一円
強健	結実後開張	多	10月下～11月下	高	長円で頂部円錐	200～300g	緑，緑黄地に淡赤褐色	ち密甚だ堅い	果汁非常に少なく芳香強く，酸味なく甘味強，味良	道央以南
強健	や開張	中	9月上～9月中	低	楕円形	180～200g	全面淡紅色，陽向面濃紅色	ち密	果汁多く，芳香有，味優	全道一円
強健	半開張	中	8月中～下	低	扁円（円錐）	160～200g	黄緑地に褐紅	ち密で軟	果汁多く，やや酸多いが味優	全道一円
強健	や開張	多	10月上～中	中	円	200～250g	全面鮮紅	粗	果汁多く，甘味強く，微酸，味優	全道一円
強健	半開張	中	10月下	高	長円～円	350～400g	黄緑～黄	や粗雑	微酸，甘味も有，2月以降味芳	全道一円
強健	開張	多	10月下～11月上	高	円～長円	250～300g	緑黄又は黄の地に暗紅縞	黄白ち密	果汁多く，微酸，甘味多く味秀	全道一円
強健旺盛	結実後開張	中	10月下	や高	長円～卵円錐	200～300g	満面濃暗紅	ち密	果汁多く，甘味芳香有，味芳	全道一円
極旺盛	結実後開張	中	10月下	や高	長円～卵円錐	250～300g	全面鮮紅	ち密	果汁多く甘味芳香有，味芳	全道一円
強健発育旺盛	開張	多	10月下	高	長円	300～350g	黄緑地に赤色の縞	黄白ち密	果汁多く，甘味強く，微酸，味優	道央以南
や強	開張	多	9月中～下	低	扁円	150～200g	全面濃赤	や粗	果汁多く，甘味，酸味とも中，食味良	全道一円

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
つ が る	青り2号	りんご準第8号	1986		青 森 県 り ん ご 試	「ゴールデンデリシャス」×「紅玉」	結果年齢到達が早く、豊産、食味良
ノースキーン	HAC4	りんご北海道第9号 第1864号	1987		中 央 農 試	「ふじ」×「つがる」	結果年齢到達が早く、生産性高く、 食味良
ニュージョナゴールド	ニュージョナ ゴールド	りんご準第9号 第63号	1988		福 島 天 香 園	「ジョナゴールド」 の枝変わり	結果年齢到達が早く、豊産性、食味 良
さんさ*	盛岡42号	りんご移第10号 りんご農林7号 第1565号	1996		農水省果樹試 盛 岡 支 場	「ガラ」×「あかね」	樹体が小さい、食味良、黒星病に抵 抗性あり
マ オ イ	HC15号	りんご北海道11号 第12305号	2000		中 央 農 試	「マンテット」× 「HAC6」	極早生、果実大、肉質良、日持ち性良
ひめかみ*	盛岡37号	りんご移第12号 りんご農林5号 第931号	2001		農水省果樹試 盛 岡 支 場	「ふじ」×「紅玉」	中生、着色良、蜜入り多く食味良、 料理用にも利用可
昂 林	ふじ	りんご移第13号	2009		福 島 県 民 間	「ふじ」の枝変わり または「ふじ」のアポ ミクシス	中生、着色良好、蜜入る、甘酸バラ ンス良く食味良。
紅 将 軍	やたか	りんご移第14号 第3589号	2009 1993		株 式 会 社 天 香 園	「やたか」の枝変わり	中生、全面濃赤色に着色、蜜入り多 い、甘酸バランス良く食味良。

22 りんご台木

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
E M VII	M7	台木類準第1号	1972	1999	英国（イースト モーリング研）	在来系統を分類し命 名	各穂品種とも接木後の親和性良好で、 半わい性となり「マルバ」台の2倍 程度密植可
E M IX	M9	台木類準第2号	1972	1999	英国（イースト モーリング研）	在来系統を分類し命 名	各穂品種との親和性は良好で、わい 性となり「マルバ」台の3～4倍程 度の密植可
M M 1 1 1		台木類準第3号	1972	1999	英国（イースト モーリング研、 ジョーン イン ネス試）	「ノ・ザーンズパイ」 ×「M793」	各穂品種とも接木後の親和性良好で、 「マルバ」台程度の生育をし、樹体 強健

23 な し

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
身 不 知		なし北海道第1号	1972 (1936)		不 明	余市町で実生から発 見	晩生種、果実は洋ナシ形、370g内 外、収量は多、品質はやや不良
長 十 郎		なし北海道第2号	1972 (1924)		神奈川県当麻 長 十 郎	1895年ころ偶然実生 として発見	晩生種、果実はやや扁円形、280g 内外、収量は多、品質は良
パ ー ト レ ッ ト	Bartlett	なし北海道輸第3号	1972 (1924)		イギリス原産	不明	中生種、果実は円すい形、250g内 外、収量は多、品質は良
ブ ラ ン デ ー ウ ィ ン	Brandy wine	なし北海道輸第4号	1972 (1924)		不 明	不明	中生種、果実は短円すい形、180g 内外、収量は中、品質が最良
日 面 紅	Flemish Beauty	なし北海道輸第5号	1972 (1924)	2002	ベルギー原産	不明	中生種、果実は円すい形、300g内 外、収量は多、品質は良
ウ ィ ン タ ー ネ リ ス	Winter Nelis	なし北海道輸第6号	1972 (1924)	1987	イギリス原産	不明	晩生種、果実は短円すい形、150g 内外、収量は中、品質は良
初 日		なし北海道第7号	1972 (1957)	1987	北 海 道 農 試	「長十郎」×「身不知」	早生種、果実は短紡錘形、180g内 外、収量は多、品質はやや良
甘 玉		なし北海道第8号	1972 (1957)	1987	北 海 道 農 試	「長十郎」×「身不知」	中生種、果実は円形、250g内外、 収量は中、無袋不可、品質はやや良
北 洋		なし北海道第9号	1972 (1957)	2002	北 海 道 農 試	「長十郎」×「二十世 紀」	晩生種、果実はやや不整な扁円形、 280g内外、収量は多、品質は良
北 星*	北農1号	なし北海道第10号 ナシ農林5号	1972 (1966)	2002	北 海 道 農 試	「身不知」×「二十世 紀」	中生種、果実は紡錘形、350g内外、 収量は中程度、品質は良
北 都*	北農2号	なし北海道第11号	1972 (1968)		北 海 道 農 試	「二十世紀」×「身不 知」	中生種、果実は短紡錘形、250g内 外、収量は中程度、品質は最良

樹勢	樹姿	収量	熟期	貯蔵性	果形	果実の 大きさ	果皮色	肉質	風味	栽培適地
中	開張	多	9月下～ 10月上	中	長円	230～250g	黄緑色地に濃赤の太い縞	黄白ち密	果汁多く、甘味に富み、酸味少なく、食味良	全道一円
中	中間	多	10月中	や高	円	250～300g	黄緑の地に淡紅～紅色	中位	甘味と酸味が適度、果汁多く芳香有り、良食味	北海道一円
中	や開張	多	10月中～ 下旬	中	円	280～340g	赤縞	や粗	甘味と酸味が濃厚で、果汁多く、食味良	北海道一円
や弱	や直立	中	9月下旬	中	円錐	200～250	紅色～鮮紅色	ち密	甘味と酸味が適度、果汁多く、食味極めて良	本道のりんご栽培地域
や強	や直立	多	9月上旬	中	円	250～300g	緑色の地に陽向面紅色	ち密	肉質良く、さわやかな酸味	北海道一円
中	中間	多	10月中	中	長円～ 円錐	250～300g	全面農赤	黄白ち密	甘酸適和、果汁多く芳香有り、良食味	北海道一円
中	開張	多	10月中旬	高	扁円	280～330g	濃赤に不明瞭な縞	ち密	果汁多く、甘酸適和で品質良好	本道のりんご栽培地域
中	開張	多	10月中旬	高	扁円錐	280～330g	全面濃赤	ち密	果汁多く、甘酸適和で品質良好	本道のりんご栽培地域

樹の 大きさ	樹勢	樹姿	収量	熟期	貯蔵性	果形	果実の 大きさ	果皮色	肉質	風味	栽培適地
半わい性	中	や開張	中	や早まる	平常	平常	平常	やまさる	平常	や糖度上がる	現在のりんご産地全道一円
半わい性	中	開張	少	早まる	や劣る	平常	平常	やまさる	平常	糖度上がる	現在のりんご産地全道一円
標準	旺盛	中	多	平常	平常	平常	平常	平常	平常	平常	現在のりんご産地全道一円

樹勢	樹姿	収量	収穫期	追熟期間	貯蔵性	果形	果実の大きさ	果皮色	肉質	風味	品質	栽培適地
強	開張	多	10月中・下		中	円錐	370g内外	緑黄	粗	や良	や良	本道独特の品種で耐寒性強く、本道一円に栽培できるが、品質的経済的栽培は道央以南の地域
中	直立	多	10月下		高	や扁円	280g内外	淡褐	や粗	良	良	晩生種で耐寒性に弱いことから、道央以南の地域
強	や開張	多	9月上・中	7～10日	短	円錐	250g内外	黄	密軟	良	良	耐寒性は「身不知」より弱い。道央以南で最低気温が-25～26℃以下にならない地域
強	や開張	中	9月中下	2週間前後	短	短円錐	180g内外	黄緑	密軟	良	最良	耐寒性は「身不知」に近い。道央以南の地域
強	開張	多	10月上	2週間前後	短	円錐	300g内外	黄緑	密軟	良	良	耐寒性は強く「身不知」に近いが、経済栽培は道央以南の地域
中	や開張	中	10月下	2～3カ月	短	短円錐	150g内外	暗緑	や粗軟	良	良	耐寒性は強く「身不知」に近い。道央以南の地域
強	や開張	多	9月中		低	短紡錘	180g内外	緑褐	ち密	良	良	耐寒性が強く早生種であることから、道央以北の適品種のなかった地域の自家用栽培に適する
強	開張	中	9月下～ 10月上		中	円	250g内外	淡緑黄	や粗	良	良	耐寒性の点からみて、胆振以北の最低気温が-27～28℃以下にならない地域
強	開張	多	10月下		高	不整な扁円	280g内外	淡褐	密	良	良	空知以南。胆振以北の中部地方に適する。黒星病の被害少なく、粗放栽培に耐えるので道南の一部地方にも適する
中	開張	中	10月上		中	紡錘	約350g内外	緑黄	や粗	良	良	「長十郎」の栽培されている地域
強	開張	中	10月上		中	短紡錘	約250g内外	白緑黄	密	良	最良	中生種「身不知」の栽培されている地域

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
北 甘*	14号	なし北海道第12号 なし農林9号	1980		北海道農試	「甘玉」×「二十世紀」	中生種、果実は円形で約240g、収量中位、食味良、無袋不可
北 豊*	77号	なし北海道第13号 なし農林10号	1980		北海道農試	「身不知」×「長十郎」	中生種、果実は不整な短楕円形、320g内外、多収性、甘味は強く食味良
北 新*	67-17-22	なし北海道第14号 なし農林17号 第5796号	1997		北海道農試	「新世紀」×「北甘」	中生種、果実は扁円形、326g内外、多収性、糖度高く良食味

24 く り

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
オータムポロン	道南1号	その他北海道第17号 第3226号	1992 (1990)		道南農試	在来種「銀太郎」の 自然交雑実生より選 抜	早生、多収、良食味
オータムコロロン	道南2号	その他北海道第18号 第3227号	1992 (1990)		道南農試	在来種「銀太郎」の 自然交雑実生より選 抜	極早生、多収、極良食味

25 ぶ ど う

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
キャンベルアーリー (カメルズアーリー)	Campbell Early	ぶどう北海道輸第1号	1972 (1924)		米国(オハイ オ州)	「ムーアアーリー」 の実生	黒色種、果房果粒共に大きい。極めて 豊産性である
デラウェア	Delaware	ぶどう北海道輸第2号	1972 (1924)		米国(オハイ オ州)	偶発実生、1849年発 表	赤色種、果房果粒共に小さい。甘味 多い。耐寒性はやや劣る
ナイアガラ	Niagara	ぶどう北海道輸第3号	1972 (1924)		米国(ニュー ヨーク州)	「コンコード」×「キャ サディ」	白色種、豊産性で甘味が多いが、熟 期遅い。狐臭強い
ブライトン	Brighton	ぶどう北海道輸第4号	1972 (1924)	1984	米国(ニュー ヨーク州)	「ダイアナハンプ グ」×「コンコード」	赤色種、甘味強く品質は良いが、自 家不受精のため結実不安定
バッファロー	Buffalo	ぶどう北海道輸第5号	1972 (1966)		米国(ニュー ヨーク農試)	「ハーバート」×「ワ トキンス」	黒色種、糖酸共に多く、独特の香り がある。耐寒性はやや劣る
ポートランド	Portland	ぶどう準第1号	1973		米国(ニュー ヨーク農試)	「チャンピオン」× 「ルテー」	白色種
フレドニア	Fredonia	ぶどう準第2号	1973	1999	米国(ニュー ヨーク農試)	「チャンピオン」× 「ルシール」	黒色種、熟期やや早く、酸味やや少 ない。脱粒し易い
ミュラートルガウ	Muller Thurgau	ぶどう準輸第3号	1981		ドイツ(スイ ス)	「リースリング」× 「ジルバーナー」	白ワイン用醸造専用品種。耐寒性は やや劣る
セイベル 5279	Seibel5279	ぶどう準輸第4号	1981		フランス	「セイベル788」× 「セイベル29」	白ワイン用醸造専用品種。花振いや や多い
セイベル 13053	Seibel13053	ぶどう準輸第5号	1981		フランス	「セイベル7042」× 「セイベル5409」	赤ワイン用醸造専用品種
ツバイゲルトレーベ	Zweigeltrebe	ぶどう準輸第6号	1981		オーストリア	「ブラウフレンキッ シュ」×「サンローラ ン」	赤ワイン用醸造専用品種
ノースレッド	安芸津4号	ぶどう移第6号 第3117号	1991		農水省 果樹試験場 安芸津支場	「セネカ」×「キャン ベルアーリー」	赤色種、糖度高い、特殊な香りを有 する、食味良
ノースブラック	安芸津5号	ぶどう移第7号 第3457号	1992		農水省 果樹試験場 安芸津支場	「セネカ」×「キャン ベルアーリー」	黒色種、糖度高く酸味少、フォクシー 香
藤 稔	藤稔	ぶどう準移第8号 第919号	2000		神奈川 青木 直	「井川682号」×「ピ オーネ」	黒色種、四倍体、糖度高く良食味、 極大粒、ハウス用品種

26 おうとう

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
日 の 出		その他北海道第10号	1972 (1922)	2007	イギリス原産	不明	極早生、果実は紫黒色でやや小さい。 多汁であるが甘味はやや乏しい

樹勢	樹姿	収量	収穫期	追熟期間	貯蔵性	果形	果実の大きさ	果皮色	肉質	風味	品質	栽培適地
強	や開張	多	9月下～10月上		低	不整な短楕円	240g内外	黄緑褐	や粗	良	中	耐寒性強く、早生種であり、道央以北（石狩、空知、上川、網走）の地域
強	や開張	中	9月下		中	円	320g内外	黄緑	や密	良	良	耐寒性の点からみて道央以南（渡島、後志、石狩、胆振）の地域
強	中間	多	9月下～10月上		低	扁円	326g内外	黄緑	や密	良	良	道内日本なし栽培地帯

樹勢	樹姿	枝梢			葉の 大小	きゅう果			果実				果肉 の色	肉質	甘味	香気	栽培適地
		粗密	長さ	太さ		形	大きさ	肉の 厚さ	形	大きさ	色	剥皮の 難易					
強	や開張	密	中	太	大	扁球	中	中	円	小	褐	中	黄	粉質	中	中	道南（渡島、檜山）
強	中	密	中	中	中	扁球	小	中	円	小	淡褐	中	黄	粉質	中	中	道南（渡島、檜山）

樹勢	収量	熟期	果房形	着粒の 疎密	果粒形	果房の 大きさ	果粒の 大きさ	果皮色	肉質	風味	その他	栽培適地
中	極多	9月下～10月上	長円錐	密	円	大	や大	黒	軟	酸や多		道央南部以南
強	中	10月上	円筒	や密	円	小	小	赤褐	軟	酸味少 甘味多	GA処理により種なし化。熟期促進化可	道央南部以南
強	多	10月上～中	円錐	密	円	中	中	黄緑	軟	甘味多 フォクシー香強		道央南部以南
強	少	10月上	長円錐	中	円	中	中	暗赤	軟	甘味多	自家不受精	道央南部以南
や強	中	9月下～10月上	円錐	や疎	円	中	中	紫黒	軟	糖酸芳香	GA処理により種なし化。熟期促進化可	道央南部以南
中	中	9月中～下	円筒	中	円	中	中	緑黄	軟	甘味多		道央南部以南
強～中	中	9月下	短円筒	密	扁円	中	中	青黒	軟	酸や少		
中～や弱	中	10月上	円筒	密	短楕円	中	小	黄緑	軟			空知以南およびそれに準ずる地帯
や強	中	9月下～10月上	円筒	中	扁円	や小	小	黄白	軟			上川以南およびそれに準ずる地帯
中	中	9月下～10月上	円錐	中	円	小	小	黒	軟			上川以南およびそれに準ずる地帯
中	中	10月上	円錐	極密	円	中	小	黒紫	軟			空知以南およびそれに準ずる地帯
や強	多	9月中～下	円筒	中～密	円	中	中	紫赤～暗赤色	軟	甘味多香		道央南部以南
中	中	9月中～下	円筒	密	円	や大	や大	黒	中	甘味多、 フォクシー香		道央南部以南
強	多	9月中～下	円錐	やや密	短楕円	大	極大	紫黒	軟	微フォクシー香		生食用ブドウ栽培地域のハウス栽培用

樹勢	樹姿	収量	熟期	果形	果実の 大きさ	果皮色	肉色	肉質	風味	品質	裂果	栽培適地
中	直立	中	6月下	心臓	中	紫黒	紫赤	軟	甘味中微酸	中	中	道央以南

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
北 光 (水門)		その他北海道第11号	1972 (1922)		小樽市で発見	偶然実生, 1912年 (明44)	中生種, 果実は中位で軟らかく, 多汁である。裂果が少ない
ナポレオン		その他北海道(輪)第12号	1972 (1922)		欧州在来	不明, 1700以前に発表	晩生種, 果実は大きく肉質はやや硬い。甘味多く, 品質は良い, 加工適性有
佐 藤 錦		おうとう準第1号	1973		山 形 県 佐 藤 栄 助	「ナポレオン」×「黄玉」	中生種, 果実は黄赤色で中位, 甘味多く, 品質は良い
南 陽		おうとう準北海道第2号	1988		山 形 県 農試置賜分場	「ナポレオン」の実生を胚培養	晩生種, 果実は大きく甘味が多い, 極良食味
ジューンブライト	HC1	おうとう北海道第1号 第14917号	2005		中 央 農 試	「南陽」×「不明」	早生種, 果実はやや大きく, 軟らかく多汁。道内主要品種と交配親和性がある。

27 おうとう台木

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
チシマ台1号	DS1	台木類(おうとう)北海道交第1号 第12376号	2002		中 央 農 試, 道 南 農 試	チシマザクラの実生より選抜	耐寒性が強く, わい化性, 接ぎ木親和性に優れる

28 う め

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
豊 後		その他北海道第13号	1971		不 明	不明	耐寒性が強く, 大果で果肉が厚く加工向きだが梅干に不適, 耐病虫性弱
大 野 豊 後		うめ準第1号	1975		道 南 農 試	大野町の豊後梅の在来種中より選抜	耐寒性も強く, 結果期早く, 豊産性で果実小さく梅干に向くが, 樹勢弱く樹形維持に難点がある

29 す も も

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
ビューティ		すもも準第1号	1973 (1925)		米 国	不明	極早生, 豊産, 小果, 食味不良, 日焼多, 黒班病弱, 貯蔵性劣る
大 石 早 生		すもも準第2号	1973 (1952)		福 島 県 大石俊雄氏園	フォーモサの自然交雑実生	極早生, 豊産, 小果, 食味不良, 日焼少, 黒班病弱

30 も も

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
倉 方 早 生		もも準第1号	1973 (1951)	1999	東 京 都 倉方英蔵氏園	「長生種(タスカン×白桃)」×「実生種」	外観良, 甘味多, 貯蔵性良, 肉質やや硬い, 自家結実性乏しい
白 鳳		もも準第2号	1973 (1931)		神奈川農試	「白桃」×「橘早生」	食味, 色沢良, 樹勢弱, 耐病性弱
大 久 保		もも準第3号	1973 (1925)		岡 山 県 大久保重五郎氏園	白桃実生	外観良, 貯蔵輸送性良, 食味淡白, 樹勢弱, 開張下垂性
砂 子 早 生		もも準第4号	1973 (1958)	1999	岡 山 県 上村輝男氏園	偶発実生	大果, 外観良, 食味良, 貯蔵性良, 自家結実性なし

樹勢	樹姿	収量	熟期	果形	果実の大きさ	果皮色	肉色	肉質	風味	品質	裂果	栽培適地
強	半開張	多	7月上	心臟	中	赤帯黄	淡黄	軟	甘味中位	中	少	道央以南
強	直立	多	7月中～下	長心臟	大	赤帯淡黄	黄白	やや硬	甘味多	上	中	道央以南
強	直立	多	7月初	短心臟	中	黄赤	黄白	軟	甘味多	上	中	道央以南
やや強	直立	多	7月上	短心臟	極大	赤帯淡黄	黄白	や硬	甘味多	上	少	道南, 道央
強	直立	多	6月下	心臟	やや大	帯赤黄斑	乳白	やや軟	甘味やや少	上	少	全道おうとう栽培地域

耐寒性	わい化性	着花性	収量		接ぎ木親和性	吸枝の発生	繁殖性	果実品質	満開日	収穫期	栽培適地
			南陽	北光							
中	中	やや良	少	多	良	極少	中	平常	平常	平常	全道おうとう栽培地域
強	やや弱	中	中	—	良	無	やや難	平常	平常	平常	

注) 台木特性 (上段は二重台、下段は自根台)

樹の大きさ	樹勢	樹姿	収量	自家結実性	収穫期	貯蔵性	果形	果実の大きさ	果皮色	風味	その他	栽培適地
大	強	や直立	や多	有	8月上	有	円～長円	大(30～60g)	黄緑地暗紅斑	中	結合線不明 不整果多 玉揃不良	道南, 道央
小	弱	開張	多	有	8月上		円	小～中	黄緑地暗紅斑	良		道央, 道南

樹の大きさ	樹勢	樹姿	収量	自家結実性	熟期	貯蔵性	果形	果実の大きさ	果皮色	肉色	肉質	食味	その他	栽培適地
や小	良好	直立～開張	極多	有	8月中～下	劣	円錐心臟	小(100g)	鮮紅	黄色～淡紅	柔軟, 多汁	甘味少, 酸味少	黒斑病弱, 日焼多	道南, 道央, 道東
や大	強	直立～開張	多	不良	8月中～下	劣	円錐心臟	小(100g)	鮮紅	黄	柔軟	甘味少, 酸味極少		道南, 道央, 道東

樹の大きさ	樹勢	樹姿	収量	熟期	果形	果実の大きさ	果皮色	肉色	肉質	核の粘膜	品質	その他	栽培適地
や大	強	や開張	多	8月下	整円	中の小(150g)	果頂紅ぼかし	白色	ち密	粘核	良好	耐病性强, 核割少, 核周着色	渡島, 檜山, 胆振, 日高 (中西部)
や大	中～やや弱	開張	中	9月上～中	円～長円	中(180g)	乳白色紅ぼかし	白色	ち密や硬	粘核	良好	耐病性や弱核周淡紅, 剥皮容易	渡島, 檜山, 胆振, 日高 (中西部)
中～小	弱	極開張	多	9月中	円～長円	大(260g)	乳白紅斑	白色	や粗	離核	や良	日焼多, 核周淡紅穿孔病弱	渡島, 檜山, 胆振, 日高 (中西部)
大	やや強	開張	多	8月下	楕円～円	大(250g)	乳白色紅ぼかし	白色	ち密纖維や少	粘核	良好	耐病性强, 核割少, 剥皮容易	渡島, 檜山, 胆振, 日高 (中西部)

31 カーランツ

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
ロンドンマーケット	London Market	カーランツ準第1号	1973 (1965)		不明(イギリスで古くから栽培)	不明	樹は大きく開張性, ごく豊産, 熟期7月中~下旬, 果実は赤く大きい
ローズオブホーランド	Rose of Holland	カーランツ準第2号	1973 (1965)		不明(フランスで古くから栽培)	不明	樹は大きく直立性, 熟期7月下旬~8月上旬, ごく豊産, 果実の大きさ中で濃赤色
レッドレーク	RedLake	カーランツ準第3号	1973 (1965)		アメリカ(ミネソタ農試)	不明	樹は大きさは中, 開張性, 収量中, 熟期7月中旬, 果実は大きく赤い
ボスクープジャイアント	Boskoop Giant	カーランツ準第4号	1973 (1965)		オランダ	不明	樹は大きく開張性, 収量中位, 熟期7月下旬~8月上旬, 果実は黒く大きい

32 ハイブッシュブルーベリー

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
ジュ ー ン	June	ブルーベリー準第1号	1974		米 国	「(ブルックス)×(ラッセル)」×「ルーパー」	早生種, 樹姿はやや開張性で大きく, 収量は多い, 凍害に強い
ランコカス	Rancocas	ブルーベリー準第2号	1974		米 国	「(ブルックス)×(ラッセル)」×「ルーパー」	中生種, 樹姿はやや開張で大きく, 収量は多い. 凍害に強い
ウェイマウス	Weymouth	ブルーベリー準第3号	1974		米 国	「ジューン」×「キャポット」	早生種, 樹姿は開張性で小さく, 収量は多い. 凍害に強い
ハーバート	Herbert	ブルーベリー準第4号	1974		米 国	「スタンリー」×「(ジャージ)×(パイオニア)」	中生種, 樹姿は開張性で大きく, 収量は多い. 凍害にやや強い

33 グースベリー

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
ピックスウェル	Pixwell	グースベリー準第1号	1976		米 国	「リベス・ミズリエンシス」×「オレゴンチャンピオン」	熟期7月下旬, 果実は大きさ中位で円形, 紫紅色, 糖度たかい, ごく多収
グレンダール	Glennedale	グースベリー準第2号	1976		米 国	「グロスラリア・ミズリエンシス」×「栽培種の子孫」	熟期7月下旬, 果実は大きさ中位で円形, 紫紅色, 糖度高い, ごく多収
オレゴンチャンピオン	Oregon Champion	グースベリー準第3号	1976		米 国	「クラウン・ポップ」×「ホートン」	熟期7月下旬, 果実は大きさ中位で円形, 緑黄色, 糖度高い
ホ ー ト ン	Houghton	グースベリー準第4号	1976		米 国	アメリカ種×ヨーロッパ種	熟期7月下旬, 果実はやや小さく円形, 暗赤色, 糖度高い, 多収

34 キイチゴ(ラズベリー)

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
ラ ー ザ ム	Latham	その他北海道14号	1972 (1940)		米 国	「キング」×「ロウドン」	樹は大きく, 樹勢強, 豊産性, 熟期は7月下旬~8月下旬, 果実は円形で鮮紅色
ゴールデン・クィーン	Golden Queen	その他北海道(輪)第15号	1972 (1940)		米 国	「カスパート」の突然変異種	樹は大きく, 樹勢は中位, やや豊産性, 熟期は7月下旬~8月下旬, 果実はだ円形で鮮黄色
チルコチン	チルコチン	ラズベリー準輸第1号	1992		カ ナ ダ	「サムナー」×「ニューパーグ」	中生種, 多収, 耐寒性強, 酸味が強い
ヌ ー ト カ	ヌートカ	ラズベリー準輸第2号	1992		カ ナ ダ	「カーニバル」×「ウイラーメット」	中生種, 多収, 耐寒性強, 食味良
ス キ ー ナ	スキーナ	ラズベリー準輸第3号	1992		カ ナ ダ	「レクトン」×「SHR16010/52」	中生種, 耐寒性強, 多収

樹の 大きさ	樹勢	樹姿	収量	熟期	果房長	果形	果実の 大きさ	果皮色	耐寒性	栽培適地
大	強	開張	ごく多	7月中下	や長	円	大	赤	強	全道
大	強	直立	ごく多	7月下～ 8月上	長	円	中	濃赤	強	全道
中	中	開張	中	7月中	や長	円	大	赤	強	全道
大	強	開張	中	7月下～ 8月上	短	円	大	黒	強	全道

樹の 大きさ	樹勢	樹姿	収量	熟期	果形	果実の 大きさ	果皮色	風味	耐寒性	栽培適地
大	中	や開張	多	7月下～ 8月下	や扁円	中	濃藍	甘味中位	強	道央以南
大	中	や開張	多	8月上～ 8月末	や扁円	中	濃藍	甘味多	強	道央以南
小	弱	開張	多	7月下～ 8月中	や扁円	や大	濃藍	甘味多	強	道央以南
大	中	開張	多	8月中～ 9月中	扁円	大	濃藍	甘味中位	や強	道央以南

樹の 大きさ	樹勢	樹姿	収量	熟期	果形	果実の 大きさ	果皮色	品質	耐寒性	栽培適地
大	強	や開張	ごく多	7月下	円	中	紫紅	良	強	全道、土壌適応性は広いが排水の良い粘質がかった土壌が適す
大	強	や開張	多	7月下	円	中	紫紅	良	強	全道、土壌適応性は広いが排水の良い粘質がかった土壌が適す
中	や強	や開張	中	7月下	円	中	緑黄	良	強	全道、土壌適応性は広いが排水の良い粘質がかった土壌が適す
中	や強	や開張	多	7月下	円	や小	暗赤	良	強	全道、土壌適応性は広いが排水の良い粘質がかった土壌が適す

樹の 大きさ	樹勢	樹姿	収量	熟期	果形	果実の 大きさ	果皮色	品質	耐寒性	栽培適地
大	強	上向開張	多	7月下～ 8月下	円	中	鮮紅	中	強	有機質に富んだ砂壤土が適す
大	中	上向開張	多	7月下～ 8月下	だ円	小	鮮黄	上	強	有機質に富んだ砂壤土が適す
中	強	直立開張	多	7月下～ 8月下旬	長円錐	大	鮮紅	上	強	北海道の果樹栽培地帯
中	強	直立開張	多	7月下～ 8月下旬	長円錐	大	暗紅	上	強	北海道の果樹栽培地帯
中	強	直立開張	多	7月下～ 8月下旬	長円錐	大	暗紅	中	強	北海道の果樹栽培地帯

35 ハスカップ

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
ゆ う ふ つ	HC1	その他北海道第16号 第3033号	1990		中 央 農 試	在来種からの系統選 抜	早生種，一果重大，多収

IV 花 卉

36 花ゆり

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
ハゴロモ	交配2号	花ユリ北海道第1号	1972 (1960)	1979	北海道立農試	「あかひたと」×「お くきんぶせん」	開花7月下旬～8月上旬，花色朱紅 色，花弁反転，珠芽なく下向咲，切 花用
岩内透3号	146号	花ユリ北海道第2号	1972 (1964)	1979	北海道立農試	自生「エゾスカシユ リ」より選抜	開花6月上・中旬，花色鮮紅色，班 点少なくコップ上で上向，促成切花 用
えぞあか	岩字7号	花ユリ北海道第3号	1972 (1967)	1979	中 央 農 試	「えぞ透」×「千草」	開花期6月中・下旬，花色赤橙色， 斑点少，反転少なく上向咲，促成切 花用
えぞこがね	岩字16号	花ユリ北海道第4号	1972 (1967)	1979	中 央 農 試	「えぞ透」×「透ゆり」 (不明)	開花期6月中・下旬，花色黄橙色， 斑点中，上向咲，少々大輪，促成切 花用
岩内黄金	4503	花ユリ北海道第5号	1976	1999	中 央 農 試	(3712)×(F系)	開花期6月下旬～7月上旬，花色濃 黄色，斑点少なく横向咲，促成切花 用
コタンの月	5226	花ユリ北海道第6号 第1542号	1986	2001	中 央 農 試	「4737」×「664」	極遅咲き，草姿良く，花数多い
きたきらり	Li-9	花ゆり北海道第7号 第13262号	2003		花野技セ・ 中 央 農 試	「モナ」×「チョウセ ンヒメユリ	小輪のスカシユリで，花形・草姿に 優れる。球根の多芽性により切花の 収量性が高い。
ピカリ	Li-19	花ゆり北海道第8号 第14733号	2004		花野技セ・ 中 央 農 試	「ホワイトランサー」 ×「チョウセンヒメユ リ	鮮やかな花色と小輪性を有し，花形・ 草姿に優れる。小球開花性に優れ， 球根の生産性も良い。
きらりゴールド	LI-26	花ゆり北海道第9号 第17023号	2006		花 野 菜 セ ン タ ー	「アラスカ」× 「95AA69-3」	小輪のスカシユリで，花色・花形や 草姿に優れる。小球開花性により一 年球を切り花生産に利用できる。
きらりレモン	LI-27	花ゆり北海道第10号 第17024号	2006		花 野 菜 セ ン タ ー	「アラスカ」× 「95AA69-3」	小輪のスカシユリで，花色・花形や 草姿に優れる。小球開花性により一 年球を切り花生産に利用できる。
きらりマジック	LI-30	花ゆり北海道第11号 第17025号	2006		花 野 菜 セ ン タ ー	「紅胡蝶」× 「95AA69-3」	花色が変化する小輪のスカシユリで， 花色・花形や草姿に優れる。小球開 花性により一年球を切り花生産に利 用できる。
ミスティレディ	細育4号	花ゆり北海道第12号 第17026号	2006		中 央 農 試	「94LA191-16」× 「クレテ」	球根肥大生が良好で，花色が鮮赤紫 色，中輪でややカップ咲きの切花用。 球肥大が良好で一年球を切り花生産 に利用できる。
ロイヤルスノー	細育12号	花ゆり北海道第13号 第17027号	2006		中 央 農 試	「ホワイトランサー」 ×「アラスカ」	花色は開花初期には淡緑色でその後 白色となる切花用品種。球肥大が良 好で一年球を切り花生産に利用できる。

37 デルフィニウム

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	来 歴	主要特性
シーオーワン	CO-1	花き類北海道1号 第7920号	1995	2006	中 央 農 試	「ブルースパイヤー」 の突然変異	晩性種。着花密度はやや低いとその 他の形質は従来品種並。生育の揃い 良好

樹の 大きさ	樹勢	樹姿	収量	熟期	果形	果実の 大きさ	果皮色	甘味	酸味	灰色かび 病抵抗性	栽培適地
大	強	開張	多	6月下旬 ～7月 上旬	銚子	大	青黒	少	少	中	北海道一円

開花期 月日	草丈cm	葉数(枚)	花色	花形	花序	花梗	蕾毛	茎色	木子	珠芽	葉の着生	葉色	葉形	球根の色
6.10	70	78	鮮紅	上向	輪生	やや長	少	緑	普通	なし	密	緑	披針形	白
6.10	70	78	鮮紅	上向	輪生	やや長	少	緑	普通	なし	密	緑	披針形	白
6.21	37	93	赤橙	上向	輪生	中	有中	緑	僅かに 有	なし	水平		披針形	白
6.20	48	86	黄橙	上向	輪生	中	有中	緑	ほとん どなし	ほとん どなし	垂下		披針形	白
6月下旬 ～ 7月上旬	35～40	60	濃黄	スカシ 横向	輪生	中	なし	緑	僅かに 有	なし	水平		披針形	白
7月下旬	80～90	90～100	鮮黄	上向～ 斜上向		中	微～無	淡褐	多	なし		緑	披針形	白
7月上旬	80		鮮橙	スカシ ユリ	総状	中	微	緑	なし	なし	水平	緑	披針形	白
7月上旬	100		鮮橙	テッポウ ユリ～ス カシユリ	総状	やや長	無	緑	なし	なし	斜上	緑	長楕円形	白
7月上旬	70		鮮黄橙	スカシ ユリ	総状	中	無	緑	なし	なし	水平	緑	披針形	白
7月上旬	60		明緑黄	スカシ ユリ	総状	中	無	緑	なし	なし	水平	緑	披針形	白
7月上旬	75		淡黄/ 桃色	スカシ ユリ	総状	中	無	緑	なし	なし	水平	緑	披針形	白
7月中旬	105	40	鮮赤色	スカシ ユリ	総状	中	無	緑	なし	なし	上向き	緑	披針形	白
7月中旬	85	30	淡緑色	スカシ ユリ	散形	中	無	緑	なし	なし	上向き	濃緑	長楕円形	白

開花期	草丈cm	節数	花色	花形	花径cm	花蕾数	花穂長cm	花穂数
7月下旬～ 8月上旬	80-95	13-23	白地に紫色の 刷毛目	八重	3.5-4.1	16-27	30-50	5-14

IV 野 菜

38 トマト

品 種 名	登 録 名	登録年	廃止年	育成場所	特性						栽培適地
					草勢	熟期	果形	果色	果重 g	耐病虫性	
あ か ぎ	とまと準北海道第1号	1972	1996	東京シード	強	中	豊円	緋赤	148		全道一円
宝 冠 1 号	とまと準北海道第2号	1972	1979	武蔵野種苗	中	早～中	豊円	濃桃	146		全道一円
新 豊 紀	とまと準北海道第3号	1972	1979	ヤマト種苗	中	早～中	扁円	桃	152		全道一円
豊 緑	とまと準北海道第4号	1972	1979	サカタ種苗	強	中	扁円	濃桃	162	F	全道一円
スーパードキング	とまと準北海道第5号	1972	1979	ヤマト種苗	中～強	早～中	扁円	濃桃	177		全道一円
福 寿 2 号	とまと準北海道第6号	1972 (1930)	1979	タキイ種苗	中	早	豊円	濃桃	157		全道一円
ひ か り	とまと準北海道第7号	1972 (1961)	1979	園芸生産研	中	中	豊円	濃桃	172		全道一円
宝 冠 2 号	とまと準北海道第8号	1972 (1963)	1990	武蔵野種苗	中～強	早～中	豊円	濃桃	200		全道一円
米 寿	とまと準北海道第9号	1972 (1965)	1979	タキイ種苗	中～強	早～中	豊円	濃桃	171		全道一円
東 光 K	とまと準北海道第10号	1972 (1961)	1979	む さ し	中	早～中	豊円	濃桃	175		全道一円
強 力 米 寿	とまと準北海道第11号	1972	1979	タキイ種苗	強	中	豊円	濃桃	200	F, TMV, CL	全道一円
強 力 五 光	とまと準北海道第12号	1972	1979	む さ し	強	中	豊円	鮮桃	156	F, CL, N	全道一円
強 力 月 光	とまと準北海道第13号	1972	1979	む さ し	強	中	豊円	濃桃	180	F, CL, N	全道一円
ウルバーナ	トマト北海道輪第1号	1972 (1965)	1979	導 入	強	早～晩	扁円球 豊満	赤	100	中	全道一円
ファイヤーボール	トマト北海道輪第2号	1972 (1966)	1979	導 入	強	早	豊満	濃赤	100		全道一円
早生だるま	とまと準北海道第15号	1977	1996	松 永	強	早	豊満	濃赤	70		道央以南
交 1 号	とまと準北海道第14号	1977	1984	北海道農試	強	早	豊満	赤	110		道央以南
れ い ぎ ょ く	とまと準北海道第16号	1977	1984	長野農試	強	早	豊満	濃赤	120	F	道央以南
KRN-2011	トマト北海道交第3号	1995		麒麟麦酒 北海製缶	中～強	中	豊円～ や扁円	濃赤	145		全道一円
N D M O 5 1	トマト北海道準移交第17号	1995	2013	日 本 デルモンテ	中	中	や縦長 の珠	濃赤	80		全道一円

注1) 果重として北農試のデータ (1970年)

2) 耐病虫性F (萎ちょう病), TMV (タバコモザイク病), CL (はかび病), N (根こぶ線虫) の略

39 な す

品 種 名	登 録 名	登録年	廃止年	育成場所	特性						栽培適地
					草勢	熟期	分枝	果形	果色	収量	
金井新交鈴成	なす準北海道第1号	1973 (1960)	1979	金 井	開張	早	多	長卵	濃黒紫	多	全道一円
新 橋 真	なす準北海道第2号	1973 (1960)	1979	ヤマト種苗	開張	早	多	長卵	濃黒紫	多	全道一円
郡 真 5 号	なす準北海道第3号	1973 (1970)	1979	群 馬	や立	早	多	長卵	漆黒	多	全道一円
金井早真	なす準北海道第4号	1973 (1970)	1979	金 井	立	極早	多	中長	濃黒紫	多	全道一円

品 種 名	登 録 名	登録年	廃止年	育成場所	特性						栽培適地
					草勢	熟期	分枝	果形	果色	収量	
千 両	なす準北海道第5号	1973		タキイ種苗	半開張	早	多	長卵	漆黑	多	全道一円
長 岡 長	なす準北海道第6号	1973	1979	タキイ種苗	半開張	極早	多	長	漆黑	多	全道一円

40 ピーマン

品 種 名	登 録 名	登録年	廃止年	育成場所	特性						栽培適地
					草勢	熟期	分枝性	果形	果重g	果肉の厚さ	
緑 王	ピーマン準第1号	1973 (1963)	1979	む さ し	開張	極早	多	4角長果	40	中	全道一円
エ ー ス	ピーマン準第2号	1973 (1970)	2009	タキイ種苗	開張	極早	多	中獅子	50	中	全道一円
に し き	ピーマン準第3号	1973 (1970)	1979	園 芸 研	半開	中早	多	長獅子	40	厚	全道一円

41 きゅうり

品 種 名	登 録 名	登録年	廃止年	育成場所	特性										栽培適地
					草勢	葉の 大小	低 温 伸長性	着 習 性	果形	果色	い の ぼ 色	収量	作型		
長 日 青 節 成	きゅうり準北海道第1号	1972	1979	ヤ マ ト 種 苗	強	大	良	主	長	緑	黒	多	促成用	全道一円	
久留米落合H型	きゅうり準北海道第2号	1972	1979	久留米原種育成会	強	中	良	主	長	濃緑	黒	多	促成用	全道一円	
夏崎落合3号	きゅうり準北海道第3号	1972	1979	埼玉原種育成会	強	中	良	主	長	濃緑	白	多	露地用	全道一円	
小 城 節 成	きゅうり準北海道第4号	1973 (1956)	1979	フ ジ イ 種 苗	強	中	良	主	長	濃緑	黒	中	露地用	全道一円	
翠 青 2 号	きゅうり準北海道第5号	1973 (1956)	1979	タ キ イ 種 苗	強	中	良	主	長	濃緑	黒	多	促成用	全道一円	
と き わ 夏 節	きゅうり準北海道第6号	1973 (1963)	1979	サ カ タ 種 苗	強	小	中	側	中	濃緑	白	多	露地用	全道一円	
亀 交 春 秋	きゅうり準北海道第7号	1973 (1964)	1979	渡 辺 農 事	強	大	良	主	長	淡緑	黒	多	抑制用	全道一円	
松 の み ど り	きゅうり準北海道第8号	1973 (1965)	1979	日本園芸生産研	強	中	良	主	長	濃緑	黒	多	促成用	全道一円	
長 交 と き わ	きゅうり準北海道第9号	1973 (1970)	1979	タ キ イ 種 苗	強	中	中	主	長	濃緑	白	多	露地用	全道一円	
さ つ き み ど り	きゅうり準北海道第10号	1973 (1970)	1979	サ カ タ 種 苗	強	小	中	側	長	濃緑	白	多	露地用	全道一円	
み な づ き	きゅうり準北海道第11号	1973 (1970)	1979	カ ネ コ 種 苗	強	大	良	主	中	濃緑	黒	多	促成用	全道一円	
な つ み ど り	きゅうり準北海道第12号	1973 (1970)	1979	神 田 育 種	強	大	中	側	長	濃緑	白	多	露地用	全道一円	

42 メロン

品 種 名	登 録 名	登録年	廃止年	育成場所	特性							栽培適地
					分類	草勢	果形	果皮色	果肉色	果重kg	成熟日数	
北海道キング系	メロン準北海道第1号	1973	1979	各 社	ネット	強	長円	灰緑	橙	1.8	45	全道一円
アールスフェボリット	メロン準北海道第2号	1973	1990	各 社	ネット	中	円	灰緑	緑	1.4	55	全道一円
プ リ ン ス	メロン準北海道第3号	1973 (1967)	2011	サ カ タ 種 苗	ノーネット	強	長円	灰緑	緑	0.6	40	全道一円
め ろ り ん	メロン北海道交第1号 第9656号	1998	2011	花 野 技 セ	ネット	中	長円	灰緑	緑	1.8	45	全道一円

品 種 名	登 録 名	登録年	廃止年	育成場所	特性							栽培適地
					分類	草勢	果形	果皮色	果肉色	果重kg	成熟日数	
い ち ひ め	メロン北海道交第2号 第12839号	2002		花野技セ・ 大 学 農 園	ネット	中	長円	灰緑	橙	1.8	50	全道一円
F G 1 4	メロン北海道交第3号 第17186号	2006		花 野 技 セ	ネット	中	長円	緑	緑	1.8	55	全道一円
ゆ め て ま り	メロン北海道交第4号 第19681号	2008		花野技セ・ 大 学 農 園	ネット	中	円	緑	橙	1.8	50	全道一円
北 か れ ん	メロン北海道交第5号 第22170号	2011		花野技セ・ 大 学 農 園	ネット	中	円	緑	橙	1.8	50	全道一円

43 メロン台木

品 種 名	登 録 名	登録年	廃止年	育成場所	特性				栽培適地
					接ぎ木作業性	低温伸長性	草勢	土壌病害抵抗性	
ど う だ い 1 号	台木類北海道第1号 第10755号	1999	2010	花野技セ	中～難	中	弱～中	つる割病レース0、1、 2y	全道一円、つる割病レ ース1,2y発生圃場
ど う だ い 2 号	台木類北海道交第2号 第12287号	2001		花野技セ	易	良	中	つる割病レース0、2、 1,2y	全道一円、つる割病レ ース1,2y発生圃場
ど う だ い 3 号	台木類(メロン)北海道交第3号 第12842号	2002		花野技セ	中	良	強	つる割病レース0、2、 えそ斑点病	全道一円、えそ斑点病 発生圃場
ど う だ い 4 号	台木類(メロン)北海道交第4号 第15779号	2005		花野技セ	中	良	強	つる割病レース0、2、 1,2y、えそ斑点病	全道一円、つる割病レ ース1,2y、えそ斑点病発生 圃場
ど う だ い 6 号	台木類(メロン)北海道交第5号 第19678号	2008		花野技セ	中	良～中	強	つる割病レース0、2、 1,2y、えそ斑点病	全道一円、つる割病レ ース1,2y、えそ斑点病発生 圃場

44 す い か

品 種 名	登 録 名	登録年	廃止年	育成場所	特性							栽培適地
					分類	草勢	果皮色	果肉色	果重kg	糖度%	成熟日数	
大 和 西 瓜	すいか移第1号	1972	1979	大和農園	縞皮	強	鮮緑条班	緋赤	6～7	11	40	全道一円
新 三 笠	すいか準北海道第1号	1973 (1962)	1979	南部農園	縞皮	強	鮮緑条班	緋赤	5～6	12	40	全道一円
縞 王	すいか準北海道第2号	1973 (1968)	2009	大和農園	縞皮	強	鮮緑条班	緋赤	5～6	12	40	全道一円
早 生 金 剛	すいか準北海道第3号	1973 (1970)	1979	みかど	縞皮	強	鮮緑条班	鮮黄	7	11	45	全道一円

45 か ぼ ち ゃ

品 種 名	登 録 名	登録年	廃止年	育成場所	特性						栽培適地
					草勢	果形	果皮色	果重kg	成熟日数	収量	
美園デリシャス	かぼちゅ準北海道第1号	1973 (1954)	1979	雪印種苗	強～中	ハート型	暗緑	2.6～3.5	55	多	全道一円
芳 果 青 皮	かぼちゅ準北海道第2号	1973 (1969)	1979	渡辺採種	強	扁円	帯灰緑	1.0～1.5	30	中	全道一円
錦 芳 果	かぼちゅ準北海道第3号	1973 (1970)	1979	渡辺採種	強	扁円尻突	濃緑白錦 班	1.0～1.5	30	中	全道一円
え び す	かぼちゅ準北海道第4号	1973 (1972)		タキイ種苗	強	扁円	灰緑淡緑 条班	0.9～1.2	25	中	全道一円
T C 2 A	かぼちゅ北海道第1号 第17187号	2007		北農研 センター 渡辺採種							

46 いちご

品 種 名	登 録 名	登録年	廃止年	育成場所	特性								栽培適地
					草勢	葉の大きさ	ランナー発生数	果色	果の大小	果形	熟期	収量	
ホ レ ラ	いちご北海道準第1号	1972	1979	導 入	強	中	中	鮮紅	中	球円錐	中	多	全道一円
盛 岡 16 号	イチゴ北海道(秘)第1号	1973	1999	野 菜 試	強	大	中	淡紅	大	円錐	中	少	全道一円
幸 玉	いちご北海道準第2号	1973 (1961)	1979	玉 利 氏	強	中	多	紅赤	中	円錐	晩	多	全道一円
ダ ナ ー	いちご北海道準第3号	1973 (1961)	1979	導 入	強	大	中	濃紅	中～大	円錐	中	中	全道一円
レ ッ ド コ ー ト	いちご北海道準第4号	1973 (1965)	1979	導 入	強	中	多	濃紅	中	円錐	中	中	全道一円
キ ャ ベ リ ア	いちご北海道準第5号	1973 (1965)	1979	導 入	中	中	多	紅赤	中	円錐	中	中	全道一円
宝 交 早 生	いちご北海道準第6号	1973 (1970)		兵 庫 農 試	強	中	多	鮮紅	中～大	円錐	早	多	全道一円
き た え く ぼ	いちご北海道第2号 第4535号	1993	2011	道 南 農 試	強	大	多	鮮紅	大	円錐	中	多	全道一円
け ん た ろ う	いちご北海道第3号 第12061号	2000		道 南 農 試	強	中～大	中	鮮紅	大	円錐	早	中	全道一円
エ ッ チ エ ス -138	いちご北海道第4号 第12057号	2001		北 海 三 共	中	中	少	鮮紅	中	円錐	早	多	全道一円
き た の さ ち	いちご北海道第5号 第18013号	2006		道 南 農 試	強	中	中	鮮紅	大	円錐	やや早	多	網走
な つ じ ろ う	いちご北海道第6号 第19204号	2007		道 南 農 試 花 野 菜 セ ン タ ー	強	中	多	鮮赤	大	円錐	中	多	全道一円

47 キ ャ ベ ツ

品 種 名	登 録 番 号	登録年	廃止年	育成場所	特性									栽培適地
					草勢	球形	シマリ	肉質	球重	耐暑性	結球日数	収量性	作型	
コペンハーゲン マーケット	キャベツ輪第1号	1972 (1924)	1979	導 入	中	丸	良	不良	中	中	90	小	早出	全道一円
サクセッション	キャベツ北海道第2号	1972 (1924)	1979	導 入	強	扁円	中	良	や大	強	120	中	秋	全道一円
札幌甘藍	キャベツ北海道第3号	1972 (1924)	1999	各 社	強	扁円腰高	良	中	極大	中	150	多	秋貯	全道一円
中村仲秋	キャベツ準第1号	1973 (1950)	1979	中村採種	強	扁円	良	中	大	中	120	中	秋	全道一円
アラスカ	キャベツ準第2号	1973 (1967)	1987	導 入	中	珠	良	極良	小	中	90	小	早出	全道一円
C M	キャベツ準北海道第3号	1973 (1967)	2002	タキイ種苗	中	珠	良	良	小	中	95	小	早出	全道一円
四季穫	キャベツ準第4号	1973 (1969)	1979	タキイ種苗	強	扁円腰高	良	不良	大	強	120	中	夏秋貯	全道一円
晩抽理想	キャベツ準第5号	1973 (1969)	2009	タキイ種苗	強	扁円	良	中	中	強	120	中	秋貯	全道一円
S E	キャベツ準第6号	1973 (1970)	1999	長野農試	強	扁円	良	良	中小	強	120	中	秋	全道一円
夏蒔理想	キャベツ準第7号	1973 (1970)	1979	タキイ種苗	強	扁円腰高	良	中	や大	強	115	中～多	秋	全道一円
2月穫	キャベツ準第8号	1973 (1970)	1979	タキイ種苗	強	扁円	良	良	中	中	120	中	秋	全道一円
初秋	キャベツ準第9号	1973 (1970)	1979	タキイ種苗	強	扁円	良	良	中～小	極強	120	中	夏秋	全道一円
大丸ともえ	キャベツ準第10号	1973 (1970)	1979	中村採種	強	扁円	良	良	大	中	150	多	秋貯	全道一円

品 種 名	登 録 番 号	登録年	廃止年	育成場所	特 性									栽培適地
					草勢	球形	シマリ	肉質	球重	耐暑性	結球日数	収量性	作型	
長 岡 早 生	キャベツ準第11号	1973 (1970)	1979	タキイ種苗	強	扁円	良	良	中	強	120	中	早出	全道一円
金 系 201 号	キャベツ準第12号	1983	2009	サカタ種苗	強	扁円	良	良	小	中	105	中	初夏 ～秋	全道一円
北 ひ か り	キャベツ準第13号	1983	2008	タキイ種苗	強	扁円	良	良	小	中	105	中	初夏 ～秋	全道一円
スピードボール	キャベツ準第14号	1983	2009	渡辺採種	中	球	良	中	小	中	95	中	早出	全道一円
アーリーボール	キャベツ準第15号	1983		サカタ種苗	中	球	良	良	小	中	100	中	早出 ～秋	全道一円
デリシャス	キャベツ準第16号	1983	1999	渡辺採種	強	扁円	良	良	中	強	105	多	夏～秋	全道一円
初 秋 穫	キャベツ準第17号	1983	1999	野崎採種	強	扁円	良	良	中	強	105	多	夏～秋	全道一円

48 カリフラワー

品 種 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	特 性						栽培適地
					草勢	花蕾色	シマリ	花蕾重kg	成熟日数	収量	
アーリースノーボール	その他北海道(輸)第2号	1972	1990	導 入	半開張	白	良	0.8	45	中	全道一円

49 はくさい

品 種 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	特 性								栽培適地
					草勢	球形	シマリ	1球重kg	収量	結球日数	耐病虫性	作型	
仲 秋	はくさい北海道第1号	1973 (1963)	2007	渡辺採種	強	円筒	良	4	多	85	中	秋	全道一円
王 将	はくさい北海道第2号	1973 (1963)	2008	タキイ種苗	強	円筒	良	4	多	85	強	秋	全道一円
大 関	はくさい北海道第3号	1973 (1963)	1979	タキイ種苗	強	円筒	良	3～4	多	85～90	強	秋	全道一円
オリンピア	はくさい北海道第4号	1973 (1966)	2002	渡辺採種	強	円筒	良	4～5	多	90～100	強	秋	全道一円
春蒔極早生	はくさい北海道第5号	1973 (1967)	1979	タキイ種苗	中	円筒	良	1.5～2.0	小	70	強	早出	全道一円
長交2号	はくさい北海道第6号	1973 (1970)	1979	タキイ種苗	中	短円筒	良	2.2～2.6	小	70	中	早出	全道一円
横 綱	はくさい北海道第7号	1973 (1972)	1979	タキイ種苗	強	円筒	良	4	多	85	強	秋	全道一円
無 双	はくさい北海道第8号	1973 (1972)		タキイ種苗	中	円筒	良	2.5～3.5	中	75	強	早出	全道一円
60日みどり	はくさい北海道第9号	1973 (1972)	1979	タキイ種苗	中	円筒	良	2～3	中	75	強	早出	全道一円

50 つ け 菜

品 種 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	特 性							栽培適地
					分類	草勢	葉形	葉色	葉柄色	辛味	収量	
白茎体菜	その他輸第3号	1972	1979	各 社	体菜	立	半結球	緑	白	なし	中	全道一円

51 たまねぎ

品 種 名	登録番号	登 録 年	廃 止 年	育 成 場 所	特 性								栽 培 適 地
					草 勢	抽 台	乾 腐 病	倒 伏 期	球 形	外 皮 色	球 重	貯 蔵 性	
オータムブライト	たまねぎ準第1号	1972	1987	導 入	や立	並	並	晩	球	濃黄銅	や小	良	全道一円
札幌黄	タマネギ北海道(輪)第1号	1972 (1924)	1999	導 入 選 抜	中	並	並	や晩	球	黄銅	や大	並	全道一円
アーリーエロップ	たまねぎ準第2号	1973 (1962)	1979	導 入	や立	並	並	晩	球	黄銅	中	並	全道一円
アンコール	たまねぎ準第3号	1973 (1962)	1979	導 入	や立	並	並	晩	球	黄銅	中	並	全道一円
北見黄	たまねぎ準第4号	1976	1996	北見農試	中	並	並	中	球	黄銅	中	並	網走
フランスイ*	たまねぎ北海道交第2号 たまねぎ農林交2号	1979	1999	北海道農試	や立	並	強	中	や平	や淡黄	や小	良	全道の軟腐病 多発地
月輪	たまねぎ準移第5号	1982	2007	渡辺採種	中	並	や弱	中	甲高	黄銅	大	や不良	全道一円
ひぐま	たまねぎ準移第6号	1983	2007	タキイ種苗	中	並	や弱	中	甲高	黄銅	大	や不良	全道一円
そらち黄	たまねぎ準移第7号	1983	2007	岩見沢市 たまねぎ 採種組合	中	並	並	や晩	球	黄銅	や大	並	空知地方
せきほく	たまねぎ北海道交第3号 第908号	1984	1999	北見農試	立	並	強	や晩	や平	濃黄銅	や大	良	全道一円
北もみじ	たまねぎ準移交第8号	1984	2005	七宝採種組合	や立	並	強	中	球	黄銅	中	良	全道一円
レオ	たまねぎ準移交第9号	1985	2002	タキイ種苗	中	並	並	中	球	黄銅	中	並	全道一円
ツキヒカリ*	たまねぎ北海道交第4号 たまねぎ農林交3号 第1398号	1986	2008	北海道農試	や立	並	強	や晩	球	濃黄銅	中	良	全道一円
アーク	たまねぎ準移交第10号	1987	1999	タキイ種苗 ホクレン	や開	並	強	中	や扁平	黄銅	中	良	全道一円
天心	たまねぎ準移交第11号	1991		日本農林社	や開	並	強	晩	球	黄銅	大	良	全道一円
北もみじ86	たまねぎ準移交第12号	1991	2005	株式会社七宝	立	並	強	晩	球	黄銅	大	良	全道一円
蘭太郎	たまねぎ北海道交第5号 第5199号	1994	2004	北見農試 ホクレン	や開	並	並	や晩	球	濃黄銅	大	良	全道一円
ツキサップ*	たまねぎ北海道交第6号 たまねぎ農林交5号 第5487号	1994	2007	北海道農試	や立	並	強	晩	や扁平	黄銅	大	良	全道一円
改良オホーツク1号	たまねぎ準移交第13号	1994		株式会社七宝	や立	少	強	早	球	黄銅	や大	や不良	全道一円
スーパー北もみじ	たまねぎ準移交第14号	1995		株式会社七宝	や立	や少	強	や晩	球	濃黄銅	大	良	全道一円
トヨヒラ*	たまねぎ北海道交第7号 たまねぎ農林交7号 第8842号	1997	2008	北海道農試	や立	並	並	や晩	や扁平	黄銅	大	良	全道一円
ウルフ	たまねぎ準移交第15号	1998		タキイ種苗	中	並	強	中	球	黄銅	大	並	全道一円
カムイ	たまねぎ準移交第16号	1998		タキイ種苗	や立	並	強	や晩	球	濃黄銅	大	良	全道一円
さらり	たまねぎ北海道交第8号 第10978号	2000		北見農試 ホクレン	や開	並	並	や晩	球	黄銅	大	良	全道一円
北こがね2号	たまねぎ準移交第17号	2001	2013	タキイ種苗	中	並	強	中	球	濃黄銅	大	良	全道一円
イヨマンテ	たまねぎ準移交第18号	2001	2013	タキイ種苗	や立	並	強	中	球	黄銅	大	良	全道一円
クエルリッチ*	たまねぎ北海道交第9号 たまねぎ農林交号 第17105号	2006		北農研 センター	や立	並	強	中	甲高	赤	中	良	全道一円
収多郎	たまねぎ北海道交第10号 第17103号	2006		北見農試, ホクレン, サカタのタネ	や開	少	強	極早	や扁平	黄銅	大	-	全道一円

品 種 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	特性								栽培適地
					草勢	抽台	乾腐病	倒伏期	球形	外皮色	球重	貯蔵性	
早 次 郎	たまねぎ北海道交第11号 第18366号	2007		北見農試, ホクレン, サカタのタネ	や開	少	極強	極早	球	濃黄銅	や大	-	全道一円
え ぞ ま る	たまねぎ北海道交第12号 第21043号	2009		北見農試, ホクレン	や開	並	並	晩	や扁平	黄銅	極大	良	全道一円
ゆ め せ ん か	たまねぎ北海道交第19号 第 号	2012		北見農試	や立	並	強	晩	球	や淡黄	大	良	全道一円

52 ね ぎ

品 種 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	特性								栽培適地
					分類	分けつ	葉色	葉しょう 部 色	1株重g	低 温 伸長性	越冬性	収量	
加 賀 太 葱	長ねぎ北海道移第1号	1972	1979	各 社	2年	中～少	濃緑	白	200	不良	強	中	全道一円
石 倉	長ねぎ準北海道第1号	1973 (1967)	1999	各 社	1年	少	緑	白	350	良	弱	多	全道一円
金 長	長ねぎ準北海道第2号	1973 (1967)	1999	協 和	1年	少	緑	白	350	極良	弱	多	全道一円
札 幌 根 深	長ねぎ準北海道第3号	1973	1979	各 社	2年	中～少	濃緑	白	200	不良	極強	中	全道一円
大 雪	長ねぎ準北海道第4号	1973 (1906)	1979										
松 本	長ねぎ準北海道第5号	1973	1979	各 社	2年	中～少	濃緑	白	250	不良	強	中	全道一円

53 ほうれんそう

品 種 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	特性								栽培適地
					分類	葉色	葉欠刻	葉柄	作型(月)	種子形	収量		
キ ン グ オ ブ デ ン マ ー ク	ほうれん草北海道輪第1号	1972 (1933)	1979	導 入	半匐	中	無	長	6.7	丸	多	全道一円	
ノ ー ベ ル	ほうれん草北海道輪第2号	1972	1979	導 入	半匐	中	無	短	5.8	丸	多	全道一円	
ピ ロ フ レ ー	ほうれん草北海道輪第3号	1972	1979	導 入	半匐	大	無	中	4.8	丸	多	全道一円	
ミ ン ス タ ー ラ ン ド	ほうれん草北海道第4号	1972	1990	導 入	半匐	大	多	長	3.9	針	多	全道一円	
札 幌 大 葉	ほうれん草北海道第5号	1972 (1953)	1990	北海道農試	半匐	中	無	短	4.8	丸	多	全道一円	
伊 達 在 来	ほうれん草準北海道第1号	1973 (1954)	1987	伊達農園	半匐	大	無～小	中	2～4	丸	中	全道一円	
バ イ キ ン グ	ほうれん草準北海道第2号	1973 (1954)	1987	導 入	半匐	中	無	短	5.8	丸	多	全道一円	
ニ ュ ー サ ッ ポ ロ	ほうれん草準北海道第3号	1973 (1970)	1990	雪印種苗	半立	中	中	中	4.8	丸	多	全道一円	
ニ ュ ー ア ジ ア	ほうれん草準北海道第4号	1973 (1970)	1990	永池育種	立	大	大	長	2～3 9～10	針	中	全道一円	

54 セルリー

品 種 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	特性						栽培適地	
					草姿	草丈	葉色	葉柄色	ス入り	せんい質		収量
コーネル619	セルリー準北海道第1号	1973 (1962)		導 入	半立	長	黄緑	黄緑	小	小	中多	全道一円
ユ タ 系	セルリー準北海道第2号	1973 (1972)	1979	導 入	立	長	緑	緑	小	中	多	全道一円

55 レタス

品 種 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	特性							栽培適地
					分類	球形	シマリ	球重	抽台	耐暑性	耐病性	
ワイヤヘッド	その他輸第1号	1972	1979	導 入	半結球			中	遅	強	強	全道一円
ベンフレーク	レタス準第1号	1973 (1964)	1990	導 入	結球	円	良	や大	遅	中	中	全道一円
グレート レークス	レタス準第2号	1973 (1964)	1987	導 入	結球	円	良	大	遅	強	強	全道一円

56 パセリ

品 種 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	特性							栽培適地
					草勢	株張	葉色	葉形	耐寒性	日持	収量	
エメラルド1号	その他輸第4号	1972	1979		強	良	濃緑	縮葉	強	良	中	全道一円

57. アスパラガス

品 種 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	特性								栽培適地
					草丈	太さ	色	先 端 しまり	鱗葉	品質	収量		
カリフォルニア 500	アスパラガス準北海道第1号	1973 (1966)	1987	導 入	高	太	緑	良	密	良	や多	全道一円	
メリーワシントン 500W	アスパラガス準北海道第2号	1973 (1966)	2009	導 入	高	太	緑	良	密	良	多	全道一円	
北 海 100	アスパラガス準北海道第3号	1981	2003	北 海 道 農試ほか	高	太	緑	良	密	良	多	全道一円	

58 だいこん

品 種 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	特性								栽培適地
					草姿	葉色	根色	根形	根長cm	収量	作型		
練 馬 尻 細	だいこん北海道第1号	1972	1979	各 社	や開張	淡緑	白	円筒 尻細	50	多	秋	全道一円	
宮 重	だいこん北海道移第2号	1972 (1924)	1990	各 社	や立	濃緑	青首	円筒 尻細	60	多	秋	全道一円	
時 無 大 根	だいこん北海道第3号	1972 (1924)	1987	各 社	半開張	濃緑	白	円錐	30	小	春～夏	全道一円	
み の 早 生 系	だいこん準第1号	1973 (1954)	1987	各 社	半開張	濃緑	白	円筒 中太	70	多	秋	全道一円	
大 蔵	だいこん準第2号	1973 (1970)	1987	石井泰次郎	開張	淡緑	白	円筒 尻詰	40	多	秋	全道一円	
聖 護 院	だいこん準第3号	1973 (1970)	2007	各 社	立	淡緑	白	長球	15	多	秋	全道一円	
理 想	だいこん準第4号	1973 (1970)	1990	み か ど	や立	濃緑	白	円筒 尻細	60	多	秋	全道一円	
秋 づ ま り	だいこん準第5号	1973 (1970)	1979	各 社	や開張	淡緑	白	円筒 尻詰	40	多	秋	全道一円	
日 の 出	だいこん準第6号	1973 (1970)	1979	各 社	半開張	濃緑	白	円筒	40	中	春～夏	全道一円	
(甘日大根) ラビットレッド	その他北海道輸第5号	1972 (1927)	1979	導 入	立	濃緑	赤	球	2	小	春～秋	全道一円	
天 春	だいこん準移第7号	1983	1999	サカタ種苗	や立	や濃緑	や青首	円錐 中太	30～40	多	初夏～夏	全道一円	
耐 病 総 太 り	だいこん準移第8号	1983		タキイ種苗	立	緑	青首	円筒 尻細	30～40	多	秋	全道一円	

59 か ぶ

品 種 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	特性							栽培適地
					草姿	葉色	葉柄色	根形	根色	成熟日数	収量	
札 幌 紫	その他北海道輸第6号	1972 (1924)	1979	導 入 選 抜	立	濃緑	帯紫緑	扁円	紫	50	多	全道一円
大 野 紅 蕪 菁	その他北海道移第7号	1972 (1924)	1979	渡 島 支 場	立	紫紅	鮮紅	扁円	鮮紅	50	多	全道一円
寄 居 蕪 菁	その他北海道移第8号	1972 (1924)	1979	各 社	立	鮮緑	淡緑	扁円	白	30	中	全道一円
金 町 小 か ぶ	かぶ準第1号	1973	1990	各 社	立	鮮緑	淡緑	扁円	白	30	中	全道一円

60 にんじん

品 種 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	特性							栽培適地
					草姿	葉色	根形	根色	芯の大小	成熟日数	収量	
アーリーチャンテネー	にんじん北海道輸第1号	1972 (1924)	1996	導 入	立	濃緑	長円錐 尻詰	橙	中	120	多	全道一円
中 村 鮮 紅 太	にんじん準北海道第1号	1973 (1950)	1979	中 村 採 種	立	濃緑	長円錐	濃橙紅	中	120	多	全道一円
5 寸 系	にんじん準北海道第2号	1973 (1972)	1979	導 入	立	濃緑	長円錐 尻詰	濃橙紅	中	120	多	全道一円

61 ご ぼ う

品 種 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	特性							栽培適地
					草姿	葉色	根形	根長cm	太さcm	根色	す入り	
札 幌 大 長	その他北海道第9号	1972	1979	各 社	立	緑	長	80	2.5	褐色	中	全道一円

62 食 用 ゆ り

品 種 名	系統名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	特性							栽培適地	
						草姿	草丈cm	花色	球形	球色	球重g	苦味		収量
角 田 百 合		ゆり根北海道第1号	1972	1979		立	80	橙紅	扁球	白	100	なし	中	全道一円
北 海 白 百 合	空系1号	ゆり根北海道第2号	1972 (1965)	1979	空 知 支 場	立	60	橙紅	扁球	白	150	なし	多	全道一円

63 やまのいも類

品 種 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	特性								栽培適地
					催芽性	草勢	早晩性	いも形	いも重	とろろ粘 度(RVU)	CYNMV 抵抗性	雌雄性	
きたねばり	やまのいも北海道第1号	(2011)		十勝農試 十勝農協連 帯広市川西農協 音更町農協	中	弱	中	狭三角形	中	140	強	雄	全道一円
十 勝 4 号	ながいも北海道第1号	(2013)		十勝農試 十勝農協連 帯広市川西農協 音更町農協	良	中	やや早	長楕円	大	90	中	雄	全道一円

注) とろろ粘度は十勝農試における生産力検定における値 (Pa・sをRVUに換算)。

VI 飼料作物

64 オーチャードグラス

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
北海道在来種		オーチャードグラス北海道第1号	1971 (1914)	1988		アメリカから導入	早生、茎太く、茎数が多い。葉幅・葉長大。再生力旺盛	全道一円
フロード	Frode	オーチャードグラス北海道第2号	1971 (1958)	1979	スウェーデン	スウェーデンから導入	晩生。多葉型で葉長・葉幅比較的大。耐寒性大。耐病性まさる。再生力旺盛。	オーチャードグラス栽培地帯
クタミドリ	月寒在来	オーチャードグラス北海道第3号	1971 (1969)	2012	北海道農試	集団選抜	早生、莖型は中間、枯病に強、雲形病にやや弱、耐寒性、雪腐菌核病に強	全道一円
フロンティア		オーチャードグラス北海道第4号	1972	2010	雪印種苗	合成品種法	中生、葉長、葉幅が大、茎が太い、直立、すじ葉枯病に強、雲形病にやや弱、多収	全道一円
オカミドリ*	北海2号	オーチャードグラス北海道第5号	1976	2012	北海道農試	合成品種法	晩生、葉長、葉幅が大、耐病性大、耐冬性は強。	全道一円
ホクレン改良種		オーチャードグラス北海道第1号	1971	1992	ホクレン	集団選抜法	クタミドリとほぼ同様	根釧地域を除く全道
ヘイキング	雪印改良1号	オーチャードグラス北海道第2号	1971	2007	雪印種苗	集団選抜法	晩生、葉部率が高い。耐病性は並。	道東地域を除く全道
ドリーゼ	Drise	オーチャードグラス北海道第4号	1971	2000	オランダ	オランダから導入	中生、葉部率が高い。葉は繊細。	道東地域を除く全道
フィロックスデンフェルト	PhylloxDenhfeldt	オーチャードグラス北海道第5号	1971	1988	デンマーク	デンマークから導入	中生、茎数多、耐寒性、永続性やや弱。	道東地域を除く全道
マスハーディ	Masshardy	オーチャードグラス北海道第6号	1971	1986	アメリカ	アメリカから導入	晩生、大粒菌核病に強、雲形病に強、耐寒性大。	道東地域を除く全道
ケイ	Kay	オーチャードグラス北海道第7号	1978		カナダ	カナダから導入	晩生、葉長、葉幅が大、茎が太い、大粒菌核病および小粒菌核病に強。	道東地域限定
ワセミドリ*	北海20号	オーチャードグラス北海道第6号 オーチャードグラス農林合6号 第1826号	1987		北海道農試	合成品種法	早生、葉長・葉幅が大、越冬性良、すじ葉枯病、うどんこ病に強	北海道全域
ヘイキングII	SB-O-7801	オーチャードグラス北海道第8号	1987	2007	雪印種苗	合成品種法	極晩生、多収、すじ葉枯病、黒さびに強	北海道全域
ホクト	帯広2号	オーチャードグラス北海道第9号 第1995号	1987	2004	ホクレン	集団選抜法	晩生、越冬性良、大粒菌核病、すじ葉枯病に強	北海道全域
グローラス	WWH-94	オーチャードグラス北海道第10号	1993		スウェーデン	集団選抜法	晩生、越冬性良、すじ葉枯病に強	北海道全域
トヨミドリ*	北海25号	オーチャードグラス北海道第7号 オーチャードグラス農林合7号 第5376号	1994		北海道農試	合成品種法	極晩生、多収、越冬性良、すじ葉枯病、黒さび病、雲形病に強	北海道全域東北部
ハルジマン*	北海26号	オーチャードグラス北海道第8号 オーチャードグラス農林合9号 第12215号	2001		北海道農試	合成品種法	中生、多収、大粒菌核病、すじ葉枯病、黒さび病、雲形病に強	北海道全域
バッカス	SB-O-9504	オーチャードグラス北海道第11号	2002		雪印種苗	合成品種法	晩生、多収、すじ葉枯病、黒さび病、に強	北海道全域
はるねみどり*	北海29号	オーチャードグラス北海道第9号 オーチャードグラス農林合10号 第15414号	2005		北農研センター	合成品種法	早生、多収、越冬性、早春の草勢に優れる	北海道全域
パイカル	HOG-1	オーチャードグラス北海道第10号	2006		ホクレン	合成品種法	晩生、多収、越冬性良	北海道全域

65 チモシー

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
クライマックス	Climax	チモシー北海道第1号	1971 (1962)	1979	カナダ	カナダから導入	採草型、中生、多葉性、黒さびに強、再生良好	全道一円
北王 (ホクオウ)	雪印改良1号	チモシー北海道第2号	1971 (1969)	2001	雪印種苗	集団選抜法	採草型、早生、耐病性大、多収	全道一円
センボク*	北系4305	チモシー北海道第3号 チモシー農林1号	1971 (1969)	2001	北見農試	集団選抜法	採草型、早生、強稈、耐倒伏性、多葉性、再生力良、耐病性大、多収	全道一円
ノサップ*	北見2号	チモシー北海道第4号 チモシー農林合2号	1977		北見農試	合成品種法	採草型、早生、茎が太い、多葉性、再生良好、耐病性大	全道一円
ホクシュウ*	北見7号	チモシー北海道第5号 チモシー農林3号	1977		北見農試	集団選抜法	ほふく型、晩生、耐病性大、再生良好、採草・放牧兼用	全道一円

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登 録 年	廃 止 年	育 成 場 所	育 成 方 法	主 要 特 性	栽 培 適 地
ホクレン改良種		チモシー北海道第1号	1971	1999	ホ ク レ ン	集団選抜法	採草型, 早生, 耐病性大, 多収	全道一円
ハイデミー・ノースランド	Heidemij	チモシー北海道第2号	1971	1999	オ ラ ン ダ	オランダから導入	ほふく型, 晩生, 分けつ数多い, 耐病性弱	全道一円
クンプウ*	北見11号	チモシー北海道第6号 チモシー農林4号 第369号	1980		北 見 農 試	母系選抜法	極早生, 直立型, 再生良好, 多収	全道一円
ホクセン	ホクセン 2号A	チモシー北海道第2号 第1411号	1981	2001	雪 印 種 苗	合成品種法	中生, 直立型, 採草用	全道一円
アケシ*	北見16号	チモシー北海道第7号 チモシー農林5号 第4131号	1992		北 見 農 試	合成品種法	中生の早, 茎数多, 多収, 耐寒性强, 斑点病強, 採草型	全道一円
キリタツ*	北見18号	チモシー北海道第8号 チモシー農林6号 第4132号	1992		北 見 農 試	合成品種法	中生の晩, 茎数多, 多収, 耐寒性强, 越冬性並, 採草放牧型	全道一円
ホクセイ	SB-T-8710	チモシー北海道第4号 第5730号	1994	2010	雪 印 種 苗	合成品種法	早生, 再生良好, 耐倒伏性强, 採草型	全道一円
オーロラ	MT-1-85	チモシー北海道第5号 第5621号	1994		三 井 東 圧	集団選抜法	早生, 耐倒伏性强, 斑点病, すじ葉枯病に強	全道一円
ホクエイ	SB-T-8704	チモシー北海道第6号 第5729号	1995		雪 印 種 苗	合成品種法	中生, 再生良好, 多収, 採草型	全道一円
ホライズン	SB-T-9502	チモシー北海道第7号	2002		雪 印 種 苗	合成品種法	早生, 再生良好, 耐倒伏性やや強, 採草型	全道一円
シリウス	SB-T-9504	チモシー北海道第8号	2002		雪 印 種 苗	合成品種法	晩生, 斑点病抵抗性やや強, 混播適性やや良好, 採草型	全道一円
なつさかり*	北見22号	チモシー北海道第9号 チモシー農林7号 第14546号	2004		北 見 農 試	合成品種法	晩生, 耐倒伏性强, 斑点病抵抗性强, 混播適性やや良好, 採草放牧型	全道一円
なつちから	北見25号	チモシー北海道第10号 第22052号	2010		北 見 農 試 ホ ク レ ン	集団選抜法	早生, 多収, 耐倒伏性强, 斑点病抵抗性かなり強, 混播適性良好, 採草型	全道一円
SBT0308 (市販品種名: アルテミス)	SBT0308	チモシー北海道第11号	2010		雪 印 種 苗	合成品種法	中生の早, 多収, 斑点病抵抗性かなり強, 再生良好, 混播適性良好, 採草放牧型	全道一円
SBT0310 (市販品種名: ヘリオス)	SBT0310	チモシー北海道第12号	2010		雪 印 種 苗	合成品種法	中生, 多収, 斑点病抵抗性かなり強, 耐倒伏性やや強, 採草放牧型	全道一円

66 イタリアンライグラス

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登 録 年	廃 止 年	育 成 場 所	育 成 方 法	主 要 特 性	栽 培 適 地
ビリオン	Billion	イタリアンライグラス 準北海道第1号	1971		オ ラ ン ダ	オランダから導入	春播性が高い, 早生, 生育期間は短い, 直立型, 稈は太く, 葉幅が広い, 斑点病強。	全道一円
マンモス		イタリアンライグラス 準北海道第2号	1971		雪 印 種 苗	倍数性育種法母系選抜法	春播性が高い, 早生, 生育期間は短い, 直立型, 稈は太く, 葉が大きい, 冠さび病に弱	全道一円
Primora		イタリアンライグラス 輪第3号	2011		デンマーク	デンマークから導入	早生, 1番草多収, 地下茎型イネ科雑草防除能力高。	稲作地帯を除く全道一円
タチサカエ		イタリアンライグラス 移第4号	2011		タ キ イ 種 苗	集団選抜法	早生, 多収, 地下茎型イネ科雑草防除能力高。	稲作地帯を除く全道一円
ヒタチヒカリ		イタリアンライグラス 移第5号	2011		茨城県畜産試験場	集団選抜法母系選抜法	晩生, 耐倒伏性やや優, やや多収, 地下茎型イネ科雑草防除能力極高。	稲作地帯を除く全道一円

67 ペレニアルライグラス

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登 録 年	廃 止 年	育 成 場 所	育 成 方 法	主 要 特 性	栽 培 適 地
リベール	Reveille	ペレニアルライグラス 準北海道第1号	1978	1995	オ ラ ン ダ	オランダから導入	中生の晩, 葉幅広い, 耐病性强, 再生良好	道北, 道央, 道南地域**
ピートラ	Petra	ペレニアルライグラス 準北海道第2号	1978	1991	オ ラ ン ダ	オランダから導入	極晩生, 再生良好, 耐病性强	道北, 道央, 道南地域**
フレンド*		ペレニアルライグラス 北海道第3号	1978		雪 印 種 苗	集団選抜法	晩生, 葉幅は広い, 冠さび病に強, 再生良好	道北, 道央, 道南地域**
ファントム	Fantom	ペレニアルライグラス 準輪合第4号	1992	2004	オ ラ ン ダ	合成品種法	中生, 越冬性良, 雪腐小粒菌核病に強, 冠さび病に強	道北, 道央, 道南地域**

品 種 名	系統名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
トーブ	Tove	ペレニアルライグラス 準輸第5号	1992	2001	デンマーク	集団選抜法	中生，網斑病に強，多収	道北，道央，道南地域**
ポコロ	天北2号	ペレニアルライグラス 北海道合第1号 第10383号	1999		天北農試	合成品種法	晩生，越冬性良，多収，混播適性良	道北，道央，道南地域**
チニタ	天北5号	ペレニアルライグラス 北海道第2号 第18471号	2008		上川農試 天北支場	合成品種法	中生，採食性良，採種性良	道北，道央，道南地域**

*フレンドは「マンモス」を1979年に改名したもの。
**ただし，土壤凍結のない冬枯れの少ない地帯に限る。

68 メドーフェスク

品 種 名	系統名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
レトーデンフェル	Leto Daehnfeldt	メドーフェスク 準北海道第1号	1971	1980	デンマーク	デンマークから導入	早生，直立型，網斑病に強	全道一円
タミスト	Tammisto	メドーフェスク 準北海道第2号	1978	1995	フィンランド	フィンランドから導入	出穂始は「レトー」よりやや遅い，越冬性は良，耐病性は並	全道一円
トレーダー	Trader	メドーフェスク 準北海道第3号	1978	1990	カナダ	カナダから導入	出穂始は「レトー」より遅い，越冬性は並，耐病性は並，再生良好	全道一円
ファースト	雪印合成1号	メドーフェスク 準北海道第4号	1978	2004	雪印種苗	合成品種法	出穂始は「レトー」並，越冬性は並，耐病性は並，再生良好	全道一円
バンディ	Bundy	メドーフェスク 準北海道第5号	1970	2005	オランダ	オランダから導入	中晩生，開張型，採草・放牧及び兼用種	道央・道南地域
トモサカエ*	北海6号	メドーフェスク 北海道合第1号 農林合第1号 第2061号	1988	2006	北海道農試	合成品種法	早生，多収，越冬性良，耐雪性強，再生良好，採草・放牧及び兼用種	全道一円，本州中部以北の高冷地
リグロ	SB-M-8201	メドーフェスク 準北海道第6号 第5872号	1994		雪印種苗	合成品種法	早生，越冬性良，耐病性は並，採草及び放牧型	全道一円
コマグリーン	MM-1-85	メドーフェスク 準北海道第7号 第7180号	1994	2002	三井東圧	集団選抜法	早生，耐病性は並，採草及び放牧型	全道一円
ハルサカエ*	北海12号	メドーフェスク 北海道合第2号 農林合第22号 第10639号	1999		北海道農試	合成品種法	早生，多収，越冬性良，耐凍性に強，混播適性良，採草・放牧型	全道一円
プラデール	PRADEL	メドーフェスク 準輸第8号	2002		スイス	循環選抜法	早生，多収，越冬性は並，季節生産性は良，放牧型	全道一円
まきばさかえ*	北海15号	メドーフェスク 北海道合第3号 第22044号	2009		北農研 センター 根創農試	合成品種法	早生，多収，雪腐病抵抗性の向上により道道での越冬性良	全道一円，特に道東などの土壤凍結地帯に適す

69 トールフェスク

品 種 名	系統名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
ホクリョウ*	農林合1号	北海道トールフェスク(合)第1号	1972		北海道農試	合成品種法	晩生，草丈高く多葉性，網斑病に強，雪腐病に強，夏枯に弱，多収	全道一円
ヤマナミ*	農林合2号	北海道トールフェスク(合)第2号	1972	2002	北海道農試	合成品種法	極早生，葉の病害に強，雪腐病に弱，夏枯れに強，多収	全道一円
ケンタッキー31	Kentucky31	トールフェスク 準北海道第1号	1971	1996	アメリカ	アメリカから導入	早生，草質は粗剛，越冬性はやや弱	全道一円

70 ケンタッキーブルーグラス

品 種 名	系統名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
ケンブルー	Kenblue	ケンタッキ ブルーグラス 準北海道第1号	1971		アメリカ	アメリカから導入	早生，茎が密生，さび病に弱，多収	全道一円
トロイ	Troy	ケンタッキ ブルーグラス 準北海道第2号	1978		アメリカ	アメリカから導入	早生，さび病にやや強，めん羊の採食は不良，春季の草勢がすぐれ秋季の草勢低下が小	全道一円
ラトー	Lato	ケンタッキ ブルーグラス 北海道第1号	2007		ドイツ	ドイツから導入	早生，多収，発芽，定着時草勢に優れる	全道一円

71 リードカナリーグラス

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
アイオリード		リードカナリーグラス 準北海道第1号	1971	1991	アメリカ	アメリカから導入	草丈が高く粗剛，嗜好性は劣る。	全道一円

72 マウンテンブロムグラス

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
テ イ ネ		マウンテンブロムグラス 準北海道第1号	1971	1990	雪印種苗	母系選抜法	早生，病害抵抗性は強，多収	道央地域

73 ハイブリットライグラス

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
テトリライト	Tetrelite	ハイブリットライグラス 準第5号	1984	2007	アメリカ	アメリカから導入	草丈高く直立型，晩生，再生良好，多収	道南地方で越冬条件の良好な地域

74 スムズブロムグラス

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
アイカップ*	北見1号	スムズブロムグラス 北海道合第1号 スムズブロムグラス 農林合1号 第1827号	1988	2007	北見農試	合成品種法	中生，ほふく型，茎やや細い，多収量，雲形病に強，採草型	全道一円
フ レ ッ プ	北見7号	スムズブロムグラス 北海道合第2号 スムズブロムグラス 農林合2号 第15415号	2005		北見農試	母系選抜法	中生，多収，褐斑病抵抗性極強，採草型	全道一円

75 アカクローバ

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
サ ッ ポ ロ	月系37-1	クローバ類北海道第1号	1971 (1966)	2001	北海道農試	集団選抜法	早生，葉は大きく葉斑は鮮明，再生は良好，耐病性強，小粒菌核病にやや弱，多収	全道一円
ハ ミ ド リ		クローバ類北海道第2号	1971 (1966)	2001	雪印種苗	集団選抜法	早生，冬枯に強，茎割病にやや強，さび病抵抗性は並	全道，特に道北地域
レッドヘッド	Red Head	クローバ類北海道第3号	1972	1991	オランダ	オランダから導入	早生の晩，葉は大きく，葉斑はやや不鮮明，草姿は巨大，耐病性はやや強	道央，根釧地域
ハ ヤ キ タ		アカクローバ準第3号 第133号	1979		ホクレンオランダ共同	倍数体利用集団選抜	早生，4倍体。草丈はやや高く葉斑はやや不鮮明。倒伏が少なく，耐病性は強い。	根釧
ハミドリ4n		アカクローバ準第2号	1979	2004	雪印種苗	倍数体利用集団選抜	早生，4倍体。草丈は中位で葉は大きく，葉斑はやや不鮮明。越冬性良好。多収	十勝を除く全道
タイセツ*	北海6号	クローバ類北海道第4号 アカクローバ農林3号 第2934号	1990	2007	北海道農試	倍数体利用集団選抜	早生，葉は大きく葉斑は鮮明，茎は太い，多収，耐雪性強，再生は良好，イネ科と混播で採草利用	全道一円
ホクセキ*	北海8号	クローバ類北海道第5号 アカクローバ農林4号 第2935号	1990		北海道農試	集団選抜法	早生，葉は小さく葉斑は鮮明，茎は細い，再生は良好耐寒性極強，イネ科と混播で採草利用	全道一円，本州中部以北高冷地
メルビィ	Merviot	アカクローバ準第4号	1990		ベルギー	集団選抜法	早生，うどんこ病，モザイク病に強，採草型	全道一円
スタート	Start	アカクローバ準第5号	1990	1997	チェコスロバキア	チェコスロバキアから導入	早生，多収，採草型	全道一円
エムアールワン	MR-1-83	アカクローバ準第6号 第3644号	1990	2000	三井東圧	集団選抜法	早生，うどんこ病，モザイク病に強，採草型	全道一円（根釧除く）
テトリ	Tetri	アカクローバ準第7号	1993	2001	オランダ	倍数体利用集団選抜	早生，耐倒伏性強，再生は良好，茎割病に強，採草型	道東
マキミドリ	SB-R-8603	アカクローバ準第8号 第4845号	1993		雪印種苗	集団選抜法	早生，再生は良好，多収，うどんこ病に強，採草型	全道一円

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
ク ラ ノ	KRANO	アカクローバ準輸第9号	1998		デンマーク	デンマークから導入	晩生, 競合力弱, 耐倒伏性	全道一円
ナ ッ ユ ウ *	北海9号	クローバ類北海道第7号 アカクローバ農林5号 第12308号	2001		北海道農試	母系選抜法	早生, 競合力弱, 耐寒性・ 越冬性優れる	全道一円
ア レ ス	SWAres	クローバ類北海道第9号	2007		スウェーデン	スウェーデンから導入	晩生, 競合力弱, 永続性に 優れる	全道一円
リ ョ ク ユ ウ *	北海13号	クローバ類北海道第10号 アカクローバ農林6号 第22027号	2010		北 農 研 根 釧 農 試	母系選抜法	早生, 競合力強, 永続性に 優れる	全道一円
北 海 17 号 *	北海17号	クローバ類北海道第11号 アカクローバ農林 号 第 号	2013		北 農 研 ホ ク レ ン	母系選抜法	晩生, チモシー中生品種と の混播適性良, 耐寒性やや 優れる	全道一円

76 シロクローバ

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
カリフォルニア ラ ジ ノ	California Ladino	ラジノクローバ 準北海道第1号	1971		ア メ リ カ	アメリカから導入	ほふく茎の密度が大, 開花 期が早い。	全道一円
ミルカパイビア	Milka Pajberg	シロクローバ 準北海道第1号	1971	1991	デンマーク	デンマークから 導入	冬枯に強く, 放牧適性が大, コモン型	道北, 道東
フ イ ア	Grasslands Huia	シロクローバ 準北海道第2号	1971		ニュージー ラ ン ド	ニュージーラン ドから導入	葉は大きく, 密性, 多収。 耐病性强, 再生力良好, コ モン型	道央, 道南
ロディギアノ	Ladino Digante Lodigiano	ラジノクローバ 準輸第2号	1975	1986	イ タ リ ア	イタリアから導入	葉は大きく, 葉柄は長く, ほふく茎も太い巨大型, 多 収, ラジノ型	全道一円
リ ー ガ ル	Regal	ラジノクローバ 準北海道第3号	1975	1999	ア メ リ カ	アメリカから導入	耐寒性, 耐旱性は強, 耐病 性は強, 多収, ラジノ型	全道一円
エスパンソ	エスパンソ	シロクローバ 準輸第1号	1988	1995	イ タ リ ア	循環選抜法	ラジノ型, 小葉が大きく巨 大型, 多収	全道一円
ソ ー ニ ャ	ソーニャ	シロクローバ 準輸第2号	1988		スウェーデン	反復集団育種法	コモン型, ほふく茎の密度 が高い, 多収, 放牧適性良	全道一円
マキバシロ*	東北9号	クローバ類移合第6号 シロクローバ農林合2号 第134号	1991		東 北 農 試	合成品種法	コモン型, 小葉が大きく大 型, 耐寒性は並, 放牧適性 良	全道一円
ル ナ メ イ	LUNE DE MAI	シロクローバ 準輸第3号	1996		フ ラ ン ス	合成品種法	大葉型, 晩生, 越冬性優れ, マメ科率の変動小さい, 採 草・放牧用	全道一円
ラ モ ー ナ	WWV-14	シロクローバ 準輸第4号	1996		スウェーデン	集団選抜法	中葉型, 中生, 採草・放牧 用	全道一円
リベンデル	RIVENDEL	シロクローバ 準輸第5号	1996		デンマーク	集団選抜法	小葉型, 中生, 競合力弱, 放牧用	全道一円
タ ホ ラ	TAHORA	シロクローバ 準輸第6号	1996		ニュージー ラ ン ド	集団選抜法	小葉型, 中生, 競合力弱, マメ科率の変動小さい, 放 牧用	全道一円
リースリング	Riesling	クローバ類輸第8号	2005		オ ラ ン ダ	オランダから導入	中葉型, 大葉型と同様にオー チャードグラス混播に向く	全道一円
コロボックル*	北海1号	シロクローバ北海道合第9号 シロクローバ農林合6号 第22135号	2011		北 農 研 根 釧 農 試	合成品種法	小葉型, 競合力は弱く, 耐 寒性强, 短草条件での放牧 専用	チモシー, メド ウフェスク基幹 放牧地が利用さ れる道東地域

77 アルサイク クローバ

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
テ ト ラ	Tetra	アルサイククローバ 準輸第1号	1981		スウェーデン W.Waibull 社	倍数性育種法	晩生, 春の草勢は良好, 再 生は不良, 越冬性は並	道東・道北
エ ル モ	Ermo Otofte	アルサイククローバ 準輸第2号	1981	1997	デンマーク 植物育種会 社	集団選抜法	早生, 春の草勢は良好, 再 生は不良, 越冬性は並	道央

78 アルファルファ

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
デュピュイ	DuPuits	アルファルファ 北海道輸第1号	1971 (1958)	1979	フ ラ ン ス	フランスから導入	早生, 紫花種, 草型は直立, 葉部病害抵抗性大, 冬枯れ 少, 多収	全道一円

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
サラナック	Saranac	アルファルファ北海道輸第2号	1971	1990	アメリカ	アメリカから導入	中生，草型は直立，紫花種，耐病性强，冬枯れ少，多収	道北，道央のアルファルファ栽培可能地帯
アルファ	Alfa	アルファルファ準輸第1号	1971	1986	スウェーデン	スウェーデンから導入	早生，紫花種，草型は直立，耐病性强，冬枯れ少，多収	道北・道央
ウィリアムスバーグ	Williams-burg	アルファルファ準輸第22号	1971	1978	アメリカ	アメリカから導入	中生，草型は直立，紫花種，耐病性强，冬枯れ少，多収	道北，道央のアルファルファ栽培可能地帯
ヨーロッパ	Europe	アルファルファ準輸第3号	1975	1992	フランス	フランスから導入	早生，紫花種，草型は直立，倒伏に強い，多収	根釧地域を除く全道
ソア	Thor	アルファルファ準輸第4号	1978	1993	アメリカ	アメリカから導入	中生，紫花種，草型は直立，耐病性强，冬枯れ少，多収	全道一円
キタワカバ*	月系0201	アルファルファ北海道合第3号 アルファルファ農林合3号 第744号	1983	1999	北海道農試	多数栄養系合成品種法	越冬性・永続性良好，耐倒伏性やや弱，混播適性良，いぼ斑点病抵抗性，パーティシリウム萎ちょう病への抵抗性はやや弱い。	全道一円
サイテーション	Citation	アルファルファ準輸合第5号	1984	2000	アメリカ	合成品種法	直立型，中生，越冬にやや優れ，早春の草勢良好，耐倒伏性はやや弱い。輪紋病に強いが，そばかす病，いぼ斑点病，パーティシリウム萎ちょう病にやや弱い。	全道
リュテス	Lutece	アルファルファ準輸第6号	1985	1992	フランス		早生，直立型，茎太く，耐倒伏性，パーティシリウム萎ちょう病に強い。そばかす病等の葉枯れ病害にも強い。「ソア」よりやや低収。	パーティシリウムの萎ちょう病発生地帯
マヤ	Maya	アルファルファ準輸合第7号	1990	2007	フランス	合成品種法	パーティシリウム萎ちょう病に強，耐倒伏性强	全道一円
レーシス	Resis	アルファルファ準輸第8号	1990	1994	デンマーク	集団選抜法	パーティシリウム萎ちょう病に強，採草型	全道一円
アロー	Arrow	アルファルファ準輸合第9号	1990	2000	アメリカ	合成品種法	パーティシリウム萎ちょう病に強，採草型	全道一円
5444	5444	アルファルファ準輸合第10号	1990	2012	アメリカ	合成品種法	パーティシリウム萎ちょう病に強，耐倒伏性やや良	全道一円
ユバー	Euver	アルファルファ準輸合第11号	1990	2008	フランス	合成品種法	パーティシリウム萎ちょう病に強，多収，採草型	全道一円
バータス	Vertus	アルファルファ準輸第12号	1990	2008	スウェーデン	集団選抜法	パーティシリウム萎ちょう病に強，多収，採草型	全道一円
マキワカバ*	月系1号	アルファルファ北海道合第4号 アルファルファ農林合4号 第5377号	1994		北海道農試	合成品種法	極早生，草型は直立，紫花，パーティシリウム萎ちょう病に強，多収，耐雪性强，再生は良好	北海道の多雪地帯
ヒサワカバ*	月系4号	アルファルファ北海道交第5号 アルファルファ農林合5号 第5378号	1994		北海道農試	母系選抜法	早生，草型は直立，紫花，パーティシリウム萎ちょう病に強，多収，耐寒性强，再生は良好	北海道の少雪地帯
ハルワカバ*	北海3号	アルファルファ北海道第6号 アルファルファ農林8号 第13896号	2003		北海道農試	集団選抜法	早生，草型は開帳，パーティシリウム萎ちょう病に強，多収，永続性，越冬性優れる。	全道一円
ケレス	SBA9801	アルファルファ北海道合第7号	2005		雪印種苗	合成品種法	早生，多収，耐病性に優れる。	全道一円

79 バーズフットトレフォイル

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
バイキング	Viking		1971	1978	アメリカ	アメリカから導入		

80 ガレガ

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性	栽培適地
こまさと184	Gale	ガレガ準輸交第1号	2002		エストニア	集団選抜法	地下茎有，高永続性，栄養価低下が緩慢，収量低，耐倒伏製	全道一円

81 飼料用大麦

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育 成 方 法	主要特性
あおみのり	北育18号	大麦(飼)北海道春第3号 第1852号	1987	2011	北見農試	「ほしまさり」×「栃系28」	中生、短稈、耐倒伏性強、大麦雲形病・網斑病にやや弱い、子実重歩合が高い、ホールクロップサイレージ用

82 飼料用ビート

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育 成 方 法	主要特性
シュガーマンゴールド	Sugar Mangold	飼料用ビート北海道輸第1号	1971 (1939)	2007	北海道	デンマークから導入	多収、肉質ち密で乾物多く、貯蔵性に富む
ソランカ	ソランカ	飼料用ビート準輸第1号	1989	2002	西ドイツ	一代雑種育種法	収量並、乾物率高い、根中糖分高い、褐斑病に弱、貯蔵性に富む
モノパール	モノパール	飼料用ビート準輸第2号	1990	2002	オランダ	一代雑種育種法	多収、乾物率やや低い、根中糖分低い、褐斑病に弱、貯蔵性に富む

83 飼料用かぶ

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育成方法	主要特性
紫丸蕪菁		飼料用かぶ北海道第1号	1971 (1931)	2007	北海道	デンマークから導入	早生であり、比較的低温でもよく肥大する。肉質は食用かぶに比して硬いが、飼料かぶのなかでは比較的軟らかく、根部の乾物率も低い。貯蔵性も低い。

84 ルタバガ

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	育 成 方 法	主要特性
ネムロルタバガ		北海道ルタバガ第1号	1971 (1954)	1998	根室支場	集団選抜法	白腐病に対して強く、収量は年次偏差少なく多収、肉質は硬い
マゼスキック		北海道ルタバガ第2号	1971 (1959)	1998	根室支場	集団選抜法	白腐病にはかなり強く多収、肉質はルタバガとしてはやや軟らかい
グリーントップ	Greentop	ルタバガ準北海道第1号	1971 (1963)	2007	オランダ スウェーデン		根部にき裂を生じやすく、白腐病罹病はやや高いが、根腐病には極めて強抵抗性を示す

85 とうもろこし

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	組合せまたは 育 成 方 法	主要特性
ゴールデンクロスバンタム*	ゴールデンクロスバンタム	とうもろこし(普)北海道第1号	1971 (1956)	1999	米 国 (北海道農試)	「P39」×「P51B」	中生の晩、生食加工用、極良質
イエロースイート	札交5207	とうもろこし(普)北海道第2号	1971 (1959)	1975	北海道立農試	「(C13×C30)」× (セルボア)	早生、生食用、良質
タナバタワセ	札交5322	とうもろこし(普)北海道第3号	1971 (1959)	1975	北海道立農試	「黄早生」×「C13」	極早生、生食用
ゴールデンビューティ*	ゴールデンビューティ	とうもろこし(普)北海道第4号	1971 (1963)	1999	米 国 (北海道農試)	「C13」×「Ma21547」	極早生、生食加工用
ホワイトワキシー	マンモス ホワイトワキシー	とうもろこし(普)北海道第5号	1971 (1966)	1975	北海道立農試	「(C339×マンモス ホワイトデントコーン)」× 「マンモスホワイトデントコーン」	加工用、糯種
複 交 4 号	W275	とうもろこし(飼)北海道第6号	1971 (1957)	1975	北海道立農試	「(W9×WM13R)」× 「(W49×WH)」	早生、デント子実用、多収
交 4 号*	月交193号	とうもろこし(飼)北海道第7号	1971 (1957)	1978	北海道農試	「(N21×N19)」× 「T6」	早生、フリント子実用、初期生育良

幼苗の色	穂の			芒の			子実の		耐倒伏性	栽培適地
	型	着粒密度	下垂度	有無	長短	色	大小	色		
やや濃	二条矢羽根型	中	中	多	長	淡黄	大	淡黄	強	北海道全域

草丈	葉数	根形	根色		肉色	その他	栽培適地
			地上部	地下部			
中	中	紡錘型	緑	白	白	根部4割露出	全道一円
中	中	短紡錘	淡黄緑	白	白	根部4～5割露出	全道一円
中	中	楕円	淡黄緑	白	白	根部4～5割露出	全道一円

姿勢	葉色	葉柄色	根形	根色		肉色	肉質	その他	栽培適地
				地上部	地下部				
直立	緑	淡紫色	球	紫	白	白	軟	根部4～5割露出	全道一円

姿勢	葉色	葉柄色		頸長	頸色	根形	根色		肉色	側根の多少	その他	栽培適地
		生育盛期	収穫期				地上部	地下部				
中間	緑	下部 淡赤紫	下部 赤紫	中	暗紫	球	赤紫	白	白	少	根部2/5～1/2露出	全道とくに根剣の内陸部の白腐病多発地帯
や直立	や淡緑	下部 極淡赤紫	下部 淡赤紫	長	暗紫	円錐	鮮赤紫	クリーム	クリーム	少	根部1/2～2/3露出	全道とくに根剣の白腐病の多発しない地帯
や開張	淡緑	黄白色	淡黄緑	短	黄緑	や球形	黄緑	クリーム	クリーム	中	根部2/5～1/2露出	根剣，天北で根腐病多発地帯に適す

初期生育	分けつの多少	稈の長短	耐倒伏性	着穂高	粒の種類	粒色	絹糸色		栽培適地
							苞皮外	苞皮内	
中	多	中	弱	中	S	黄	無	無	道中央，道南
中	多	短	弱	低	S	黄	紅	紅	ゴールデンクロスパンタム栽培地帯
良	中	極短	中	低	F，S混	黄	淡紅	無	都市近郊の早出し生食用
や良	微	極短	中	低	S	黄	淡紅	無	全道
—	—	長	中	高	Wx	白	—	—	道央，道南
や不良	無	中	中	中	D	黄	—	—	早生，道東道北の「坂下」に代る子実用デント
良	多	中	弱	中	F	橙黄	—	—	道東，道北部における子実用として「坂下」におきかえる

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登 録 年	廃 止 年	育 成 場 所	組 せ ま た は 育 成 方 法	主 要 特 性
交 6 号*	月交431号	とうもろこし(飼) 北海道第8号	1971 (1962)	1986	北海道農試	「(D403×D405)」 ×「(T102×T107)」	中生, セミデント, 耐倒伏性
ジャイアンツ	本交3304	とうもろこし(飼) 北海道第9号	1971 (1962)	1978	北海道農試	「(WF9-T×W22)」 ×「青森エローデント」	晩生, デント, 採播易
交 8 号*	長交347号	とうもろこし(飼) 北海道第10号	1971 (1968)	1979	長 野 (十勝農試)	「岩手エローデント」 ×「W531-「(455×466)」	晩生, 初期生育良
ヘイゲンワセ*	道交16号	とうもろこし(飼)北海道第11号 とうもろこし農林交15号	1973	1998	十勝農試	「(N19×CM7)」× 「(W41A×W79A)」	早生, 強稈, 機械化向
ホクユウ*	北交22号	とうもろこし(飼)北海道第12号 とうもろこし農林交16号	1974	1986	北海道農試	「(N85×N21)」× 「(T23×T24)」	初期生育, 登熟良
ピリカスイート	十生7号	とうもろこし(普)北海道第13号 とうもろこし農林交19号	1975	1999	十勝農試	「V574」× 「Ma21547」	早生, 缶詰加工用
北 缶 3 号	HLC145	とうもろこし(普) 北海道第14号	1976	1999	北海製缶KK (十勝農試)	「Me123」× 「Ma21547」	早生, 穂型良, 軸付冷凍用
ワセホマレ*	道交S1号	とうもろこし(飼)北海道第15号 とうもろこし農林交21号	1978	1998	十勝農試	「N19×To15」× 「CM37×CMV3」	早生, 初期生育良, 強稈
ウiskonシン573	W573	とうもろこし(飼) 準輸交第1号	1971	1986	米 国 (中央農試)		晩生, デント, 強稈
パイオニア3620	P3620	とうもろこし(飼) 準輸交第2号	1971	1975	米 国 (中央農試)		晩生, 強稈
エローデントコーン	本第1951号	とうもろこし(飼) 準輸交第3号	1971 (1923)	1975	北海道農事試		晩生, デント
マンモスホワイト デントコーン	本第2520号	とうもろこし(飼) 準輸交第4号	1971 (1923)	1975	北海道農事試		極晩生, デント, 未成熟
P 3 7 1 5		とうもろこし(飼) 準輸交第5号	1974	1986	米 国 (北海道農試)		晩生, 耐倒伏性
J X 1 8 8		とうもろこし(飼) 準輸交第6号	1976	1986	米 国 (北海道農試)		晩生, 耐倒伏性
C 5 3 5		とうもろこし(飼) 準輸交第7号	1976	1992	オランダ (北海道農試)		早生
P 3 3 9 0		とうもろこし(飼) 準輸交第8号	1976	1986	米 国 (北海道農試)		晩生, 耐倒伏性
P 3 5 7 5		とうもろこし(飼) 準輸交第9号	1976	1986	米 国 (北海道農試)		晩生, 耐倒伏性
J X 1 6 2		とうもろこし(飼) 準輸交第10号	1977	1986	アメリカ Jacques See d	単交雑	晩生, デント
リ ザ	L i z a	とうもろこし(飼) 準輸交第11号	1981	1994	フ ラ ン ス Pioneer 社	三系交雑	早生, セミデント
ワセミノリ	SH-250	とうもろこし(飼) 準輸交第12号	1982	1990	フ ラ ン ス ノースラップ キング種子会社	三系交雑	早生, セミデント
ニューデント85日	SH-10	とうもろこし(飼) 準輸交第13号	1982	1990	フ ラ ン ス ノースラップ キング種子会社	単交雑	早生, セミデント
ブルータス	MTC-1	とうもろこし(飼) 準輸交第14号	1982	1993	フ ラ ン ス ニックカーソン社 UCOPAC	三系交雑	早生, セミデント
パッファロー	SH-145	とうもろこし(飼) 準輸交第15号	1982	1990	ア メ リ カ PAGSeed 社	単交雑	中生, デント, 耐倒伏性
ダイヘイゲン*	道交S4号	とうもろこし(飼)北海道第16号 とうもろこし農林交21号 第602号	1983	1998	十勝農試	「To9×To15」× 「W79A×RB262」	早生, セミデント, 初期生育良
R X 4 2	RX42	とうもろこし(飼) 準輸交第16号	1983	1996	ア メ リ カ アスグロ 種子会社	単交雑	中生, デント
J X 9 2	JX92	とうもろこし(飼) 準輸交第17号	1983	1988	ア メ リ カ Jacques See d	単交雑	中生, デント
デントン	MTC-1C	とうもろこし(飼) 準輸交第18号	1984	1993	アメリカNorth American Plant Breeders 社	単交雑	中生, デント, 耐倒伏性
P 3 9 0 6	P3906	とうもろこし(飼) 準輸交第19号	1984	1998	ア メ リ カ Pioneer 種子会社	単交雑	中生, デント, 多収
ヒノデワセ*	道交S8号	とうもろこし(飼)北海道第17号 とうもろこし農林交25号 第1209号	1985	2002	十勝農試	「N19×To38」× 「W41A×W79A」	早生, セミデント, 耐倒伏性

初期生育	分けつの 多 少	稈の長短	耐倒伏性	着穂高	粒の種類	粒色	絹糸色		栽培適地
							苞皮外	苞皮内	
中	微	中	強	高	F, D	橙黄			道央以南子実用, 道東北サイレージ用
中	無	長	弱	高	D	黄			全道の「エローデントコーン」におきかえる
良	無	長	弱	高	D	黄			十勝, 網走サイレージ用
中	微	短	強	中	F, D	黄			十勝, 網走, 上川北部, サイレージ用
良	多	中	弱	や高	F	黄褐			十勝, 網走, 釧路, サイレージ用
中	少	極短	弱	低	S	黄	無	無	全道
中	中	極短	弱	低	S	黄	無	無	全道
良	微	短	強	や低	F, D	黄			道東北, サイレージ用
や不良	無	や長	や強	や高	D	黄			道央・十勝, サイレージ用
や不良	無	長	や強	中	D	黄			十勝, サイレージ用
—	微	長	中	高	D	黄			北部, 東部の冷涼地を除く道内一円
—	無	長	弱	高	D	白			道央以南
や不良	無	長	強	高	D	黄			道央・道南, サイレージ用
や不良	無	長	や強	高	D	黄			道南, サイレージ用
中	無	短	中	中	F, D	黄			十勝・網走・根釧内陸, サイレージ用
や不良	無	長	や強	高	D	黄			道南, サイレージ用
や不良	無	長	や強	高	D	黄			道南, サイレージ用
や不良	無	長	中	高	D	黄			道央・道南, サイレージ用
中	無	や短	中	中	F, D	黄	桃	緑	十勝, 網走, 根釧・道北の内陸
や不良	無	短	や弱	中	F, D	黄	桃	緑	道北, 根釧, サイレージ用
中	無	や短	中	中	F, D	黄	桃	緑	道北でC535の栽培地帯
や不良	無	や短	中	中	F, D	黄	桃	緑	十勝・網走, 根釧・道北の内陸
中	無	や長	強	や高	D	黄	緑	緑	十勝・網走の内陸, 道央北部
良	微	中	や強	中	F, D	黄	緑	緑	道東・道北・道央北部でC535の栽培地帯
中	無	や長	中	高	D	黄	緑	緑	十勝中部・道央北部
中	無	や長	中	高	D	黄			道央, 十勝中央
中	無	や長	や強	や高	D	黄	桃	緑	道央(北部を除く), 道南
中	無	や長	や強	や高	D	黄	緑	緑	道央地域(北部を除く)
良	微	短	や強	や低	F, D	黄	緑	緑	道東・道北で早生品種の登熟が不十分な地帯

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登 録 年	廃 止 年	育 成 場 所	組 せ ま た は 育 成 方 法	主 要 特 性
P 3 7 3 2	P3732	とうもろこし(飼) 準輸交第20号	1985	2001	アメリ カ Pioneer 種 子 会 社	単交雑	中生, デント, 耐倒伏性
ロイヤルデント85	LG5	とうもろこし(飼) 準輸交第21号	1985	1995	フ ラ ン ス リ マ グ ラ ン 社	複交雑	早生, セミデント
エ マ	PH1201	とうもろこし(飼) 準輸交第22号	1986	2008	フ ラ ン ス Pioneer	単交雑	早生, セミデント
デ イ ア	PH2202	とうもろこし(飼) 準輸交第23号	1986	2004	フ ラ ン ス Pioneer	単交雑	早生, セミデント, 多収
ソ ロ 1 0 0 H	TH211A	とうもろこし(飼) 準輸交第24号	1986	1993	西 ド イ ツ K W S 社	単交雑	中生, セミデント
P 3 7 4 7	PH3201	とうもろこし(飼) 準輸交第25号	1986	1999	アメリ カ Pioneer	単交雑	中生, デント, 多収, 耐倒伏性
メロディスweet*	十生13号	とうもろこし(普)北海道第18号 とうもろこし農林交28号 第2272号	1987	1999	十 勝 農 試	「G61D」×「Tos2」	中生の早, 耐倒伏性, 缶詰加工用
ド リ ー ナ	PH2301	とうもろこし(飼) 準輸交第26号	1987	1998	アメリ カ パイオニア社	三系交雑	早生, デント, 初期生育やや劣る, すず紋病抵抗性弱
J X 4 7	SH3097	とうもろこし(飼) 準輸交第27号	1987	1991	アメリ カ Jacques See d 社	単交雑	中生の晩, デント
コ ス タ ル	コスタル	とうもろこし(飼) 準輸交第28号	1987	1991	アメリ カ ア ス グ ロ シ ー ド 社	三系交雑	晩生の早, デント, 耐倒伏性
キ タ ユ タ カ *	北交42号	とうもろこし(飼)北海道第19号 とうもろこし農林交29号 第2040号	1988	2002	北 海 道 農 試	「W182EHt×Pa70-5」 ×「CM91×914-2」	中生, デント
3 7 9 0	PH3305	とうもろこし(飼) 準輸交第29号	1988	2002	アメリ カ パイオニア社	単交雑	中生の中, デント, 耐倒伏性
O'S Gold 2570	O'S Gold 2570	とうもろこし(飼) 準輸交第30号	1988	1996	アメリ カ ア ス グ ロ シ ー ド 社	三系交雑	晩生の晩, デント, すず紋病・ごま 葉枯病抵抗性
ロイヤルデント105T	T1200	とうもろこし(飼) 準輸交第31号	1988	1993	アメリ カ トロージャン 社	単交雑	晩生の中, デント
ロ イ ヤ ル デ ン ト リ ン ダ	TH82082	とうもろこし(飼) 準輸交第32号	1988	1997	アメリ カ ト ッ プ フ ェ ー ム 社	単交雑	中生の早, デント, 耐倒伏性
バ リ ア ン ト	OS104	とうもろこし(飼) 準輸交第33号	1988	1991	カ ナ ダ オ セ コ 社	単交雑	中生の中, デント, 耐倒伏性
ヘイゲンミノリ*	道交S10号	とうもろこし(飼)北海道第20号 とうもろこし農林交30号 第2338号	1989	2002	十 勝 農 試	「66C5-4×To15」× 「CM91×CM174」	早生の晩, セミデント, 初期生育良, 耐倒伏性, 多収
キ タ ア サ ヒ *	北交43号	とうもろこし(飼)北海道第21号 とうもろこし農林交31号 第2875号	1989	2002	北 海 道 農 試	「914-2×CM174」 ×「Ho3×Ho4」	中生の早, セミデント, 初期生育良, 耐倒伏性
A N J O U 09	ANJou09	とうもろこし(飼) 準輸交第34号	1989	1998	フ ラ ン ス リ マ グ ラ ン 社	三系交雑	早生の中, デント
ロイヤルデントコ メ ッ ト 8 0	LG2080	とうもろこし(飼) 準輸交第35号	1989	1997	フ ラ ン ス リ マ グ ラ ン 社	三系交雑	早生の早, デント
R X 4 2 0	H802238	とうもろこし(飼) 準輸交第36号	1989	1996	アメリ カ ア ス グ ロ シ ー ド 社	複交雑	中生の晩, デント
リ ビ ア	L I V I A	とうもろこし(飼) 準輸交第37号	1990	2002	アメリ カ パイオニア社	三系交雑	早生の中, セミデント
3 5 4 0	VALERIA	とうもろこし(飼) 準輸交第38号	1990	2005	アメリ カ パイオニア社	単交雑	晩生の中, デント
デ ュ ー ク	HS11号	とうもろこし(飼) 準輸交第39号	1991	1999	アメリ カ ア ス グ ロ シ ー ド 社	単交雑	晩生の早, すず紋病抵抗性, 耐倒伏 性
A W 6 1 1	AW611	とうもろこし(飼) 準輸交第40号	1991	2000	アメリ カ ア ス グ ロ シ ー ド 社	単交雑	早生の晩, セミデント
D K 4 6 4	EXP-646	とうもろこし(飼) 準輸交第41号	1991	1998	アメリ カ デカルブプラント ジェネティックス社	単交雑	中生の晩, デント
D K 5 3 5	EXP-654	とうもろこし(飼) 準輸交第42号	1991	1998	アメリ カ デカルブプラント ジェネティックス社	単交雑	晩生の中, デント
カーギル123	SX123	とうもろこし(飼) 準輸交第43号	1992	2005	アメリ カ カーギルイン コーポレートッド社	単交雑	中生の早, デント
3 8 9 7	XCD78	とうもろこし(飼) 準輸交第44号	1992	2000	アメリ カ パイオニア社	単交雑	中生の早, デント

初期生育	分けつの 多 少	稈の長短	耐倒伏性	着穂高	粒の種類	粒色	絹糸色		栽培適地
							苞皮外	苞皮内	
中	無	や長	強	高	D	黄	桃	緑	道央・道南地域
中	無	短	や強	中	F, D	黄	桃	緑	道北・網走・根釧の内陸, 十勝中央部周辺
良	無	短	や強	中	F, D	黄	緑	緑	道北・根釧地域
中	無	中	や強	中	F, D	黄	鮭	緑	十勝・網走の気象条件の良い地帯・道央北部
や不良	無	や長	中	や高	F, D	黄	緑	緑	道央地域
や不良	無	や長	や強	や高	D	黄	桃	緑	道央・道南地域
中	少	中	強	低	S	濃黄	白	白	十勝中部, 道央中部及び北部, 網走内陸部
中		短	中	や高	D	黄			十勝, 網走, 道北(山麓, 沿海除く), 道央北部, 釧路内陸部
中		中	強	中	D	黄			道央, 道南
中		長	強	高	D	黄			道央(北部を除く), 道南
や良		中	や強	や高	D	黄			道央, 道南
中		や長	強	高	D	黄			道央, 道南
や不良		長	や強	高	D	黄			道央(北部を除く), 道南
良		長	中	高	D	黄			道央(北部を除く), 道南
中		長	強	高	D	黄			十勝中部, 道央北部
中		長	強	や高	D	黄			十勝中部, 網走内陸部, 道央北部
や良		中	強	中	F, D	黄			十勝中部, 網走内陸部, 道央北部
や良		中	強	中	F, D	黄			十勝中部, 網走内陸部, 道央北部
中		短	や強	や低	D	黄			根釧内陸, 道北, 十勝山麓・沿海地帯
中		や短	中	や低	D	黄			根釧, 道北, 十勝山麓・沿海地帯
や不良		長	強	高	D	黄			道央地域
中		短	中	や高	F, D	黄			道北の気象条件の良い所, 十勝中部, 網走内陸部
良		長	強	高	D	黄			道央(北部を除く), 道南地域
中		や長	強	や高	S	黄			道央, 十勝中部
中		中	や強	中	F, D	黄			十勝中部, 網走内陸部, 道北, 根釧の気象条件の良好な地帯
中		中	や強	中	D	黄			道央(北部を除く), 道南地域
中		中	強	中	D	黄			道央(北部を除く), 道南(八雲を除く)の気象条件の良好な地帯
や良		や長	強	高	D	黄			十勝中部の気象条件の良好な地帯
や良		長	強	高	D	黄			道央地帯

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登 録 年	廃 止 年	育 成 場 所	組 せ ま た は 育 成 方 法	主 要 特 性
スイートメモリー*	十生24号	とうもろこし(普)北海道第22号 とうもろこし農林交32号 第4589号	1993	2003	十 勝 農 試	「87:13」×「Tos12」	中生の中, 缶詰加工用
セ リ ア	X C P D 76	とうもろこし (飼) 準輸交第45号	1993	2004	フ ラ ン ス パイオニア社	単交雑	早生の晩, デント
コ ラ リ ス	コラリス	とうもろこし (飼) 準輸交第46号	1993	1998	フ ラ ン ス コープ・ド・ ポ	三系交雑	早生の中, セミデント
3 4 7 7	3477	とうもろこし (飼) 準輸交第47号	1993	2005	ア メ リ カ カーギルイン コーポレテッド社	単交雑	中生の中, デント
マ ー キ ス	H S 14号	とうもろこし (普) 準輸交第48号	1994	1999	ア メ リ カ ア ス グ ロ シ ー ド 社	単交雑	早生の中, 缶詰加工用, すず紋病抵抗性
ラ イ サ	X 9033	とうもろこし (飼) 準輸交第49号	1994	2000	フ ラ ン ス パイオニア社	単交雑	中生の中, デント
3 8 4 5	3845	とうもろこし (飼) 準輸交第50号	1994	2004	ア メ リ カ パイオニア社	単交雑	中生の晩, デント
ゴールデンデント D K 3 0 0	D K 300	とうもろこし (飼) 準輸交第51号	1994	2002	ア メ リ カ デカルブプラント ジェネティクス社	単交雑	中生の早, セミデント, 多収
サマースイート*	十生26号	とうもろこし(普)北海道第23号 とうもろこし農林交36号 第6622号	1995	2002	十 勝 農 試	「Tos10」×「87:14」	早生の早, 缶詰加工用
スイートエール*	十生27号	とうもろこし(普)北海道第24号 とうもろこし農林交37号 第6623号	1995	2002	十 勝 農 試	「86:206」×「Tos14」	早生の中, 缶詰加工用
ロイヤルデント90H	T H 8913	とうもろこし (飼) 準輸交第52号	1995	2004	ア メ リ カ ア グ リ セ ネ テ ィ ッ ク ス 社	単交雑	中生の早, セミデント
D K 2 1 2	SH2112	とうもろこし (飼) 準輸交第53号	1996	2002	フ ラ ン ス デカルブジェネティク スコーポレーション社	単交雑	早生の中, セミデント
ピヤシリ85	SH1302	とうもろこし (飼) 準北海道交第54号	1996	2009	雪 印 種苗株式会社	単交雑	早生の晩, セミデント
L G 2 2 9 0	HE9138	とうもろこし (飼) 準輸交第55号	1996	2008	フ ラ ン ス リマグレイン社	単交雑	早生の晩, セミデント
D K 4 7 4	PP1460	とうもろこし (飼) 準輸交第56号	1996	2003	ア メ リ カ デカルブ・プラント・ ジェネティクス社	単交雑	晩生の早, デント
D K 4 0 1	DK401	とうもろこし (飼) 準輸交第57号	1996	2002	ア メ リ カ デカルブ・プラント・ ジェネティクス社	単交雑	中生の晩, デント
ロイヤルデント オーロラ82	TH9128	とうもろこし (飼) 準輸交第58号	1997	2004	ド イ ツ クラインワッペル 育 種 株 式 会 社	単交雑	早生の中, セミデント
ディアHT	ディアHT	とうもろこし(飼)準輸交第59号 第5853号	1997	2010	ア メ リ カ パイオニア社	単交雑	早生の晩, セミデント
ノ ル ダ	ノルダ	とうもろこし (飼) 準輸交第60号	1998	2005	ア メ リ カ パイオニア社	三系交雑	早生の中, セミデント
ピリカ90	SL9305	とうもろこし (飼) 準北海道交第61号	1998	2009	雪 印 種苗株式会社	単交雑	早生の晩, セミデント
クラリカ	3893	とうもろこし (飼) 準輸交第62号	1998	2012	ア メ リ カ パイオニア社	単交雑	中生の中, デント
K D 3 5 4	KD354	とうもろこし (飼) 準輸交第63号	1999	2007	ド イ ツ クラインワッペル 育 種 株 式 会 社	単交雑	早生の晩, セミデント
ロイヤルデント85H	TH9434	とうもろこし (飼) 準輸交第64号	1999	2003	ド イ ツ クラインワッペル 育 種 株 式 会 社	三系交雑	早生の晩, セミデント
ノ ベ タ	ノベタ	とうもろこし (飼) 準輸交第65号	2000	2005	フ ラ ン ス パイオニア社	単交雑	早生の晩, フリントデント
ロイヤルデント アポロ90	TH9597	とうもろこし (飼) 準輸交第66号	2000	2005	フ ラ ン ス フランス・カナダ セメンシス社	単交雑	早生の晩, セミデント
D K 4 8 3	SH6547	とうもろこし (飼) 準輸交第67号	2000	2007	ア メ リ カ デカルブ・プラント・ ジェネティクス社	単交雑	晩生の早, デント
D K 5 6 6	DK566	とうもろこし (飼) 準輸交第68号	2000	2004	ア メ リ カ デカルブ・プラント・ ジェネティクス社	単交雑	晩生の中, デント
モノボル85	TH9623	とうもろこし (飼) 準輸交第69号	2001	2009	ド イ ツ クラインワッペル レ ー ベ ン 社	単交雑	早生の晩, セミデント
3 5 G 8 6	X1045T	とうもろこし (飼) 準輸交第70号	2001	2009	ア メ リ カ パイオニア社	単交雑	晩生の早, デント

初期生育	分けつの 多 少	稈の長短	耐倒伏性	着穂高	粒の種類	粒色	絹糸色		栽培適地
							苞皮外	苞皮内	
中	少	や長	や強	高	S	黄	白	白	道央, 十勝中部, 網走内陸部, 道南
中		や長	中	高	D	黄			十勝中部, 道央北部, 網走内陸部の 気象条件の良好な地帯
中		中	や強	中	F, D	黄			十勝中部, 網走内陸部, 根釧の気象 条件の良好な地帯
や良		や長	や強	や高	D	黄			道央(北部を除く), 道南
や良		や短	中	中	S	黄			北海道一円
中		や長	強	高	D	黄			道央
や良		中	強	高	D	黄			道央, 道南
や良		中	強	や高	F, D	黄			道央北部, 十勝中部, 網走内陸部の 気象条件の良好な地帯
や良	少	短	や強	や高	S	黄	白	白	北海道一円
や良	少	や短	や強	や高	S	黄	白	白	北海道一円
や良		や長	強	中	D	黄			道央北部, 十勝中部, 網走内陸部の 気象条件の良好な地帯
や劣		や短	強	や低	F, D	黄			道央北部, 十勝, 網走地域および根 釧, 道北の気象条件の良好な地域
中		中~や長	や強	や高	F, D	黄			十勝中部, 網走内陸および道央北部 地域
中		や長	や強	高	F, D	黄			十勝中部, 網走内陸および道央北部 地域
中		中~短	中	低	D	黄			道央中部, 南部および道南の気象条 件の良好な地域
や劣		長	強	高	D	黄			道央中部, 南部および道南
中		高	強	高	F, D	黄			十勝, 道央北部, 網走地域ならびに 道北の気象条件の良好な地域
中~や劣		高	や強	高	F, D	黄			十勝中部, 道央北部および網走内陸 地域
や劣		や高	中	高	F, D	黄			十勝, 網走地域ならびに根釧, 道北 の気象条件の良好な地域
中		高	や強	高	F, D	黄			十勝中部, 道央北部および網走内陸 地域
中		高	や強	高	D	黄			道央地域
中		や高	中	や高	F, D	黄			十勝中部, 網走内陸および道央北部 地域
や劣		中	中	高	F, D	黄			十勝中部, 網走内陸および道央北部 地域
や劣		高	中	高	F	黄			十勝中部, 網走内陸および道央北部 地域
や劣		中	中~や強	低	F, D	黄			十勝中部, 網走内陸および道央北部 地域
良		短	中~や強	中~や低	D	黄			道央(北部を除く)および道南地域
中~や劣		中	中	中	D	黄			道央(北部を除く)および道南地域
良		や長	中	中	F, D	黄			十勝中部, 網走内陸, 道央北部
良		長	中	長	D	黄			道央(北部を除く), 道南

品 種 名	系 統 名	登 録 番 号	登 録 年	廃 止 年	育 成 場 所	組 せ ま た は 育 成 方 法	主 要 特 性
カ リ メ ラ	カリメラ	とうもろこし(飼) 準輸交第72号	2002	2006	ア メ リ カ パイオニア社	単交雑	早生の晩, セミデント
ジ ェ レ ミ ス	JEREMIS	とうもろこし(飼) 準輸交第73号	2002	2006	フ ラ ン ス ポー・セマー ス社	単交雑	中生の早, セミデント
3 6 A 4 3	36A43	とうもろこし(飼) 準輸交第71号	2002	2010	ア メ リ カ パイオニア社	単交雑	中生の晩, デント
お お ぞ ら *	北交55号	とうもろこし(飼)北海道交第25号 とうもろこし農林交56号 第12705号	2002		北 海 道 農 研	単交雑	中生の中, セミデント
ピ ス カ	X0826X	とうもろこし(飼) 準輸交第74号	2003	2012	ア メ リ カ パイオニア社	単交雑	早生の中, セミデント
リ ッ チ モ ン ド	HE9815	とうもろこし(飼) 準輸交第75号	2003		フ ラ ン ス リマグレイン 社	単交雑	早生の中, セミデント
S L 9 8 5 1	SL9851	とうもろこし(飼) 準北海道交第76号	2003	2007	雪 印 種 苗 株式会社	単交雑	早生の晩, セミデント
T H 9 8 6 1	TH9861	とうもろこし(飼) 準輸交第77号	2003	2007	フ ラ ン ス カナダ・セ メンセス社	単交雑	中生の早, セミデント
チ ベ リ ウ ス	HK9851	とうもろこし(飼) 輸交第26号	2004		ド イ ツ クラインワン ツレーベン社	単交雑	早生の中, セミデント
ネ オ 8 5	TH9952	とうもろこし(飼) 輸交第27号	2004	2011	ド イ ツ クラインワン ツレーベン社	単交雑	早生の晩, セミデント
3 6 B 0 8	36B08	とうもろこし(飼) 輸交第28号	2004		ア メ リ カ パイオニア社	単交雑	中生の晩, デント
ば び り か *	北交62号	とうもろこし(飼)北海道交第29号 とうもろこし農林交64号 第18763号	2005	2010	北農研センター 根 釧 農 試	「Ho87」×「To85」	早生の早, 初期生育に優れ多収
き た ち か ら *	北交64号	とうもろこし(飼)北海道交第30号 とうもろこし農林交57号 第18652号	2005	2010	北農研センター	「Ho68」×「GY302」	中生の早, 耐倒伏性が強く, 多収
3 9 F 8 3	X0739A	とうもろこし(飼) 輸交第31号	2005		ア メ リ カ パイオニア社	単交雑	早生の中, やや多収
3 9 H 3 2	39H32	とうもろこし(飼) 輸交第32号	2005		ア メ リ カ パイオニア社	単交雑	早生の中, やや多収, 耐倒伏性やや強
ブ リ ザ ッ ク	HK0901	とうもろこし(飼) 輸交第33号	2005		ド イ ツ クラインワン ツレーベン社	単交雑	中生の早, 多収
シ ン シ ア 9 0	SL9945	とうもろこし(飼) 北海道交第34号	2005		雪 印 種 苗	単交雑	早生の中, 耐倒伏性やや強
S H 1 3 5 3	SH1353	とうもろこし(飼) 北海道交第35号	2005		雪 印 種 苗	単交雑	中生の早, 多収
K D 4 1 7	KD417	とうもろこし(飼) 輸交第36号	2006	2011	ド イ ツ クラインワン ツレーベン社	単交雑	中生の早, すず紋病抵抗性強, 多収
デ ュ カ ス	HK1806	とうもろこし(飼) 輸交第37号	2006		ド イ ツ クラインワン ツレーベン社	三系交雑	早生の早, 耐倒伏性強, 多収
T H 0 5 8	TH058	とうもろこし(飼) 輸交第38号	2006		フ ラ ン ス コサードアメ ンセス社	単交雑	中生の中, 収量性, 耐倒伏性および すず紋病抵抗性等に優れる
D K C 3 4 - 2 0	SH0481	とうもろこし(飼) 輸交第39号	2007		フ ラ ン ス モンサント社	単交雑	中生の中, 耐倒伏性, すず紋病抵抗 性および収量性等に優れる
K D 5 0 0	KE3500	とうもろこし(飼) 輸交第40号	2007		ド イ ツ クラインワン ツレーベン社	単交雑	中生の晩, 乾物率がやや高く, 初期 生育が良好
北 交 6 5 号 *	北交65号	とうもろこし(飼)輸交第41号 とうもろこし農林交親65号 第19600号	2008		北農研センター	「Ho102」×「Ho95」	晩生の早, 耐倒伏性, 消化性に優れ る
ク ウ イ ス	HK4803	とうもろこし(飼) 輸交第42号	2008		ド イ ツ クラインワン ツレーベン社	単交雑	早生の早, 多収で雌穂の乾物率が高 い
3 4 N 8 4	X1091M	とうもろこし(飼) 輸交第43号	2008		ア メ リ カ パイオニア社	単交雑	晩生の早, 耐倒伏性, 乾雌穂重割合, 初期生育にやや優れる
L G 3 2 1 5	HE0319	とうもろこし(飼) 輸交第44号	2008		フ ラ ン ス リマグレイン・ベルノ イ・ホールディング社	三系交雑	早生の早, 初期生育に優れ, すず紋 病およびこま葉枯病抵抗性が強, 多 収
L G 3 5 2 0	HE0374	とうもろこし(飼) 輸交第45号	2008		フ ラ ン ス リマグレイン・ベルノ イ・ホールディング社	単交雑	晩生の中, 多収で, 初期生育に優れ る
た ち び り か *	北交66号	とうもろこし(飼)北海道交第46号 とうもろこし農林交親67号 第23843号	2009		北農研センター 根 釧 農 試	「Ho87」×「Ho90」	早生の早, 雌穂収量が多く, 耐倒伏 性・すず紋病抵抗性に優れる

初期生育	分けつの 多 少	稈の長短	耐倒伏性	着穂高	粒の種類	粒色	絹糸色		栽培適地
							苞皮外	苞皮内	
や不良		長	中	長	F, D	黄			十勝中部, 網走内陸
や良		長	中	長	F, D	黄			道央北部, 十勝中部および網走内陸の気象条件の良好な地域
や不良		中	や強	長	D	黄			道央(北部を除く), 道南
良		長	強	長	F, D	黄			道央(北部を除く), 道南
中		長	中	長	F, D	黄			道央北部, 十勝, 網走
中		中	中	や低	F, D	黄			道央北部, 十勝, 網走
や不良		や長	中	中	F, D	黄			十勝中部の気象条件の良好な地域
中		長	や強	長	F, D	黄			十勝中部の気象条件の良好な地域
中		や長	中	中	F, D	黄			道央北部, 十勝, 網走
中		中	中	中	F, D	黄			道央北部, 十勝中部および網走内陸の気象条件の良好な地域
中～や不良		低	中	中	D	黄			道央(北部を除く), 道南
-	-	-	-	-	-	-	-	-	根釧
-	-	-	-	-	-	-	-	-	道央北部, 十勝中部, 網走内陸の気象条件の良好な地域
-	-	-	-	-	-	-	-	-	道央北部, 十勝, 網走
-	-	-	-	-	-	-	-	-	道央北部, 十勝, 網走
-	-	-	-	-	-	-	-	-	道央北部, 十勝中部, 網走内陸の気象条件の良好な地域
-	-	-	-	-	-	-	-	-	道央北部, 十勝, 網走
-	-	-	-	-	-	-	-	-	道央北部, 十勝中部, 網走内陸の気象条件の良好な地域
-	-	-	-	-	-	-	-	-	道央北部, 十勝中部, 網走内陸の気象条件の良好な地域
-	-	-	-	-	-	-	-	-	根釧, 道北
-	-	-	-	-	-	-	-	-	道央(北部を除く)
-	-	-	-	-	-	-	-	-	道央(北部を除く), 道南
-	-	-	-	-	-	-	-	-	道央(北部を除く), 道南
-	-	-	-	-	-	-	-	-	道央中部(上川を除く), 道央南部, 道南
-	-	-	-	-	-	-	-	-	根釧, 道北
-	-	-	-	-	-	-	-	-	道央中部(上川を除く), 道央南部, 道南
-	-	-	-	-	-	-	-	-	道北
-	-	-	-	-	-	-	-	-	道央中部(上川を除く), 道央南部, 道南
-	-	-	-	-	-	-	-	-	根釧, 道北

品 種 名	系 統 名	登録番号	登録年	廃止年	育成場所	組合せまたは 育 成 方 法	主要特性
3 9 T 4 5	39T45	とうもろこし(飼) 輸交第47号	2009		アメリ カ パイ オニア社	単交雑	早生の晩, 初期生育と耐倒伏性に優 れ、多収, すず紋病抵抗性にやや強
ビ エ ナ	ビエナ	とうもろこし(飼) 輸交第48号	2009		ド イ ツ ク ライ ン ワ ン ツ レ ー ベ ン 社	単交雑	早生の晩, 初期生育に優れ多収
K D 4 1 8	KD418	とうもろこし(飼) 輸交第49号	2009		ド イ ツ ク ライ ン ワ ン ツ レ ー ベ ン 社	単交雑	早生の晩, 多収で, 初期生育に優れ る
3 3 N 2 9	33N29	とうもろこし(飼) 輸交第50号	2009		アメリ カ パイ オニア社	単交雑	晩生の中, 多収で, すず紋病にやや 強い
3 9 T 1 3	39T13	とうもろこし(飼) 輸交第51号	2010		アメリ カ パイ オニア社	単交雑	早生の晩, すず紋病に強く, 多収で, 初期生育に優れる
き よ ら *	北交70号	とうもろこし(飼)北海道交第52号 とうもろこし農林交70号 第26312号	2011		北農研センター 十勝農試畜試	「Ho112」×「Ho100」	中生の早, すず紋病耐病性が強く, 発芽初期生育が良好
K D 3 0 1	KD301	とうもろこし(飼) 輸交第53号	2011		ド イ ツ K W S S A A T A G 社	単交雑	早生の中, 乾雌穂重割合がやや高い
メ ル ク リ オ	HK7705	とうもろこし(飼) 輸交第54号	2012		ド イ ツ ク ライ ン ワ ン ツ レ ー ベ ン 社	三系交雑	早生の中, 多収
K D 3 2 0	KE8340	とうもろこし(飼) 輸交第55号	2012		ド イ ツ ク ライ ン ワ ン ツ レ ー ベ ン 社	単交雑	早生の中, やや多収で, すず紋病に 強い
L G 3 2 3 5	HE0721	とうもろこし(飼) 輸交第56号	2012		フ ラ ン ス リ マ グ レ イ ン ・ ベ ル ノ イ ル ・ ホ ー ル デ ィ ン グ 社	単交雑	中生の早, やや多収
S H C 0 7 0 2	SHC0702	とうもろこし(飼) 北海道交第57号	2012		雪 印 種 苗	単交雑	晩生の中, 多収, 高乾雌穂重割合
ソリードAnjou227	HE91003	とうもろこし(飼) 輸交第58号	2013		フ ラ ン ス リ マ グ レ イ ン 社 雪 印 種 苗 株 式 会 社	単交雑	早生の早, すず紋病に強く, 多収で, 絹糸抽出は遅いが登熟は速い
K D 2 5 4	KE8301	とうもろこし(飼) 輸交第59号	2013		ク ライ ン ワ ン ツ レ ー ベ ル 社 カ ネ コ 種 苗 株 式 会 社	単交雑	早生の早, 多収で耐倒伏性・すず紋 病抵抗性にやや優れる
P 8 2 8 4	X8T126	とうもろこし(飼) 輸交第60号	2013		ア メ リ カ パ イ オ ニ ア 社 ホ ク レ ン 農 業 協 同 組 合 連 合 会	単交雑	早生の晩, 耐倒伏性に優れ, すず紋 病抵抗性にやや優れる
S L 0 7 4 6	SL0746	とうもろこし(飼) 北海道交第61号	2013		雪 印 種 苗	単交雑	中生の中, 乾雌穂重割合が高く, 推 定TDN収量がやや多い
P 9 4 0 0	X6P942	とうもろこし(飼) 輸交第62号	2013		ア メ リ カ パ イ オ ニ ア 社 ホ ク レ ン 農 業 協 同 組 合 連 合 会	単交雑	中生の晩, 乾雌穂重割合が高く, 推 定TDN収量が多い
P 1 5 4 3	X7H287	とうもろこし(飼) 輸交第63号	2013		ア メ リ カ パ イ オ ニ ア 社 ホ ク レ ン 農 業 協 同 組 合 連 合 会	単交雑	晩生の中, やや多収, ごま葉枯病抵 抗性

初期生育	分けつの 多 少	稈の長短	耐倒伏性	着穂高	粒の種類	粒色	絹糸色		栽培適地
							苞皮外	苞皮内	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	道央北部, 十勝中部, 網走内陸
-	-	-	-	-	-	-	-	-	道央北部, 十勝中部, 網走内陸
-	-	-	-	-	-	-	-	-	道央北部, 十勝中部, 網走内陸
-	-	-	-	-	-	-	-	-	道央中部(上川を除く), 道央南部, 道南
-	-	-	-	-	-	-	-	-	十勝中部, 網走内陸, 道央北部
-	-	-	-	-	-	-	-	-	道央北部, 十勝中部, 網走内陸の気 象条件の良好な地域
-	-	-	-	-	-	-	-	-	道央北部, 十勝, 網走
-	-	-	-	-	-	-	-	-	道央北部, 十勝, 網走
-	-	-	-	-	-	-	-	-	道央北部, 十勝, 網走
-	-	-	-	-	-	-	-	-	道央北部, 十勝中部, 網走内陸の気 象条件の良好な地域
-	-	-	-	-	-	-	-	-	道央中部(上川を除く), 道央南部, 道南
-	-	-	-	-	-	-	-	-	根釧, 道北
-	-	-	-	-	-	-	-	-	根釧, 道北
-	-	-	-	-	-	-	-	-	道央北部, 十勝中部, 網走内陸
-	-	-	-	-	-	-	-	-	道央(北部を除く), 道南
-	-	-	-	-	-	-	-	-	道央(北部を除く), 道南
-	-	-	-	-	-	-	-	-	道央中部(上川を除く), 道央南部, 道南

主要作物の作付面積の推移 (ha)

1 水 稲

区 分	品 種 名	平16	17	18	19	20	21	22	23	24	品 種 名	
うるち(早生)	ゆきまる	188	80								ゆきまる	
	ほしまる			13	193	245	317	439	435	463	ほしまる	
(中生)	ゆきひかり	175	144	156	174	164	149	137	140	129	ゆきひかり	
	きらら397	48811	48992	45155	43499	36965	33942	32441	29899	26445	きらら397	
	彩	165	168	116	86	76	88	90	81	69	彩	
	ほしのゆめ	38735	36088	29073	24424	18771	13171	10480	8304	6395	ほしのゆめ	
	あきほ	966	469	196	74						あきほ	
	はなぶさ	20	12								はなぶさ	
	ほしたろう	1635	862	264	36						ほしたろう	
	ななつぼし	17101	18691	25504	29679	37245	42407	43699	42945	44081	ななつぼし	
	あやひめ	743	878	625	586	400	308	274	271	261	あやひめ	
	大地の星	1397	1448	1547	1428	916	688	812	638	801	大地の星	
(晩生) (酒造好適米)	おぼろづき			1792	3810	6069	6253	5851	5048	5720	おぼろづき	
	ゆめびりか					17	2984	5725	10086	11908	ゆめびりか	
	きたくりん										きたくりん	
	ふっくりんこ	109	314	415	1711	3385	4245	4956	5860	6534	ふっくりんこ	
	初 雫	16	10								初 雫	
	吟 風	240	177	181	209	197	198	161	138	166	吟 風	
	慧 星			11	37	60	70	55	36	42	慧 星	
	そ の 他	603	1077	1267	1261	1390	1446	1753	1690	1955	そ の 他	
	も ち(早生)	はくちょうもち	6594	6525	6189	5638	5046	4944	4231	3109	3017	はくちょうもち
		しろくまもち				25	13	128	102	60	64	しろくまもち
きたゆきもち								532	1522	1849	きたゆきもち	
上育糯464号											上育糯464号	
(中生)	風の子もち	2102	2308	2529	2575	2868	2917	3194	3303	3032	風の子もち	
	そ の 他	84	32	15	11	16	45	18	13	16	そ の 他	
	合 計	119684	118275	115047	115455	113842	114300	114950	113578	112947	合 計	

注) 北海道農政部生産振興局農産振興課調べ、合計はラウンドの関係で必ずしも一致しない。

2 小 麦

区 分	品 種 名	平16	17	18	19	20	21	22	23	24	品 種 名
秋まき小麦	ホロシリコムギ	1727	1255	992	898	865	824	715	365	16	ホロシリコムギ
	タクネコムギ	1066	1200	795	1160	901	902	725	553	177	タクネコムギ
	チホクコムギ	539									チホクコムギ
	タイセツコムギ	2757	497	377							タイセツコムギ
	ホクシン	100279	103400	106427	103937	103214	96274	71712	1032	131	ホクシン
	きたもえ	783	1020	1152	1121	1051	764	748	599	543	きたもえ
	キタノカオリ	132	1160	1354	1976	1432	1507	1400	1003	1471	キタノカオリ
	きたほなみ					90	7415	31456	106389	103368	きたほなみ
	ゆめちから							32	94	1793	ゆめちから
	きたさちほ										きたさちほ
	つるきち										つるきち
春まき小麦	そ の 他	17	2	3		10	14	11	64	1	そ の 他
	ハルユタカ	852	771	923	893	1218	1177	953	739	780	ハルユタカ
	春のあけぼの	3	30								春のあけぼの
	はるひので			1							はるひので
	春よ恋	5845	6430	8537	7133	6946	7287	8032	7411	9466	春よ恋
	はるきらり				1	1	36	516	970	1455	はるきらり
そ の 他					2	10				そ の 他	
合 計	114000	115500	120500	117100	115700	116300	116300	119200	119200	合 計	

注) 北海道農政部生産振興局農産振興課調べ、合計はラウンドの関係で必ずしも一致しない。

3 大 麦

区 分	品 種 名	平16	17	18	19	20	21	22	23	24	品 種 名
食用及びビール用	りょうふう	2226	2247	2206	2192	2144	2094	2063	2001	1982	りょうふう
	その他		21	100	80	1	48	47	29	3	その他
飼 料 用	りょうふう	154	45	17	27	35	8	0	0	5	りょうふう
	その他		7	7							その他
合 計		2380	2320	2330	2300	2180	2150	2110	2030	1990	合 計

注) 北海道農政生産振興局農産振興課調べ、合計はラウンドの関係で必ずしも一致しない。

4 大 豆

区 分	品 種 名	平16	17	18	19	20	21	22	23	24	品 種 名
白目 (極大粒)	白 鶴 の 子	12	73	5	17	8	14	4	34	77	白 鶴 の 子
	ユウヅル	532	272	771	641	459	245	358	222	198	ユウヅル
	ツルムスメ	906	980	1489	761	648	414	356	422	430	ツルムスメ
	タマフクラ					14	89	43	55	38	タマフクラ
	ゆめのつる									3	ゆめのつる
(大粒)	トヨムスメ	2871	3327	5163	5346	3148	2848	2679	2912	2813	トヨムスメ
	トヨハルカ			168	608	798	1062	692	730	565	トヨハルカ
	とよみづき									2	とよみづき
(中粒)	トヨコマチ	2096	1993	2946	2075	1570	1250	996	978	776	トヨコマチ
	カリユタカ	43	58								カリユタカ
	トヨホマレ	796	863	1685	804	843	599	879	305	488	トヨホマレ
	ユキホマレ	2451	2993	6175	6761	8929	9458	9497	10267	10721	ユキホマレ
(小粒)	ユキホマレR								147	301	ユキホマレR
	ゆきびりか				35	69	71	101	114	114	ゆきびりか
	スズヒメ	14	18	14	9						スズヒメ
	スズマル	1800	1798	2668	2269	3110	3482	2985	3218	3003	スズマル
	ユキシズカ	81	139	291	214	904	1595	1960	2854	2957	ユキシズカ
褐 目 (中粒~大粒)	ハヤヒカリ	136	204	327	208	188	191	171	144	159	ハヤヒカリ
	キタムスメ	591	632	910	641	658	475	435	373	312	キタムスメ
	キタホマレ	5									キタホマレ
青豆 (大粒)	早 生 緑	35	47	53	66	21	48	25	19	23	早 生 緑
	音 更 大 袖	669	744	1095	877	551	349	374	459	484	音 更 大 袖
	大 袖 の 舞	129	178	268	238	137	96	81	108	85	大 袖 の 舞
黒 豆 (大粒~極大粒)	中 生 光 黒	360	533	132	55	26	48	15	53	17	中 生 光 黒
	晩 生 光 黒	690	762	460	47	180	49	185	67	91	晩 生 光 黒
	トカチクロ	435	760	314	45	41	40	79	50	17	トカチクロ
	いわいくろ	1877	4220	2644	637	1340	1691	2133	2546	3191	いわいくろ
	つぶらくろ									1	つぶらくろ
	その他黒豆	138	279	260	181	175	212	77	107	180	その他黒豆
そ の 他	333	227	262	165	183	175	274	216	152	そ の 他	
合 計		17000	21100	28100	22700	24000	24500	24400	26400	27200	合 計

注) 北海道農政生産振興局農産振興課調べ、合計はラウンドの関係で必ずしも一致しない。

5 小 豆

区 分	品 種 名	平16	17	18	19	20	21	22	23	24	品 種 名
大 納 言	アカネダイナゴン	1101	1118	1082	869	645	552	555	531	451	アカネダイナゴン
	ほくと大納言	220	146	161	191	72	49	46	9	8	ほくと大納言
	とよみ大納言	917	1056	1100	1213	1275	1492	1365	1480	1574	とよみ大納言
	ほまれ大納言					0	128	186	340	276	ほまれ大納言
	そ の 他	22	3	2		23	3	22	39	45	そ の 他
普通小豆 (早生)	サホロショウズ	751	740	598	680	494	405	344	84	310	サホロショウズ
	アケノワセ	2	3								アケノワセ
(中 生)	きたろまん			318	1568	3235	3685	3783	3860	5504	きたろまん
	エリモショウズ	17347	15091	11358	11023	10186	9827	9786	10520	9381	エリモショウズ
	きたのおとめ	7500	6754	6148	6092	5658	5487	5176	5278	5198	きたのおとめ
	しゅまり	3436	2746	1818	1716	1448	1323	1293	1109	960	しゅまり
(白 小 豆)	きたあすか							3	70	193	きたあすか
	ホッカイシロショウズ	46	45	6	1						ホッカイシロショウズ
	きたほたる			4	14	36	24	25	16	14	きたほたる
	そ の 他	512	498	204	432	328	523	615	466	486	そ の 他
合 計		31900	28200	22800	23800	23400	23500	23200	23800	24400	合 計

注) 北海道農政生産振興局農産振興課調べ、合計はラウンドの関係で必ずしも一致しない。

6 菜 豆

区 分	品 種 名	平16	17	18	19	20	21	22	23	24	品 種 名	
金 時	大 正 金 時	3830	3258	2680	2539	2745	3071	3137	2733	2577	大 正 金 時	
	北 海 金 時	311	239	181	191	228	209	179	152	151	北 海 金 時	
	福 勝	2687	2446	2145	2344	2673	2911	2992	2311	1963	福 勝	
	福 良 金 時	287	581	593	541	623	491	787	508	702	福 良 金 時	
	福 寿 金 時								66	193	15	福 寿 金 時
	福 白 金 時	137	109	115	148	153	191	193	123	93	福 白 金 時	
	そ の 他	68	104	26	28	18	58	98	30	38	そ の 他	
手 亡	姫 手 亡	617	563	474	442	296	355	252	226	522	姫 手 亡	
	雪 手 亡	1567	1598	1531	1806	1986	1810	1835	1944	1685	雪 手 亡	
	絹 て ぼ う			96	303	295	181	260	246	291	絹 て ぼ う	
	そ の 他	16	39	9	28	12	74	123	14	12	そ の 他	
う ず ら	福 粒 中 長	53	86	32	76	15	15	31	26	31	福 粒 中 長	
	福 う ず ら	116	156	219	140	143	139	163	182	194	福 う ず ら	
	そ の 他	2	12	2	3		4		1		そ の 他	
花 豆	大 白 花	296	236	247	237	264	261	267	231	199	大 白 花	
	白 花 っ 娘			27	24	3	1	1	1		白 花 っ 娘	
	紫 花 豆	125	135	77	99	110	118	147	116	121	紫 花 豆	
	そ の 他	24	22	8	5	9	2	2	15		そ の 他	
そ の 他	大 福	39	29	28	34	75	0	7	4	40	大 福	
	洞 爺 大 福	163	160	199	229	151	165	118	116	101	洞 爺 大 福	
	改 良 虎 豆	81	61	14	15	11	3	1	4	10	改 良 虎 豆	
	福 虎 豆	148	139	151	118	138	140	140	147	124	福 虎 豆	
	そ の 他	44	28	24	1	1	3	1	7		そ の 他	
合 計		10600	10000	8880	9350	9950	10200	10800	9330	8870	合 計	

注) 北海道農政生産振興局農産振興課調べ、合計はラウンドの関係で必ずしも一致しない。

7 えんどう

区 分	品 種 名	平16	17	18	19	20	21	22	23	24	品 種 名
青 えん 豆	大 緑	85	41	63	53	44	38	33	35	21	大 緑
	そ の 他	7	5	10	24	6	9	11			そ の 他
赤 えん 豆	北 海 赤 花	261	170	283	342	323	302	292	179	332	北 海 赤 花
	そ の 他	2			11					5	そ の 他
合 計		355	216	356	430	373	349	336	214	358	合 計

注) 北海道農政生産振興局農産振興課調べ、合計はラウンドの関係で必ずしも一致しない。

8 ばれいしょ

区分	品 種 名	平16	17	18	19	20	21	22	23	24	品 種 名
生 食 用	男 爵 薯	13300	13100	12300	12131	11690	11390	11123	11337		男 爵 薯
	メークイン	5690	5710	5970	6205	5872	5582	5717	5805		メークイン
	ワセシロ	888	811	676	604	532	433	449	351		ワセシロ
	キタアカリ	1507	1448	1731	1914	2057	1932	1844	1952		キタアカリ
	とうや	853	1044	1176	1028	1076	1215	1204	1195		とうや
加工食品用	トヨシロ	7590	7401	7356	7386	7533	7429	7585	7043		トヨシロ
	ホッカイコガネ	1602	1641	1506	1655	1618	1647	1551	1675		ホッカイコガネ
	ムサマル	72	109	86	77	81	103	124	112		ムサマル
	アトランチック	64	79	89	59	79	71	59	3		アトランチック
	マチルダ	89	100	100	115	91	110	129	136		マチルダ
	ベニアカリ	55	32	42	57	33	36	29	41		ベニアカリ
	さやか	850	1097	1262	1591	1544	1379	1330	1324		さやか
	スノーデン	1228	967	1374	1945	2148	2053	1850	1859		スノーデン
	きたひめ	226	1181	1200	1392	1413	1566	1713	1638		きたひめ
	でん粉原料用	紅丸	1675	1443	1110	874	586	434	356	299	
エニワ		187	183	158	126	166	132	120	110		エニワ
コナフブキ		16541	16823	16638	16285	14989	14741	14559	13743		コナフブキ
アスタルテ		379	438	483	483	543	566	718	665		アスタルテ
サクラフブキ		213	229	150	93	124	149	192	265		サクラフブキ
アーリースターチ		579	574	650	879	1037	1046	949	958		アーリースターチ
兼 用	農 林 1 号	844	549	484	470	243	316	286	267		農 林 1 号
	そ の 他	968	741	1160	1531	1745	2070	2213	2322		そ の 他
	合 計	55400	55700	55700	56900	55200	54400	54100	53100		合 計

注) 北海道農政部生産振興局農産振興課調べ、合計はラウンドの関係で必ずしも一致しない。
区分は主用途による。
平成24年データは未発表である。

9 てんさい

品 種 名	平16	17	18	19	20	21	22	23	24	品 種 名
ハ ン ナ	300									ハ ン ナ
フ ル ー デ ン	1074	626	221	208						フ ル ー デ ン
め ぐ み	2152									め ぐ み
ア ー ベ ン ト	21367	13742	1890							ア ー ベ ン ト
モ リ ー ノ	3474	4304	4781	2242	1883	960	288			モ リ ー ノ
ス コ ー ネ	6376	5106	3093	650	96					ス コ ー ネ
の ぞ み	4527	5144	4935	5099	4516	2444	160	95	125	の ぞ み
ス タ ウ ト	3414	4076	3820	3660	3619	3528	2881	3238	2851	ス タ ウ ト
きたさやか	7550	7212	6735	6537	6141	4430	3242	2265	2689	きたさやか
えとぴりか	12254	14922	15051	13856	5482	248				えとぴりか
ユキヒノデ	123									ユキヒノデ
ア セ ン ド	3052	9725	19484	19921	17545	14592	2853	2283	791	ア セ ン ド
あまいぶき	1993	1348	1709	1266	966	886	602	461	279	あまいぶき
フルーデンR	330	1140	3018	7286	4544	3488	2334	1367	1470	フルーデンR
リゾマックス		155	244	289	287	527				リゾマックス
クローナ			2129	4032	2804	1033	265	214		クローナ
アニマート			254	445	636	415				アニマート
かちまる				1076	10055	15199	14228	12625	12069	かちまる
レミエル					36	1611	12949	11636	8980	レミエル
リッカ					7361	13922	15629	13345	12876	リッカ
ゆきまる						1160	2554	4767	4716	ゆきまる
リボルタ							3460	5975	4388	リボルタ
パピリカ							1114	2148	5720	パピリカ
ラテール									620	ラテール
クリスター									1603	クリスター
えぞまる									58	えぞまる
合 計	67986	67501	67364	66566	65970	64442	62559	60419	59235	合 計

注) 北海道農政部生産振興局農産振興課調べ、合計はラウンドの関係で必ずしも一致しない。

種苗生産の流れ

種苗は農業生産上最も基本となるもので、「主要農作物種子法」などにより、優良種苗生産のための原原種、原種の生産が都道府県に義務づけられており、北海道では主要農作物（水稻、小麦、大麦、大豆）および主要畑作物（小豆、菜豆、えん豆、えん麦、そば）のうち、北海道優良品種に認定（以下、新品種認定と記す）されたものについて実施している。これら作物については、北海道立総合研究機構中央農業試験場遺伝資源部（以下、遺伝資源部と記す）が核となり民間と分担して、育種家種子、原原種、原種、一般種子の生産を実施している。一方、ばれいしょについては、独立行政法人種苗管理センターが核となり北海道や民間と分担、牧草類、とうもろこしについては、独立行政法人家畜改良センターが核となり民間と分担して実施している。

以下の図には、自殖性作物の種子生産体系の流れを、増殖率の高いもの、増殖率の低いもの、秋まき小麦、二条大麦（醸造用）の四つの事例に分けて示した。どの事例も育成が順調に進み、十分な増殖体制が確保された場合を示すものであり、期間の延長や採種段階が省略される場合もある。

増殖率の高い水稻、春まき小麦、大麦、大豆、小豆などでは、新品種認定年に遺伝資源部と育成場の協議により基本系統を選定し、それら基本系統種子を等量混合することにより育種家種子とする。この育種家種子を元に原原種、原種、一般種子が生産され、基本系統由来の一般種子が一般農家へ供給されるのは新品種認定の4年後となる。そこで、新品種認定後速やかに一般種子を供給するために、つぎの経過措置がとられている。新品種認定年の3年前および2年前に、育成系統群から将来基本系統となる選抜個体を除いた残りを集団採種した系統群集団種子を元として、原原種格（予備増殖）、原種格（新優良品種普及促進事業）、一般種子の生産を行い、新品種の認定1年後には一般農家に種子を供給している。また、新品種認定年の1年前に、育成系統群から基本系統となる選抜個体を除いた残りを集団採種した系統群集団種子を育種家種子に準ずる種子（育種家種子格）として、これを元に原原種格、原種格、一般種子の生産を行う。

なお、酒米用水稻については、酒米としての適性を検定するための大規模醸造試験が必要であり、試験実施の際に種子を外部へ供給することとなる。このため、一般に品種登録出願は新品種認定年に行うが、酒米用水稻は試験実施まで育成が進んだ段階で品種登録出願を行い、種子の散逸による品種出願における欠格事項の発生を回避している。

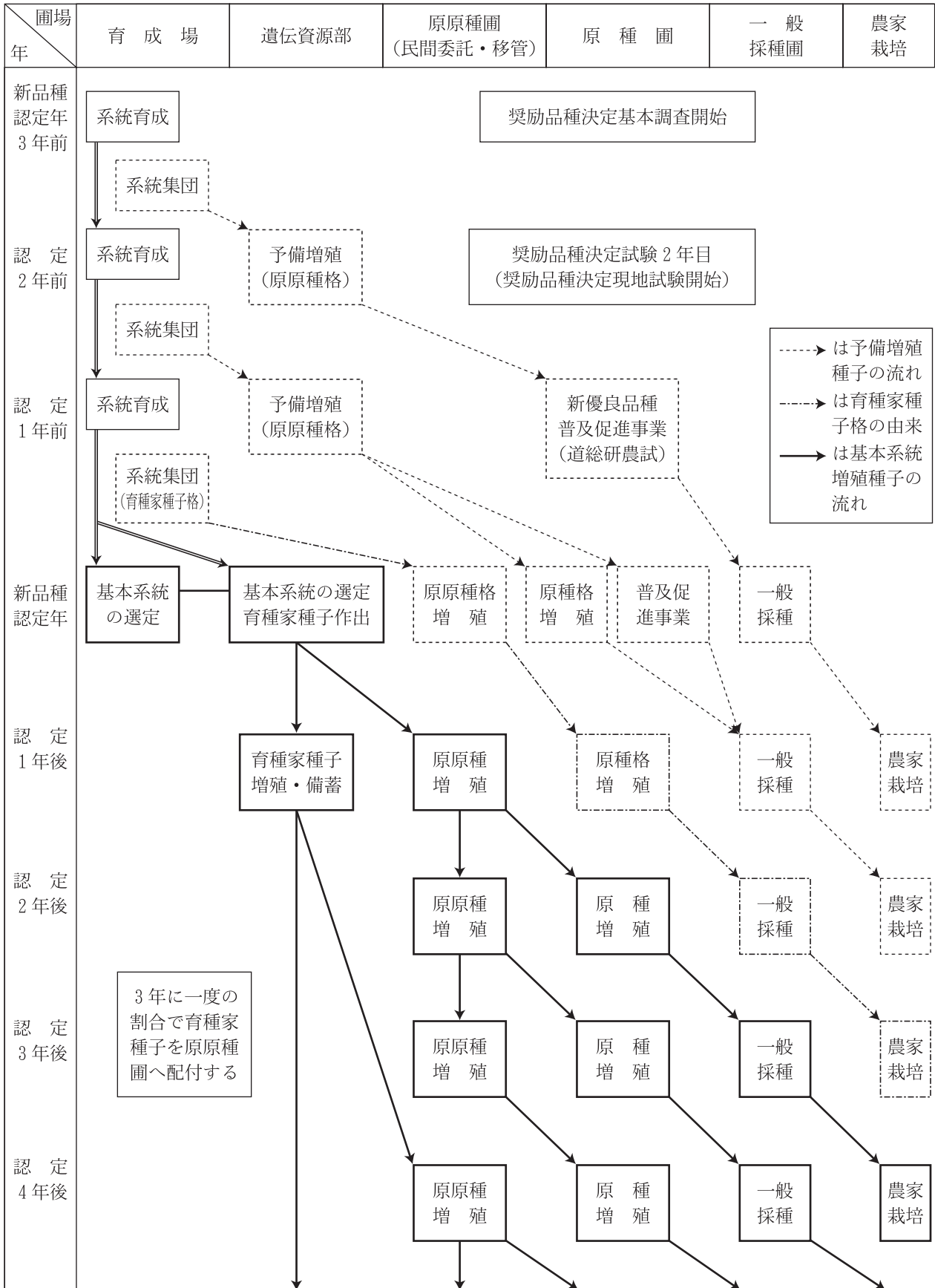
増殖率の低い菜豆、花豆の基本的な流れは上記作物と同様であるが、異なる点は、基本系統の種子量が少ないため、1年増殖した後、育種家種子が作出され、これを元に生産される種子が一般農家に供給されるまでに6年かかること、その間の経過措置として、新品種認定年に作られた原原種格を元にして新品種認定2年後まで原原種格が生産されることである。

秋まき小麦では、播種時期が秋であるため、新品種認定1年前の秋に基本系統を播種し、認定年にその選定および育種家種子の作出を行う。この育種家種子を元に原原種、原種、一般種子が生産され、新品種認定4年後に一般農家で生産が行われる。基本系統由来の一般種子の供給が可能となるまでの経過措置としては、新品種認定年の2年前に生産した系統から系統集団を作出し、原原種格（予備増殖）、原種格（新優良品種普及促進事業）、一般種子の生産を行い、新品種の認定2年後には一般農家で生産が行われる。また、新品種認定1年前に生産した系統から育種家種子に準ずる種子（育種家種子格）を作出し、これを元に原原種格、原種格、一般種子の生産を行う。

二条大麦（醸造用）では、奨励基本・現地調査が終了した後、大規模醸造試験を実施するため、酒米用水稻と同じ理由で新品種認定の3年前に品種登録出願を行う。品種登録出願（新品種認定3年前）時点で固定度は確認されているので、同時期に基本系統の選定および育種家種子の作出を行う。育種家種子は増殖・備蓄し、これを元に優良品種認定年に原原種、原種が生産され、新品種認定後2年目に一般農家の栽培に使われる。新品種認定後に速やかに種子を供給するための経過措置としては、品種登録出願の1年前から、育種家種子に準ずる種子（育種家種子格）を作出し、これを元に原原種格（予備増殖）、原種格（新優良品種普及促進事業）、一般種子の生産を行う。また、優良品種認定1年前から、原種（新優良品種普及促進事業）、一般種子の生産を行い、新品種の認定1年後には一般農家に種子を供給している。

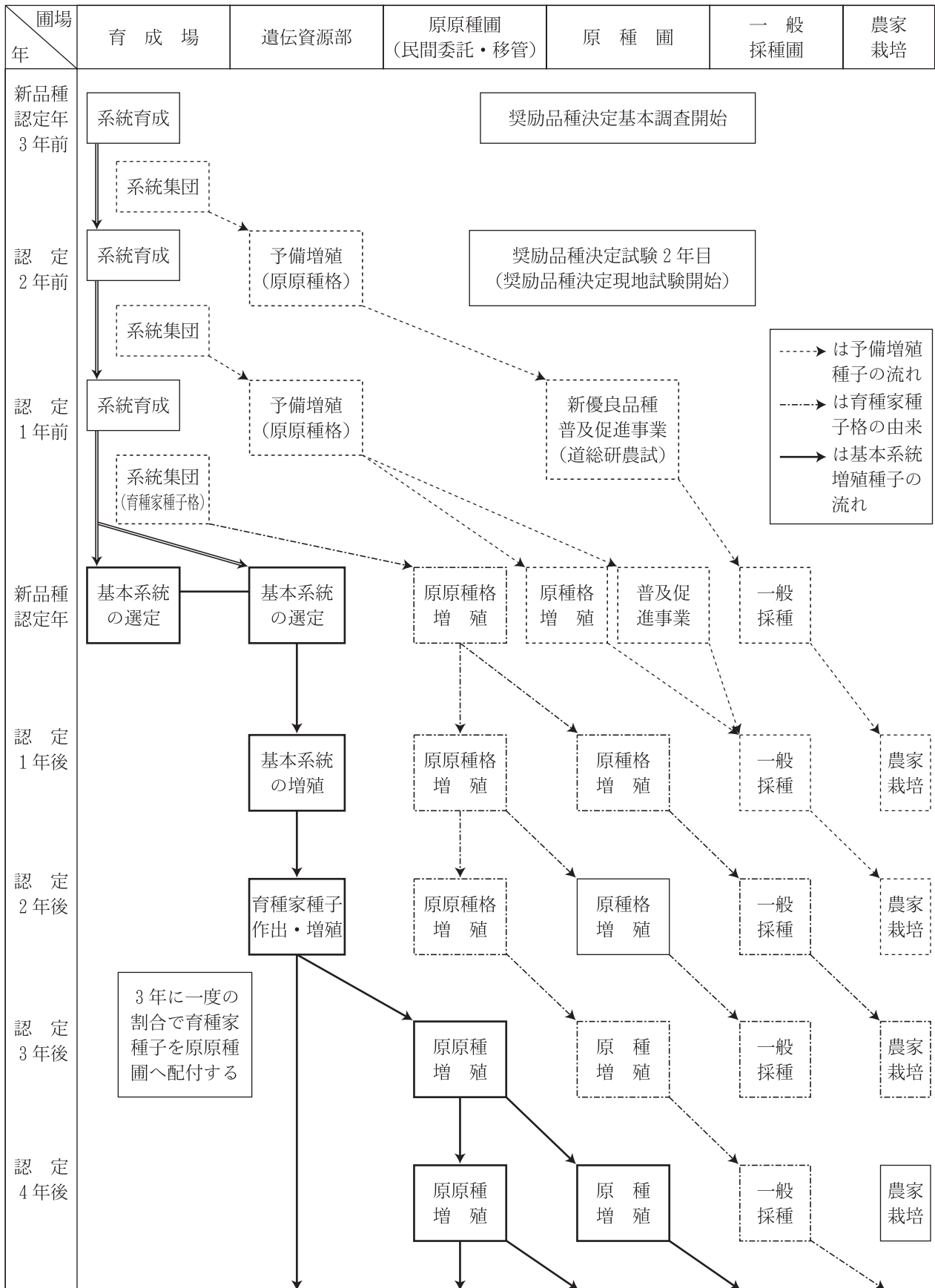
なお、水稻、麦類、豆類では、育種家種子は遺伝資源部で増殖・備蓄し、3年に一回の割合で原原種生産者に提供している。

I. 水稲, 春まき小麦, 大豆, 小豆など増殖率の高い自殖性作物の場合

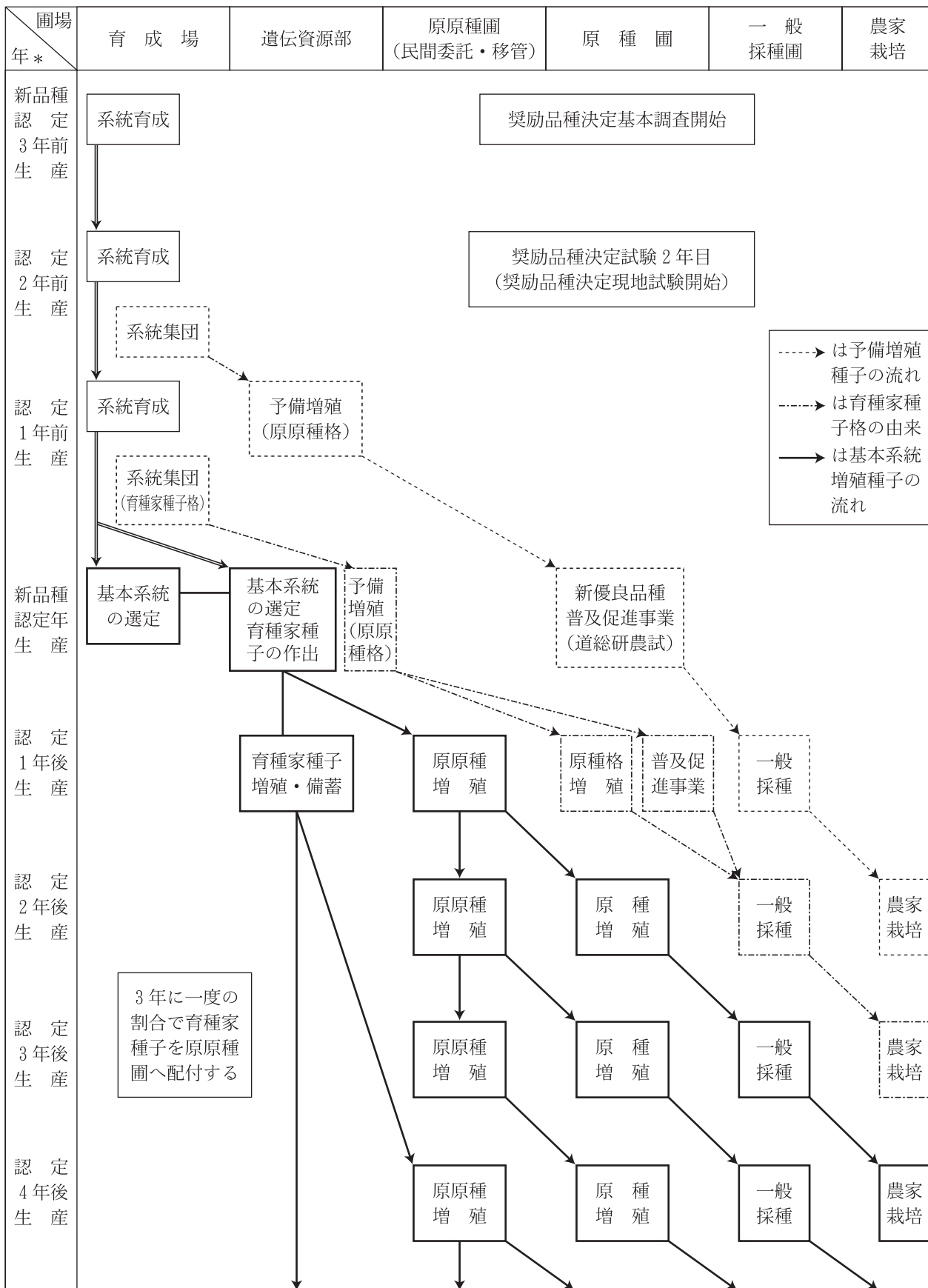


注) 一般に品種登録出願は新品種認定年に行うが、酒米用水稲は試験実施まで育成が進んだ段階で品種登録出願を行う。

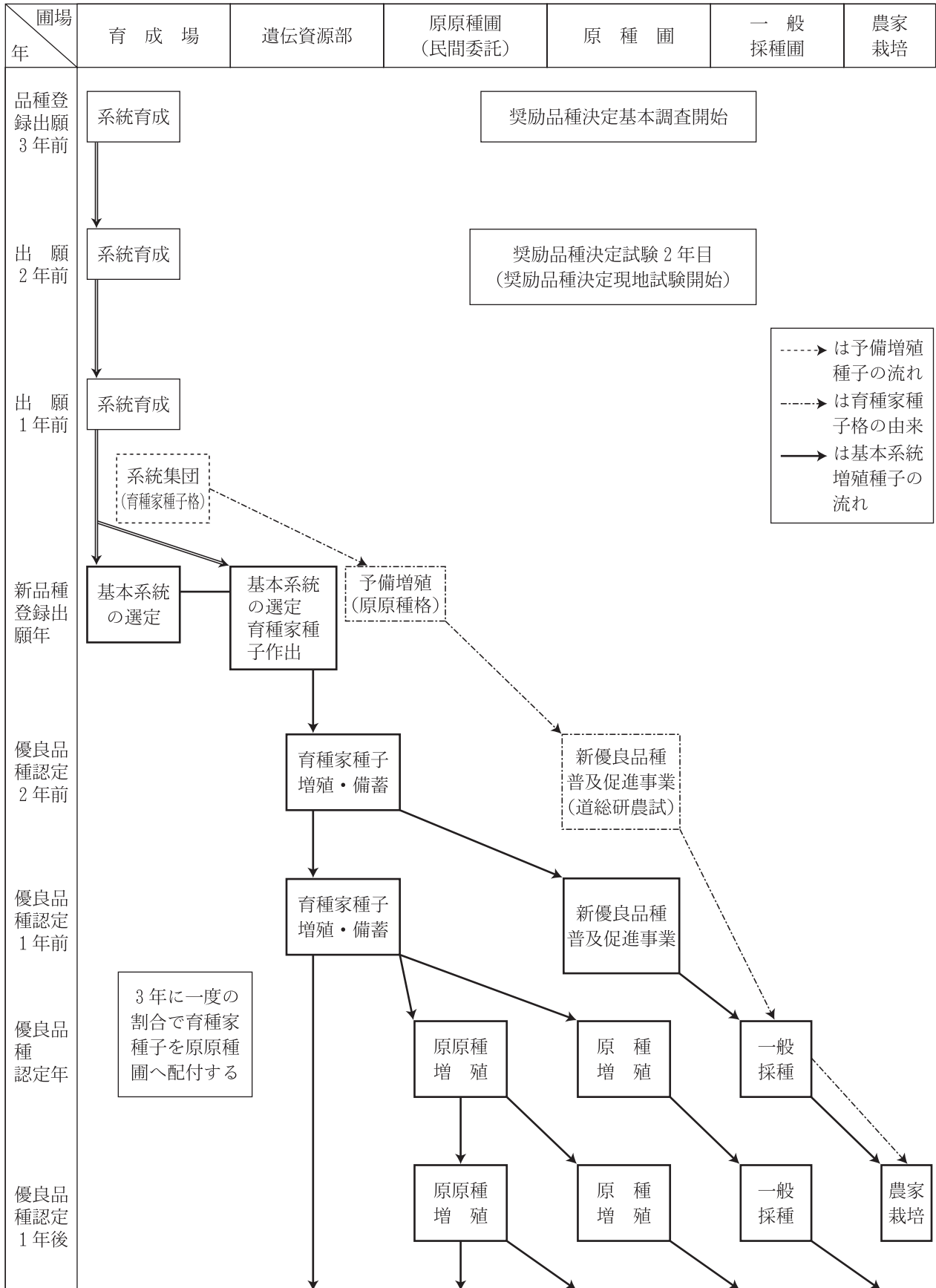
II. 菜豆金時類など増殖率の低い自殖性作物の場合



Ⅲ. 秋まき小麦の場合



IV. 二条大麦（醸造用）の場合



北海道立総合研究機構農業試験場資料 第 41 号

ISSN 2186-1056

農作物優良品種の解説(2005-2013)

竹内 徹, 長尾明宣, 南橋 昭, 白井滋久 編

2014(平成26)年3月31日発行

地方独立行政法人
発行者 北海道立総合研究機構農業研究本部

〒069-1395 北海道夕張郡長沼町東6線北15号

印刷 小南印刷株式会社

転載・複製について：本刊行物から転載・複製する場合は，道総研農業研究本部の許可を得てください。

Reproduction of articles in this publication is not permitted without written consent from Hokkaido Research Organization.